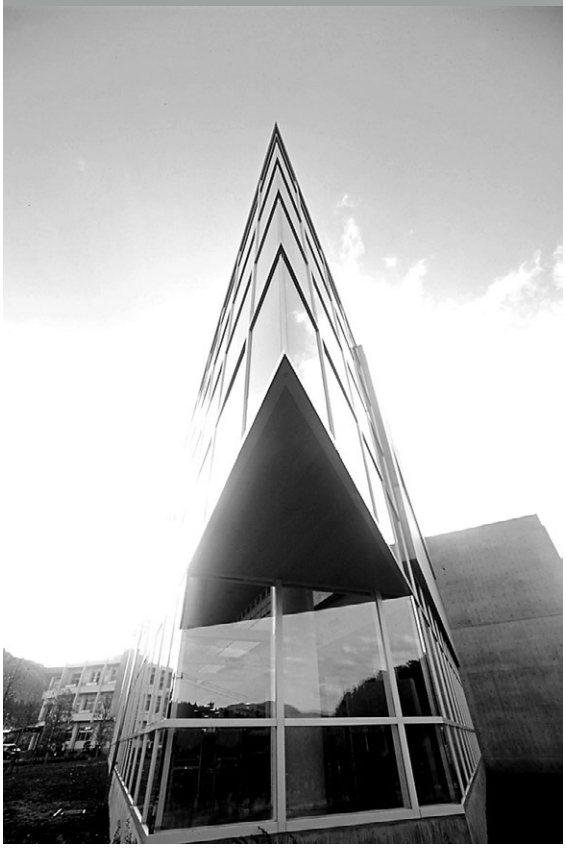
JIN-AI UNIVERSITY
2019 SYLLABUS

令和元年度
人間学部
シラバス



仁愛大学
JIN-AI UNIVERSITY

目　　次

Ⅰ．１年生

＜学部共通科目＞

仏教の人間観……田代　俊孝……1
生命の倫理……橋本　武志……3
人間の教育……高野　秀晴……5
芸術の世界……中野　研也……7
人間と環境Ａ……鳴瀬みどり……9
人間と環境Ｃ……サンドロヴィッチ　ティムール……11
スポーツと健康……野田　政弘……14
スポーツＡ……山村　恵子……16
スポーツＢ……山村　恵子……18
英語Ⅰａ……Mハウカ・Rダイクス・フッド晴美・吉田久美子・山口和代……20
英語Ⅰｂ……Mハウカ・Rダイクス・フッド晴美・吉田久美子・山口和代……22
フランス語Ⅰａ……大竹口麻里……24
フランス語Ⅰｂ……大竹口麻里……26
ドイツ語Ⅰａ……橋本　武志……28
ドイツ語Ⅰｂ……橋本　武志……30
中国語Ⅰａ……ショウ　ロ……32
中国語Ⅰｂ……ショウ　ロ……34
情報リテラシーａ……森本　文人・安彦　智史・佐々木裕子……36
情報リテラシーｂ……森本　文人・安彦　智史・佐々木裕子……38
情報活用ａ……佐々木裕子……40
情報活用ｂ……佐々木裕子……42
基礎演習……稲木・坂井・竹村・森本・山本・渡辺……44
基礎演習……安彦・江南・大河・織田・橋本・升田……46
日本語文章表現……大河　晴美・杣谷　英紀……48
キャリア・デザインⅠ……植月　百枝……50
フィールドワーク演習（ボランティア）……大森　慈子・江南　健志……52
フィールドワーク演習（国際交流）……Ｍ　ハウカ……54

＜心理学科専門科目＞

心理学概論Ⅰ……大森　慈子……56
心理学概論Ⅱ……大森　慈子……58
心理学研究法Ⅰ……杉島　一郎……60
心理学研究法Ⅱ……杉島　一郎……62

心理学統計法Ⅰ……森本　文人……64
心理学統計法Ⅱ……森本　文人・水田　敏郎……66
感情・人格心理学……森　　俊之……68
精神分析学……西村　則昭……71
学習・言語心理学……杉島　一郎……73

＜コミュニケーション学科専門科目＞

人間関係論……橋本　武志……75
コミュニケーション概論……升田　法継……77
異文化理解ａ……加藤　優子……79
日本語概論……天野　義廣……81
日本語口頭表現……植月　百枝……84
情報メディア……安彦　智史……86
デジタル・デザイン……吉村　正照……88
オーラル・コミュニケーションⅠａ……Ｍ　ハウカ……90
オーラル・コミュニケーションⅠｂ……Ｍ　ハウカ……92
企画開発基礎演習……冨永　良史……94
地域研究概論……江南　健志……96
社会学入門……江南　健志……98
共生社会論……織田　暁子……100
社会言語学……加藤　和夫……102
異文化理解ｂ……加藤　優子……104
英語学Ⅰ……矢橋　知枝……106
英語音声学……矢橋　知枝……108

Ⅱ．２年生

＜学部共通科目＞

人間と宗教……門脇　　健……110
仏教の思想……伊東　恵深……112
哲学の世界観……橋本　武志……114
文学の世界……杣谷　英紀……116
歴史と地域文化……久保　智康……118
人権と法……早川　秋子……121
日本国憲法……早川　秋子……123
人間と環境Ｂ……大久保嘉雄……125
ふくい総合学……織田　暁子・杉島　一郎・鳴瀬みどり・柿本　真代……127
英語Ⅱａ……Ｒ ダイクス・フッド晴美・吉田久美子・山口　和代……129

英語Ⅱｂ……Ｒダイクス・フッド晴美・吉田久美子・山口　和代……131
英語Ⅱａ（再履者のみ）……矢橋　知枝……133
英語Ⅱｂ（再履者のみ）……矢橋　知枝……135
フランス語Ⅱａ……大竹口麻里……137
フランス語Ⅱｂ……大竹口麻里……139
ドイツ語Ⅱａ……橋本　武志……141
ドイツ語Ⅱｂ……橋本　武志……143
中国語Ⅱａ……ショウ　ロ……145
中国語Ⅱｂ……ショウ　ロ……147
情報活用ａ……佐々木裕子……149
情報活用ｂ……佐々木裕子……151
情報処理演習ａ……竹村　順吾……153
情報処理演習ｂ……竹村　順吾……155
キャリア・デザインⅡ……升田　法継……157
フィールドワーク演習（ボランティア）……大森　慈子・江南　健志……160
フィールドワーク演習（国際交流）……Ｍ　ハウカ……161

＜心理学科専門科目＞

心理学実験……山本・森本・氏田・青井・島田……163
心理測定実習……大森慈子・森本文人・氏田麻美・伏田幸平……165
心理的アセスメント……森　　俊之……167
心理調査法……竹村　明子……169
臨床心理学概論Ⅰ……稲木康一郎……171
臨床心理学概論Ⅱ……稲木康一郎……173
健康・医療心理学……渡辺　克徳……175
発達心理学Ⅰ……竹村　明子……177
発達心理学Ⅱ……竹村　明子……179
知覚・認知心理学……杉島　一郎……181
神経・生理心理学……水田　敏郎……183
社会・集団・家族心理学Ⅰ……山本　雅代……185
社会・集団・家族心理学Ⅱ……山本　雅代……187
産業・組織心理学Ⅰ……重森　雅嘉……189
産業・組織心理学Ⅱ……山本　雅代……191
心理学特別講義……複数で担当……193

＜コミュニケーション学科専門科目＞

日本の言語文化ａ……大河　晴美……195

言語コミュニケーション論……矢橋　知枝……197
情報社会論……安彦　智史……199
公共政策……竹内　直人……202
プレゼンテーション技法……北神　慎司……204
企画開発論Ⅰ……冨永　良史……206
デザイン文化論……舩山　俊克……208
地域経済論……江南　健志……210
情報システム論……安彦　智史……212
日本の言語文化ｂ……大河　晴美……214
英語学Ⅱ……矢橋　知枝……216
英文講読ａ……紺渡　弘幸……218
英文講読ｂ……紺渡　弘幸……220
英米文化論……加藤　優子……222
企画開発演習Ⅰ……冨永　良史……224
コミュニケーション技法Ⅰ……大河　晴美……226
コミュニケーション技法Ⅱ……植月　百枝……228
ライティング技法……野尻　昌明……230
メディア･コミュニケーション論……升田　法継……232
メディア・デザイン……吉村　正照……234
プロジェクト・デザイン基礎……升田　法継……236
オーラル・コミュニケーションⅡａ……Ｍ　ハウカ……238
オーラル・コミュニケーションⅡｂ……Ｍ　ハウカ……240
TOEIC英語Ⅰ……矢橋　知枝……242
メディア英語……福永眞理子……244
英作文演習……Ｍ　ハウカ……246
家族社会学……織田　暁子……248
社会調査法……織田　暁子……250
情報・社会調査基礎……織田　暁子・江南　健志……252
社会調査方法論……織田　暁子……254
統計学……織田　暁子……256
データ解析法a……江南　健志……258
観光社会学……●●　●●……260

Ⅲ．３年生

＜学部共通科目＞

英語Ⅲａ……Ｒ ダイクス……262
英語Ⅲｂ……Ｒ ダイクス……264

情報処理演習ａ……竹村　順吾……266
情報処理演習ｂ……竹村　順吾……268
フィールドワーク演習（インターンシップ）……稲木康一郎・升田　法継……270
フィールドワーク演習（ボランティア）……大森　慈子・江南　健志……272
フィールドワーク演習（国際交流）……Ｍ　ハウカ……274

＜心理学科専門科目＞

心理検査法Ⅱ……吉水ちひろ・渡辺　克徳・坂井　祐円・青井　利哉……276
精神医学Ⅰ……三脇　康生……278
精神医学Ⅱ……三脇　康生……281
教育心理学……竹村　明子……284
家族心理学……竹村　明子……286
スポーツ心理学……野田　政弘……288
心理療法論Ⅰ……森　　俊之……290
心理療法論Ⅱ……西村　則昭……293
アイデンティティ心理学……西村　則昭……295
犯罪心理学……廣井　亮一……297
臨床心理演習……渡辺　克徳・坂井　祐円・青井　利哉……299
比較心理学……氏田　麻美……302
神経心理学……森本　文人……304
心理学特殊実験Ⅰ……水田　敏郎・大森　慈子……306
心理学特殊実験Ⅱ……水田　敏郎・大森　慈子・氏田　麻美……309
高齢者心理学……水上喜美子……311
消費者心理学……山本　雅代……313
対人心理学……大森　慈子……315
多変量解析演習……杉島　一郎……317
産業カウンセリングⅠ……稲木康一郎……319
産業カウンセリングⅡ……吉水ちひろ……321
心理学特別演習Ⅰ……複数で担当……323

＜コミュニケーション学科専門科目＞

ビジネス能力論……野尻　昌明……324
ビジネスコミュニケーション研究……升田　法継……326
日本文化論……大河　晴美……329
企画開発論Ⅱ……浅野　桃子……331
企画開発演習Ⅱ……浅野　桃子……333
マルチメディア演習……吉村　正照……335

デザイン実務演習 …… 橋本　洋子 …… 337
プロジェクト・デザイン演習 …… 冨永　良史 …… 339
英語コミュニケーションａ …… Ｍ　ハウカ …… 342
英語コミュニケーションｂ …… Ｍ　ハウカ …… 344
TOEIC英語Ⅱ …… 矢橋　知枝 …… 346
ビジネス英語ａ …… 福永眞理子 …… 349
ビジネス英語ｂ …… 加藤　優子 …… 351
英語文章表現法 …… 紺渡　弘幸 …… 353
英語学研究 …… 矢橋　知枝 …… 355
英米文学研究 …… 原口　　治 …… 357
現代社会研究 …… 江南　健志 …… 360
データ解析法ｂ …… 織田　暁子 …… 362
プログラミング …… 安彦　智史 …… 364
情報・社会調査演習ａ …… 織田　暁子・江南　健志 …… 366
情報・社会調査演習ｂ …… 織田　暁子・江南　健志 …… 368
企業と情報 …… 升田　法継 …… 370
コミュニケーション特別演習Ⅰａ …… 複数で担当 …… 372
コミュニケーション特別演習Ⅰｂ …… 複数で担当 …… 374

Ⅳ．４年生

＜学部共通科目＞

フィールドワーク演習（ボランティア） …… 大森　慈子・江南　健志 …… 376
フィールドワーク演習（国際交流） …… Ｍ　ハウカ …… 377

＜心理学科専門科目＞

学校臨床心理学 …… 廣澤　愛子 …… 379
障害者心理学 …… 水田　敏郎 …… 381
社会福祉概論 …… 元村　妙子 …… 383
心理学特別演習Ⅱ …… 複数で担当 …… 385
卒業研究 …… 複数で担当 …… 386

＜コミュニケーション学科専門科目＞

デザインマネジメント論 …… 吉村　正照 …… 387
プロジェクト・デザイン研究 …… 野尻　昌明 …… 389
異文化コミュニケーション …… Ｍ　ハウカ …… 391
現代文化研究 …… 江南　健志 …… 393
コミュニケーション特別演習Ⅱａ …… 複数で担当 …… 395

コミュニケーション特別演習Ⅱb……複数で担当……397
卒業研究……複数で担当……399

Ⅴ．特設科目

＜教職に関する専門科目＞

教職論……高野　秀晴……401
教育原理……高野　秀晴……403
教育心理学……杉島　一郎……405
教育経営論……奥谷　　崇……407
教育課程・特別活動論……高野　秀晴……409
英語科教育法Ⅰ……フッド晴美……411
英語科教育法Ⅱ……フッド晴美……413
英語科教育法Ⅲ……紺渡　弘幸……415
英語科教育法Ⅳ……紺渡　弘幸……417
道徳教育の理論と方法……高野　秀晴……419
教育の方法と技術……篭谷　隆弘……421
教育相談……佐々木雅代……423
事前・事後指導……紺渡　弘幸……425
教育実習Ⅰ……紺渡　弘幸……427
教育実習Ⅱ……紺渡　弘幸……429
教職実践演習……紺渡　弘幸・奥谷　崇・フッド晴美……431

仏教の人間観 (Views on the Humanity of Buddhism)			担当教員	田代　俊孝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1111	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

人生に対する思索を深め、考える能力と豊かな人間性を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業の目的は、建学の精神「仁愛兼済」のこころを育て、自分の人生をいきいきと生きていく力を身に付けることである。そのため、釈尊・親鸞の生涯やその教えにおける人間観を学ぶことを通して「本当の自分とは何か」を尋ねていく。

授業の到達目標

釈尊・親鸞の生涯とその教えについて述べることができる。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができる。
「仁愛兼済」を生きる学生像について、具体的に自分の考えを述べることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（コメントペーパーの記載）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：キャンパスのモニュメントについて－仏教に何を学ぶのか－（討議）
　事前学習：キャンパスの中のモニュメントについて調べておく。（2時間）
　事後学習：テキスト「和」16p～21pを読んでノートに整理しておく。（2時間）
第2回：仁愛学園の歩みと建学の精神－仁愛兼済（『仏説無量寿経』）の意味－
　事前学習：キャンパスの中のモニュメント実際に見て、写真を撮ってきてノートに整理する。（2時間）
　事後学習：キスト「和」1p～15pを読んでノートに整理しておく。（2時間）
第3回:四恩の自覚－いのちの尊厳といのちの教育－（発表）
　事前学習：なぜ、いのちは尊いのか。自分なりに考えて発表の資料を作る。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した「いのちの教育」の資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第4回：釈尊の生涯－青年期の苦悩、四門出遊
　事前学習：釈尊の伝記を図書館などで調べる。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第5回：釈尊の生涯－三法印、四諦と八正道
　事前学習：図書館の仏教に関する本で「無常について」を調べてくる。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第6回：聖徳太子と親鸞聖人（発表）
　事前学習：高等学校の「日本史」の教科書で聖徳太子について調べてくる。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第7回：親鸞の生涯－誕生から越後流罪まで
　事前学習：親鸞の伝記を図書館などで調べてくる。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第8回：親鸞の生涯－関東時代から帰洛
　事前学習：親鸞の伝記と思想の関係を整理する。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する（2時間）。
第9回：親鸞の教え－『歎異抄』の世界　歎異精神
　事前学習：『歎異抄』について調べてくる。（2時間）
　事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（2時間）

第10回：親鸞の教え－『歎異抄』の世界　悪人正機
事前学習：有名な「悪人正機」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。（２時間）
事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（２時間）
第11回：親鸞の教え－『歎異抄』の世界　自然法爾
事前学習：有名な「自然法爾」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。（２時間）
事後学習：授業中に配布した資料を読んでノートに整理する。（２時間）
第12回：親鸞と現代－登校拒否のこころを開いた『歎異抄』(討議、発表)
事前学習：事前に渡した資料を読んで理解してくる。（２時間）
事後学習：不登校の少年に『歎異抄』のどの言葉や考え方が響いたのか、レポートにまとめて提出する。（２時間）
第13回：親鸞と現代　ビハーラ運動（１）(発表)
事前学習：ビハーラ運動について調べてくる。（２時間）
事後学習：仏教による救いとは何かを授業の資料を読んで整理する。（２時間）
第14回：親鸞と現代　ビハーラ運動（２）(発表)
事前学習：日本のビハーラ施設（病院）について調べてくる。（２時間）
事後学習：授業中に配布された資料を基にビハーラ病棟の実態を整理する。（２時間）
第15回：親鸞と現代　生と死を考える（発表）
事前学習：死を超えていった念仏者の事例を図書館で調べてくる。（２時間）
事後学習：授業中に配布された資料を基に「仏教の救いとは何か」を考えてビハーラ運動の意義をレポートにまとめて提出する。（２時間）
講義で学んだことを、日常のさまざまな出来事の中で確かめ、「本当の自分とは何か」を思索するよう努めること。

成　績　評　価　方　法

第１回レポート（30%）、第２回レポート（30%）、コメントペーパーの記載内容（20%）、平常点（20%）
（平常点ぱ、授業への参加状況、受講態度、発表などの状況を総合的に判断して決める。

成　績　評　価　基　準

親鸞の生涯と思想について述べることができるか。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができるか。
「仁愛兼済」を生きる学生像について、具体的に自分の考えを述べることができるか。

テキスト、参考図書

テキスト:福井仁愛学園編『礼讃抄』『和』福井仁愛学園発行　2018年
参考書:田代俊孝著『ビハーラ往生のすすめ――悲しみからのメッセージ－』京都・法蔵館　205年　￥1800

その他（受講上の注意）

私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つものはその場で注意するが、注意によっても改まらない場合は当日、欠席扱いとするので注意されたい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生命の倫理 (Bioethics)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1122	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

技術の進歩によって、従来不可能であった治療ができるようになっている。だが、それにともなって、われわれの従来の死生観・人間観を揺さぶるようなさまざまな倫理問題が発生している。本講義では、先端医療の現状を知ったうえで、こうした倫理問題に対する、日本を含む諸外国の考え方の違い、ガイドラインや政策の相違について知り、こうした問題についての現在までのさまざまな議論を紹介する。

授業の到達目標

・生命をめぐるさまざまな倫理問題について認識する。
・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂、など、生命倫理学の基礎的な用語を習得する。
・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を知る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション～生命倫理学という学問について
　事前学習：「倫理」「規範」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第2回：生命倫理学（バイオエシックス）の成立
　事前学習：「バイオエシックス」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第3回：患者の自己決定権とインフォームド・コンセント
　事前学習：「優生思想」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第4回：映像資料で具体的生命倫理の問題を知る（子供の自己決定権）（グループワーク10分）
　事前学習：「アニッサ・アヤラ」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第5回：生命の始まりにかんする倫理問題1（受精卵研究と人工妊娠中絶）
　事前学習：「ES細胞」「ips細胞」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第6回：生命の始まりにかんする倫理問題2（パーソン論）
　事前学習："person"の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第7回：臓器移植の問題1～映像資料で現状を知る
　事前学習：「脳死」と「心臓死」の違いについて調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第8回：臓器移植の問題2～脳死と移植
　事前学習：「生体肝移植」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第9回：臓器移植の問題3～改定臓器移植法について
　事前学習：日本の現行の「臓器移植法案」での移植可能年齢について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）

第10回：生命の終わりに関する倫理問題１（治療停止）～映像資料で日本の現状を知る
事前学習：横浜地裁「安楽死の４要件」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第11回：生命の終わりに関する倫理問題２（治療停止）～法律家・患者団体・医師それぞれの立場
事前学習：札幌医科大学「和田事件」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第12回：生命の終わりに関する倫理問題３（尊厳死）
事前学習：「安楽死」と「尊厳死」の違いについて調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第13回：生命の終わりに関する倫理問題４（消極的安楽死）～映像資料で外国の事情を知る
事前学習：アメリカ、オレゴン州での「安楽死」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第14回：生命の終わりに関する倫理問題５（積極的安楽死）～アメリカとオランダ
事前学習：オランダあるいはベルギーでの「安楽死」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：これまでのプリント・ノートを見直して、わからない箇所の質問を考えておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第16回：定期試験
毎回の講義を受けた後でその部分の配布資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。そのうえで、１回目の授業で配布する参考文献一覧から該当部分を読むなどして、より理解を深めてください。

成績評価方法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、毎回の授業内小レポートの提出状況を総合して判断する）

成績評価基準

・生命をめぐるさまざまな倫理問題、およびその歴史的経緯について認識しているか。
・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂、など、生命倫理学の基礎的な用語を習得しているか。
・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を習得しているか。

テキスト、参考図書

テキストはとくに使用せず、適宜プリントを配布する。
参考図書・参考映像については１回目の授業で一覧プリントを配布するが、授業内でも適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

毎回授業内で小レポートを書いてもらう。私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つものはその場で注意するが、注意によっても改まらない場合、当日欠席扱いとするので注意されたい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間の教育 (Human Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1123	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ヒトが人になるためには教育が必要だと言われる。こうして私たちも教育を受けてきたわけだが、私たちがこれまで学んできたことは、そもそも一体何だったのだろうか？　そして、今、大学で学んでいることには一体何の意味があるのか？　これからの人生にいかに寄与するのか？　しないのか？　この授業では、有史以来の人間の教育の様々なあり方を通観することを通じて、上記の問いを考察していく。

授業の到達目標

「教育によって形成されてきた／されつつある自己」の成り立ちとゆくえについて理解を深め、自ら考察する力を身につけること。これがこの授業の到達目標である。したがって、この授業では下記の成果が求められる。
・自らがこれまで受けてきた教育の意味について説明することができる。
・現代における教育の社会的役割を分析することができる。
・自らの今後のあり方を、教育の観点から展望することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、授業内容に関連する図書を検索したうえで、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：検索した図書の概要を吟味したうえで、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：子どもとは誰のことか――子ども観の歴史的変遷――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：子どもの面倒は誰が見るのか――子育て環境の現在――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：学校とはどのような空間なのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：「学校知」の解剖学
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学校化社会について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：大学とは何か――その歴史的変遷――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：激動のなかの大学
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第９回：職能はどこで形成するか（１）── その歴史的変遷 ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第10回：職能はどこで形成するか（２）── 日本型企業中心社会の場合 ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：日本型企業中心社会の変容とキャリア教育の導入
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：意欲の競争社会化？ ── 教育の平等と格差と ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：能力主義とは何か ── これまでのまとめ ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：老い衰えることと教育
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：看取ることと教育
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）　授業時の課題（30％）

成　績　評　価　基　準

現代における教育の社会的役割を分析的に記述することができるか。
教育に関する諸問題を自己と関連付けながら記述することができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：必要に応じて、プリントを配布する。
参考図書：授業時に紹介する。

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

芸術の世界 (The World of Art)			担当教員	中野　研也
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1121	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

さまざまな音楽および美術作品の魅力や特徴を探り、生み出された背景を知る。

授 業 の 到 達 目 標

音楽と美術について、通論的な知識と通史的な知識を身に付け、作品に対する自分の考えを持つことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：音とは何か　～私たちを取り巻くさまざまな音(グループワーク)
　事前学習：身近で聞こえる音を書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第2回：音楽の誕生　～いつ・なぜ・どのようにして生まれたのか
　事前学習：音楽がいつ・なぜ・どのようにして生まれたのか、自分の考えをまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第3回：音楽の3要素　1　～旋律を中心として
　事前学習：旋律が美しいと感じたことのある曲を書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第4回：音楽の3要素　2　～拍子やリズムを中心として
　事前学習：リズムや拍子がおもしろいと感じたことのある曲を書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第5回：音楽の3要素　3　～和声を中心として
　事前学習：和声とは何か辞書等を参考に調べ、書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第6回：西洋の音楽史　1　クラシック音楽の誕生と発展
　事前学習：西洋クラシック音楽で、知っている作曲家を書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第7回：西洋の音楽史　2　クラシック音楽の落日とその後(グループワーク)
　事前学習：小学校、中学校、および高校の音楽の授業で聴いたことのある曲を書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第8回：音楽鑑賞・視聴　1　～器楽作品(予定)　鑑賞レポート提出
　事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、次回授業時に提出すること。(2時間)
第9回：音色とは何か　騒音と心地のよい音
　事前学習：騒音と心地のよい音との違いについて、自分の思うところをまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)
第10回：音楽と美術　1　～音楽と美術との関係
　事前学習：音楽と美術との違いについて、自分の考えを書き出しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。(2時間)

第11回：ジャズ　1　～ジャズが誕生した背景とその音楽的特徴
事前学習：ジャズについて、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。（2時間）
第12回：ジャズ　2　～モダン・ジャズの世界（グループワーク）
事前学習：モダン・ジャズとは何か、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。（2時間）
第13回：ロック・ポピュラー音楽　誕生と発展
事前学習：20世紀とはどのような時代であったのか、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。（2時間）
第14回：音楽を記録するということ　エジソンからデジタルまで
事前学習：録音・再生を行う機材にはどのような物があるのか、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で出された宿題プリントを実施すること。（2時間）
第15回：音楽鑑賞・視聴 2 ～ミュージカル作品（予定）　鑑賞レポート提出
事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、指定の日時までに提出すること。（2時間）
第16回：定期試験
授業で配布された資料と宿題プリント、授業でお話した内容のメモを見返して下さい。

成　績　評　価　方　法

2度のレポート（20%）、定期試験（50%）、授業への参加状況（30%）で評価する。

成　績　評　価　基　準

音楽や美術に関しての通論および通史的な知識が身につき、作品に対する自分の考えを持つことができたか。

テキスト、参考図書

特定のテキストは使用しない。授業ごとに資料（プリント）を配布する。

その他（受講上の注意）

試験問題は、配布資料（プリント）と授業で話した内容とを合わせて出題する。配布物と自分でメモをとったものは試験までは紛失しないように所持おくこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境A (Human Beings and the Environment A)			担当教員	鳴瀬みどり
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2131	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ヒトの健康の保持・増進における食・栄養の重要性を理解し、私たちを取り巻く生活環境や様々な情報、そして食生活の変化が、人体の持つ特性（恒常性）を妨げ、私たちの健康維持にどのような影響を与えているかについて学習する。
これらのことを通して、食品、サプリメント、薬等、普段私たちの身近にあるものに関して、その必要性や効果を正しく理解し、情報に惑わされることなく自らの判断で必要な情報や商品を選択・活用し、個々の健康な生活に役立てることができる。

授業の到達目標

・健康についての基本的な概念や制度、健康の維持・増進のために重要な事項、問題点等について説明できる。
・世界と日本の食文化や現在の食糧事情について説明ができる。
・食生活について栄養の重要性や食品の安全性、運動との関わり等ついて理解し、説明ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（DVD視聴）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康とは何か？
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、フードマイレージ・仮想水についてまとめておくこと（2時間）
第2回：食の歴史
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習しておくこと（2時間）
第3回：健康に関する社会制度
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康に関する社会制度についてまとめておくこと（2時間）
第4回：世界の食（DVD視聴）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、世界の食文化に対する興味を深めておくこと（2時間）
　事後学修：課題レポートの作成（2時間）
第5回：日本の食①（日本の食文化）（講義・DVD視聴）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、日本の食文化に対する興味を深めておくこと（2時間）
　事後学習：日本の行事食の持つ意味について、レポートを作成し提出すること（2時間）
第6回：日本の食②（日本各地の食文化）（講義・DVD視聴）
　事前学習：授業前に自身の出身地の食文化について調べておくこと（2時間）
　事後学習：福井県の郷土料理について、レポートを作成し提出すること（2時間）
第7回：栄養と健康①（自分の食生活を見つめてみよう）（講義・実習：BDHQによる自身の食事摂取状況の把握）
　事前学習：授業前に自身の食生活・生活習慣の振り返りをすること（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、食生活・生活習慣がなぜ大切かをノートにまとめておくこと（2時間）
第8回：栄養と健康②（栄養学の基礎）
　事前学習：授業前にテキストの第5章p.59〜73を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、栄養学の基礎項目をノートにまとめておくこと（2時間）

第９回：栄養と健康③（疾病予防のための食生活）
事前学習：授業前にテキストの第５章p.76～97を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、疾病予防のための食生活についてノートにまとめておくこと（２時間）
第10回：栄養と健康④（栄養と運動）
事前学習：授業前に栄養と運動に関する気になるニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康保持・増進のために必要な栄養と運動についてノートにまとめておくこと（２時間）
第11回：食品の安全と健康①（食品の安全と健康被害）
事前学習：授業前にテキストの第６章p.98～112を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、食品の安全と健康被害についてノートにまとめておくこと（２時間）
第12回：食品の安全と健康②（食と健康をめぐる情報）（フィールドワーク）
事前学習：授業前に食品表示に関するニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ食品表示方法を、スーパーマーケット等で実際に確認し、レポートにまとめ提出すること（２時間）
第13回：食品の安全と健康③（サプリメント～情報に惑わされないために～）
事前学習：授業前にサプリメントに関するニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、サプリメントについてノートにまとめておくこと（２時間）
第14回：医薬品とは？
事前学習：授業前に医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについて調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについてノートにまとめておくこと（２時間）
第15回：大麻･麻薬･覚せい剤の基礎知識と乱用防止（DVD視聴）
事前学習：授業前に薬物乱用に関する社会問題について調べておくこと（２時間）
事後学習：薬物乱用の危険性について課題レポートの作成（２時間）
第16回：定期試験
・新聞・ニュース等で報じられる食糧事情、食を取り巻く環境、健康の維持・増進に関する項目について日頃から興味を持つように努めること。
・各回の講義内容についてよく復習し、各自が書籍や新聞などから積極的に情報を収集し、自己学習すること。
・授業中の不明な点は、授業の前後に教員に質問するなどして理解を深めること。
「自身の健康とは何か」「心身ともに健康に生きていくために重要なこと」等についてよく考えてください。

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、課題レポート（20%）、平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・健康の概念、健康の維持・増進について理解できているか。
・食の歴史や文化、日本の食糧事情や食を取り巻く環境について理解できているか。
・栄養素の機能、食品の安全性、栄養と運動の関わりについて理解できているか。
・食品、サプリメント、医薬品、麻薬・覚せい剤について正しく理解できているか。

テキスト、参考図書

吉田勉監修　『私たちの食と健康－食生活の諸相－』　三共出版　2011年
必要に応じて、講義用資料を出席者に配布する。

その他（受講上の注意）

・授業中の私語や携帯電話など、他の学習の妨げとなる場合には退室させるので留意すること。
・課題レポートなどは、提出期限を必ず守ること。提出遅延は減点の対象となる。また、提出期限後は受領しない場合があるので注意すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境C (Human Beings and the Environment C)			担当教員	サンドロヴィッチ　ティムール
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2132	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この授業では、「ウクライナおよび日本の原発事故」、「現代ウクライナが抱える諸問題」、「国際比較の視点から見た現代日本」という三つのテーマを軸にしながら、日々おきているニュースの流れを追う。日本社会のイメージ変容にふれるとともに、ウクライナと日本社会の諸課題を比較しながら検討することによってグローバルな視点に基づいた考え方の特徴を明らかにする。

授業の到達目標

・歴史的な観点で考えることによって、国際関係についての理解を深める。
・社説・論説など、新聞によって異なる見方や主張をしているケースは多い。読み比べ、ニュースを多角的に読むことができるようになる。
・客観的なものの見方ができる。一方で、さまざまな情報を入手し自分の考え方を確立する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、授業の進め方。時の話題を取り上げ、歴史的な見方を考える
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：1986年のチェルノブイリ原発事故およびメディアの報道
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：2011年の福島第一原発事故およびメディア報道
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：原発事故の一般市民への影響
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：チェルノブイリおよびフクシマの未来
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第６回：現代ウクライナ社会の概要
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：ソ連崩壊とウクライナ共和国
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：ウクライナとEU加盟諸国との関係
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：現代ウクライナが直面する領土問題
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：異文化理解とその難しさ
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：日本人の自画像の系譜
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：国際比較の視点から見る日本：「日本人論」を乗り越える
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：21世紀日本の諸課題（１）
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：21世紀日本の諸課題（２）
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ、時事問題から考える歴史と未来
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験
日常、新聞をはじめとしたメディアのニュースに疑問を持ちながら考える習慣を身につける。「なぜこうなったのか」を考え、自分の関心を持ったニュースを追いかける楽しみを覚える。また、海外のニュースにも積極的に関心を持つ。

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、質問用紙等の状況を総合的に判断します。）

成 績 評 価 基 準

1．国際関係の諸課題についての見解を述べることができるか。（定期試験）
2．様々なニュースを多角的に読み取ることができるか。（定期試験、コミュニケーション・カード）
3．学術的な情報にアクセスしながら各自の問題意識を深め、自身の考察を論理的に記述できるようになっているか。
（コミュニケーション・カード）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

毎回資料を配布する
＊参考書
井上俊・永井良和編著、『今どきコトバ事情』ミネルヴァ書房, 2016.
セルゲイ・パスケービッチ/デニス・ビセネブスキー（後藤隆雄訳）『チェルノブイリ、現実の世界』本の泉社, 2013.
河田昌東『チェルノブイリと福島』緑風出版, 2011.
エレナ・フィラトワ（池田紫訳）『ゴーストタウン チェルノブイリを走る』集英社, 2011.
尾内隆之、摩佐志編『科学者に委ねてはいけないこと 科学から「生」をとりもどす』岩波書店, 2013.
東浩紀編『チェルノブイリ・ダークツーリズム・ガイド 思想地図β vo.4－1』株式会社ゲンロン, 2013.
東浩紀編『福島第一原発観光地化計画 思想地図β vo.4－2』株式会社ゲンロン, 2013.

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

日常生活の中で新聞を読み、テレビやラジオ、ネットなどメディアに接し、ニュースに敏感になるよう努力する。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツと健康 (Sports and Health)			担当教員	野田　政弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2133	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

現代社会においてスポーツや運動など日常生活におけるさまざまな身体活動は、人々が健康な生活を送るうえで重要な役割を果たしている。スポーツや運動にみられる身体現象を運動生理学やスポーツ心理学、スポーツ社会学などの観点から科学的に探求し理解を深める。

授業の到達目標

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できる。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(授業の最後に今回の内容について意見を交換する)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康の捉え方と獲得するためのポイント(意見交換)
　事前学修：テキストの第1章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第2回：生活習慣病と関連する要因(意見交換)
　事前学修：テキストの第2章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第3回：体力とは何か(意見交換)
　事前学修：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第4回：運動の仕組み(意見交換)
　事前学修：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第5回：トレーニング理論とトレーニング方法(意見交換)
　事前学修：テキストの第5、6章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第6回：健康を維持・増進するための運動(意見交換)
　事前学修：テキストの第7章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第7回：ダイエット計画(意見交換)
　事前学修：テキストの第8章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第8回：運動と水分補給、熱中症(意見交換)
　事前学修：テキストの第9章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第9回：ウォーミングアップとクーリングダウン(意見交換)
　事前学修：テキストの第10章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)
第10回：応急手当(意見交換)
　事前学修：テキストの第11章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間)
　事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)

第11回：スポーツと心理のかかわり（意見交換）
事前学修：テキストの第12を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第12回：今日の学校保健の問題（意見交換）
事前学修：テキストの第13章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第13回：欲求、ストレスと疲労への対処法（意見交換）
事前学修：テキストの第14章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第14回：地域とスポーツのかかわり、社会におけるスポーツの役割（意見交換）
事前学修：テキストの第15、16章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
事後学修：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第15回：まとめ
事後学修：定期試験に向けテキスト等の見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（4時間）
第16回：定期試験
各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、レポート（30%）。

成　績　評　価　基　準

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できている。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できている。

テキスト、参考図書

出村慎一編著、「健康・スポーツ科学講義 第2版」、杏林書院 2017

その他（受講上の注意）

講義で学んだ知識を日常の生活や身体運動に活用できるように。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツA (Sports A)			担当教員	山村　恵子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2134	1単位	1年前期	実技	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

生涯スポーツ、テニスを楽しむことを目指し、健康維持増進、体力の向上をねらいとする。

授　業　の　到　達　目　標

硬式テニスと軟式テニスとの違いを知り、ラケットの扱いやボールコントロール・サーブが出来るようになり、シングルス・ダブルスのゲームが出来ることを目標とする。
自他理解能力、コミュニケーション能力、計画をたて実行出来る能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：硬式テニスの歴史・変遷のまとめ
　事前学習：公式テニスの歴史・変遷をまとめる(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第2回：コート、ラケット、ボールの大きさを知る
　事前学習：コート、ボールの大きさをノートに作成する。(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第3回：個人技の習得(ラケットの握り方、ラケットになれる)
　事前学習：個人技能を整理し理解を深めておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業の内容を整理し個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第4回：個人技の習得(ラケット、ボールになれる、ボールコントロールの練習)
　事前学習：個人技能を整理し理解を深めておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業の内容を整理し個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第5回：グランドストロークの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：グランドストロークの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第6回：フォアハンドストロークの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：フォアアハンドストロークの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第7回：サービスサーブのルール、サービスの打ち方予習
　事前学習：サービスについて調べておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第8回：サービス実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：サービスの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第9回：ネットプレー、スマッシュ、ボレー実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：ネットプレー、スマッシュ、ボレーの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第10回：ラリーが何回出来るか(実技)
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：ラリーの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)

第11回：基本的な攻防の戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判につ調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第12回：ゲームの進め方を調べ、学習する
　　事前学習：ゲームの進め方を調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第13回：ポイントの呼び方を学習する
　　事前学習：ポイントのコールを調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲーム内でコールが出来たか確認すること。（0.5時間）
第14回：基本技ダブルスゲーム、作戦、戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第15回：ゲームまとめ
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容を振り返り課題を整理してまとめておくこと。（0.5時間）

成　績　評　価　方　法

技術の習得（70%）、平常点（30%）。平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

軟式テニスと硬式テニスの違いを理解できているか。
ラケットの扱いやボールコントロール・サーブができるか。
シングル・ダブルスのゲームができるか。

テキスト、参考図書

必要に応じて授業内で配付する。

その他（受講上の注意）

原則として全出席を求め、遅刻、早退は認めない。
トレーニングウエアー着用のこと。原則として見学の場合もトレーニングウエアー着用のこと。
春先、外気温が上がるため、水分補給に注意する。
新聞、テレビのメディアでよく取り上げられている、世界大会（日本の選手）、県内高校、一般（インターハイ、国体）の大会に関心を持って情報を得るようにする。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツB (Sports B)			担当教員	山村　恵子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2135	1単位	1年後期	実技	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

バスケットボールを楽しむことを目指し、健康維持増進、体力の向上をねらいとする。

授業の到達目標

自他の理解能力、コミュニケーション能力、計画をたて実行できる能力を養成する。
バスケットボールのスピードあるボールコントロール・フォーメーションプレーなどがスムーズにできることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：バスケットボールの歴史・変遷のまとめ
　事前学習：バスケットの歴史、変遷をまとめる(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第2回：コートの大きさ、ゴールの大きさを知る
　事前学習：コート、ゴールの大きさをノートに作成する。(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第3回：ボールコントロールの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：ボールコントロールの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第4回：ボールの重さ、大きさ、持ち方を調べる
　事前学習：授業内容について、高校の教科書、図書館等で調べ、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第5回：ジグザグドリブルの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：ジグザグドリブルの向上、個人技を習得しておくこと。(0.5時間)
第6回：ジグザグドリブルのタイムを上げる為の練習
　事前学習：体力、個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第7回：戦術レポート作成
　事前学習：コンビネーションプレーについて調べておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第8回：ゴール下30秒シュート実技
　事前学習：実技のための個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第9回：ゴール下30秒シート数を上げる為の練習
　事前学習：ゴール下シュートの習得(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)
第10回：シュート、パスの種類を調べる
　事前学習：個人技の習得(0.5時間)
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。(0.5時間)

第11回：コンビネーションプレー３対３の守り方、攻め方
　　事前学習：コンビネーション３対３について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容を整理し、からだの動きを確認すること。（0.5時間）
第12回：試合の進め方を調べる、試合時間など
　　事前学習：コンビネーションプレー５対５について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第13回：反則を調べる
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第14回：５対５全面の攻防10分ゲーム、作戦、戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第15回：ゲームまとめ、個人技評価
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を評価しておくこと。（0.5時間）

成　績　評　価　方　法

技術の習得（70%）、平常点（30%）。平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

スピードのあるボールコントロール・フォーメーションプレーなどがスムーズにできるか。
中学校、高校までに習ったバスケットを理解出来ているか。

テキスト、参考図書

必要に応じて授業内で配付する

その他（受講上の注意）

原則として全出席を求め、遅刻、早退は認めない。
トレーニングウェア着用のこと。
原則として見学の場合もトレーニングウェア着用のこと。
授業中の水分補給は各自行う。
新聞、テレビのメディアなどで東京オリンピック前の世界大会、県内の大会に関心を持ち情報を得るようにする。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅰa (English Ⅰa)			担当教員	M ハウカ、R ダイクス、フッド 晴美、吉田久美子、山口 和代
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2141	1単位	1年前期	演習	必修

<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 □社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力

授 業 の 内 容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート) □グループワーク
□発表(プレゼンテーション) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回:Class Introduction(ディスカッション)
事前学習:事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第2回:Unit 1 - Jobs ①(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第3回:Unit 1 - Jobs ②(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第4回:Unit 2 - Daily activities ①(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第5回:Unit 2 − Daily activities ②(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第6回:Unit 3 - At the moment ①(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第7回:Unit 3 - At the moment ②(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第8回:Review(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第9回:Unit 4 - Feelings ①(ディスカッション)
事前学習:前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
事後学習:授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)

第10回：Unit 4 - Feelings ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 5 - On the weekend ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 5 - On the weekend（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 6 - Downtown ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 6 - Downtown ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Cumulative Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before starting each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.
Furthermore, students will be tasked with self－study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy 2 software.

成 績 評 価 方 法

Outside - class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy 2 usage, etc.) - 20%【授業外課題 20%（[例] 文法参照ページ & 宿題・Net Academy 2（オンライン学習）・他】
Proactive In - class Participation - 20% 【積極的な授業参加度 20%】
Examination - 60% 【試験 60%】

成 績 評 価 基 準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Stempleski, Susan. Stretch 1（First Edition）. 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
TEXT加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

Prior to the beginning of the semester, a mandatory general English pre - evaluation test will be administered.【入学時にプレースメントテストを実施する】Also, during the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory (E - 303) for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy 2 software.

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅰb (English Ⅰb)			担当教員	M ハウカ、R ダイクス、フッド 晴美、吉田久美子、山口 和代
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2142	1単位	1年後期	演習	必修

<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 □社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力

授 業 の 内 容

Following a 'Warm - up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート) □グループワーク
□発表 (プレゼンテーション) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction (ディスカッション)
事前学習：前期の学習を振り返っておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第2回：Unit 7 - People we admire ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第3回：Unit 7 - People we admire ② (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第4回：Unit 8 - At a supermarket ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第5回：Unit 8 - At a supermarket ② (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第6回：Unit 9 - Health problems ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第7回：Unit 9 - Health problems ② (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第8回：Review (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第9回：Unit 10 - Cities ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)

第10回：Unit 10 - Cities ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Music ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Music ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - Travel plans ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - Travel plans ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Cumulative Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.
Furthermore, students will be tasked with self－study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy 2 software.

成 績 評 価 方 法

Outside - class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy 2 usage, etc.) - 20%【授業外課題 20%（[例] 文法参照ページ & 宿題・Net Academy 2（オンライン学習）・他】
Proactive In - class Participation - 20% 【積極的な授業参加度 20%】
Examination - 60% 【試験 60%】

成 績 評 価 基 準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Stempleski, Susan. Stretch 1（First Edition）. 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
TEXT加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他（受講上の注意）

During the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory（E - 303）for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy 2 software. An additional mandatory general English post - evaluation test to monitor achievement will be given at the end of the semester.【アチーブメントテスト受験が単位取得条件である】

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語Ⅰa (French Ⅰa)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2143	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「フランス語技能検定試験（仏検）」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

1）綴り字と発音の関係を学び、早い段階で臆することなくフランス語を発音できる。
2）初級文法を学び簡単な会話文が読み書くことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：フランス語について．ABCの発音．あいさつ（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：CDでアルファベを聞いておくこと。（0.5時間）
事後学習：自分の名前をノートに書いて発音し、すらすら言えるようにしておく。（0.5時間）
第2回：第1課 綴り字の読み方・自己紹介する（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第1課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：綴り字の短母音字についてまとめておくこと。動詞?treの活用をまとめておき、覚えること。（0.5時間）
第3回：第1課 自己紹介する（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストp12の練習問題とプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第4回：第2課 物を指し示す①（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第2課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストp16の練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第5回：第2課 物を指し示す②（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第6回：第3課 尋ねる①（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第3課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：－er動詞parler aimer活用させ、まとめておき覚えてくること。（0.5時間）
第7回：第3課 尋ねる②（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。テキストp22仏検5級をめざして1を解いておくこと。（0.5時間）
第8回：第4課 買い物をする①（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第4課の単語調べをしておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストp26の練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第9回：第4課 買い物をする②（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）

第10回：第５課　物事や人について尋ねる（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第５課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストｐ30の練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第11回：第５課　物事や人についてたずねる（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第12回：第６課　場所を尋ねる（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第６課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストｐ34の練習問題を解いておくこと。所有形容詞を使って自分の家族の名前を作文しておくこと。（0.5時間）
第13回：第６課　場所を尋ねる（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第14回：第７課　～したいと言う（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第７課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストｐ38の練習問題を解いておくこと。自分がどこにいきたいかを作文しておくこと。（0.5時間）
第15回：第７課～したいと言う（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試60％、平常点40％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

1）綴り字と発音の関係を理解し、早い段階で臆することなくフランス語を発音できるか。
2）初級文法及び簡単な会話文が読み書きができるか。

テキスト、参考図書

藤田裕二著『パリ－ボルドー』　朝日出版社　2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他（受講上の注意）

仏和辞書を毎回持ってくること。辞書については初回の授業で説明します。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語Ⅰb (French Ⅰb)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2144	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「フランス語技能検定試験（仏検）」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

1）テキストの内容について滑らかにフランス語を発音できるようになること。
2）テキストの内容や自分自身について質問されたことについてフランス語で書くことができるようになること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：第8課　興味を述べる（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：テキスト第8課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：テキストp44の練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第2回：第8課 興味を述べる（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第3回：第9課　誘う（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：テキスト第9課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：テキストp48の練習問題を解いておくこと。代名動詞を使い自分の興味のあるものについて作文しておくこと。（0.5時間）
第4回：第9課　誘う（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第5回：第10課　天候と時刻を言う（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：テキスト第10課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：テキストp52の練習問題を解いておくこと。都市の時刻と天候について作文しておくこと。（0.5時間）
第6回：第10課　天候と時刻を言う（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第7回：第11課　数量を表す（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：テキスト第11課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：テキストp58の練習問題を解いておくこと。自分が朝食に取るものについて作文しておくこと。（0.5時間）
第8回：第11課数量を表す（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第9回：第12課　比較する（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
　事前学習：テキスト第12課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：テキストp62の練習問題を解いておくこと。エッフェル塔と東京タワーを比較する文を作っておくこと。（0.5時間）

第10回：第12課　比較する（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第11回：第13課　過去のことを話す①（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第13課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキストｐ66の練習問題を解いておくこと。仏検４級を目指して２を解いておくこと。（0.5時間）
第12回：第13課　過去のことを話す②（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第13回：第14課　仮定する①（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学：14課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
事後学習：ｐ72の練習問題を解いておくこと。時間があったら何をするかを条件法を使い作文しておくこと。（0.5時間）
第14回：第14課　仮定する②（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと（0.5時間）
事後学習：：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第15回：総復習（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）
事前学習：テキスト第８課～第14課の内容を整理し、質問事項をまとめておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業の中で取り上げた最重要項目についてよく復習しておくこと。（0.5時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験60％　平常点40％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１）フランス語の滑らかな発音ができるか。
２）簡単な質問に対してフランス語で回答できるか。

テキスト、参考図書

藤田裕二著『パリ－ボルドー』 朝日出版社　2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他（受講上の注意）

辞書は毎回持ってくること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語Ⅰa (German Ⅰa)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2145	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語の発音と単語、文の構造を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

ドイツ語のアルファベートの発音、単語の読み方、規則的な動詞変化(現在形)、定冠詞・不定冠詞の格変化を習得し、簡単なドイツ語のあいさつや、ドイツ語の単文をある程度読み、書き、発音することができるようになることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ペアワーク)

授業の計画及び授業外の学習方法

毎回プリントによる練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は、必ず復習しておくこと。
第1回：Lektion 1　ドイツ語という言語の説明・アルファベート(発音ペアワーク10分)
　事前学習：テキストのアルファベートのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第2回：Lektion 1　いろいろな単語を発音してみよう(発音ペアワーク10分)
　事前学習：テキストの単語の発音のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第3回：Lektion 1　単語と簡単なあいさつをしてみよう。
　事前学習：テキストのあいさつのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第4回：小テスト1　およびこれまでの復習
　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第5回：Lektion 2　動詞の人称変化・定動詞第2位の法則
　事前学習：動詞の人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：返却された小テストの間違った箇所のやり直しを行い、宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第6回：Lektion 4　動詞の不規則な人称変化
　事前学習：動詞の不規則な人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第7回：Lektion 3　名詞の性
　事前学習：名詞の性のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第8回：Lektion 3　定冠詞の格変化
　事前学習：定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第9回：Lektion 3　不定冠詞の格変化
　事前学習：不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間)
　事後学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと。宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)

第10回：小テスト２　およびこれまでの復習
　　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第11回：映像によってドイツ文化を知る１
　　事前学習：ケストナー『二人のロッテ』のストーリーを調べておくこと（0.5時間）
　　事後学習：返却された小テストの間違った箇所のやり直しを行い、宿題プリントを完成させておくこと。映画の聞き取れた単語をノートし、映画に関する質問を考えておくこと（0.5時間）
第12回：Lektion 4　名詞の複数形
　　事前学習：名詞の複数形のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第13回：Lektion 4　複数名詞の定冠詞・不定冠詞変化
　　事前学習：複数名詞の冠詞変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第14回：映像資料によってドイツ文化を知る２
　　事前学習：『美女と野獣』（実写、アニメどちらでも）のストーリーを調べておくこと（２時間）
　　事後学習：映画の聞き取れた単語をノートし、映画に関する質問を考えておくこと（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
　　事前学習：前期の学習の復習を行い、わからないところは質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：質問への回答を用いて、定期試験に備え前期の総復習をしておくこと（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、小テストへの取り組みを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・ドイツ語の発音の規則を理解し、知らない単語にも応用することができるか。
・動詞変化の基本的規則を理解し、自分で動詞を変化させることができるか。
・英語にはない動詞の「性および格」について理解し、冠詞変化規則を応用することができるか。

テキスト、参考図書

（１）西村祐子　ルドルフ・ペトリック　『新・行ってみたいなドイツ』 郁文堂　2013年
（２）在間進　『新キャンパス独和辞典』 郁文堂 2011年
初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。

その他（受講上の注意）

語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。また、私語が多い場合には、その回は欠席扱いにすることがある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語Ⅰb (German Ⅰb)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2146	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語Ⅰaにつづいて、ドイツ語のやや高次な初級文法について学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

ドイツ語の定冠詞・不定冠詞類の格変化、前置詞、助動詞を習得し、英語とは異なるドイツ語独自の「ワク構造」について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

毎回プリントによる練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：ドイツ語Ⅰaの復習
　事前学習：ドイツ語Ⅰaで学んだ総復習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：授業で用いた復習プリントの間違い直しをしておくこと（0.5時間）
第2回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類1（ペアワーク）
　事前学習：テキストの定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第3回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類2（ペアワーク）
　事前学習：テキストの不定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第4回：Lektion 3　人称代名詞
　事前学習：テキストの人称代名詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第5回：小テスト1
　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第6回：Lektion 6　前置詞1
　事前学習：テキストの3格、4格支配の前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：返却された小テストの間違い直しをし、宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第7回：Lektion 6　前置詞2
　事前学習：テキストの3・4格支配の前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第8回：Lektion 6　前置詞3
　事前学習：テキストの前置詞の縮約形・動詞とペアで用いる前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第9回：Lektion 7　話法の助動詞とワク構造
　事前学習：テキストの話法の助動詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第10回：小テスト2
　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）

第11回：Lektion10　動詞の３基本形と過去形
　　事前学習：テキストの動詞の過去形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：返却された小テストの間違い直しをし、宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第12回：Lektion11　現在完了形とワク構造１
　　事前学習：テキストのhabenを用いる現在完了形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第13回：Lektion11　現在完了形とワク構造２
　　事前学習：テキストのseinを用いる現在完了形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第14回：小テスト３
　　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
　　事前学習：後期で扱ったテキスト部分、プリントを見直し、質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：返却された小テストの間違い直しをし、提起試験に備えること（0.5時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、小テストへの取り組みを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・冠詞類、動詞の不規則変化、前置詞、話法の助動詞、過去形について理解し、ある程度応用できるか。

テキスト、参考図書

（１）西村祐子　ルドルフ・ペトリック　『新・行ってみたいなドイツ』 郁文堂 2013年
（２）在間進　　『新キャンパス独和辞典』 郁文堂 2011年
初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。

その他（受講上の注意）

語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。また、私語が多い場合には、その回は欠席扱いにすることがある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語Ⅰa (Chinese Ⅰa)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2147	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語の学習を進めていく上で基礎知識を学習し、中国語の検定試験準4級のレベルをめざす。

授業の到達目標

1、中国語の発音に関して、表音ローマ字の読み方と綴り方を取得する。
2、中国語の簡略字を正しく読み取れる。
3、基礎単語300語程度を覚える。
4、簡単な日常あいさつ用語30語程度を聞き取れる、応答ができる。
5、簡単な基本文型20語程度を取得し、基本的な事項の確認や、自分の意思を伝えられる。
6、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ペアワーク)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス、映像教育、中国の国土、民族など、中国語の表記法、文字、普通話、方言などを紹介する。
　事後学習：「中国に関する質問」のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第2回：中国語の発音。母音、子音、声調(四声)の習得。(ペアワーク)
　事後学習：自分の名前、故郷、国名を練習し、次週中国語で発表する。(1時間)
第3回：発音の注意事項。100までの数字を言える、聞き取れること。(ペアワーク)
　事後学習：数字の練習プリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第4回：人称代詞。是非を問うことに対し、正しいのか、違うのか、わからないのかを答えられる。(ペアワーク)
　事後学習：中国語を翻訳するプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第5回：中国語の基本語順。簡単な自己紹介ができる。(ペアワーク)
　事前学習：自己紹介することばを収集すること。(1時間)
第6回：疑問詞疑問文。行先や場所の説明ができる。(ペアワーク)
　事前学習：《場所単語集》の発音を予習すること。(1時間)
第7回：連動文。自分の好みを言えること、趣味を簡単に紹介することができる。(ペアワーク)
　事前学習：《食べ物、スポーツ単語集》の発音を予習すること。(1時間)
第8回：形容詞述語文。友達と一緒に外出の誘い言葉が言える。(ペアワーク)
　事後学習：「スターバックスに行きませんか」の会話作成、次週に提出すること。(1時間)
第9回：存在を表わす表現。家族を紹介することができる。(ペアワーク)
　事後学習：家族構成の読み方を練習し、次週テストする。(1時間)
第10回：名詞述語文。買い物に値段を聞くことができる。(ペアワーク)
　事後学習：「中国で買い物する」のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第11回：比較文。年齢の言い方、日本と中国の違う所が言える。(ペアワーク)
　事前学習：日本と中国の異同点を収集すること。(1時間)
第12回：反復疑問文。アルバイトについて紹介することができる。(ペアワーク)
　事前学習：職種のことばを収集すること。(1時間)
第13回：完了及び否定文。自分の行動、目的を説明することができる。(ペアワーク)
　事後学習：《私の週末》を題する作文、次週に提出すること。(1時間)
第14回：助動詞。銀行で貯金、両替することができある。(ペアワーク)
　事前学習：《銀行用語》の発音を予習すること。(1時間)

第15回：中国語映画を鑑賞した後、振り返ることがでる。（発表）
　　事後学習：《総まとめ単語集》を配る、定期試験を準備する。（１時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）課題練習の成績（30%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

1、表音のローマ字の読みと綴りをすることができるか。
2、常用簡略字が読み取れるか。
3、基礎単語300語程度が話せるか。
4、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
5、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

テキスト、参考図書

佐藤　晴彦　監修　徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語Ⅰb (Chinese Ⅰb)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2148	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語を読むこと、話すことを重点において学習し、中国語の検定試験準4級合格をめざす。

授業の到達目標

1、中国語表音ローマ字による発音ができる。
2、基礎単語500語程度を使って、簡単な中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、日常あいさつ用語50語程度を聞き取れる、応答ができる。
4、簡単な基本文型50語程度を利用し、基本的な事項の確認や、自分の意思を自然に伝えられる。
5、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ペアワーク)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：中国語Ⅰの復習。年月日の言い方、中国の祭日の映像を見る。
　事後学習：中国語Ⅰの復習プリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第2回：主述述語文。体調を訴えることができる。会話作り及び発表《病院で》。(ペアワーク)
　事前学習：病名の単語を調べること。(1時間)
第3回：時量補語、時刻の言い方。予定やスケジュールが言える。会話作り及び発表《日曜日の計画》。(ペアワーク)
　事後学習：時量、時刻の復習プリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第4回：選択疑問文。人を誘ったり誘われたりの表現ができる。会話作り及び発表《中国に行く》。(ペアワーク)
　事前学習：中国の有名な都市を調べること。(1時間)
第5回：助動詞“会”と“能”。中国南北料理の映像をみる。会話作り及び発表《日本の寿司》。(ペアワーク)
　事後学習：助動詞の使い方のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第6回：副詞“在”。電話であいさつ、応対する、連絡することができる。(ペアワーク)
　事後学習：挨拶用語のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第7回：中国の映画を鑑賞する。中国語で50〜100字の感想文を書く。(ペアワーク)
　事後学習：感想文を見直すこと、次週に提出すること。(1時間)
第8回：助動詞“可以”。自分で食事を注文することができる。会話作り及び発表《レストランで》。(ペアワーク)
　事前学習：中国料理の単語を調べること。(1時間)
第9回：禁止の表現。電車の乗り方を聞くことができる。会話作り及び発表《東京に行く》。(ペアワーク)
　事前学習：東京に行く乗り物の時刻、運賃を調べること。(1時間)
第10回：助詞“从〜”。タクシーの乗り方を聞くことができる。会話作り及び発表《タクシーで駅に行く》。(ペアワーク)
　事後学習：乗り物の乗り方を宿題し、次週に提出すること。(1時間)
第11回：助動詞“要”。《中国の二十歳の若者》の映像を見る。会話作り及び発表《成人式》。(ペアワーク)
　事後学習：《成人式》のテーマで50字くらいをまとめ、次週に提出すること。(1時間)
第12回：挿入語“听?〜”。《中国人の生活習慣》の映像を見る。日本と中国の生活習慣について感想を述べる。(ペアワーク)
　事前学習：日本の生活習慣を調べること。(1時間)
第13回：使役表現。緊急時の連絡する、避難する方法を言える。会話作り及び発表《地震》。(ペアワーク)
　事前学習：日本で緊急時の連絡する、避難する単語を調べること。(1時間)

第14回：二重目的語。自分の就職先を紹介する。選んだ理由を説明することができる。（ペアワーク）
事後学習：作文《私がしたい仕事》を題し50字をまとめ、次週に提出すること。（１時間）
第15回：総まとめ。①単語のリレー。②テーマ別の中国語表現のリレー。③中国語を聞いて、動作で答える。（発表）
事後学習：定期試験の準備。（１時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、表音のローマ字による発音ができるか。
２、簡単な中国語と日本語の訳ができるか。
３、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
４、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

佐藤　晴彦　監修、 徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報リテラシーa (Information Literacy a)			担当教員	森本　文人、安彦　智史、佐々木裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2151	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学(および一般社会)において、学習や研究を進めるうえで必要となるコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。
特に、キーボードを見ずにキー入力ができるタッチタイピング技能、および日本語文書作成能力を身に付けることを主眼とする。

授業の到達目標

パソコンに関する基礎的な知識と学内ネットワークの利用、インターネットなどの基本的な使い方を理解する。
文書作成ソフトWordを使い、基本的な日本語文書作成ができる。
タッチタイピングができる。
10分間で300文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学内ネットワーク、Office365の利用、Windows10の基礎1、タッチタイピング1
　　事後学修：タッチタイピング練習(4時間)
第2回：各種設定、Office365の利用、Windows10の基礎2、タッチタイピング2
　　事後学修：タッチタイピング練習(4時間)
第3回：Word入門 p.33〜47、タッチタイピング3
　　事前学習：テキストp.33〜47を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：タッチタイピング練習(3時間)
第4回：文書の作成 p.48〜70、タッチタイピング4
　　事前学習：テキストp.48〜70を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(1〜12)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第5回：編集機能 p.71〜84、タッチタイピング5
　　事前学習：テキストp.70〜84を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(13〜17)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第6回：文章入力問題、画像の利用 p.85〜94、タッチタイピング6
　　事前学習：テキストp.85〜94を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(18〜19)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第7回：Wordの活用1 画像の利用 p.95〜101、タッチタイピング7
　　事前学習：テキストp.95〜101を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(20〜22)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第8回：Wordの活用2 ワードアート・図形描画 p.102〜117
　　事前学習：テキストp.102〜117を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(23〜25)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第9回：スマートアートほか p.118〜133
　　事前学習：テキストp.118〜133を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(26〜28)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第10回：Wordの応用 はがき・差し込み印刷 p.134〜147
　　事前学習：テキストp.134〜147を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学修：実習問題(29)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)

第11回：Wordの応用２ グラフ　p.148～161
　　事前学習：テキストp.148～161を読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学修：実習問題（30～36）などで復習（３時間）
第12回：プレゼンテーション p.162～172、パワーポイントによるプレゼンテーション１
　　事前学習：テキストp.162～172を読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学修：実習問題（37）などで復習、タッチタイピンク練習（３時間）
第13回：パワーポイントによるプレゼンテーション２、ビジネス文書作成復習問題１
　　事後学修：作品の完成、タッチタイピンク練習（４時間）
第14回：ビジネス文書作成復習問題２
　　事前学習：テキストを読み直して、不明なところを解消させておく（２時間）
　　事後学修：文書を完成させる、タッチタイピンク練習（２時間）
第15回：ビジネス文書作成復習問題３・まとめ
　　事前学習：テキストを読み直して、不明なところを解消させておく（２時間）
　　事後学修：文書を完成させる、タッチタイピンク練習（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（約70%）　タイピング練習（約10%）　提出課題（約10%）　平常点（約10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ワープロソフトWordの基本的な操作ができるか。
基本的なビジネス文書の作成・編集ができるか。
タッチタイピングができるか。
タイピング練習を10時間以上したか。
10分間で300文字以上の日本語文章を入力する能力があるか。
（能力がないと判断した場合は、単位認定をしない）

テキスト、参考図書

『30時間でマスター　Word2016』 実教出版　2016
教材：『Type Quick Professional USB版』 日本データパシフィック

その他（受講上の注意）

この授業は、Word初心者を対象とした内容であるので、経験を有する者は情報活用aを受講すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報リテラシーb (Information Literacy b)			担当教員	森本　文人、安彦　智史、佐々木裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2152	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学(および一般社会)において、学習や研究を進めるうえで必要となるコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。
特に、表計算ソフトの基本的な使用法を習得して、データの集計処理や活用法を身に付けることを主眼とする。
併せて、タッチタイピング技能の向上を目指す。

授業の到達目標

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフの作成ができる。
基本的な関数の使い方が理解できる。
表計算ソフトとワープロソフトの連携処理ができる。
タッチタイピングができる。
10分間で350文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：文章入力問題(以降第9回まで)、Excel 1(データ入力、集計、印刷) p.33まで
　事前学習：テキストp.1〜33を読み、操作に関して予習・確認する(0.5時間)
　事後学習：練習問題(1〜5)などで復習、タッチタイピング練習(3.5時間)
第2回：Excel 2(グラフ作成、表の編集) p.55まで
　事前学習：テキストp.34〜55を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(1〜4)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第3回：Excel 3(平均、表示形式) p.66まで
　事前学習：テキストp.56〜66を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(5〜6)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第4回：Excel 4(罫線、ワークシートの活用) p.79まで
　事前学習：テキストp.67〜79を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(7〜12)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第5回：Excel 5(いろいろな関数) p.97まで
　事前学習：テキストp.80〜97を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(13〜18)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第6回：Excel 6(条件付き書式、グラフ1) p.112まで
　事前学習：テキストp.98〜112を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(19〜22)問題などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第7回：Excel 7(グラフ2) p.133まで
　事前学習：テキストp.113〜133を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(23〜29)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第8回：Excel 8(グラフ3) p.145まで
　事前学習：テキストp.134〜145を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(30〜33)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第9回：Excel 9(データベース、並べ替え) p.171まで
　事前学習：テキストp.146〜171を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(34〜35)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)

第10回：Excel 10（集計、関数の活用１） p.193まで
　　事前学習：テキストp.172～193を読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題（36～42）などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第11回：Excel 11（関数の活用２） p.215まで
　　事前学習：テキストp.194～215を読み、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：実習問題（43～47）などで復習（２時間）
第12回：Excel 12（３D集計、WordとExcelの連携）p.229まで
　　事前学習：テキストp.216～229を読み、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：実習問題（48～49）などで復習（２時間）
第13回：Excel & Word復習問題１
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第14回：Excel & Word復習問題２
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第15回：Excel & Word復習問題３
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

定期試験（約80%）　提出課題（約10%）　平常点（約10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成績評価基準

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフの作成ができるか。
基本的な関数の使い方を理解しているか。
表計算ソフトとワープロソフトの連携処理ができるか。
タッチタイピングができるか。
10分間で350文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けているか。
（能力がないと判断した場合は、単位認定をしない）

テキスト、参考図書

『30時間でマスター　Excel 2016』　実教出版　2016年
教材：『Type Quick Professional USB版』　日本データパシフィック

その他（受講上の注意）

この授業は、Excel初心者を対象とした内容であるので、経験を有する者は情報活用bを受講すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用a (Exercises in Information Literacy a)			担当教員	佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2153	2単位	1年前期･2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの1つであるWordを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授業の到達目標

オフィスソフトWordに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験（Word2016）や、日本商工会議所の日商PC検定試験2級（文書作成）に合格できる能力レベルを目標としている。
文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できる。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：文書処理に関する資格や検定試験概要、授業の進め方、実力診断用練習問題
　事前学習：情報リテラシーaのテキスト等を読み直し、Wordについて復習しておく（3時間）
　事後学習：練習問題について復習（1時間）
第2回：文書の作成、書式設定 p.1～47
　事前学習：テキストp.1～47を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第3回：文章のオプション、印刷、保存 p.48～86
　事前学習：テキストp.48～86を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第4回：文字列、段落 p.87～121
　事前学習：テキストp.87～121を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第5回：文字列段落の並び替え、表作成 p.122～157
　事前学習：テキストp.122～157を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第6回：表の設定、リスト作成・変更 p.158～198
　事前学習：テキストp.158～198を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第7回：参考資料の作成と管理 p.199～235
　事前学習：テキストp.199～235を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第8回：グラフィック要素の挿入と書式設定、模擬テストについて p.236～300
　事前学習：テキストp.236～285を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第9回：総合練習問題1
　事前学習：模擬テスト問題1を試行する（2時間）
　事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習（2時間）

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　課題（20%）平常点（10%）
　（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、文書作成ソフトウェアWordを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。
文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できるか。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。

テキスト、参考図書

『MOS攻略問題集 Word 2016』　日経BP　2017年

その他（受講上の注意）

情報リテラシーa　の受講を終えている、または同等の能力があることを前提とします。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用b (Exercises in Information Literacy b)			担当教員	佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2154	2単位	1年後期･2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの1つであるExcelを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授業の到達目標

オフィスソフトExcelに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験(Excel2016)や、日本商工会議所の日商PC検定試験2級(データ活用)に合格できる能力レベルを目標としている。
表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できる。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業の進め方、実力診断用練習問題(日商PC検定試験問題)
　事前学習：情報リテラシーbのテキスト等を読み直し、Excelについて復習しておく(3時間)
　事後学習：練習問題について復習(1時間)
第2回：ワークシートやブックの作成、書式設定 p.1〜36
　事前学習：テキストp.1〜36を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第3回：ワークシートやブックのオプション p.37〜81
　事前学習：テキストp.34〜81を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第4回：印刷設定、セルやセル範囲の作成、データ入力 p.82〜122
　事前学習：テキストp.82〜122を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第5回：セル書式、データのまとめと整理 p.123〜168
　事前学習：テキストp.123〜168を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第6回：テーブル、数式 p.169〜210
　事前学習：テキストp.169〜210を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第7回：関数を使用した演算、グラフ p.211〜239
　事前学習：テキストp.211〜239を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第8回：グラフ書式、オブジェクト、模擬テストについて　p.240〜288
　事前学習：テキストp.240〜274を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第9回：総合練習問題1
　事前学習：模擬テスト問題1を試行する(2時間)
　事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習(2時間)

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　提出課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、表計算ソフトウェアExcelを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。
表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できるか。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができるか。

テキスト、参考図書

『MOS攻略問題集 Excel 2016』　日経BP　2017年

その他（受講上の注意）

情報リテラシーb　の受講を終えている、または同等の能力があることを前提とします。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

基礎演習 (Basic Seminar)			担当教員	稲木康一郎、坂井　祐円、竹村　明子、 森本　文人、山本　雅代、渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2161	2単位	1年	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。

授業の到達目標

■本授業の内容や達成すべき目標について理解する。
■学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。
■履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。
■大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、
自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。
■附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、
学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成(グループワーク)
事前学習：学生便覧などを参考に，仁愛大学での授業や学生生活に関する疑問点などをまとめておくこと(2時間)
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと(2時間)
第2回：専門分野の基礎学習(グループワーク)
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと(2時間)
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと(2時間)
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと(2時間)
事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること(2時間)
第4回：学修や研究に必要な文献検索方法(附属図書館利用法)
事前学習：学生便覧などを参考に付属図書館に関する予備知識を得て，疑問点などをまとめておくこと(2時間)
事後学習：図書館見学時に配布された資料を見直し，学んだ内容についてまとめておくこと(2時間)
第5回：専門分野の基礎学習(グループワーク)
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと(2時間)
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと(2時間)
第6回：専門分野の基礎学習(グループワーク)
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと(2時間)
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと(2時間)

第７回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第８回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第９回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第10回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第11回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと（２時間）
事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること（２時間）
第12回：地域学習
事前学習：地域に関連する書籍や新聞等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：地域学習で配布された資料を見直し，学んだ内容についてまとめておくこと（２時間）
第13回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第14回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第15回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）

成　績　評　価　方　法

提出課題の内容（50%）および平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しない

その他（受講上の注意）

■学生10名程度を１グループとして１名の担当教員を置く
（この担当教員は、２年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う）
■授業は、原則としてグループ単位で行う。
■授業の実施は、前期８回、後期８回を予定している

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

基礎演習 (Basic Seminar)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 織田　暁子、橋本　武志、升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2161	2単位	1年	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生としての最初の 1 年は、 4 年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。

授業の到達目標

■本授業の内容や達成すべき目標について理解する。
■学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。
■履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。
■大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、
自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。
■附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、
学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成
事前学習：大学の履修システムについて理解し、自分の履修計画を立てること（2時間）
事後学習：教科書の「ノートの取り方」について読み、理解を深めること（2時間）
第2回：専門分野の基礎学習（ノートのとり方、大学の試験）
事前学習：教科書「大学の試験」について読み、理解を深めること（2時間）
事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること（2時間）
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学修状況などを確認
事前学習：入学時アンケートに記載したこと自己目標や現在の自身の状況について整理して考えてくること（2時間）
事後学習：面談結果を踏まえ、自身の今後の大学生活について計画を立てること（2時間）
第4回：学修や研究に必要な文献検索方法（附属図書館利用法）
事前学習：大学附属図書館に赴き、図書館の基本的な学び方について理解すること（2時間）
事後学習：学習した内容について整理し、図書館の使い方についての理解を深めること（2時間）
第5回：専門分野の基礎学習（レポートの書き方、テキストの書き方）
事前学習：教科書「レポートの書き方、テキストの書き方」について読み、理解を深めること（2時間）
事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること（2時間）
第6回：専門分野の基礎学習（学科コースの学びと理解）
事前学習：学生便覧について読み、学科の特性や専門コースについて理解を深めること（2時間）
事後学習：自己目標や現在の自身の状況を踏まえ、自分の履修計画について見直しを行うこと（2時間）
第7回：専門分野の基礎学習（コミュニケーション学科の研究室）
事前学習：仁愛大学HPのコミュニケーション学科のページをよく読み、学科のポリシーや活動について理解を深めること（2時間）
事後学習：各研究室の専門性や活動について理解し、ゼミの特性についてまとめること（2時間）

第８回：専門分野の基礎学習（プレゼンテーション発表の仕方）
　　事前学習：プレゼンテーション発表の仕方について事前に教科書を読み理解を深めること（２時間）
　　事後学習：講義内容について自身で調べ、自分の発表スタイルを身に着けること（２時間）
第９回：専門分野の基礎学習（専門科目の学び方）
　　事前学習：前期に学んだことを振り返り、各専門科目と興味があるコースについて学ぶこと（２時間）
　　事後学習：各専門分野の講義に触れ、２年次以降の履修計画の素案を作成すること（２時間）
第10回：越前市で学ぶ（フィールドワーク）
　　事前学習：越前市の伝統文化について調査し、理解を深めること（２時間）
　　事後学習：伝統文化に触れ、その成り立ちや現在の利活用方法について理解を深めること（２時間）
第11回：越前市で学ぶ（講演）
　　事前学習：地域への貢献活動やボランティア、伝統文化について学び、理解を深めること（２時間）
　　事後学習：実地での学びと座学での学びを通して、地域社会の活性化に向けて自身が取り組めることは何か考えること（２時間）
第12回：個別面談
　　事前学習：前後期の履修を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（２時間）
　　事後学習：面談を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（２時間）
第13回：発表会　プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（２時間）
　　事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（２時間）
第14回：発表会　プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（２時間）
　　事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（２時間）
第15回：総括
　　事前学習：後期課題を提出し、１年を通した自己省察を行うこと（２時間）
　　事後学習：２年次における専門コースを選択し、来年度の目標を立てること（２時間）
予習として、次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと。
復習として、授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと。

成　績　評　価　方　法

レポートまたはプレゼンテーション（50％）　平常点（50％）
（平常点は、授業への参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

世界思想社編集部編『大学生学びのハンドブック』世界思想社　1200円

その他（受講上の注意）

■学生10名程度を１グループとして１名の担当教員を置く。
　（この担当教員は、２年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う）
■授業は、原則としてグループ単位で行う。
■授業の実施は、前期８回、後期７回を予定している。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語文章表現 (Japanese Sentence Expression)			担当教員	大河　晴美、杣谷　英紀
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2162	1単位	1年前期･後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生として身につけておくべき文章構成、推敲の方法、引用と要約のルールなどを中心に、実際に文章（作文・小論文など）を書くことを実践しながら学ぶ。また、福井仁愛学園が共催している「ふくい風花随筆文学賞」への応募を想定した作品を執筆する。

授業の到達目標

・与えられた課題に対して、自分の意見を組み立てた上で文章で表現し、相手に伝えることができる。
・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解している。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（作文・小論文等の文章作成）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、さまざまな文章
　事前学習：テキストの第1章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第2回：文章の構成（1）
　事前学習：テキストの第2章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第3回：文章の構成（2）
　事前学習：テキストの第3章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第4回：誤用文と推敲の方法
　事前学習：テキストの第4章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第5回：修辞法と慣用句
　事前学習：テキストの第5章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第6回：随筆を書く（1）
　事前学習：配付された随筆作品を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第7回：随筆を書く（2）
　事前学習：配付された随筆作品を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第8回：手紙とハガキ
　事前学習：テキストの第17章・第18章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第9回：ビジネス文書
　事前学習：テキストの第19章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第10回：レポート・小論文作成の手順（1）
　事前学習：テキストの第9章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）

第11回：引用と要約のルール
　　事前学習：テキストの第10章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第12回：レポート・小論文作成の手順（２）
　　事前学習：テキストの第９章を読み直し、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第13回：小論文を書く（１）
　　事前学習：テキストの第11章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第14回：小論文を書く（２）
　　事前学習：テキストの第12章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：文章作成に必要なことについて、テキストを読み直し、理解しておく。（0.5時間）
　　事後学習：期末レポートの題材・構成を考える。（0.5時間）

成　績　評　価　方　法

提出課題（40％）、期末レポート（20％）、小テスト（20％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、コメント用紙の提出状況などを総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

・与えられた課題に対し、自分の意見を組み立てたうえで文章で表現し、相手に伝えることができるか。
・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解しているか。

テキスト、参考図書

西尾宣明編著『新版　日本語表現法－「書く」「話す」「伝える」ための技法－』・樹村房・2013年

その他（受講上の注意）

文章表現は、実際に書くことによってのみ上達する。返却された提出課題をきちんと見直し、日頃からよりよい表現ができるように心がけること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

キャリア・デザインⅠ（Career Design Ⅰ）			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

変化の厳しい時代、これが正しいというキャリアモデルはありません。知人・友人などのネットワークや、自ら考え学び自分は将来どのような仕事をしたいのか、どうありたいのかを常に探求していくことが重要です。
この授業では、キャリア形成と仕事へのアプローチのために必要なことは何かを自ら考え、挨拶・電話対応・ビジネス文書作成などの実践と、グループワーク
を通してビジネス社会での基本マナーとルールを身につけていきます。

授業の到達目標

・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得する。
・社会人のマナーやルールを理解する。
・他者に敬意をはらい、円滑なコミュニケーションを修得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学生時代に学ぶこと、考えること
　事前学習：大学時代にやるべきことは沢山ある。自分のなすべきこと、やりたいことを考え、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：自身の未来に思いをはせ、具体的に挑戦したいことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第2回：コミュニケーションとビジネスマナーの基本
　事前学習：授業前にテキストの第1編1章を読み、社会が求める期待される社会人について考えておくこと。（2時間）
　事後学習：良好なコミュニケーションのために気をつけることをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第3回：ビジネスマナーはなぜ必要か（グループワーク）
　事前学習：ビジネスマナーの意義について自分なりの考えをまとめて発表できるようにしておくこと。（2時間）
　事後学習：授業やグループワークの学びからビジネスマナーがなぜ必要か熟考すること。復習課題を課す。（2時間）
第4回：指示の受け方と、報告・連絡・相談
　事前学習：授業前にテキストの第1編4章を熟読し理解を深め、分からないことは質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：実技を通し学んだことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第5回：話し方ときき方のポイント（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第1編5章を熟読し理解を深めること。（2時間）
　事後学習：きき方のグループワーク
　を通して学んだことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第6回：ビジネス文書、ビジネスメールの書き方
　事前学習：授業前にテキストの第2編2章を熟読し理解を深めること。質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：身の回りの文書（書類、手紙，はがき）を点検し、書き方を確認すること。復習課題を課す。（2時間）

第７回：ビジネス文書の作成・名刺交換（グループワーク）
事前学習：テキスト第１編６章を熟読すること。授業では名刺を作成し、交換をするので準備をしておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことは図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して教員に質問すること。（２時間）
第８回：電話応対の基本と重要性
事前学習：授業前にテキストの第２編３章を熟読し理解を深めること。それに関することをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：プリントを熟読し、声に出して電話応対の仕方を練習すること。復習課題を課す。（２時間）
第９回：キャリア支援センターについて
事前学習：授業ではキャリア支援センターについて話を聞くので、就職に関する質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された大学の歴史、建学の精神について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第10回：情報収集と効果的な活用法
事前学習：授業前にテキストの第２編５章を熟読し、さまざまな情報源について調べ理解を深めること。（２時間）
事後学習：情報源の活用について復習課題を課す。（２時間）
第11回：敬語の種類と必要性
事前学習：授業前にテキストの第１編５章を読み理解を深めること。敬語について図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：プリント資料などで復習すること。敬語の復習課題を課す。（２時間）
第12回：ビジネスマナー実践①挨拶、言葉遣い、さまざまなハラスメントなど（グループワーク）
事前学習：DVDで学習後に実践で体得していく。テキストの該当項目を熟読し理解しておくこと。（２時間）
事後学習：グループワークで学んだことを日常生活で実践すること。振り返りの課題を課す。（２時間）
第13回：ビジネスマナー実践②身だしなみ、報告・連絡・相談、コンプライアンスなど（グループワーク）
事前学習：DVDで学習後に実践で体得していく。テキストの該当項目を熟読し理解しておくこと。（２時間）
事後学習：グループワークで学んだことを日常生活で実践すること。振り返りの課題を課す。（２時間）
第14回：ビジネスマナー実践③他社訪問、面接対応、電話応対、電子メールの注意点など（グループワーク）
事前学習：DVDで学習後に実践で体得していく。テキストの該当項目を熟読し理解しておくこと。（２時間）
事後学習：グループワークで学んだことを日常生活で実践すること。振り返りの課題を課す。（２時間）
第15回：ビジネスマナー実践④ビジネス文書、会社のルール、国際人としてのビジネスマナーなど（グループワーク）
事前学習：DVDで学習後に実践で体得していく。テキストの該当項目を熟読し理解しておくこと。（２時間）
事後学習：グループワークで学んだことを日常生活で実践すること。振り返りの課題を課す。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）、演習（25％）、平常点（25％）
＊平常点は授業への出席状況、グループワーク
への参加態度、実践への取り組みなどを総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得しているか。
・社会人のマナーやルールを理解しているか。
・他者に敬意をはらい、円滑なコミュニケーションをとることができるか。

テキスト、参考図書

『2019年版ビジネス能力検定ジョブパス３級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター

その他（受講上の注意）

グループごとの発表が多いので、積極的に発言し協力してまとめること。
上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice(Volunteer))			担当教員	大森　慈子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授業の到達目標

それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。学生間はもとより地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
4～7月　　事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
8～9月　　現地にて研修（26時間以上）
10～11月　事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施　（2時間）
課題に関連する情報の収集
・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。
　　レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

成　績　評　価　方　法

プログラムへの取組み（50%）　レポート（20%）　プレゼンテーション（30%）

成　績　評　価　基　準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice(International Exchange))			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2165	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)もしくはカナダ・アルバータ大学附属英語学校での集中講義(3週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
本科目では、原則として、「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を行い、以後の学修・研究のための動機付けを得ること、異文化理解を深めることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：全体説明会
　事前学習：英語教育センターにある資料を読み、質問項目をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第2回：事前授業(提出物、課題指示等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第3回：事前授業(提出物、課題指示等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第4回：事前授業(現地活動の企画等)①(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第5回：事前授業(現地活動の企画等)②(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第6回：事前授業(現地活動の準備等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第7回：事前授業(現地活動の準備等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第8回：事前授業(現地活動の準備等)③(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第9回：事前授業(航空券、その他書類配付等)(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)

第10回：事前授業（出発前の最終確認）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
＜集中講義（夏季休暇中）＞
第11回：事後授業（研修のふりかえり・レポート課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第12回：事後授業（プレゼン課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第13回：事後授業（プレゼン練習）（グループワーク）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第14回：事後授業（報告会）（発表）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第15回：事後授業（まとめ）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

テキスト、参考図書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研 修 期 間：夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏季休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅰ (Introduction to Psychology Ⅰ)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2101	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問からはじめ、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。心理学の歴史を紹介し、心理学における主要なテーマといえる知覚や学習といった基礎的分野を理解する。

授業の到達目標

■心の働きやシステムについて理解する
■心理学の歴史や主要な人物および研究成果に関する知識を得る
■心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理学とは
事前学習：授業前にテキストの1－1－1を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第2回：心理学の領域
事前学習：授業前にテキストの1－1－2, 1－3を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第3回：心理学の歴史
事前学習：授業前にテキストの1－2を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第4回：感覚と知覚(1)
事前学習：授業前にテキストの8－1から8－4までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第5回：感覚と知覚(2)
事前学習：授業前にテキストの8－5から8－9までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第6回：生得的行動
事前学習：授業前にテキストの3－1を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第7回：初期経験
事前学習：授業前にテキストの3－2から3－3までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：学習（１）
事前学習：授業前にテキストの４－１から４－２までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：学習（２）
事前学習：授業前にテキストの４－３から４－４までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：学習（３）
事前学習：授業前にテキストの５－１と５－３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：学習理論と行動療法
事前学習：授業前にテキストの５－２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：パーソナリティ（１）
事前学習：授業前にテキストの11－１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：パーソナリティ（２）
事前学習：授業前にテキストの11－２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：パーソナリティ（３）
事前学習：授業前にテキストの11－３から11－５までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

定期試験（90%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への６回以上の出席に対し、参加状況などから加点します）

成績評価基準

■心の働きやシステムについて理解しているか
■心理学の歴史や主要な人物および研究成果を知っているか
■心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

テキスト、参考図書

テキスト：　『心理学の基礎』　今田寛・宮田洋・賀集寛共編　培風館
参考図書については適宜紹介する

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅱ (Introduction to Psychology Ⅱ)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2102	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問に対し、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。記憶や動機づけなど、心理学における主要なテーマに加え、ストレスや感情、さらに脳の働きを理解する。

授業の到達目標

■心の働きやシステムについて理解を深める
■心理学の研究における主要な人物および成果に関する知識を高める
■心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：記憶と忘却(1)
事前学習：授業前にテキストの9－1と9－2を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第2回：記憶と忘却(2)
事前学習：授業前にテキストの9－3から9－5までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第3回：記憶と忘却(3)
事前学習：授業前にテキストの9－6から9－8までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第4回：動機づけ
事前学習：授業前にテキストの6を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第5回：欲求不満とストレス(1)
事前学習：授業前にテキストの7－1－1を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第6回：欲求不満とストレス(2)
事前学習：授業前にテキストの7－1－2と7－1－3を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第7回：欲求不満とストレス(3)
事前学習：授業前にテキストの7－2を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：感情と情動（１）
事前学習：授業前にテキストの７－３－１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：感情と情動（２）
事前学習：授業前にテキストの７－３－２と７－３－３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：脳と心（１）
事前学習：授業前にテキストの２－１から２－４までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：脳と心（２）
事前学習：授業前にテキストの２－５－４と２－５－５までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：睡眠と覚醒（１）
事前学習：授業前にテキストの２－５－１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：睡眠と覚醒（２）
事前学習：授業前にテキストの２－５－２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：睡眠と覚醒（３）
事前学習：授業前にテキストの２－５－３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（90%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への６回以上の出席および参加状況などを総合して加点します）

成　績　評　価　基　準

■心の働きやシステムについて深く理解しているか
■心理学の研究における主要な人物および成果を詳しく知っているか
■心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

テキスト、参考図書

テキスト：　『心理学の基礎』　今田寛・宮田洋・賀集寛共編　培風館
参考図書については適宜紹介する

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅰ (Research Methods in Psychology Ⅰ)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2103	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

様々な主観的で直観的な心理現象を、量的データとして客観的に分析する量的研究法の基礎的側面を概説する。主に実験的方法と観察法を主として講義を進める。また研究倫理についても解説する。

授業の到達目標

・心理学における実証的研究法が理解できる。
・行動 (behavior) を数量化する方法を身につける。
・研究における倫理を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：科学的心理学とは−科学と実証−
　事前学習：授業前に「科学的であるための条件」について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：心理学研究の歴史
　事前学習：科学的心理学の歴史の流れを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：実験的方法と観察的方法
　事前学習：実験とはなにかについて考えておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：定性的研究から定量的研究へ
　事前学習：定性的研究から定量的研究について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：データの統計的記述
　事前学習：心理学統計法Iで学んでいる記述統計について見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：行動観察法
　事前学習：行動観察法について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：面接法
　事前学習：面接法について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：実験的手法と実験計画
事前学習：実験計画について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：動物実験の手法（動物実験の必要性についてディスカッション）
事前学習：授業中にディスカッションをするので、動物実験の必要性について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：認知心理学における研究法
事前学習：反応時間について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：生理心理学における研究法
事前学習：脳波について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：発達心理学における研究法
事前学習：ピアジェの行った実験について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：社会心理学における研究法
事前学習：集団力学について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：研究倫理ー人権尊重とインフォームドコンセントー
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：研究倫理ー研究の不正の禁止ー（研究不正の例についてディスカッション）
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

毎回授業時に提出するブリーフレポート（20%）と数回行う課題（30%）および期末テスト（50%）。

成　績　評　価　基　準

・心理学における実証的研究法を説明することができるか。
・行動（behavior）を数量化する方法を身につけたか。
・研究における倫理を身につけたか。

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、その都度資料等を配布する。
参考図書は適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

出席は毎回行うブリーフレポートをもとにとるので、授業中に課された内容を必ず書いて提出すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅱ (Research Methods in Psychology Ⅱ)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2104	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理検査や質問紙などの調査的手法を中心とした心理学研究法を概観し、尺度構成や測定法、データの信頼性などの基本的知識を習得する。またデータを用いた実証的な思考方法についても講義をおこなう。

授　業　の　到　達　目　標

・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につける。
・質問紙法などの心理検査の成り立ちを理解する。
・尺度構成について理解し活用できるようにする。
・データの信頼性・妥当性について理解する。
・心理検査や知能テストを測定の観点から理解する。
・データを用いた実証的な思考方法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理学における調査的手法
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(4時間)
第2回：心理検査と測定法
　事前学習：Y−G性格検査について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：尺度構成
　事前学習：「尺度」について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：性格検査の成り立ち
　事前学習：ビッグ・ファイブ理論について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：知能検査の成り立ち
　事前学習：ビネーの行った知能検査作成について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：投影法検査の成り立ち(バウムテストの実技)
　事前学習：バウムテストについて調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：質問紙の作成法
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：データの信頼性と妥当性
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：質問紙の分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：心理検査を用いた研究法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：心理検査を用いた分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：相関関係から因果関係へ
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：複雑な心理事象のモデリングー多変量解析ー
事前学習：SD法およびクラスター分析について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：調査法の実際と問題点
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめと研究倫理（ディスカッションを含む）
事前学習：授業中にでディスカッションを行うので、調査実施上の倫理的問題を考えておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

毎回授業時に提出するブリーフレポート（20%）と数回行う課題（30%）および期末テスト（50%）。

成　績　評　価　基　準

・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につけたか。
・質問紙法などの心理検査の成り立ちを説明することができるか。
・尺度構成について理解し活用できるような知識を得たか。
・データの信頼性・妥当性について理解したか。
・心理検査や知能テストを測定の観点から説明することができるか。
・データを用いた実証的な思考方法を身につけたか。

テキスト、参考図書

テキストは特に使用しない。適宜参考図書などを紹介する。

その他（受講上の注意）

出席は毎回行うブリーフレポートをもとにとるので、授業中に課された内容を必ず書いて提出すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅰ (Psychological Statistics Ⅰ)			担当教員	森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2107	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学の実験や調査研究において必要となる統計的な基礎知識のうち、測定尺度に関する知識や、グラフや代表値などを用いてのデータの整理など、そのデータがどのようなデータであるかを明らかにするための解析の初歩である、記述統計の方法について学習します。
実際のデータを用いた説明を行い、求めた値の意味を理解し、自分でもそれらが求められるように演習を行います。

授業の到達目標

■統計的なデータの整理・記述ができる。
■尺度の概念を理解できる。
■記述統計の概念を理解し計算を行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：概説(心理学における統計の意味)1
　事前学習：なし
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第2回：概説(心理学における統計の意味)2
　事前学習：前回の授業で呈示された，心理学における統計法の利用に基づいて，現実場面での適用例を考える(2時間)．
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第3回：統計学の基礎(変数の概念、色々な測定尺度)1
　事前学習：テキスト第1章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第4回：統計学の基礎(変数の概念、色々な測定尺度)2
　事前学習：テキスト第1章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第5回：データ整理の方法(度数分布とその図示法)1
　事前学習：テキスト第2章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第6回：データ整理の方法(度数分布とその図示法)2
　事前学習：テキスト第2章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)

第７回：代表値と散布度１
　　事前学習：テキスト第３章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第８回：代表値と散布度２
　　事前学習：テキスト第４章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第９回：正規分布１
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第10回：正規分布２
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第11回：測定値の変換（得点の標準化）１
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第12回：測定値の変換（得点の標準化）２
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第13回：相関関係１
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第14回：相関関係２
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）

第15回：まとめ
　　事前学習：まとめの練習問題プリントの問題について解答する．（４時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第16回：定期試験
週２回開設される学科のヘルプデスクを利用すれば，授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■統計的なデータの整理・記述ができるか。
■尺度の概念を理解できるか。
■記述統計の概念を理解し計算を行えるか。

テキスト、参考図書

テキスト：『心理・教育のための統計法〈第３版〉』　山内光哉著　サイエンス社

その他（受講上の注意）

１年次後期に開講される「心理統計Ⅱ（心理学統計法Ⅱ）」と、２年次前期に開講される「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ（心理学実験）」は、本授業で得られる基礎的知識が前提となります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅱ (Psychological StatisticsⅡ)			担当教員	森本　文人、水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2108	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学統計法Ⅰ(記述統計)の内容をふまえて、さらに進んだ推測統計学の方法を解説し、演習します。具体的には、統計的仮説検定のうち、t検定、分散分析の考え方について詳しく説明し、実際に自分でもデータの分析や検定ができるようにPCを使用した演習も行います。

授業の到達目標

■統計的仮説検定の基本的な考え方を理解する。
■実際の仮説検定を行い、結果を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：母集団と標本①(標本抽出、標準誤差)
　事前学習：テキスト第7章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第2回：母集団と標本②(標本抽出、標準誤差)
　事前学習：テキスト第7章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第3回：統計的仮説検定の考え方①
　事前学習：テキスト第8章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第4回：統計的仮説検定の考え方②
　事前学習：テキスト第8章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第5回：2つの平均値の差の検定①(t検定)
　事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第6回：2つの平均値の差の検定②(t検定)
　事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第7回：2つの平均値の差の検定③(t検定)
　事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)

第８回：分散分析①（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第10章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第９回：分散分析②（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第10章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第10回：分散分析③（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第11回：分散分析④（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第12回：分散分析⑤（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第13回：SPSSを用いたデータ分析①（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特にt検定）について，配布プリント・テキストを利用してまとめる．（２時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．特に（２時間）
第14回：SPSSを用いたデータ分析②（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特に分散分析）について，配布プリント・テキストを利用してまとめる．（２時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．特に（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：まとめの練習問題プリントの問題について解答する．（４時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第16回：定期試験
心理学統計法Ⅰの内容の理解が前提となるので、復習が必要です。週２回開設される学科のヘルプデスクを利用すれば，授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

成　績　評　価　方　法

定期試験（80％）　平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

■統計的仮説検定の基本的な考え方を説明することができるか。
■実際の仮説検定を行い、結果を解釈することができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：『心理・教育のための統計法〈第３版〉』　山内光哉著　サイエンス社
参考図書：『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』　森敏昭・吉田寿夫編著　北大路出版
『統計学のはなし』　蓑谷千凰彦著　東京図書
『SPSSにおける分散分析の手順』　遠藤健治著　北樹出版

その他（受講上の注意）

原則として「心理学統計法Ⅰ（心理統計Ⅰ）」の単位を履修していることが必要です。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

感情・人格心理学 (Psychology of Emotion and Personality)			担当教員	森　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2125	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感情および性格に関する諸理論や研究を概観し、感情や性格を理解するための枠組みについて学ぶ。その上で、自己や他者の感情や性格をどのように理解し、対人関係の問題にどのように対処したらよいかを考える。

授業の到達目標

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できる。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できる。
・自分の感情や性格について心理学的に考察し評価できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：感情とは
　事後学習：授業で指定されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べるとともに、授業で理解したことも含め自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(4時間)
第2回：感情の生理過程
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第3回：感情の起源と発達
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第4回：感情が認知や行動にもたらす影響
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第5回：感情の障害
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第6回：性格とは
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)

第７回：性格の類型論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第８回：性格の特性論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第９回：脳と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第10回：性格の遺伝
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第11回：ライフサイクルと性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第12回：家族関係・対人関係・文化と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第13回：健康と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第14回：性格の病気：人格障害
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第15回：性格の測定
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第16回：期末試験
※各回（初回を除く）とも、授業の前半に前回の事後学習の成果をグループで紹介しあう時間を設ける。（グループワーク）

成　績　評　価　方　法

学期末に実施する筆記試験（80%）と授業中に指示する課題・授業時の態度等（20%）をもとに評価する。

成　績　評　価　基　準

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できるか。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できるか。
・自分の感情や性格について心理学的に評価できるか。

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他（受講上の注意）
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神分析学 (Psychoanalysis)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2126	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

無意識を考えるフロイト以来の精神分析学を概説する。

授　業　の　到　達　目　標

・人間の心には意識できない無意識の部分があることを理解し、無意識の産物である夢や空想や神話を分析することができる。
・自分とタイプの異なる他者あるいは異性を理解し、尊重する精神をもつことができる。
・心を病んだ人々を理解し、その心に寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
事前学習：「河合隼雄」、「箱庭療法」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：フロイトの生涯
事前学習：「フロイト」と「精神分析」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：ユングの生涯
事前学習：「ユング」と「分析心理学」について、インターネット等で調べていくこと。(2時間)
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：フロイトの夢分析1
事前学習：フロイトの著作『夢の解釈』について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：夢分析2
事前学習：「ヴィクトリア朝文化」と「フロイトの症例ドーラ」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：コンプレックス(言語連想検査の実習)
事前学習：ユングの「言語連想検査」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
事後学習：資料を見直して、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：エディプス・コンプレックス1
事前学習：ギリシア神話の「オィディプスの物語」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：エディプス・コンプレックス２
事前学習：「フロイトの症例小さなハンス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：母娘コンプレックス１
事前学習：ギリシア神話の「デーメテールとコレーの物語」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：母娘コンプレックス２
事前学習：「摂食障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：フロイトにおける心の構造論（「星と波テスト」の実習）
事前学習：フロイトの「自我」「超自我」「エス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：ユングの普遍的無意識１
事前学習：ユングの「影」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：ユングの普遍的無意識２
事前学習：ユングの「アニマ」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：ユングの普遍的無意識３
事前学習：ユングの「アニムス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：ユングの普遍的無意識４
事前学習：ユングの「自己」と「個性化」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
講義で説明したことを、自分のことを振り返つつ、自分のことに重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。できれば夢を記録し、分析してみて下さい。

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）、小レポート（30%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・精神分析やユング心理学の用語、概念を正しく理解し、夢や空想や神話を分析することができるか。
・自分の心理傾向やタイプを理解し、他者の立場に立って、感じたり考えたりできるか。
・心の病理を理解し、共に生きる者として、心を病む人に寄り添う姿勢を持つことができているか。

テキスト、参考図書

特にテキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は適宜、紹介する。

その他（受講上の注意）

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

学習・言語心理学 (Psychology of Learning and Language)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2129	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学習による行動変容の法則を学び、臨床や教育、産業、日常生活に応用することを目指す。
学習とは経験により行動が変容する過程のことである。学校における勉学だけでなく、生活のあらゆる場面で私たちは学習し、自分の行動を変容させている。こうした行動変容は、環境に環境に存在する刺激との関係で法則化することができる。これまで明らかにされているさまざまな学習の方法について学び、日常生活に見られる色々な行動や、臨床的に問題のある行動、社会問題について理解を深め、社会において心理学が果たすべき意味を考えていく。また、言語の習得における機序についても概説し、ヒトがコミュニケーションを取るために何を学習するべきかを考える。

授業の到達目標

・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに理解することができる。
・さまざまな行動について、学習理論による説明を試みることができる。
・言語の習得における機序を理解する。
・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学習とは
　事後学習：講義内容でわからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(4時間)
第2回：こころの概念と学習
　事前学習：授業前に前期に受講した授業のノートを見返し、心理学におけるこころの概念を確認しておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：生得的行動と学習された行動
　事前学習：刷り込みや反射など、生得的行動について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：ワトソンの行動主義と学習理論
　事前学習：行動主義と学習理論について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：古典的条件づけの基本
　事前学習：講義で冒頭に質問するので、パブロフの条件反射の例を考えておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：オペラント条件づけの基本
　事後学習：オペラント条件付けの日常的な例を探しておくこと。(4時間)

第７回：強化スケジュール
事前学習：講義で冒頭に質問するので、オペラント条件づけ強化スケジュールの例を考えておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：行動変容と行動療法
事前学習：行動療法について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：回避（逃避）学習（回避学習が適応される例についてのディスカッション）
事前学習：回避学習について調べておくこと。（２時間）
事後学習：不登校や適応障害について調べ、回避学習との関係を考えておくこと（２時間）
第10回：Learned Helplessness（あきらめの学習）
事前学習：回避学習において回避不能な場合どのようなことが起こるか、考えておくこと。（２時間）
事後学習：うつについて調べ、Learned Helplessnessとの関係を考えておくこと（２時間）
第11回：現代社会の諸問題と学習理論（ディスカッション）
事前学習：現代社会における心理的問題を調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：学習・行動研究と心理学における言語研究
事前学習：オペラント条件付けについて再度確認しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：言語領域の心理学と言語発達の研究
事前学習：心理言語学がどういうものかを調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：語彙能力の獲得と文法能力の獲得
事前学習：チョムスキーの生成変形文法理論について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：語用論的能力の発達
事前学習：語用論について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

毎回行うブリーフレポート（20%）、定期試験（80%）

成績評価基準

・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに説明することができるか。
・さまざまな行動について、学習理論による説明することができるか。
・言語の習得における機序を説明することができるか。
・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができるか。

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

授業には積極的に参加し、指示された内容や自分の意見をブリーフレポートに書きこむようにしてください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間関係論 (Human Relations)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2101	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

自分と他人と関わることとはどういうことかを、小レポートを書きながらじっくりと考えることで、具体的な企画や表現を実践する基礎となっていながらも、見過ごされがちなタイプの「自己理解・他者理解」について考察する。
身近な自他関係について、授業内で小レポートを書いてもらい、人間関係についてのテキストを読みながら、人間関係の横軸（友人・家族・世間）と縦軸（倫理や規範）について講義する。

授業の到達目標

自分や他人との関わりをもつときに、特に意識していない要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の圧力）などについて理解し、またそうした関わり全体を支配している、エートスや規範についても理解することを通じて、「自分」「他人」「関わり」という要素を掘り下げて考える。
この講義を通して、具体的な「企画や自己表現」の実践の土台となる自己や他者のより深い理解を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション～人間関係の横軸と縦軸
　事前学習：辞書などを基に「人間関係」という言葉の由来を調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第2回：人間の定義～自己の多面性
　事前学習：「人間」についてのさまざまな定義（例：理性的動物）調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第3回：他人との距離感①～世間、世間体、人目
　事前学習：「アーヴィング・ゴフマン」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第4回：他人との距離感②～アクセサリーや髪型が気になる理由
　事前学習：「ゲオルグ・ジンメル」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第5回：他人にどこまで口出しできるのか～異文化としての自己・異文化としての他者
　事前学習：「相対主義」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第6回：葛藤と対立の調停①～「多数決」にもとづくルール
　事前学習：「多数決」が物事の決定に使われるのはなぜか考えておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第7回：葛藤と対立の調停②～「多数決」にもとづくルールへの批判
　事前学習：功利主義の問題点について考え、ノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第8回：葛藤と対立の調停③～「利己主義」にもとづくルール（社会契約論）
　事前学習：「あらゆる行為はすべて自分のためだ」という考え方への反論を考えておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第9回：他人の立場に立つことができるのはなぜか
　事前学習：「他人の立場に立つことができるのはなぜか」について考えておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）

第10回：面目・体面にもとづく行動原理
　　事前学習：「体面」「面目」「体裁」を含む言い回しについて考え列挙しておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第11回：他者への気遣い～マージナル・ケース
　　事前学習：「マージナル」を含む言い回しについて考え列挙しておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第12回：他者への気遣いの制度化～ケア労働と感情労働①
　　事前学習：「シャドウ・ワーク」という言葉を調べておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第13回：他者への気遣いの制度化～ケア労働と感情労働①
　　事前学習：「「ケア」を含む言い回しについて考え列挙しておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第14回：「居場所」とはどのようなものか（グループワーク10分）
　　事前学習：「自分の居場所」はどこかについて考え列挙しておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでのプリント・ノートを見直し、復習しておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
毎回の講義を受けた後でその部分の配布資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。そのうえで、授業で配布する参考文献一覧から該当部分を読むなどして、より理解を深めてください。

成　績　評　価　方　法

平常点（50パーセント）、レポート（50パーセント）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、毎回の授業内小レポートの提出状況、内容を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・「自己」「他人」「関わり」といった言葉を表層的にではなく、深く理解しているか。
・日常特に意識していないが、人間関係を構成する基礎的な要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の同調圧力、嫉妬、公平など）について理解しているか。

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。参考書については授業内で適宜示すが、授業初回に参考文献一覧を配布する。

その他（受講上の注意）

授業中の私語については非常に厳しく注意する。重ねて注意しても他の受講者の妨げになるようであれば、退出させ、その回は欠席とみなす。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション概論 (Introduction to Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2102	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義は、「コミュニケーション」に関する諸学問の理論を参考に学際領域としてのコミュニケーション研究を学びます。そのうえで、今後の研究活動、地域社会、ビジネス等で必要とされるコミュニケーション・スキルを養成します。

授業の到達目標

・コミュニケーションの理論を理解する
・講義内容を実際のコミュニケーションに活用できるようになる
・講義内容を社会生活と関連づけて説明できるようになる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション−コミュニケーションを研究するための「構え」
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、e−learningを通じてリフレクションを実施すること。(2時間)
第2回：「コミュニケーション」研究の地平
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第3回：「人間」と「動物」のコミュニケーション
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第4回：言語コミュニケーション①−言語相対性仮説　など
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第5回：言語コミュニケーション②──スピーチ・コミュニティ　など
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第6回：言語コミュニケーション③──コミュニケーション適応理論　など
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第7回：ビジネスコミュニケーション①──メール、電話、敬語などについて考える
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)

第８回：ビジネスコミュニケーション②――高コンテクストと低コンテクスト
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第９回：メディアコミュニケーション①――メディアの歴史、種類、リテラシー
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第10回：メディアコミュニケーション②――マクルーハン、CMC　など
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第11回：中間テスト
事前学習：授業前に第９回までの内容を復習すること。（２時間）
事後学習：テストを振り返り、不明な点を復習すること（２時間）
第12回：テストの振り返りとワークショップ法①――ワークショップとは、アイスブレイク　など（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてここまでの全体のリフレクションを実施すること。（２時間）
第13回：ワークショップ法②――バグリスト、ブレインストーミング　など（グループワーク事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第14回：ワークショップ法③――親和図法、構造ソフト発想法　など（グループワーク事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第15回：講義のまとめとデブリーフィング（グループワーク事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

中間テスト（30%）　最終レポート（40%）　平常点（30%）
平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容、小課題等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・コミュニケーションの理論を理解できているか
・講義内容を実際のコミュニケーションに活用できているか
・講義内容を社会生活と関連づけて説明できるか

テキスト、参考図書

特定のテキストは指定しません。講義中に適宜紹介します。

その他（受講上の注意）

受講生の理解度に応じて講義内容を変更する可能性があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化理解ａ （Cross－Cultural Understandingａ）			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2103	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

異文化コミュニケーション学の入門として、異文化理解に関する基礎的な事柄を学ぶ。言語と文化の関係性を学び、様々な国の歴史・社会・文化と、言語の関係性についての基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや海外出身者（学内教員を含む）との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義を理解する。

授業の到達目標

社会や世界との関わりの中で、他者とのコミュニケーションを行う力を育成する観点から、外国語やその背景にある文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題について学ぶ。言語と文化の関係性を学び、英語やその他の言語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや、海外出身者（学内教員を含む）との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解する。本授業を通し、外国語教育に資する知見を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ロールプレイのようなグループ・トレーニング）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：異文化コミュニケーションの世界（異文化を理解する意義の説明と、海外出身者との交流をレポート課題とする）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第2回：異文化コミュニケーションとは（異文化コミュニケーション学における文化の定義）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第3回：言語と文化の関係性（特に英語圏の歴史・社会・文化と、言語との関係について）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第4回：「常識」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第5回：コミュニケーションモデル（異文化コミュニケーション学におけるコミュニケーションモデル）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第6回：非言語的コミュニケーション（非言語的コミュニケーション行動の種類）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：異文化コミュニケーションの特性（異文化コミュニケーションにおける文化衝突の心理的背景）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：「価値観」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：コミュニケーションスタイルズ（言語や文化によって異なるコミュニケーションスタイルの基礎的理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ホフステードの文化次元について（五つの文化次元の理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：翻訳と通訳・異文化コミュニケーションと教育について（文化的背景の理解の重要性と、異文化コミュニケーション学に関わる領域の教育学について）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：「自文化中心主義」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：異文化コミュニケーション能力と改善について（異文化適応の過程）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：海外出身者との交流について（レポート課題の提出と検討）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：よりよい理解を目指して（異文化適性を養うことの重要性と、異文化接触時のメンタルヘルスについての理解）
事前学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成績評価方法

期末レポート（50％）、授業内レポート（30％）、授業の積極的参加（20％）

成績評価基準

・異文化コミュニケーション学の基礎的な用語について説明することができるか。
・異文化コミュニケーションについて、学んだ知識に基づいて説明することができるか。

テキスト、参考図書

参考図書
科学としての異文化コミュニケーション ── 経験主義からの脱却（プリブル・チャールズ著　ナカニシヤ出版　平成18年）
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語概論 (Introduction to the Japanese Language)			担当教員	天野　義廣
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2104	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

・日本語の特色を、外国語の場合と対照させながら、発音・語彙・表記法・文法などの分野にわたって紹介する。
・各回とも原則として次の順序で展開する。
[出欠確認→当日取り上げる項目や学習目標の提示→資料プリントの配付→個々の新出事項の説明・課題についての解説・授業メモで出された質問や意見への回答など→次回の予告→「授業メモ」の記述（質問・感想・意見など）]

授業の到達目標

（1）日本語の特色を様々な面から認識し、日本語が日本人の感受性、思考法、発想等にどのような影響を及ぼしているかについても事例を通して思考する。
（2）上記の知見を今後のコミュニケーションや日本語教育に生かそうとする姿勢と技能を養う。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業のねらいと進め方
　事前学習：テキストの「目次」「序章（上巻p1～4）」「終章（下巻p285～294）」を読み、本書の構成を概観する。（2時間）
　事後学習：授業で配られたプリント資料を読んで、授業方針、自宅学習の方法、レポートの課題内容及び書き方について理解する。（2時間）
第2回：世界の中の日本語
　事前学習：テキスト上巻p5～85を読んで内容を把握し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅠの作成を進める。（2時間）
第3回：発音から見た日本語 その1
　事前学習：テキスト上巻p87～111を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅠの作成を進める。（2時間）
第4回：発音から見た日本語 その2
　事前学習：テキスト上巻p111～132を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅠの作成を進める。（2時間）
第5回：語彙から見た日本語 その1
　事前学習：テキスト上巻p133～181のを読んで内容を理解し、前時に配布られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅠの作成を進める。（2時間）

第６回：語彙から見た日本語 その２
事前学習：テキスト上巻p181～233を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅠを完成させる。（２時間）
第７回：語彙から見た日本語 その３
事前学習：テキスト上巻p233～279の範囲を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅡの作成を進める。（２時間）
第８回：表記法から見た日本語 その１
事前学習：テキス下巻トｐ１～24を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅡの作成を進める。（２時間）
第９回：表記法から見た日本語 その２
事前学習：テキスト下巻p24～46を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅡの作成を進める。（２時間）
第10回：文法から見た日本語 その１
事前学習：テキス下巻ト47～120を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅡの作成を進める。（２時間）
第11回：文法から見た日本語 その２
事前学習：テキスト下巻p120～193を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅡの作成を進める。（２時間）
第12回：文法から見た日本語 その３
事前学習：テキスト下巻193～264を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。またレポートⅡの完成を進める。（２時間）
第13回：地域方言と社会方言
事前学習：前時に配られたプリント資料を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。また今回の授業でレポートⅠ、Ⅱを提出するため、それらの最終的な見直しを行う。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。（２時間）
第14回：日本人の言語表現
事前学習：テキスト下巻p265～284を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。（２時間）
第15回：日本語はどうなるか
事前学習：テキス下巻p285～294を読んで内容を理解し、前時に配られたプリント資料の課題に答え、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容をテキスト及びプリント資料で復習し、その要点を理解する。（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

定期試験、レポート（２点）、平常点（授業メモの内容、受講態度等）により評価する。
定期試験（70%）・レポート（20%）・平常点（10%）

成績評価基準

・授業で扱った範囲で、日本語学の基本的な用語の意味・用法を理解できているか。
・授業で扱った範囲で、日本語の発音・語彙・表記・文法等の主な特色を説明できるか。
・外国人学習者への日本語教育について、留意すべき指導項目や指導方法を理解できているか。

テキスト、参考図書

金田一春彦著『日本語』上・下（岩波書店 1988年）なおほぼ毎回、テキストに準拠した資料プリントを配付する。資料プリントには、テキストの用語・事項の分かりやすい説明や具体例・関連する記事や調査データなどを取り上げる。

その他（受講上の注意）
・予告範囲を予習してきていることを前提に授業を進める。 ・配られた資料プリントはバインダー等で一つにまとめ、毎回持参すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語口頭表現 (Oral Expression in Japanese)			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2109	2単位	1年前期･後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

日本語表現の基礎「話す」･「きく」ことの基本を、講義と演習を繰り返すことにより理解し、体得していく。
演習では、人前で明瞭な言葉と声で自分の意見や思いを的確に伝えられるようになることを目的に、自己紹介(自己PR)、スピーチ、グループ発表などを行う。

授業の到達目標

人前で、「言葉」を使って自分の意見や思いを過不足なく的確に相手に伝え、相手の考えをきちんと理解して聴くことができるよう「スピーキング能力」、「コミュニケーション能力」、「会話力」を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「話す」ということ
　事前学習：授業開始にあたり、公的な場で話す時と私的にしゃべる時の違いについて考えをまとめておくこと。(2時間)
　事後学修：授業内容を振り返り内容をまとめ、約1分間で口頭表現で発表できるようにしておくこと。(2時間)
第2回：自己紹介①(実技)
　事前学習：次回は自己紹介の演習を行う。自分自身の性格、趣味、特技、信条などを考えまとめておくこと。(2時間)
　事後学修：人前で過不足なく自分のことを伝えられたか振り返り、できなかった場合はその理由を考えること。(2時間)
第3回：自己紹介②(実技)
　事前学習：自分自身の自己紹介が自己PRに繋がるよう、自分の強み・弱みを具体的にあげて考察すること。(2時間)
　事後学修：友人の自己紹介を聴き、口頭表現として良い点、気になる点をまとめ発表できるようにしておくこと。(2時間)
第4回：「きく」ということ(聞く、聴く、訊く)
　事前学習：「きく」を漢字で書くと3種類ある。意味がどのように違うか調べ、まとめておくこと。(2時間)
　事後学修：人の話を「聴く」トレーニングとして、TVなどのニュース解説などを聴き、話をまとめる学習をすること。(2時間)
第5回：話の材料の集め方
　事前学習：人前でのスピーチは話す材料がなくては話せない。話の材料はどこにあるか考え、まとめておくこと。(2時間)
　事後学修：話の材料を探し出し、周りの人に口頭で話してみよう。どのような話題が受容されるか実践すること。(2時間)
第6回：話の材料のまとめ方
　事前学習：周りの人に口頭で話した時、理解してもらえないことが多い。その要因は何か考え、まとめておくこと。(2時間)
　事後学修：話をまとめる5つの法則を復習し、要点列挙のあらすじを作成し、口頭で練習をすること。(2時間)

第７回：新聞の記事を材料にした口頭表現（実技）①
事前学習：次回は新聞の記事を元にスピーチをする。新聞から自身で記事を選び、スピーチの準備をすること。（２時間）
事後学修：自身のスピーチを振り返り、特にうまく発表できなかった所を何度も口頭表現で練習すること。（２時間）
第８回：新聞の記事を材料にした口頭表現（実技）②
事前学習：新聞の記事に目を通し、自身で記事を選び、スピーチの準備をすること。（２時間）
事後学修：友人の発表を聴き、他人の良い点は参考にして、何度も口頭表現で練習すること。（２時間）
第９回：心をつかむ話し方
事前学習：同じことを言っても心に響く人と響かない人がいるのは何故だろうか。考えてまとめておくこと。（２時間）
事後学修：心をつかむ話し方の原則を復習し、次回の発表で実践できるよう、言葉で絵を描いてみること。（２時間）
第10回：話す力をみがく（表現技術）
事前学習：イソップ物語の「北風と太陽」を調べ、肯定的な言葉、否定的な言葉の違いをまとめておくこと。（２時間）
事後学修：「聞き手の決定権」を意識して、周りの人に自分の話の真意が伝わっているか実践すること。（２時間）
第11回：スピーチ①（実技）
事前学習：次回の授業ではテーマに沿って各自スピーチをする。与えられたテーマについてまとめておくこと。（２時間）
事後学修：明瞭に話せたか。効果的な技術を意識したか。熱意を伝えたかなどスピーチを検証すること。（２時間）
第12回：スピーチ②（実技）
事前学習：引き続きテーマに沿ってのスピーチを行う。スピーチの準備を整え、実際に口頭で練習すること。（２時間）
事後学修：人のスピーチをよく聴き、取ったメモを元に、話の組み立て、表現力などの点検を行うこと。（２時間）
第13回：公の場での話し合い・会議
事前学習：公の場での話し合いがなぜ情報化社会で必要とされるのか考え、発表できるようにまとめておくこと。（２時間）
事後学修：会議での基本的な心得を頭に入れて、自身の役割を実践する方法を考えておくこと。（２時間）
第14回：「魅力いっぱい！福井へようこそ」（グループワーク）
事前学習：次回は福井県の魅力について発表する。福井県の伝統、文化、歴史、物産など調べておくこと。（２時間）
事後学修：グループごとに手分けをして調査、発表を行うので、チームワークで助け合い調べること。（２時間）
第15回：「魅力いっぱい！福井へようこそ」（発表）　（グループワーク）
事前学習：グループごとの発表をするので、事前に打ち合わせや口頭で実践するなど力を合わせること。（２時間）
事後学修：考えていたように発表できたのか顧みること。反省点をあげ、対応策を話し合うこと。（２時間）
第16回：定期試験（スピーキング試験）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）演習（25％）平常点（25％）＊平常点は授業への参加状況、受講態度、演習への取り組み方等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

人前でのスピーキングにおいて、自分の考えや意見を、きき手にわかりやすく、的確、明瞭に伝えているか。
演習において、人の話を理解して心に受け入れ聴いているか。「言葉」の役割を理解し、積極的に他者とコミュニケーションをとり、会話力をみがいているか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。（適時プリント資料を配布する）

その他（受講上の注意）

上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報メディア (Information Media)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2110	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業では、情報化社会の中で必要となる基礎知識の習得を目的とし、自学自習を中心とした反転学習を行う。本授業を通して、通信の仕組みやコンピュータの仕組み等のコンピュータサイエンスに関する基礎知識のほか、ITを業務やビジネスに活かすために必要な知識の習得を行う。

授業の到達目標

①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリに関する知識を習得する。
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識を習得する。
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ＩＴパスポート試験に関連するＣＢＴを実施　）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル，授業の進め方，成績評価について
　事前学習：シラバスを読み、ＩＴパスポート資格について学習すること（2時間）
　事後学習：テキストを購入し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第2回：反転学習 ── 第1章：業務 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第3回：反転学習 ── 第2章：法務 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第4回：理解テスト ── 業務と法律 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第5回：反転学習 ── 第3章：コンピュータシステム ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第6回：反転学習 ── 第4章：システム開発 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第7回：理解テスト ── コンピュータシステムとシステム開発 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第8回：反転学習 ── 第5章：ハードウェア ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第9回：反転学習 ── 第6章：基礎理論 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）

第10回：理解テスト ── ハードウェアと基礎理論 ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第11回：反転学習 ── 第７章：ソフトウェア ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第12回：反転学習 ── 第８章：ネットワーク ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第13回：理解テスト ── ソフトウェアとネットワーク ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第14回：反転学習 ── 第９章：セキュリティ ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第15回：理解テスト ── セキュリティ ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、全範囲について学習すること（２時間）
第16回：期末試験
本授業は、国家資格であるITパスポートの獲得を目指した授業である。ITパスポートの教材は様々な出版社から出版され、試験の過去問題も公開されている。各自、自分に合った教材を選択し、自学自習を行うこと。また、推奨学習時間は復習２時間、予習２時間である。また、本授業で利用する教材は大学以外のインターネットアクセス環境からも学習可能である。

成　績　評　価　方　法

期末の試験（40%）、全５回の理解度テスト（50%）、大福帳の記入内容（10%）

成　績　評　価　基　準

ITの基礎知識をえ、それを説明することができるか。
特に、授業の到達目標にも挙げた以下の項目についての知識を身についていることが評価基準となる。
①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリ
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識

テキスト、参考図書

平成30年度 ＩＴパスポート合格教本を利用する。
また、ＩＴパスポートドットコムというＷｅｂサイトを利用する。

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デジタル・デザイン (Digital Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2111	2単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

視覚的なコミュニケーションのための表現方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。グラフィックデザインの基本ルールの理解と平行して、コンピュータ（Mac）のアプリケーション（Photoshop、Illustrator）を用いたグラフィックデザインの技法を習得していく。

授業の到達目標

社会においてデザインが必要とされている理由を理解する。デザインの基本ルール（色、文字、レイアウト）について理解する。コンピュータを用いたグラフィックデザインの技法を習得する。デザインを駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Macおよびソフトウェアの基本操作、データの管理方法、著作権について（実習）
　事前学習（2時間）：教科書の目次を読み、教科書中の図案を閲覧する
　事後学習（2時間）：Macの基本操作を覚える｛https://support.apple.com/ja－jp/HT204216｝
第2回：デザインとは（実習）
　事前学習（2時間）：教科書6～16ページを読む
　事後学習（2時間）：教科書6～16ページを再読し理解を深める
第3回：文字と書体の基本（実習）
　事前学習（2時間）：教科書18～28ページを読む
　事後学習（2時間）：Illustratorの操作を復習する、書体の種類を覚える
第4回：文字組みの基本（実習）
　事前学習（2時間）：教科書30～42ページを読む
　事後学習（2時間）：Illustratorの操作を復習する、文字組みの基本を覚える
第5回：色の使い方（実習）
　事前学習（2時間）：教科書44～56ページを読む
　事後学習（2時間）：Illustratorの操作を復習する、色の特性、組み合わせパターンを覚える
第6回：画像の扱い方（実習）
　事前学習（2時間）：教科書58～68ページを読む
　事後学習（2時間）：Photoshopの操作を復習する、画像形式、解像度について理解する
第7回：画像を補正する（実習）
　事前学習（2時間）：教科書70～78ページを読む
　事後学習（2時間）：Photoshopの操作を復習する、画像補正について理解する
第8回：イラスト、ダイアグラム、インフォグラフィック（実習）
　事前学習（2時間）：教科書80～92ページを読む
　事後学習（2時間）：Illustratorの操作を復習する、身近なインフォグラフィックを調べる
第9回：制作実践①ポスターをつくる（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：ポスターのデザイン事例を調べる
　事後学習（2時間）：Illustratorの操作を復習する、ポスターデザインのコツを復習する
第10回：制作実践②チラシをつくる（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：チラシのデザイン事例を調べる
　事後学習（2時間）：Illustratorの操作を復習する、チラシデザインのコツを復習する

第11回：期末課題制作① オリエンテーション、制作フローの確認、ラフスケッチ、コンテンツの準備（課題解決型学習、フィールドワーク）
事前学習（２時間）：教科書を読み直してデザインの基本について理解を深める
事後学習（２時間）：コンテンツ制作のための取材（写真撮影を含む）を行う
第12回：期末課題制作② デザインデータ制作（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：コンテンツをデータ化しておく
事後学習（２時間）：デザインの品質を高める
第13回：期末課題制作③ デザインデータ制作、中間チェック（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：教科書を読み直してデザインの基本について理解を深める（反復が重要）
事後学習（２時間）：担当教員からのフィードバックをもとにデザインの品質を高める
第14回：期末課題制作④ ブラッシュアップ、作品完成・提出、印刷（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：教科書を読み直してデザインの基本について理解を深める（反復が重要）
事後学習（２時間）：作品データを印刷、データはEラーニングより提出する
第15回：期末課題制作⑤ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
事前学習（２時間）：プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）：他の学生の作品を鑑賞し批評する
その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「デザイン」を意識して生活する。日常を観察し「デザイン」を発見する。
・センスを鍛えるために自主制作をする。
・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・デザインの基本ルールが理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・デザインの基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。

テキスト、参考図書

テキスト：細山田デザイン事務所「誰も教えてくれないデザインの基本」エクスナレッジ, 2018年
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅠa (Oral Communication Ⅰa)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2113	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。

授　業　の　到　達　目　標

基本的な英語で自分の考えを表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：好きなこと嫌いなこと（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きなこと嫌いなことについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第2回：好きなこと嫌いなこと（確認の為に繰り返しを求めること, 話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きなこと嫌いなことについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第3回：お金と値段（弱母音、聴取）（グループワーク討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたお金と値段について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第4回：お金と値段（確認の為に質問を聞く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたお金と値段について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第5回：家族について（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク討議）
　事前学習：授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された家族について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第6回：家族について（確認の為に主な情報を繰り返す、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された家族について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1～3ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1～3ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：行ったことについて（消えそうな音、聴取）（グループワーク討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたとについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第9回：行ったことについて（会話を参加する為に質問を聞く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたことについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）

第10回：職業の説明（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク討議）
事前学習：授業前にテキストの第５ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された職業の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第11回：職業の説明（明確にする為に例文を使う）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第５ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された職業の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第12回：日常生活（弱母音、聴取）（グループワーク討議）
事前学習：授業前にテキストの第６ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された日常生活について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第13回：日常生活（確認の為に主な情報を繰り返す、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された日常生活について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第14回：聴取（パターンから予想すること、聴取）（グループワーク討議）
事前学習：授業前にテキストの第７ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された聴取について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第15回：聴取（シャドーイング、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの第４～７ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

成績評価方法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成績評価基準

基本的な英語で自分の考えを表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。

テキスト、参考図書

テキスト
Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills.（Third Edition）
Graham－Marr, Alastair.
ABAX ELT Publishers. 2019. ISBN: 978－１－78547－029－5.
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

This course requires proactively participating in pair－work and group exercises.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅠb (Oral Communication Ⅰb)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2114	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。

授　業　の　到　達　目　標

基本的な英語で自分を表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：好きな科目について (混合音、聴取) (グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された好きな科目について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第2回：好きな科目について (言い換え、書く、話す) (討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された好きな科目について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第3回：説明する/料理の方法 (弱母音、聴取) (グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された説明する/料理の方法について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第4回：説明する/料理の方法 (婉曲な表現 、書く、話す) (討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された説明する/料理の方法について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第5回：現在について (文章ストレス, 聴取) (グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された現在について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第6回：現在について (繰り返しと言い換え、書く、話す) (討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された現在について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第7回：復習 (第1回～6回の内容についての復習)
　事前学習：授業前にテキストの第8～10ユニットを復習する。(2時間)
　事後学習：テキストの第8～10ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：未来について (カジュアルな英語、聴取) (グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された未来について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)
第9回：未来について (会話を参加する為に質問を聞く、書く、話す) (討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された未来について、教科書に付いているCDを聞く。(2時間)

第10回：物の説明（文章ストレス, 聴取）（グループワーク討議）
事前学習：授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された物の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第11回：物の説明（繰り返しと言い換え, 話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された物の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第12回：数字に慣れる（トーングループの区別、聴取）（グループワーク討議）
事前学習：授業前にテキストの第13ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された数字に慣れるについて、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第13回：数字に慣れる（会話ストラテジー、書く、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された数字に慣れるについて、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第14回：道案内（母音の侵入、聴取）（グループワーク討議）
事前学習：授業前にテキストの第14ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された道案内について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第15回：道案内（シャドーイング、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの第11～14ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

基本的な英語で自分を表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。

テキスト、参考図書

テキスト
Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills.（Third Edition）
Graham-Marr, Alastair.
ABAX ELT Publishers. 2019. ISBN: 978-1-78547-029-5.
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

This course requires proactively participating in pair－work and group exercises.

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発基礎演習 (Basic Practice in Plannning and Development)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2115	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授業の内容

新しいモノゴトを生み出すための、ココロとカラダの使い方を、多様な試行を通じて探索する。
狭い常識を打ち破り、視野を拡げ、捕われずに柔軟に考えるための、試行錯誤の場。失敗から学ぶ。

授業の到達目標

1．異なる価値観を持つ他者との対話から、新しい発想を生み出せる。
2．発想したことを、すぐに試行／試作につなげ、そこから学びを生み出せる。
3．自分の大学生活を、主体的に企画開発できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：これからの学び・答えのない問いに向きあう
　　事後学習：日常生活において、「驚き」の場面を収集しメモ化しておく（2時間）
第2回：創り出すべきは、どんな答えなのだろう（グループワーク）
第3回：ヒラメキは、いつ、どんな時にやってくるのか
第4回：どれくらい固定観念にとらわれているのか
第5回：失敗の先にしか成功はない（グループワーク）
　　事前学習：日常生活において「失敗」リストを作成しておく（2時間）
第6回：理想の環境が与えられることはない
第7回：考える前に、その場所に行って感じ取る
第8回：誰かの目線に重ねあわせ、発展させる（グループワーク）
第9回：未来を描き、現在と未来をつなぐ物語を創る
第10回：言葉の使い方をズラし、世界をズラす
第11回：いつもと同じ行動からは、いつもと同じ日常がやってくる
第12回：計画と即興の間にある可能性
第13回：企画開発の原点。想像し、共感し、対話し、創造する（グループワーク）
第14回：すべてから切り離された自由
第15回：あなたを企画開発する（期末レポート作成）
一部例示したが、授業各回において、事前準備と事後ふりかえり・実践が必須となる。
授業で生まれた学び、ヒラメキは、「必ず」実行すること。アタマで理解できることは、この授業の成果ではない。ココロとカラダで結果を感じ取って、次の授業にその成果を持ち寄って欲しい。授業で気づいたことを頼りに日常を新たな目で眺め発見し、次の行動を生み出すこと、その結果を持ち寄って対話することを基本とする。

成績評価方法

授業毎のミニレポート（40%）、期末レポート（30%）、授業への参加意欲と貢献（30%）。
「座っているだけ」でも「出席」ではあるが、「参加、貢献」とはみなさない。

成績評価基準

1．自分の殻を破って他者と対話し、触発しあおうとしているか。
2．思いついたことを「まず、やってみる」という試行力があるか。
3．授業での学びを、自分の成長、変化、深化に結びつけようとしているか。

テキスト、参考図書
必要に応じてレジュメを配布する。
その他（受講上の注意）
この授業に、正解と不正解の区別はない。どんな発言、発想にも可能性がある。あらゆる常識ハズレを歓迎する。この授業の究極のルールは「バカバカしさを否定しない、面白がる、そこから発展させる」。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

地域研究概論 (Introduction to Area Studies)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOC−2120	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義は、地域特有の歴史と実情を概観し、他地域との比較をおこなう。そして、具体的事例の分析、考察を通して、人文・社会科学のさまざまな学問領域の考え方に触れる「アカデミック・ガイダンス」を行う。

授　業　の　到　達　目　標

この講義を通して、人文・社会科学的な知に触れ、各学問領域の基礎的スキルを獲得する。そのうえで、自己の地域社会を対象化し、分析できる基礎的学力を修得する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第2回：「越前」「若狭」エリアの変動(歴史学・人文地理学)
　事前学習：前回のノートを見直し、歴史に関する書物(福井県史など)を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語や県史・市史などを図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第3回：近代から現代へ──地方分権の時代(社会史)
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第4回：大都市と地方都市および過疎高齢化地域の二極化(社会学、経済学)
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、過疎化高齢化に関する書籍を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第5回：地域づくり・地域おこしの時代へ(地域社会学)
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第6回：集合的記憶の継承をめぐって(文化人類学)
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第7回：ツーリズム・観光の現在と未来(メディア論①)
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第8回：ツーリズム・観光の現在と未来(メディア論②)
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)

第９回：情報統制　伝承と科学の複合を目指して（民俗学、歴史学、環境学）
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第10回：現地調査（フィールドワーク）①　（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、かつフィールドワークに関する参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。（２時間）
第11回：現地調査（フィールドワーク）②　（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、フィールドワークの手順や手法等の改善点を見つけること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。（２時間）
第12回：他地域から学ぶ①京都にみる地域の伝統的景観の「保存」（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、京都に関する書籍や記事などを収集し、読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第13回：他地域から学ぶ②新幹線騒音問題にみる受益者と受苦者　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、騒音公害に関するデータをciniiなどで自分で探し、調べておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第14回：他地域から学ぶ③コンテンツ・ツーリズムの活用　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第15回：まとめ（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：これまで全てのノートを見直し、講義全体の内容を網羅的に理解しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、理解した点・不明な点・疑問点などを自分で洗い出し、覚えておくこと。（４時間）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　平常点（30％）
?平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
?internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は、不可になります。

成　績　評　価　基　準

?自らでテーマを設定し、必要なデータを収集することが出来るか。
?事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できているか。

テキスト、参考図書

テーマが多岐にわたるため、設定はしません。講義中に随時指示します。

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会学入門 (Introduction to Sociology)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2121	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他(　　)

授　業　の　内　容

この講義では、社会学の研究において社会調査とはどのようなものか、何のために行うのかを概説する。そのためにも、まず社会学の考え方とその学説史を確認したうえで、社会調査についてレクチャーを行う。次に、社会調査の目的、社会調査の歴史、社会調査の倫理について学び、さまざまな社会調査の種類とそれぞれの方法が持つ長所と問題点を理解する。なお、各回の講義は、社会調査の実践の背景にある社会科学の理論・知見に関するアカデミック・ガイダンスの要素を含む。

授　業　の　到　達　目　標

・社会調査の目的について理解する。
・対象に応じて、適切な手法を選択できるようになること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習 (PBL)　□討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：講義概要
　事後学習：授業に関連するテキストのページを読み、質問事項をまとめておくこと。(2時間)
第2回：社会学の考え方
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)
第3回：社会学の学説史
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)
第4回：社会調査の目的と歴史
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)
第5回：社会調査の倫理
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)
第6回：社会調査の種類と特性(1)質的調査
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)
第7回：社会調査の種類と特性(2)量的調査
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)

第８回：質的調査の実践例 ── インタビュー、参与観察、アクション・リサーチ
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第９回：質的調査の意義と限界
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第10回：量的調査の実践例 ── アンケート、国勢調査、官庁統計、市場調査
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第11回：量的調査の基礎 ── ──問題意識、仮説構成、調査票作成
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第12回：量的調査の基礎 ── 実査と分析、質問紙調査の意義と限界（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第13回：社会調査の変容（１）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第14回：社会調査の変容（２）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（４時間）
第15回：まとめ　──社会を深く探求するために（課題解決型学習（PBL））
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

・レポート（70％）　・平常点（30％）
平常点は授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

・社会調査の目的について理解できているか。
・対象に応じて、適切な手法を選択できるようになっているか。
・官庁統計やデータアーカイブなどの統計資料を利用できるようになっているか。

テキスト、参考図書

テキスト：大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著『新・社会調査へのアプローチ ── 論理と方法』ミネルヴァ書房

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要とされる、社会調査の基本的事項に関して学ぶ標準カリキュラムのA科目に対応するものである。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

共生社会論 (Social Coexistence Studies)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOC−2122	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授業の内容

本講義では、現代社会でいかにして「共生社会」を築き上げるかを考える。マジョリティとして生きることは一種の「特権」であるという立場に立って、マイノリティや社会的劣位に置かれている人々をめぐる問題について学ぶ。とくに、ジェンダー論と社会階層論を中心に扱う。平等や差別、ダイバーシティ（多様性）に関する理論や、LGBT、ケア、教育格差、貧困といった具体的なテーマを通して、公正な社会とはどのような社会か、考えを深めていく。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授業の到達目標

社会的強者であるマジョリティにとって、マイノリティの問題は「他人事」になりがちである。マイノリティが置かれている状況を知り、問題を正しく理解することをめざす。一方で、マイノリティの不利益だけではなく、マジョリティが有している特権にも目を向ける必要がある。これらを通じて、共生社会の理念や、その実現のためには何が必要か、考えを深めていく。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション ── 共生社会とは何か
　事前学習：「共生社会」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第2回：合理的な選択とは何か ── 囚人のジレンマ
　事前学習：「合理的」ということについて、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第3回：ダイバーシティと「特権集団」
　事前学習：「特権」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第4回：社会階層論①機会の平等と結果の平等
　事前学習：「平等と不平等」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第5回：社会階層論②教育と労働
　事前学習：「教育格差」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第6回：共生社会とジェンダー①ジェンダー論入門
　事前学習：「ジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第7回：共生社会とジェンダー②LGBT・SOGI（1）
　事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）

第８回：共生社会とジェンダー③LGBT・SOGI（２）
　　事前学習：「セクシュアル・マイノリティ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第９回：労働の権利①有償労働と無償労働
　　事前学習：「労働」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第10回：労働の権利②「やりがい」の搾取
　　事前学習：「労働の権利」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第11回：労働の権利④ケア労働（１）
　　事前学習：「ケア労働」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第12回：労働の権利④ケア労働（２）
　　事前学習：「ケア労働と賃労働の両立」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第13回：社会階層とジェンダー①ハラスメント
　　事前学習：「ハラスメント」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第14回：社会階層とジェンダー②③貧困・格差の再生産
　　事前学習：「貧困と格差」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第15回：共生社会の実現に向けて ── 社会的公正活動の実践へ
　　事前学習：「社会的公正活動」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）　小テスト・ミニレポート（25 %）　平常点（25 %）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

現代社会のマジョリティとマイノリティをめぐる状況について、正しく理解できたか。
共生社会の理念とその実践について理解を深めることができたか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストは指定しない。講義中に、参考文献および論文を明示する。

その他（受講上の注意）

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。目に余る場合は、退室を命じる。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会言語学 (Sociolinguistics)			担当教員	加藤　和夫
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBC−2125	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

わが国の言語学、日本語学分野での一大潮流となりつつある社会言語学とは、社会の中で生きる人間、ないしはその集団との関わりにおいて各言語現象、あるいは言語運用を捉えようとする学問である。授業では、社会言語学の内容について、現代日本語（受講生の多くの出身地である福井県の方言や全国諸方言を含む）の様々な事象を具体的に取り上げながら考察する。

授業の到達目標

日本語に存在する様々なバリエーションの背景にある社会的要因に気づくとともに、社会的存在としての言語を広い視野で客観的に観察することで、日本語への興味・関心を高め、豊かな人間関係を築くためのコミュニケーションストラテジーとしての言語機能をよく知り、使いこなすための知識を背景として、日常の言語生活に応用することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：言葉選びの科学、理論言語学と社会言語学
　事前学習：授業前にテキストの「はじめに」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（2時間）
第2回：社会言語学は面白い、言語共同体とアイデンティティ
　事前学習：授業前にテキストの「第1章」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（2時間）
第3回：言葉のバリエーション、地域方言と社会方言
　事前学習：授業前にテキストの「第2章（pp. 47−62）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（2時間）
第4回：方言の否定、方言の誇り、気づかれにくい方言
　事前学習：授業前にテキストの「第2章（pp. 62−70）を読み、内容の理解に努め，疑問点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（2時間）
第5回：福井県方言の概要（1）
　事前学習：福井県方言に関して図書館で調べたり、ネットで調べたりして予備知識を得ておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（2時間）
第6回：福井県方言の概要（2）
　事前学習：第5回の授業を参考に、さらに福井県方言に関する予備知識を得て、疑問点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（2時間）

第７回：言葉とジェンダー
事前学習：授業前にテキストの「第３章（pp.73－81）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第８回：言葉と世代
事前学習：授業前にテキストの「第３章（pp.81－99」を読み，内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第９回：親疎関係と言葉、敬語とポライトネス理論
事前学習：授業前にテキストの「第４章（pp.102－114）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第10回：場面と言葉、話題・機能と言葉
事前学習：授業前にテキストの「第５章（pp.118－131）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第11回：日本語の人称表現の特徴、人称表現によるキャラ立て
事前学習：授業前にテキストの「第７章（pp.150－180）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第12回：ダイグロシア状況、バイリンガル状況
事前学習：授業前にテキストの「第８章（184－199）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第13回：言語決定論と言語相対論、言葉と文化
事前学習：授業前にテキストの「第９章（204－219）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第14回：言葉の変化と乱れ、敬意逓減の法則
事前学習：授業前にテキストの「第10章（pp.222－243）」を読み、内容の理解に努め、疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り、ノートを整理しておくこと。（２時間）
第15回：言語接触、国語と公用語、言語政策
事前学習：授業前にテキストの「第10章（243－251）」及び「第11章」を読み，内容の理解に努め，疑問点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で説明された内容について振り返り，試験に備えてノートの全体的な整理をしておくこと。（２時間）
第16回：試験

成績評価方法

講義への積極的参加度（20％）と試験（80％）による総合評価。

成績評価基準

講義内容を通じて社会言語学の研究内容や研究方法について理解し、社会言語学のキーワードや日本語のバリエーションとその背景にある要因について説明することができるか。

テキスト、参考図書

石黒 圭『日本語は「空気」が決める　社会言語学入門』 光文社新書　2013年

その他（受講上の注意）

毎回の授業の最後でコメントカードを配り、その日に理解したことを簡潔に記入し、あれば質問も書いてもらう。質問については次回の授業時に答えるようにする。また、授業時間外の質問等についてはメールで随時受け付ける。
kkatoh@ed.kanazawa－u.ac.jp

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化理解b (Cross−Cultural Understanding b)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−ABC−2128	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

異文化コミュニケーション学の基礎的知識を踏まえ、異文化コミュニケーションと多文化共生に関連する重要な事柄について学ぶ。これにより、異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションについての多角的な理解を深める。

授業の到達目標

・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができる。
・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、論理的に分析し説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(事前の調べ学習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：多文化共生社会における異文化コミュニケーション研究の目的
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：多文化共生社会の定義①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：多文化共生社会の定義②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：移民と非移民の歴史①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：移民と非移民の歴史②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第７回：国籍法について①
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：国籍法について②
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：文化相対主義について①
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：文化相対主義について②
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：多文化共生社会と価値観①
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：多文化共生社会と価値観②
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：国内の現状①日本語教育
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：国内の現状②医療
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50％）、授業内レポート（30％）、平常点（20％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができるか。
・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、
論理的に分析し説明することができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：特になし。
参考図書：参考文献は適宜授業内で告知する。

その他（受講上の注意）

本講義を受ける前に「異文化理解a」の単位を取得すること。
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学Ⅰ (English Linguistics Ⅰ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2129	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英語学を基礎から学び、英語を体系的に把握する。ネィティブ・スピーカーの英語から国際共通語としての英語へと「英語」に対する認識を新たにするため、日英対照的観点を盛り込む。

授業の到達目標

英語の概要・背景を学び、異文化理解力を育み、英語力を多面的に育成する。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第2回：身近にある「英語」とは（学校の英語・資格としての英語・英語にまつわる広告）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第3回：3種類のことば（ことばの3分類とは・母語と第一言語・第二言語・外国語）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第4回：3種類の英語（母語英語とInner Circleの国々・第二言語としての英語とOuter Circleの国々・外国語としての英語とExpanding Circleの国々）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第5回：イギリス英語（1）歴史（古英語・中英語・近代英語・現代英語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第6回：イギリス英語（2）方言と標準語（地域方言・社会方言）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第7回：イギリス英語（3）発音・語彙・文法（容認発音と河口域英語・アメリカ英語との違い）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第8回：オーストラリア英語（1）歴史（ジュームズ・クック、ゴールド・ラッシュ）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第9回：オーストラリア英語（2）発音・語彙・文法（一般オーストリア英語・教養人オーストラリア英語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）

第10回：アメリカ英語（1）歴史（移民の英語・アメリカ英語の発展・世界語としてのアメリカ英語・アメリカ英語の言語政策）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第11回：アメリカ英語（2）発音・語彙・文法（使用地域・方言と標準語・社会方言としてのエスニックバラエティ）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第12回：アメリカ英語とイギリス英語（Rhoticの使用・綴り字の違い・Textingの英語）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第13回：カナダ英語（1）歴史（移民の英語・英米戦争・フランス語の影響）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第14回：カナダ英語（2）特徴（混在するイギリス英語とアメリカ英語・無声子音の前の二重母音）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第16回：定期試験
予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておく。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直した上で、興味をもったことを調べる。

成績評価方法

定期試験（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。

成績評価基準

英語学の基礎が理解できているのか。
世界英語の観点より、異文化への理解ができているのか。

テキスト、参考図書

テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房　2016年
参考図書：英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史（堀田隆一著、研究社　平成28年）

その他（受講上の注意）

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語音声学 (English Phonetics)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2131	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

英語の発音のメカニズムを理解し、英語音声の基礎的な知識を得る。テキスト附属の音声を繰り返し聴いて練習することで、音声器官の仕組みと個々の音の発音の仕方をリンクさせる。

授業の到達目標

英語の発音のメカニズムを理解し、英語音声の基礎的な知識を得るとともに、正しい発音でコミュニケーションをとることができ、また、聞き取りができることを目指す。中学校および高等学校での英語教育において必要な音声学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：現代英語と音声学（英語の方言・綴り字と発音・音素）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：子音（1）子音の特徴（子音の分類基準・英語の子音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：子音（2）閉鎖音・摩擦音①（気音・開放の省略・無声化）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：子音（3）摩擦音②・破擦音（調音位置・無声化・母音との組み合わせ）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：子音（4）鼻音・側音・半母音（日本語の「ン」・明るいLと暗いL・無声化）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：母音（1）母音の特徴（母音の分類基準・基本母音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：母音（2）短母音（母音記号・抑止母音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：母音（3）二重母音（母音記号・開放母音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第10回：母音（4）弱母音（日本語の弱母音・音色）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）

第11回：音の連続（音節・きこえ度・子音結合・単語間の連続・脱落・同化）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第12回：アクセント（語・接辞・複合語・句・文）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第13回：リズム（音節・アクセント・アクセントの移動）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第14回：イントネーション（音調の構成・種類・用法・特殊なイントネーション）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第15回：まとめ（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第16回：定期試験
予習・復習として、教科書付属のCDをよく聞き、何度も読む練習をし、モデルと同じような発音ができるよう、心がける。

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）　授業内レポート（30％）　平常点（20％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

英語発音の仕組みを理解し、音声学の基礎的な知識を得られたか。

テキスト、参考図書

竹林滋・清水あつ子・斎藤弘子　『改訂新版　初級英語音声学』　大修館　2013年
参考図書　深沢俊昭　『改訂版　英語の発音パーフェクト学習事典』　アルク　2015年

その他（受講上の注意）

・遅刻３回で欠席１回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と宗教 (Human Beings and Religion)			担当教員	門脇　健
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1212	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

宗教という人間独自の現象を、動物との比較、言語や法そして貨幣という人間独自の制度との比較を通して考察します。

授業の到達目標

宗教という人間独自の現象を考察することによって、何気ないふだんの日々の意義深さ、面白さに気づくことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：人間と動物(「顔」について)
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第2回：人間と動物(想像力について)
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：人間と動物の違いを調べて、まとめておくこと。(2時間)
第3回：私の発生
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第4回：言葉の習得
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第5回：言葉と私
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ラカンの論点について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第6回：贈与と交換
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第7回：視点の転換
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第8回：時間の逆流
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第9回：四苦八苦
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：四苦八苦について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第10回：仏教とキリスト教
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：両宗教の差異について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第11回：神話を生きる
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：神話概念について調べて、まとめておくこと。(2時間)

第12回：対象喪失
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：自分における相性喪失について考察し、まとめておくこと。（2時間）
第13回：喪の作業
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：喪の作業の具体例について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第14回：儀礼と宗教
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：日常のなかの宗教的儀礼について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：ノート・配布資料等を基に講義内容について、まとめておくこと。（4時間）

成 績 評 価 方 法

学期中に2，3回小レポートを実施します。
レポート試験（50%） 小レポート（30%） 平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します。

成 績 評 価 基 準

自分の関心がクリアに表現できるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

門脇健『哲学入門 死ぬのは僕らだ！』角川SSC新書（参考図書、デジタルテキスト）

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

講義の中で言及した文学作品や映画などに可能な限り接すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

仏教の思想 (Views of Buddhism)			担当教員	伊東　恵深
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1211	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授業の内容

ブッダと親鸞の思想を学ぶことを通して、人間の課題を学び、自らの生き方を問い尋ねていく。ブッダと親鸞の生涯と教えについて基本的な知識を修得する。そのことを通して、「人間とは何か」「人として生きる（人生）とはどういうことか」を学び、自己理解と他者理解を深め、豊かな人間関係を築く上での人間力を養う。

授業の到達目標

ブッダと親鸞の生涯と思想について基本的な知識を修得し、説明することができる。
仏教思想における人間観を学び、「自分とは何か」を考察し、表現することができる。
仏教思想を通して、豊かな人間関係のあり方を学び、主体的に考える姿勢を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　　事前学習：受講前に、テキストの「はじめに」と2～8頁を読んでおくこと。（8時間）
第2回：ブッダに学ぶ①　ブッダの生涯に何を学ぶか
第3回：ブッダに学ぶ②　四苦に向きあう1
第4回：ブッダに学ぶ③　四苦に向きあう2
　　事後学習：学んだ箇所を復習し、レポートにまとめること。（8時間）
　　事前学習：テキストの56～72頁を読んでおくこと。（8時間）
第5回：ブッダに学ぶ④　悟りとは何か1
第6回：ブッダに学ぶ⑤　悟りとは何か2
第7回：ブッダに学ぶ⑥　ブッダに出会った人びと1
第8回：ブッダに学ぶ⑦　ブッダに出会った人びと2
　　事後学習：学んだ箇所を復習し、レポートにまとめること。（8時間）
　　事前学習：テキストの92～101頁を読んでおくこと。（8時間）
第9回：親鸞に学ぶ①　概説
第10回：親鸞に学ぶ②　ブッダの教えに生きる
第11回：親鸞に学ぶ③　求道の歩み1
第12回：親鸞に学ぶ④　求道の歩み2
　　事後学習：学んだ箇所を復習し、レポートにまとめること。（8時間）
　　事前学習：テキストの112～136頁を読んでおくこと。（6時間）
第13回：親鸞に学ぶ⑤　自己との出遇い
第14回：親鸞に学ぶ⑥　救いとは何か
第15回：全体のまとめ
　　事後学習：授業全体を通して何を学んだか、レポート・配布資料等振り返り確認すること。（6時間）

成績評価方法

授業内小レポート・感想文、課題（50%）　平常点（50%）
（平常点は、出席状況、受講態度等で総合的に判断します。）

成績評価基準

講義の理解度と、理解した内容を自らの課題として考察・表現できているかどうかを基準にする。

テキスト、参考図書
『ブッダと親鸞』(東本願寺出版部)
その他(受講上の注意)
私語、携帯電話等の使用は厳禁です。複数回注意を受けた場合は欠席扱いとします。テキストは必携です。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

哲学の世界観 (Philosophical Thinking)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1223	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

古代からの西洋の哲学・思想が生み出してきたさまざまなものの見方を紹介する。また、そうしたものの見方が現代に及ぼしている影響について講義する。

授業の到達目標

過去および現在の哲学独自の思考方法や批判的思考に慣れ親しむことを通じて、現代日本に生きる自分が歴史に制約された存在であることを認識すると同時に、大学生なら知っておくべき程度の、哲学・倫理学の基本的な概念を理解し、その術語を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーションと「世界観」概念の説明
　事前学習：参考文献などを基に「哲学」「世界観」について調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第2回：神話的世界観ではなぜ不十分なのか？(ミュートスからロゴスへ)
　グループワーク
(10分)授業中に出す「神話と科学の違い」に関して、同じ列の学生とで話し合って考える。
　事前学習：参考文献などを基に、日本や中国、ギリシャの「宇宙創成神話」について調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第3回：哲学的思考の発祥(プレソクラテス1)
　事前学習：参考文献などを基に「ピタゴラス」について調べてノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第4回：哲学的思考の展開(プレソクラテス2)
　事前学習：参考文献などを基に「ヘラクレイトス」「パルメニデス」について調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第5回：ロゴス思想の展開と原子論へ(プレソクラテス3)
　事前学習：参考文献などを基に「原子論」について調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第6回：対話という方法の発明(ソクラテスのディアレクティケー1)
　事前学習：参考文献などを基に「ソクラテスの生涯」について調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第7回：「知る」とはどういう営みか？(ソクラテスのディアレクティケー2)
　事前学習：参考文献などを基にソクラテスの「無知の知」について調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)
第8回：何を知れば、物事を本当に知ったと言えるのか？(プラトンのイデア論1)
　事前学習：現代語のアイディア(idea)の語義を調べノートしておくこと(2時間)
　事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)

第９回：何を知れば、物事を本当に知ったと言えるのか？（プラトンのイデア論２）
事前学習：前回の授業を踏まえて「イデア」と「概念」の違いについて考え、ノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第10回：「机がわりの箱」は、机なのか、それとも箱なのか？（アリストテレスの目的論と全体論）
事前学習：現代語の「エネルギー（energy）」の語義について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第11回：「机がわりの箱」は、机なのか、それとも箱なのか？（アリストテレスの存在論）
事前学習：参考文献などを基に「実体」''substance'',''subject''の語義を調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第12回：宇宙観の変化が人間観・世界観に与えた影響１
事前学習：参考文献などを基に「コペルニクス」「ガリレイ裁判」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第13回：宇宙観の変化が人間観・世界観に与えた影響２
事前学習：参考文献などを基にパスカルの「人間は考える葦である」という箴言について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第14回：身体は一種の機械なのか？（デカルトの心身二元論）
事前学習：参考文献などを基に「懐疑主義」の語義について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第15回：知識の源泉としての自我（デカルトの自我論・知識論）
事前学習：参考文献などを基にデカルトの「方法的懐疑」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：本日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第16回：定期試験
毎回の講義を受けた後でその部分の配布資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。そのうえで、授業で配布する参考文献一覧から該当部分を読むなどして、より理解を深めてください。

成績評価方法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、毎回の授業内小レポートの提出状況を総合して判断する）

成績評価基準

・哲学の基本的な用語や人名について、これを理解し、説明することができるか。
・授業で扱う西洋思想の流れを理解しているか。

テキスト、参考図書

テキストはとくに使用せず、適宜プリントを配布する。
参考図書については２回目の授業で一覧を配布するが、安価かつ容易に入手できるものを以下に記載しておく。
・岩田靖夫『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書）　岩波書店　2003
・伊藤邦武『物語　哲学の歴史』（岩波新書）　岩波書店　2012
・熊野純彦『西洋哲学史　古代から中世へ』（岩波新書）　岩波書店　2006
・熊野純彦『西洋哲学史　近世から現代へ』（岩波新書）　岩波書店　2006

その他（受講上の注意）

毎回授業内で小レポートを書いてもらう。私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つものはその場で注意するが、注意によっても改まらない場合、当日欠席扱いとするので注意されたい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

文学の世界 (The World of Literature)			担当教員	杣谷　英紀
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1224	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

古今東西にある物語には共通する構造がある。本講義では、物語の構造を理解することで物語そのものの意義を理解し、物語を楽しむ視野を広げることを目的とする。また、近代の〈文豪〉と呼ばれる作家達の現代にも繋がる作品を精読することで〈近代〉とはいかなる時代であったかを理解することも目的の一つである。

授業の到達目標

・文学作品に表象された〈近代〉について自分の考えを表現できる。
・自分で文学作品について方法意識をもって分析と鑑賞ができる。
・文学作品を鑑賞し、現実に繋がる問題を見つけて独自に考察できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション 村上春樹「鏡」を読む
　事前学習：「異界」について自分で調べて、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：村上春樹「鏡」について読書カードをつくること。(2時間)
第2回：近代の「子ども」夏目漱石「夢十夜」のうち「第三夜」を読む
　事前学習：夏目漱石「夢十夜」のうち「第三夜」を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：夏目漱石「第三夜」について読書カードをつくること。(2時間)
第3回：近世と近代 佐藤春夫「狐」を読む
　事前学習：佐藤春夫「狐」を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：佐藤春夫「狐」について読書カードをつくること。(2時間)
第4回：異界入門 泉鏡花「龍潭譚」を読む(1)
　事前学習：泉鏡花「龍潭譚」前半を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：泉鏡花「龍潭譚」前半について読書カードをつくること。(2時間)
第5回：異界入門 泉鏡花「龍潭譚」を読む(2)
　事前学習：泉鏡花「龍潭譚」中盤を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：泉鏡花「龍潭譚」中盤について読書カードをつくること。(2時間)
第6回：異界入門 泉鏡花「龍潭譚」を読む(3)
　事前学習：泉鏡花「龍潭譚」後半を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：泉鏡花「龍潭譚」後半について読書カードをつくること。(2時間)
第7回：物語と異界 佐藤春夫「西班牙犬の家」を読む
　事前学習：佐藤春夫「西班牙犬の家」を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：佐藤春夫「西班牙犬の家」について読書カードをつくること。(2時間)
第8回：異人と共同体 芥川龍之介「奉教人の死」を読む
　事前学習：芥川龍之介「奉教人の死」を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：芥川龍之介「奉教人の死」について読書カードをつくること。(2時間)
第9回：分身の表象 梶井基次郎「Kの昇天」
　事前学習：梶井基次郎「Kの昇天」を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：梶井基次郎「Kの昇天」について読書カードをつくること。(2時間)

第10回：都市の異界 江戸川乱歩「押絵と旅する男」を読む
事前学習：江戸川乱歩「押絵と旅する男」を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：江戸川乱歩「押絵と旅する男」について読書カードをつくること。（2時間）
第11回：ビブリオ・バトル（自分の選んだ異界の小説を批評しつつ紹介するゲーム）（グループワーク）
事前学習：ビブリオ･バトルの準備をすること。（2時間）
事後学習：ビブリオ･バトルで選んだ作品の読書カードをつくること。（2時間）
第12回：異界への誘惑 夢野久作「瓶詰の地獄」を読む
事前学習：夢野久作「瓶詰の地獄」を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：夢野久作「瓶詰の地獄」について読書カードをつくること。（2時間）
第13回：異界の構造 太宰治「魚服記」を読む
事前学習：太宰治「魚服記」を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：太宰治「魚服記」について読書カードをつくること。（2時間）
第14回：異界の表象 中島敦「狐憑」「文字禍」を読む
事前学習：中島敦「狐憑」「文字禍」を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：中島敦「狐憑」「文字禍」について読書カードをつくること。（2時間）
第15回：時間と物語 川端康成「水月」を読む／まとめ／小テスト
事前学習：川端康成「水月」を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：川端康成「水月」について読書カードをつくること。（2時間）

成 績 評 価 方 法

期末レポート（50%）、毎回のコメントペーパー（35%）、小テスト（15%）

成 績 評 価 基 準

・文学作品に表象された〈近代〉〈現代〉について自分の考えを表現できるか。
・自分で文学作品について方法意識をもって分析できるか。
・文学作品を鑑賞し、現実に繋がる問題を見つけて独自に考察できるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト 東郷克美・高橋広満編『〈異界〉を読む』（鼎書房、2016年）

その他（受講上の注意）

資料などの配布物をきちんと整理しておくこと。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

歴史と地域文化 (History and Local Culture)			担当教員	久保　智康
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1225	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

地域の歴史・文化は、そこに住む人がかたち作っていくものである。と同時に、それは時代の経過とともにより豊かなものになり、次の世代へと受け継がれていくのが望ましい。すでに過去から蓄積された福井の地域文化を歴史の中にたずね、それを受け継ぎ発展させる具体的方策を考える。

授業の到達目標

・他者だけでなく自己も地域の歴史・文化をかたち作る主体であることを理解できる。
・そのために、地域の人々とのコミュニケーションが積極的に行える。
・地域の歴史・文化に関する情報収集・探索能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「地域」、「文化」とは何か
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間)
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)

第2回：地域の文化財を発見し学ぶ〜『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』の読み方、使い方〜
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間)
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)

第3回：縄文・弥生土器からみる「地域」
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間)
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)

第4回：律令時代の土器が示す「中央」と「地方」
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間)
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)

第5回：古墳の分布が示す「地域」〜「郡」という地域概念の萌芽〜
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間)
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)

第６回：土地と人の支配の歴史～徴税・納税の根拠～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第７回：条里制と東大寺領荘園の痕跡を見つける
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第８回：近代、そして平成の市町村合併
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第９回：琉球、沖縄と越前～本土と沖縄の歴史と宗教～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第10回：福井が「仏教王国」である理由
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第11回：各宗派の特徴と古代・中世越前における展開
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第12回：山寺と霊山
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第13回：越前の神と仏
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第14回：「念仏王国」、越前
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第15回：地域に住むこと、離れること
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法
定期試験（80%）平常点（20%） （平常点は授業への参加状況、受講態度等で総合的に判断します。）
成　績　評　価　基　準
地域の歴史・文化に関する過去・現在の事例に関して、自己の問題として認識し、具体的な関わり方を想定できるか。
テキスト、参考図書
テキスト：『文化財からみる　越前市の歴史文化図鑑』（監修）橋本政宣・久保智康　越前市 ※第２回目の授業時に販売
その他（受講上の注意）
できる限り前列の席で受講すること。画像を使用するが、漫然と見ているだけでなく、要点を極力ノートすること。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人権と法 (Human Rights and Law)			担当教員	早川　秋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1221	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

国民の基本的人権のあり方について、市民生活における契約、損害賠償、消費者、労働者、家族の様々な視点から整理する。

授業の到達目標

現代における多様な社会問題を取り上げ、相互に交錯する権利の実現を、いかにして法的解決に導くのかについて、基礎的知識を修得することを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：基本的人権の法的性格
　事前学習：テキスト第1章法学の基礎知識について整理しておくこと。（8時間）
第2回：自然人の権利能力と行為能力
第3回：人間らしく生きる権利（生存権）と人間らしく死ぬ権利（尊厳死）
第4回：事例研究　朝日訴訟を事例に個人の生き方と社会権について整理する
　事後学習：人権について学んだ授業内容をノート、テキストを見直して整理しておくこと。（8時間）
第5回：人権と犯罪・刑罰
　事前学習：テキスト第6章犯罪と法、第3章日常生活と契約に目を通しておくこと。（8時間）
第6回：事例研究 死刑制度を考える
第7回：契約自由の原則と法規制
第8回：無権代理と表見代理
　事後学習：授業で整理した事柄を復習して、分からないことがあったら、質問できるようにしておこう。（8時間）
第9回：婚姻の成立・効果
　事前学習：テキスト第2章家族と法について整理しておこう（4時間）
第10回：離婚 有責主義から破綻主義へ
第11回：親の権利・子の権利 嫡出推定
第12回：事例研究 代理契約の母と性同一性障害の父について考える
　事後学習：婚姻・親子に関する法をノートを中心に復習しておこう。（4時間）
第13回：相続 相続人の権利と義務 法定相続
第14回：遺言 最後の意思表示
第15回：人権の尊重と法の支配について考える（総まとめ）
　事後学習：日常生活の中で関わる法律について、人権保障の感覚を持ちながら、それぞれが納得できる解決へと導く方法について、各自でじっくりと考え、整理してみよう。（20時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験60% 小レポート30% 平常点10%
（平常点は授業への参加状況・受講態度を総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準
日常生活において起こる様々な事柄やニュースを的確に理解し、法的解決に導くことができるか。
テキスト、参考図書
田中敦子・大野正博編『法学入門』成文堂 2018年 1,800円
その他（受講上の注意）
集中講義ですので、体調に注意して欠席しないようにして下さい。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本国憲法 (The Japanese Constitution)			担当教員	早川　秋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1222	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

憲法の歴史を踏まえながら、憲法について判例を通して整理する。
平和主義については湾岸戦争以来の国際協調を軸として整理する。

授業の到達目標

立憲主義・法の支配の意味を理解し、憲法に関する基礎知識を修得する。実生活において、権利意識を持って問題解決を図ることができる能力を育成する。他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：憲法典の定義
　事前学修：授業前にテキストの1章を読み法についての理解を深めておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を振り返り、分からないことがあれば確認しておくこと。（2時間）
第2回：日本国憲法成立の由来
　事前学修：テキスト8章「憲法の基本的事項とらえ方」歴史について確認しておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を振り返り、テキストの該当箇所を見直しておくこと。権利の主体について身近な例を自分でも探してみよう。（2時間）
第3回：ポツダム宣言の示した新秩序実現
　事前学修：明治憲法の特色について、テキスト86頁を参考に整理しておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を振り返り、テキストの該当箇所を見直しておくこと。（2時間）
第4回：戦争放棄── 集団的自衛権と自衛隊海外派遣
　事前学修：湾岸戦争以降の自衛隊の活動について、図書館やインターネット等も利用して理解しておくこと。（2時間）
　事後学修：平和を実現するために憲法はどうあるべきだろうか？この機会にしっかりと考えてみよう。（2時間）
第5回：象徴天皇と国事行為
　事前学修：天皇のあり方についてのあなたの考えをまとめておこう。（2時間）
　事後学修：特別な法律関係として分類されている天皇の行為についての法規定をまとめて整理しておくこと。（2時間）
第6回：基本的人権総論　新しい人権（プライバシー権）
　事前学修：テキスト96頁の該当箇所を読み、内容を確認しておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を見直して内容を整理しておくこと。表現活動の自由に関する身近な例を自分でも探してみよう。（2時間）
第7回：基本的人権各論　表現の自由と公共の福祉・自主規制
　事前学修：前回の授業で整理した事例の問題点を整理しておこう。個人の自由が他者や社会にどのような問題を引き起こしているだろうか？（2時間）
　事後学修：授業内容を見直して内容を整理しておくこと。（2時間）
第8回：事例研究　靖国神社公式参拝の問題点
　事前学修：政教分離に関する問題、靖国神社について知識を整理しておこう。（2時間）
　事後学修：授業内容を整理して、今後どうすべきか、どうしたら問題解決へと向かえるか考えてみよう。（2時間）

第９回：国会中心立法・二院制（両院制）・衆議院の優越性
事前学修：統治機構に関する知識を整理しておこう。テキストは10章から確認しておくこと。（２時間）
事後学修：憲法条文を読み込んでみよう。分からない部分は書き出しておいて、質問できるようにしておこう。（２時間）
第10回：行政権内閣帰属の原則とその注意点
事前学修：内閣総理大臣の仕事を確認しておこう。多岐にわたる事柄をいかに処理していくべきだろうか、考えてみよう。（２時間）
事後学修：国民の民主主義を実現するための国会と内閣の連携について、しっかり整理しておこう。（２時間）
第11回：司法権の独立と司法権の制限
事前学修：裁判所の仕組みについて確認しておこう。（２時間）
事後学修：司法権の限界について、過去の講義も含めて復習しておこう。（２時間）
第12回：違憲審査制　違憲判決の具体的整理
事前学修：法の下の平等について、どんな問題が起こっているか整理しておこう。（２時間）
事後学修：違憲審査権の効果について、授業で扱った判例以外も調べてみよう。（２時間）
第13回：事例研究　在日外国人に対する参政権の付与は必要か（ディスカッション）
事前学修：次回の授業では、外国人参政権の賛否について小グループでのディスカッションをするため、自分なりの意見をまとめておくこと（２時間）
事後学修：友人たちの自分とは違う見方を振り返り、再度考えてみよう。
第14回：地方自治の本旨
事前学修：地方公共団体に求められる活動や役割について整理しておくこと。（２時間）
事後学修：授業の内容を元に地域に必要なルール等について整理してみよう。（２時間）
第15回：憲法改正
事前学修：今、議論となっている改正問題について整理しておくこと。（２時間）
事後学修：改正について、自分の視点で問い直してみよう。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験60％ 小レポート30％ 平常点10％（平常点は授業への参加状況・受講態度を総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

日常生活において起こる様々な事柄やニュースを法的に理解し、自分の言葉で他者に適切に説明することができるか。

テキスト、参考図書

田中敦子・大野正博編『法学入門』成文堂 2018年 1,800円

その他（受講上の注意）

積極的に参加する意識をもって受講して下さい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境B (Human Beings and the Environment B)			担当教員	大久保　嘉雄
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2231	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

生態系の一員である人間が自然環境とどのように関わってきたのかを学び、これからどうあるべきかを考える。その基礎として、生物の生活や行動、からだのしくみを、進化の視点も交えて学ぶことにより、生物そのものと生態系の理解を深める。

授業の到達目標

人間がどのように自然環境と関わっていけばよいかを説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：コウノトリの放鳥と福井県
　事前学習：コウノトリはどんな鳥か調べておくこと。(2時間)
　事後学習：他県のコウノトリの放鳥についてまとめておくこと。(2時間)
第2回：コウノトリの復活と生態系の保全
　事前学習：トキの放鳥について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：コウノトリが福井県に定着するために必要な施策をまとめておくこと。(2時間)
第3回：ニホンオオカミの絶滅とツキノワグマの捕殺問題(アンブレラ種、キーストーン種)
　事前学習：ツキノワグマとヒグマのちがいを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：絶滅危惧種1種以上を例に、生態系で果たす役割をまとめておくこと。(2時間)
第4回：外来生物と生態系の保全(生態的地位、遺伝子交雑)
　事前学習：外来生物を3種類あげ、その移入経緯や影響などを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：日本から外国へ広がった外来生物1種以上を例に、その移入経緯や影響ついてまとめておくこと。(2時間)
第5回：生物多様性の確保(国際条約、遺伝子かく乱)
　事前学習：出身県または福井県のラムサール条約の湿地について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：身近で生物多様性に取り組んでいる活動をまとめておくこと。(2時間)
第6回：小レポート、動物の社会(社会性動物、利己的な遺伝子)
　事前学習：第1回から第5回までの講義内容をまとめておき、小レポートに備える。(2時間)
　事後学習：群れをつくる動物1種以上を例に、その社会構造をまとめておくこと。(2時間)
第7回：動物の生活と行動(食べる心配、食べられる心配)
　事前学習：食物連鎖におけるエネルギーの流れや生態ピラミッドを調べておくこと。(2時間)
　事後学習：食物連鎖における一次消費者から高次の消費者をそれぞれ1種以上を例に、その生き方を食べる心配と食べられる心配という観点から説明できるようにまとめておくこと。(2時間)
第8回：生物を理解する視点(形態、生活場所、生活のしかた)
　事前学習：主な進化論について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：野外の動物1種以上を例に、その形態と生活場所、生活のしかたを関連させて説明できるようにまとめておくこと。(2時間)
第9回：骨格と進化(外骨格と内骨格、気管と循環系)
　事前学習：この1週間に出会った生き物を、内骨格と外骨格、無脊椎動物に分類しておくこと。(2時間)
　事後学習：事前学習であげた動物を動物の系統樹にあてはめ、身体を支えるしくみを説明できるようにまとめておくこと。(2時間)

第10回：視覚と行動（眼の進化、白目と意思疎通）
事前学習：ヒトの目の構造を調べておくこと。（２時間）
事後学習：イヌやネコなどの身近な動物の白日の有無や、目と目を合わせたときの反応や行動をまとめておくこと。（２時間）
第11回：小レポート、色覚と進化（色覚と行動様式）
事前学習：第６回から第10回までの講義内容をまとめておき、小レポートに備える。（２時間）
事後学習：２色型色覚動物の日常生活を疑似体験して起きたことをまとめておくこと。（２時間）
第12回：人間と食物（栽培植物の起源、発酵食品）
事前学習：身近な野菜の原産地を調べておくこと。（２時間）
事後学習：日本原産の野菜や果物をそれぞれ１種以上を例に、その原種や品種などをまとめておくこと。（２時間）
第13回：人間は科学をどのように生かすのか（バイオテクノロジー、ノーベル賞医学生理学賞）
事前学習：遺伝子組み換え不使用の表示のある食品とその原料を調べておくこと。（２時間）
事後学習：発酵食品１種以上の作り方や、ｉＰＳ細胞の臨床的な応用をまとめておくこと。（２時間）
第14回：日本人の起源とヒトの進化
事前学習：縄文時代と弥生時代の年代や特徴を調べておくこと。（２時間）
事後学習：縄文人顔と弥生人顔の特徴から、家族や友人などを観察してまとめておくこと。（２時間）
第15回：小レポート、地球の環境問題、身近な植物の利用
事前学習：第11回から第14回までの講義内容をまとめておき、小レポートに備える。（２時間）
事後学習：地球の温暖化の原因とその対策、COP24の動向をまとめておくこと。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（40%）講義資料と小レポートおよび平常点（60%）
（講義時に配付する資料に事前学習や当日の講義について書き込みます。小レポートは、４～５回分の事後学修について書きます。平常点は、授業への参加状況・受講態度、講義資料と小レポートの提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

生物の生活や行動、社会、からだのしくみを説明することができるか。その際に、進化の視点が入っているか。
生態系における、生物と自然環境の関係を説明することができるか。
人間の自然環境への影響を説明し、今後の関わり方を論じることができるか。

テキスト、参考図書

必要に応じて、講義用資料を配付したり、参考図書等を指示します。

その他（受講上の注意）

講義資料にはコメントを書いて返却します。遅刻の時間や回数に応じて欠席と見なすことがあります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ふくい総合学 (General Studies of Fukui)			担当教員	織田　暁子、杉島　一郎、鳴瀬みどり、 柿本　真代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2232	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

様々な分野・専門領域における「ふくい」についての現況の課題や行政施策等の理解促進を目的とする授業です。本授業では特に「ふくい」の中の「越前市」に焦点をあて、市職員を招聘し、学生へ市計画等の事業の現状、将来構想、施策の特徴を講義し、「市を取り巻く状況」に始まり、「戦略的取組」「行政課題」や「今後の展望」などを取り上げます。
後半は、本学各学科各領域からの視点で越前市や地域との関連性について取り上げ、大学の立地自治体の特徴、文化の理解を深めてもらえるような内容となっています。

授　業　の　到　達　目　標

本学が立地する自治体である「越前市」の特徴や行政全般、さらには独自の文化等に対しての理解が深まる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「ふくい」総合学」趣旨説明＜ 総論＞越前市を取り巻く状況
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：授業の内容を振り返り、e−learningを通じてリフレクションを実施すること。(2時間)
第2回：戦略的取り組み＜まちづくり編＞コウノトリと里山の人たちとの共生、かこさとしさんと読書のまち宣言
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)
第3回：戦略的取り組み＜福祉編＞検診を受けよう　新しい健康づくり、子どもの笑顔が輝く環境づくり
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)
第4回：戦略的取り組み＜文化編＞国府が置かれた歴史あるまちづくり、たけふ菊人形63年のあゆみ
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)
第5回：戦略的取り組み＜産業編＞越前市の産業活性化(産業活性化プラン・工芸の里構想)
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)
第6回：戦略的取り組み＜環境編＞下水道事業で人と環境のネットワークづくり、もったいない！捨てないで資源回収しよう
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)
第7回：行政課題(1)地域が支える災害に強いまちづくり、まちづくりと交通体系
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)

第８回：行政課題（２）越前市の財政、越前市で暮らそう！～新生活を始めるなら中心市街地がおすすめ～
事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第９回：行政課題（今後）オープンデータを利用したまち情報の発信、きくりんがちょっといいこと教えちゃうリン！～越前市の嬉しい情報をお届けします～
事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第10回：行政課題（展望）市民協働プロセスの確立、市民交流・ネットワークづくり
事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第11回：心理学の視点から（心理学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第12回：コミュニケーション学の視点から（コミュニケーション学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第13回：健康栄養学の視点から（健康栄養学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第14回：子ども教育学の視点から（子ども教育学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第15回：まとめ（とりまとめ教員）
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

レポート（60％）　平常点（40％）
（平常点は、授業時のリアクションペーパー、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

「越前市の人とまち、その文化」というテーマで、「越前市の取組み」についての現況の課題や今後の施策内容等を理解できたか。

テキスト、参考図書

毎回プリントを配布。

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱa (EnglishⅡa)			担当教員	Rダイクス、フッド晴美、吉田久美子、 山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2241	1単位	2年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授業の到達目標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency. Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information. Listening practice will focus on listening for key words and specific information. Reading exercises will focus on the important skills of scanning for general understanding as well as reading for specific content. Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第2回：Unit 1 - Hobbies ①(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第3回：Unit 1 - Hobbies ②(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第4回：Unit 2 - Clothes and Colors ①(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第5回：Unit 2 - Clothes and Colors ②(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第6回：Unite 3 - An Active Life ①(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第7回：Unite 3 - An Active Life ②(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第8回：Review(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)

第９回：Unit 4 - Getting Around ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit 4 - Getting Around ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 5 - Personality ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 5 - Personality ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 6 - Cooking ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 6 - Cooking ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination（ディスカッション）
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

成 績 評 価 方 法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成 績 評 価 基 準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014.　ISBN 978-0-19-460313-3
TEXT加藤　『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他（受講上の注意）

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university. Also, at least one class will be held in the E-Lounge (E-301) or CALL (E-303) during the semester to familiarize the students with the latest available English self-study materials.
「英語Ⅱ再履修クラス」は2019年度が最終開講です。2020年度以降は開講されません。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱb (EnglishⅡb)			担当教員	Rダイクス、フッド晴美、吉田久美子、 山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2242	1単位	2年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授業の到達目標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency. Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information. Listening practice will focus on listening for key words and specific information. Reading exercises will focus on the important skills of scanning for general understanding as well as reading for specific content. Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第2回：Unit 7 - Weather ①(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第3回：Unit 7 - Weather ②(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第4回：Unit 8 - Everyday Activities ①(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第5回：Unit 8 - Everyday Activities ②(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第6回：Unit 9 - Math, history, and art ①(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第7回：Unit 9 - Math, history, and art ②(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)
第8回：Review(ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)

第 9 回：Unit 10 A - busy semester ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit 10 - A busy semester ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Favors and requests ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Favors and requests ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - Before you travel ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - Before you travel ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

成 績 評 価 方 法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成 績 評 価 基 準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014.　ISBN 978-0-19-460313-3
TEXT加藤　『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university.
「英語Ⅱ再履修クラス」は2019年度が最終開講です。2020年度以降は開講されません。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱa（再履者のみ） （EnglishⅡa）			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2241	1単位	2年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授業の到達目標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency. Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information. Listening practice will focus on listening for key words and specific information. Reading exercises will focus on the important skills of scanning for general understanding as well as reading for specific content. Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワー　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 1 - Lifestyles ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 1 - Lifestyles ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 2 - Leisure ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 2 - Leisure ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unite 3 - Getting along ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unite 3 - Getting along ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第９回：Unit 4 - Interests ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit 4 - Interests ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 5 - Telling a story ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 5 - Telling a story ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 6 - Celebrations ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 6 - Celebrations ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar reference' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

成　績　評　価　方　法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成　績　評　価　基　準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

テキスト、参考図書

Miles, Craven. Breakthrough Plus 2. Macmillan Publishers Limited. 2012. ISBN 978-1-786-32934-9

その他（受講上の注意）

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university. Also, at least one class will be held in the E-Lounge (E-301) or CALL (E-303) during the semester to familiarize the students with the latest available English self-study materials.
「英語Ⅱ再履修クラス」は2019年度が最終開講です。2020年度以降は開講されません。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱb（再履者のみ） （English Ⅱb）			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2242	1単位	2年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises.
Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授業の到達目標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency. Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information. Listening practice will focus on listening for key words and specific information. Reading exercises will focus on the important skills of scanning for general understanding as well as reading for specific content. Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 7 - Food & Drink ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 7 - Food & Drink ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 8 - Rules ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 8 - Rules ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 9 - Adventures ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 9 - Adventures ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第 9 回：Unit 10 - Health ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit 10 - Health ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Comparisons ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Comparisons ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - The Modern World ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - The Modern World ②（ディスカッション）
事後学習：事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar reference' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

成 績 評 価 方 法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成 績 評 価 基 準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Craven, Miles. Breakthrough Plus 2. Macmillan Publishers Limited. 2012. ISBN 978-1-786-32934-9

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university.
「英語Ⅱ再履修クラス」は2019年度が最終開講です。2020年度以降は開講されません。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語Ⅱa (FrenchⅡa)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2243	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

フランス語Ia・bで習得した初級文法を復習しながら様々な場面で使われる会話能力を養う。

授業の到達目標

フランス語で日常的な場面で使われる会話の習得を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：第0課 発音のルール・あいさつをする／名前を聞く、言う
事前学習：テキストp 9発音のルール①、②に目を通し、まとめておくこと。(0.5時間)
事後学習：国籍や職業を尋ね、それに答えられるようにしておくこと。(0.5時間)
第2回：第1課 きみは日本人？ 国籍や職業をたずね、それに答える。(授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：テキストp10発音のルール③、④に目を通し、まとめておくこと。(0.5時間)
事後学習：テキスト第1課の練習問題を解いておくこと。Dialogueをすらすら音読できるようにしておくこと。(0.5時間)
第3回：第2課きみはバイトしているの？①　さまざまな−er動詞を肯定、否定で使う。(授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：動詞habiter travaillerの活用を確認しp19表1を完成させておくこと。(0.5時間)
事後学習：テキスト第2課の練習問題の1を解いておくこと(0.5時間)
第4回：第2課きみバイトしているの？②(授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：p20何語を指すのか訳を書いて表を完成させておくこと。(0.5時間)
事後学習：p25Dialogueを音読すること。第2課の練習問題2，3を解いておくこと。(0.5時間)
第5階：第3課　スポーツはすき？①(毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：テキストP23名刺の前に定冠詞をつけ表を完成させておくこと。(0.5時間)
事後学習：テキスト第3課の練習問題1，2を解いておくこと。(0.5時間)
第6回：第3課 スポーツは好き？②「〜すき？」をたずね、それにニュアンスをつ答える。(毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：テキストp24 形容詞の意味を書き入れ表を完成させておくこと。(0.5時間)
事後学習：テキストp25 Dialogueを音読すること。練習問題3を解いておくこと。(0.5時間)
第7回：第4課 どこでお昼食べるの？①「どこで」「だれを」をたずねる。(毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：テキストp26文法事項をよく読みp27の例に習って2つの疑問文を表に書き込んでおくこと。(0.5時間)
事後学習：第4課の練習問題1を解いておくこと。(0.5時間)
第8回：第4課 どこでお昼食べるの？②質問の答えを展開させる。(毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。)
事前学習：テキストp28本文のCDを聞いて発音しておくこと。(0.5時間)
事後学習：Dialogueを音読すること。テキスト第4課の練習問題2．3を解いておくこと。(0.5時間)

第９回：第５課 兄弟姉妹はいる？①「～をもっている／持っていない」を表現する。（毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。）
事前学習：テキストp30文法事項を確認し、p31不定冠詞を入れ表を完成させておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキスト第５課の練習問題１，２を解いておくこと。（0.5時間）
第10回：第５課 兄弟姉妹はいる？② 年齢や学年をたずね、それに答える。（毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。）
事前学習：テキストp32を本文を音読しておくこと。（0.5時間）
事後学習：Dialogueを音読すること。テキストp54の練習問題．３を解いておくこと。（0.5時間）
第11回：第６課 あなたのお姉さんはどんな感じですか？① 家族の名前や身分、職業をたずね、それに答える。（毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。）
事前学習：テキストp34文法事項を確認し、p36表１を完成させておくこと。（0.5時間）
事後学習：Dialogueを音読すること。テキストp54の練習問題．３を解いておくこと。テキスト第６課の練習問題１を解いておくこと。（0.5時間）
第12回：第６課 あなたのお姉さんはどんな感じですか？② 人について好き、きらいを言う。（毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。）
事前学習：テキストp36性格を表す形容詞の表を完成させておくこと。（0.5時間）
事後学習：Dialogueを音読すること。練習問題２，３を解いておくこと。（0.5時間）
第13回：第７課　ふだん夜はなにしてる？①（毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。）
事前学習：テキストp38文法事項を確認しまとめておくこと。（0.5時間）
事後学習：テキスト第７課の練習問題１を解いておくこと。（0.5時間）
第14回：ふだん夜はなにしてる？②（毎回授業の最初にペアワークで前回の会話を復習する。）
事前学習：テキストp40表１を完成させておくこと。（0.5時間）
事後学習：Dialogueを音読すること。練習問題２，３を解いておくこと。（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
事前学習：１～７課までのDialogueをすらすら音読できるようにしておき、質問事項をまとめておくこと。（0.5時間）
事後学習：授業中に再確認した最重要ぽいんとを復習しておくこと。（0.5時間）
第16回：定期試験

成 績 評 価 方 法

定期試験50％ 平常点50％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

日常的な場面で使われるフランス語での会話ができるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

レナ・ジュンタ　清岡智比古 「ぜんぶ話して！」 白水社　2015年

その他（受講上の注意）

毎回５問程度の書き取りを各回の授業の始めに行うので必ず勉強してくること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語Ⅱb (FrenchⅡb)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2244	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

フランス語Ia・bで習得した初級文法を復習しながら様々な場面で使われる会話能力を養う。

授業の到達目標

フランス語で日常的な場面で使われる会話の習得を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：第8課　普段朝は何食べる？①
　事前学習：テキストp42文法事項を確認しp43冠詞を入れて表を完成させておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキスト第8課の練習問題1を解いておくこと。(0.5時間)
第2回：第8課　普段朝は何食べる？②(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp44頻度の表現をまとめておくこと。(0.5時間)
　事後学習：Dialogueを音読しておくこと。(0.5時間)
第3回：第9課　週末はどこに行く？①(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp46文法事項を確認しp47表1を完成させておくこと。(0.5時間)
　事後学習：1～12月までの単語を暗記しておくこと。練習問題1を解いておくこと。(0.5時間)
第4回：第9課　週末はどこに行く？②(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp48表1を完成させておくこと。本文のCDを聞いて発音しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：：Dialogueを音読しておくこと。練習問題2．3を解いておくこと。(0.5時間)
第5回：第10課　お母さんによく電話する？①(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp50文法事項を確認し代名詞を使い表1を完成させておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキスト第10課練習問題1.2を解いておくこと。(0.5時間)
第6回：第10課　お母さんによく電話する？②(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：代名動詞の活用を確認しテキストp52表1を完成しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：Dialogueを音読しておくこと。練習問題3を解いておくこと。(0.5時間)
第7回：第11課　家を何時に出る？①(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp54で動詞の活用を確認しp55動詞を現在形に活用させ表1を完成させておくこと。(0.5時間)
　事後学習：練習問題1.2を解いておくこと。(0.5時間)
第8回：第11課　家を何時に出る？②(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp54時刻の表現と近い未来の文法事項を確認しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：Dialogueを音読しておくこと。練習問題3を解いておくこと。(0.5時間)
第9回：第12課　パリでは、7月はどんな天気？①(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：文法事項を確認し本文のCDを聞いて発音しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキストp12課練習問題を解いておくこと。(0.5時間)
第10回：第12課　パリでは、7月はどんな天気？②(毎回ペアワークで前回の会話を復習する。)
　事前学習：テキストp60命令形を確認し表1を完成させておくこと。(0.5時間)
　事後学習：Dialogueを音読しておくこと。練習問題2．3を解いておくこと。(0.5時間)

第11回：第13課　この前の夏、何した？①（毎回ペアワークで前回の会話を復習する。）
　　事前学習：テキストｐ62複合過去を確認しｐ63の表１を完成させておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：練習問題1.2を解いておくこと。（0.5時間）
第12回：第13課　この前の夏、何した？②（毎回ペアワークで前回の会話を復習する。）
　　事前学習：テキストｐ63本文のCDを聞いて発音しておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：Dialogueを音読しておくこと。練習問題３を解いておくこと。（0.5時間）
第13回：第14課：今朝何時に起きた？①（毎回ペアワークで前回の会話を復習する。）
　　事前学習：テキストｐ66で文法事項を確認しｐ67表１を完成させておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：練習問題１を解いておくこと。（0.5時間）
第14回：第14課：今朝何時に起きた？②（毎回ペアワークで前回の会話を復習する。）
　　事前学習：話を組み立てる表現を確認し本文のCDを聞いて発音しておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：Dialogueを音読しておくこと。練習問題２．３を解いておくこと。（0.5時間）
第15回：総復習
　　事前学習：第８課～第14課までのDialogueをすらすら音読しておき質問事項をまとめておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業中に再確認した最重要ポイントを復習しておくこと。（0.5時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験50％ 平常点50％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

日常的な場面で使われるフランス語での会話ができるか。

テキスト、参考図書

レナ・ジュンタ 清岡智比古「ぜんぶ話して！」白水社 2015年

その他（受講上の注意）

毎回５問程度の書き取りを各回の授業の始めに行うので必ず勉強してくること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語Ⅱa (GermanⅡa)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2245	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初はドイツ語Ⅰでは習得していない文法知識からはじめ、その後簡単なドイツ語で書かれた童話を読みながら読解力を身につける。その回のテキスト内容に合わせて、文法事項をプリントで適宜補う。

授　業　の　到　達　目　標

現在完了、再帰動詞、分離動詞について理解し、それらを含め1年時で学んだドイツ語をもとに、テキスト程度の簡単なドイツ語の文章を理解し、日本語に訳すことができるようになることをめざす。また、訳出は文脈によって多様な一種の創造であり、必ずしも辞書の文言をあてはめる、という機械的作業ではないことを理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ペアワーク)

授業の計画及び授業外の学習方法

プリントによる練習問題やテキストの予習(単語調べ、訳の作成)を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせとその解説を行う。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：オリエンテーションと1年次のドイツ語の復習
　事前学習：1年次のテキストとプリントを見直しておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の復習プリントの間違い直しをしておくこと(0.5時間)
第2回：過去形(復習)と現在完了形1
　事前学習：1年次のテキストの特に現在完了形を見直しておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第3回：現在完了形2
　事前学習：1年次のテキストの特に現在完了形を見直しておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第4回：分離動詞と形容詞(ペアワーク10分)
　事前学習：1年次のテキストの分離動詞、形容詞の箇所を読み、CDを聞いておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第5回：再帰代名詞と再帰動詞
　事前学習：1年次のテキストの再帰代名詞の箇所を読み、CDを聞いておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第6回：ブレーメンの音楽隊1－1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)
第7回：ブレーメンの音楽隊1－2
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)
第8回：ブレーメンの音楽隊2－1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)

第９回：ブレーメンの音楽隊２－２
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第10回：ブレーメンの音楽隊３－１
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第11回：ブレーメンの音楽隊３－２
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第12回：ブレーメンの音楽隊３－３
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第13回：ブレーメンの音楽隊４
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第14回：ブレーメンの音楽隊５
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
　　事前学習：前期の総復習をし、質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：質問への回答を踏まえて、定期試験に備え復習しておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

平常点50%、定期試験50%
（平常点は、毎回の出席、予習状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・現在完了、再帰動詞、分離動詞について理解し応用できるか。
・宿題をきちんとやり、当たった場合、その個所を訳出することができているかどうか。
・テキストのドイツ語文とその構造を理解しているかどうか。

テキスト、参考図書

Stefan Wundt　本橋右京　『グリム童話で学ぶドイツ語 partII』　郁文堂 2007年

その他（受講上の注意）

独和辞典および１年時に用いたテキストを持参すること。また、童話の読解に入ると、だれがいつ当たるかわからない。単語を辞書でよく調べ、きちんと日本語に直してくること。予習が大事である。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語Ⅱb (GermanⅡb)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2246	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語Ⅰaにつづいて、簡単なドイツ語で書かれた童話を読みながら読解力を身につける。その回のテキスト内容に合わせて、文法事項をプリントで適宜補う。

授業の到達目標

1年時およびドイツ語Iaで学んだ知識をもとに、テキスト程度の簡単なドイツ語の文章を理解し、日本語に訳すことができるようになることをめざす。また、訳出は文脈によって多様な一種の創造であり、必ずしも辞書の文言をあてはめる、という機械的作業ではないことを理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ペアワーク)

授業の計画及び授業外の学習方法

プリントによる練習問題やテキストの予習(単語調べ、訳の作成)を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせとその解説を行う。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：ドイツ語Ⅱaの復習
　事前学習：ドイツ語Ⅱaのテキストとプリントを見直しておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の復習プリントの間違い直しをしておくこと(0.5時間)
第2回：代名詞、現在完了、分離動詞の復習
　事前学習：前期の現在完了、分離動詞のプリントを見直しておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の復習プリントの間違い直しをしておくこと(0.5時間)
第3回：形容詞の格変化(ペアワーク)
　事前学習：1年次のテキストの形容詞の格変化の変化表を読んで、CDを聞いておくこと(0.5時間)
　事後学習：本日の宿題プリントを完成させておくこと(0.5時間)
第4回：盗賊の花嫁1 −1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)
第5回：盗賊の花嫁1 −2
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)
第6回：盗賊の花嫁2 −1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)
第7回：盗賊の花嫁2 −2
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)
第8回：盗賊の花嫁3 −1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。(0.5時間)
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと(0.5時間)

第９回：盗賊の花嫁３ －２
事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第10回：盗賊の花嫁４ －１
事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第11回：盗賊の花嫁４ －２
事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第12回：盗賊の花嫁５ －１
事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第13回：盗賊の花嫁５ －２
事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと（0.5時間）
事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第14回：盗賊の花嫁６
事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと（0.5時間）
事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
事前学習：前期の総復習をし、質問を考えておくこと（0.5時間）
事後学習：質問への回答を踏まえて、定期試験に備え復習しておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

平常点50%、定期試験50%
（平常点は、毎回の出席、予習状況を総合して判断する）

成績評価基準

・現在完了、再帰動詞、分離動詞について理解し応用できるか。
・宿題をきちんとやり、当たった場合、その個所を訳出することができているかどうか。
・テキストのドイツ語文とその構造を理解しているかどうか。

テキスト、参考図書

Stefan Wundt　本橋右京　『グリム童話で学ぶドイツ語 part II』　郁文堂 2007年

その他（受講上の注意）

独和辞典および１年時に用いたテキストを持参すること。また、童話の読解に入ると、だれがいつ当たるかわからない。単語を辞書でよく調べ、きちんと日本語に直してくること。予習が大事である。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語Ⅱa (Chinese Ⅱa)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2247	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。簡単な日常会話を聴くこと、話すことと、簡単な作文を書けることを重点において学習し、中国語の検定試験4級のレベルをめざす。

授業の到達目標

1、四声を意識して正しく発音することができる。
2、常用語500語程度を使って、単文及び簡単な複文の中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、100字程度の作文が書ける。
4、簡単な日常会話ができる。
5、簡単な依頼、買物、旅行の場面でのコミュニケーション能力を有する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス、中国ⅠaとⅠbの重要事項の確認
　　事後学習：「中国に関する質問」のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第2回：第1課《?好》。“是”を使う表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル1。50文字作文。(1時間)
第3回：第2課《??姓》。自己紹介の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル2。50文字作文。(1時間)
第4回：第3課《?局》。 疑問詞のまとめ。道を尋ねる表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル3。50文字作文。(1時間)
第5回：第4課《早上好》。連動文。“有”を使う表現練習。(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル4。50文字作文。(1時間)
第6回：第5課《?好?》。語尾語気助詞のまとめ。近況話の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル5。50文字作文。(1時間)
第7回：1から5課までの補足、復習(発表)
　　事後学習：100文字作文。(1時間)
第8回：第6課《几口人》。数字詞のまとめ。“的”の使い方。家族紹介の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル6。50文字作文。(1時間)
第9回：第7課《多少?》。買い物の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル7。50文字作文。(1時間)
第10回：第8課 《多大》。語気助詞“了”の使い方。比較文の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル8。50文字作文。(1時間)
第11回：第9課《打工》。“在”など介詞のまとめ。アルバイトについての表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル9。50文字作文。(1時間)
第12回：第10課《漫画》。 動態助詞のまとめ。日本の漫画についての表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル10。50文字作文。(1時間)
第13回：第11課《??》。 助動詞のまとめ。動詞の重ね型。銀行利用の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル11。50文字作文。(1時間)
第14回：第12課《感冒》。“就”の使い方。病状説明の表現練習(ペアワーク)
　　事後学習：会話・講読練習ドリル12。50文字作文。(1時間)

第15回：今学期の内容のまとめ。（発表）
　　事後学習：100文字作文。（１時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、四声を正しく発音することができるか。
２、単文及び簡単な複文の中国語訳と日本語訳ができるか。
３、100字程度の作文が書けるか。
４、簡単な依頼、買物、旅行の場面での事項確認や自分の意思を伝えられるか。

テキスト、参考図書

佐藤　晴彦　監修　徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語Ⅱb (Chinese Ⅱb)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2248	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。少々長い会話聴く、話す、書くことを重点において学習し、中国語の検定試験3級のレベルをめざす。

授業の到達目標

1、多音語、軽声を正しく発音することができる。
2、常用語500～1000語を使って、複文の中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、200字程度の作文が書ける。
4、簡単な依頼、買物、旅行の場面での演習を通して、相手に自分の意思を正確に伝え、「会話力」を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ペアワーク)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス、中国Ⅱaの重要事項の確認
　事後学習：「中国に関する質問」のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間)
第2回：第13課《困了》。時量補語。一日の流れの表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル13。50文字作文。(1時間)
第3回：第14課《?城》。選択疑問文。日本の名勝古跡紹介の表現練習(ペアワーク)事後学習：会話・講読練習ドリル14。50文字作文。(1時間)
第4回：第15課《生日》。 結果補語のまとめ。誕生日についての表現練習(ペアワーク)事後学習：会話・講読練習ドリル15。50文字作文。(1時間)
第5回：第16課《做菜》。助動詞“会”と“能”の区別。日本料理の作り方の表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル16。50文字作文。(1時間)
第6回：第17課《?好》。副詞のまとめ。趣味についての表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル17。50文字作文。(1時間)
第7回：第18 打??。接続詞のまとめ。携帯の使い方の表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル18。50文字作文。(1時間)
第8回：第19課《点菜》。数字詞のまとめ。“的”の構文。人に依頼する表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル19。50文字作文。(1時間)
第9回：第20課《手机》。”是～的”の構文。禁止事について表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル20。50文字作文。(1時間)
第10回：第21課 《打的》。様態補語“得”の使い方。タクシーの乗り方の表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル21。50文字作文。(1時間)
第11回：第22課《展?会》。単純方向補語。美術館等の紹介の表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル22。50文字作文。(1時間)
第12回：第23課《足球比?》。 挿入語のまとめ。好きな試合についての表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル23。50文字作文。(1時間)
第13回：第24課《健身房》。 動量補語のまとめ。運動についての表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル24。50文字作文。(1時間)
第14回：第25課《好消息》。二重目的語、使役表現。旅行についての表現練習(ペアワーク)
　事後学習：会話・講読練習ドリル25。50文字作文。(1時間)

第15回：今学期の内容のまとめ。（発表）
　　事後学習：100文字作文。（１時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、多音語、軽声を正しく発音することができるか。
２、少々長い中国語訳と日本語訳ができるか。
３、200字程度の作文が書けるか。
４、相手の話を聞き取れる、自分の意思を正確的に伝えられるか。

テキスト、参考図書

佐藤　晴彦　監修、 徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用a (Exercises in Information Literacy a)			担当教員	佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2153	2単位	1年前期･2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの1つであるWordを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授業の到達目標

オフィスソフトWordに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験（Word2016）や、日本商工会議所の日商PC検定試験2級（文書作成）に合格できる能力レベルを目標としている。
文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できる。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：文書処理に関する資格や検定試験概要、授業の進め方、実力診断用練習問題
　事前学習：情報リテラシーaのテキスト等を読み直し、Wordについて復習しておく（3時間）
　事後学習：練習問題について復習（1時間）
第2回：文書の作成、書式設定 p.1〜47
　事前学習：テキストp.1〜47を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第3回：文章のオプション、印刷、保存 p.48〜86
　事前学習：テキストp.48〜86を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第4回：文字列、段落 p.87〜121
　事前学習：テキストp.87〜121を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第5回：文字列段落の並び替え、表作成 p.122〜157
　事前学習：テキストp.122〜157を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第6回：表の設定、リスト作成・変更 p.158〜198
　事前学習：テキストp.158〜198を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第7回：参考資料の作成と管理 p.199〜235
　事前学習：テキストp.199〜235を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第8回：グラフィック要素の挿入と書式設定、模擬テストについて p.236〜300
　事前学習：テキストp.236〜285を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第9回：総合練習問題1
　事前学習：模擬テスト問題1を試行する（2時間）
　事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習（2時間）

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、文書作成ソフトウェアWordを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。
文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できるか。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。

テキスト、参考図書

『MOS攻略問題集 Word 2016』　日経BP　2017年

その他（受講上の注意）

情報リテラシーa　の受講を終えている、または同等の能力があることを前提とします。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用b (Exercises in Information Literacy b)			担当教員	佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2154	2単位	1年後期･2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの1つであるExcelを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授業の到達目標

オフィスソフトExcelに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験(Excel2016)や、日本商工会議所の日商PC検定試験2級(データ活用)に合格できる能力レベルを目標としている。
表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できる。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業の進め方、実力診断用練習問題(日商PC検定試験問題)
　事前学習：情報リテラシーbのテキスト等を読み直し、Excelについて復習しておく(3時間)
　事後学習：練習問題について復習(1時間)
第2回：ワークシートやブックの作成、書式設定 p.1〜36
　事前学習：テキストp.1〜36を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第3回：ワークシートやブックのオプション p.37〜81
　事前学習：テキストp.34〜81を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第4回：印刷設定、セルやセル範囲の作成、データ入力 p.82〜122
　事前学習：テキストp.82〜122を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第5回：セル書式、データのまとめと整理 p.123〜168
　事前学習：テキストp.123〜168を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第6回：テーブル、数式 p.169〜210
　事前学習：テキストp.169〜210を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第7回：関数を使用した演算、グラフ p.211〜239
　事前学習：テキストp.211〜239を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第8回：グラフ書式、オブジェクト、模擬テストについて　p.240〜288
　事前学習：テキストp.240〜274を読み、Excelを操作に関して予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習(2時間)
第9回：総合練習問題1
　事前学習：模擬テスト問題1を試行する(2時間)
　事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習(2時間)

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　提出課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、表計算ソフトウェアExcelを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。
表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できるか。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができるか。

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

『MOS攻略問題集 Excel 2016』　日経BP　2017年

その他（受講上の注意）

情報リテラシーb　の受講を終えている、または同等の能力があることを前提とします。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2251	2 単位	2年前期･3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授　業　の　到　達　目　標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
（https://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf）

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って進めるが、毎授業の20分間程度は演習問題を採りいれる。
第１回：ITパスポート試験の概説、サンプル問題
　事前学習：テキストp.7〜15を読み、試験概要について予習する（0.5時間）
　事後学習：サンプル問題の復習（1.5時間）
第２回：ITパスポート試験シラバスVer4.0の新出項目
　事前学習：テキストp.17〜51を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.52〜57（２時間）
第３回：第１章 企業と法務（１）
　事前学習：テキストp.61〜96を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.107〜109（２時間）
第４回：第１章 企業と法務（２）第２章 経営戦略
　事前学習：テキストp.96〜137を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.138〜139（２時間）
第５回：第３章 システム戦略
　事前学習：テキストp.141〜158を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.159〜161（２時間）
　過去問題（ストラテジ系）を試行（２時間）
第６回：第４章 開発技術
　事前学習：テキストp.165〜183を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.184〜185（２時間）
　過去問題（ストラテジ系）を試行（２時間）
第７回：第５章 プロジェクトマネジメント
　事前学習：テキストp.187〜200を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.201〜203（２時間）
　過去問題（ストラテジ系）を試行（２時間）
第８回：第６章 サービスマネジメント
　事前学習：テキストp.205〜216を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.217〜219（２時間）
　過去問題（マネジメント系）を試行（１時間）

第９回：第７章 基礎理論（１）
事前学習：テキストp.223～238を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（マネジメント系）を試行（２時間）
第10回：第７章 基礎理論（２）　第８章 コンピュータシステム（１）
事前学習：テキストp.239～267を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.254～255（１時間）
過去問題（マネジメント系）を試行（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム（２）
事前学習：テキストp.268～288を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.289～291（３時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
事前学習：テキストp.293～315を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（マネジメント系）を試行（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
事前学習：テキストp.316～336を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（テクノロジ系）を試行（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
事前学習：テキストp.337～358を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（テクノロジ系）を試行（３時間）
第15回：第10章 表計算、CBT試験対策
事前学習：テキストp.316～379を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（テクノロジ系）を試行（３時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）　演習課題（10%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト
『ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集　2019年度版』　FOM出版　2018年
参考図書
『平成31／01年　栢木先生のITパスポート教室』　技術評論社　2018年
『平成31／01年　ITパスポート合格教本』　技術評論社　2018年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2252	2単位	2年後期･3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授　業　の　到　達　目　標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験(iパス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
(http://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf)

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

授業は、ITパスポート試験の過去問題演習や問題研究、さらに問題作成に取り組むことを主体とし、前期授業の補足も併せて行う。
第1回：前期情報処理演習a試験問題の解説・解法
　事前学習：テキスト全体を読み、予習する(4時間)
第2回：第1章 企業と法務、第2章 経営戦略
　事前学習：テキスト第1章～第21章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第3回：第3章 システム戦略、第4章 開発技術
　事前学習：テキスト第1章～第21章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第4回：第4章 開発技術、第5章 プロジェクトマネジメント
　事前学習：テキスト第4章～第5章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第5回：第6章 サービスマネジメント、第7章 基礎理論
　事前学習：テキスト第6章～第7章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第6回：第8章 コンピュータシステム、第9章 技術要素
　事前学習：テキスト第8章～第9章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第7回：直近のITパスポート試験公開問題解説(1)
　事前学習：直近のITパスポート試験公開問題を解く(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行(2時間)
第8回：直近のITパスポート試験公開問題解説(2)
　事前学習：公開問題の解法を書き出す(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行(2時間)
第9回：直近のITパスポート試験公開問題解説(3)
　事前学習：公開問題の解法を書き出す(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行(2時間)

第10回：問題作成演習（１）
　　事前学習：公開問題の解法を書き出す（２時間）
　　事後学習：公開問題を参考にして、改題案を作成する（２時間）
第11回：問題作成演習（２）
　　事前学習：公開問題の解法を書き出す（２時間）
　　事後学習：公開問題を参考にして、改題案を作成する（２時間）
第12回：問題作成演習（３）
　　事前学習：公開問題の解法を書き出す（２時間）
　　事後学習：公開問題を参考にして、改題案を作成する（２時間）
第13回：改題案のプレゼンテーション（１）
　　事前学習：解法のプレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行（２時間）
第14回：改題案のプレゼンテーション（２）
　　事前学習：解法のプレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行（２時間）
第15回：改題案のプレゼンテーション（３）
　　事前学習：解法のプレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）　CBT模擬テスト等（20%）　レポート課題（30%）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

テキスト、参考図書

テキスト
『ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集　2019年度版』　FOM出版　2018年
参考図書
『平成31／01年　栢木先生のITパスポート教室』　技術評論社　2018年
『平成31／01年　ITパスポート合格教本』　技術評論社　2018年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須
前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

キャリア・デザインⅡ（Career DesignⅡ）			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2261	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会の中での役割を主体的に果たしたながら、「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できる機会の提供を通じて、今後の大学生活の目標を設定する。

授業の到達目標

・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができる。
・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：キャリア・デザインとは
　事前学習：初回の授業ではキャリア・デザインの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたライフストーリーについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：ライフストーリー①
　事前学習：次回の授業ではゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、ゲストスピーカーの職業概要について自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
　※ゲストスピーカーは初回授業でお知らせします。
第3回：ライフストーリー②
　事前学習：次回の授業ではゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、ゲストスピーカーの職業概要について自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
　※ゲストスピーカーは初回授業でお知らせします。
第4回：ライフストーリー③
　事前学習：次回の授業ではゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、ゲストスピーカーの職業概要について自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
　※ゲストスピーカーは初回授業でお知らせします。
第5回：ライフストーリー（グループワーク
および発表）
　事前学習：次回の授業では各自調査したライフストーリーについて考えるため、調査対象のライフストーリーについて自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第６回：職業理解①
事前学習：次回の授業では金融業界について考えるため、金融業界について自分なりに調べておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
※金融業界は予定です（変更する場合があります）。
第７回：職業理解②
事前学習：次回の授業ではマスコミ業界について考えるため、マスコミ業界について自分なりに調べておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
※マスコミ業界は予定です（変更する場合があります）。
第８回：職業理解③
事前学習：次回の授業では建設業界について考えるため、建設業界について自分なりに調べておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
※建設業界は予定です（変更する場合があります）。
第９回：「はたらく」とは
事前学習：次回の授業では「はたらくことの意味・意義」について考えるため、について自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：スキルアップ
事前学習：次回の授業ではスキルと資格の必要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：インターンシップ
事前学習：次回の授業ではインターンシップ参加の意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：就職活動①
事前学習：次回の授業では就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：就職活動②
事前学習：次回の授業では就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：労働法
事前学習：次回の授業では労働法について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業では「はたらく」ことと大学生活での「学び」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70％）、平常点（30％）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成　績　評　価　基　準

・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができるか。
・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができるか。

テキスト、参考図書
必用に応じて、授業中に提示します。
その他（受講上の注意）
リアクション・ペーパー（授業中作成）の内容については、次回授業においてフィードバックします。なお、「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice(Volunteer))			担当教員	大森　慈子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授業の内容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授業の到達目標

それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。学生間はもとより地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
4～7月　　事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
8～9月　　現地にて研修（26時間以上）
10～11月　事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施　（2時間）
課題に関連する情報の収集
・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。
　　レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

成績評価方法

プログラムへの取組み（50%）　レポート（20%）　プレゼンテーション（30%）

成績評価基準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice(International Exchange))			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2165	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)もしくはカナダ・アルバータ大学附属英語学校での集中講義(3週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
本科目では、原則として、「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を行い、以後の学修・研究のための動機付けを得ること、異文化理解を深めることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：全体説明会
　事前学習：英語教育センターにある資料を読み、質問項目をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第2回：事前授業(提出物、課題指示等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第3回：事前授業(提出物、課題指示等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第4回：事前授業(現地活動の企画等)①(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第5回：事前授業(現地活動の企画等)②(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第6回：事前授業(現地活動の準備等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第7回：事前授業(現地活動の準備等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第8回：事前授業(現地活動の準備等)③(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第9回：事前授業(航空券、その他書類配付等)(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)

第10回：事前授業（出発前の最終確認）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
＜集中講義（夏季休暇中）＞
第11回：事後授業（研修のふりかえり・レポート課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第12回：事後授業（プレゼン課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第13回：事後授業（プレゼン練習）（グループワーク）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第14回：事後授業（報告会）（発表）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第15回：事後授業（まとめ）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

テキスト、参考図書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研 修 期 間：夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏季休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学実験 (Psychological Experiments)			担当教員	山本　雅代、森本　文人、氏田　麻美、 青井　利哉、島田　浩二
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2205	2単位	2年前期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学が科学であることを理解し、心理的問題をどのように研究していくのか、心理学研究の実験的実証的技法における基本的方法について学ぶ。
受講者はグループごとに、ミューラリヤー錯視、鏡映描写、認知的葛藤、反応時間、触2点閾の測定、系列位置効果などの様々な実験にあたる。(数名のグループに分かれ、順次全6課題の実験を体験する)。また、実験者と被験者の両方の役割を体験する。
上記テーマについて先行研究などの情報収集を行い、各自で研究目的に従いデータをとり、収集したデータや情報の整理、分析、考察する方法を学ぶ。また、各実験ごとにレポートを提出する。これにより卒業論文を書く上で重要な科学論文の形式を習得することを目指す。

授業の到達目標

1)心理学における実験方法や実証方法を習得する。
2)実験結果についての整理、分析や考察ができるようになる。
3)科学論文の執筆ができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にテキストで実験についての知識を学んでおくこと。(1時間)
　事後学習：心理学基礎実験で実験する内容についてテキストや関連する本を読んでおく。(1時間)
第2回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・氏田・青井・島田)①　(実験・グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第3回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・氏田・青井・島田)②　(実験・グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第4回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・氏田・青井・島田)③　(実験・グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第5回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・氏田・青井・島田)④　(実験・グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第6回：課題2(全5課題：鏡映描写(島田)・認知的葛藤(青井)・反応時間(森本)・触2点閾の測定(氏田)・系列位置効果(山本))①　(実験・グループワーク)
　事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。(1時間)
　事後学習：データを確認、実験についてまとめる。(1時間)

第７回：課題２（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第８回：課題３（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第９回：課題３（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第10回：課題４（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第11回：課題４（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第12回：課題５（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第13回：課題５（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第14回：課題６（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第15回：課題６（全５課題：鏡映描写（島田）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（氏田）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
実験レポートが訂正されたり、返却された場合には必ず見直し、復習すること。

成　績　評　価　方　法

実験終了後に提出する実験レポート、実験、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【実験レポート 60%　実験、授業への参加態度 40%】

成　績　評　価　基　準

心理学における実験方法や実証方法を習得できているか。
実験結果についての整理、分析や考察ができているか。
科学論文の執筆ができているか。

テキスト、参考図書

（１）『心理学論文の書き方』　松井豊　河出書房新社　2010年
（２）『実験とテスト＝心理学の基礎（実習編）』　心理学実験市道研究会　培風館　1985年
その他、授業時プリント配布

その他（受講上の注意）

第１回目の授業（オリエンテーション）には必ず出席すること。
教員やTAの紹介、受講に際しての注意事項を行います。
各実験ごとに必ずレポート提出があります。各教員の指示に従って提出してください。またレポートの提出期限は必ず守ること。再提出等の指示がありますので掲示には注意して下さい。連絡を直接メールで行うことがありますので、自分の携帯アドレスを変更した場合には必ず大学に登録したアドレスも変更して下さい。
実験や実験の分析について分からないことが有る場合、先生に質問することは勿論ですが、サポートセンターを利用して下さい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理測定実習 (Practice of Psychological Measurement)			担当教員	大森　慈子、森本　文人、氏田　麻美、 伏田　幸平
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2206	2単位	2年後期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心の測定における実験の意義を学習すると同時に、少人数グループで基本的な心理学実験をすることによって、心と行動を測定する際の様々な問題にふれる。また、レポートの作成を繰り返すことによって、測定結果を科学的事実として報告する方法を習得する。

授業の到達目標

■心理学実験の基礎的技術を身につける
■測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解する
■心理学における科学的論文の書き方を習得する

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「心理学実験」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておくこと。(1時間)
　事後学習：レポート作成マニュアルを熟読し、「心理学実験」で返却されたレポートを書き直す(1時間)
第2回：課題1(心的回転、または、対人距離)①
　事前学習：課題1に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題1レポートの「第1章　序論」を書く。(1時間)
第3回：課題1(心的回転、または、対人距離)②
　事前学習：課題1の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題1レポートの「第2章　方法」を書く。(1時間)
第4回：課題1(心的回転、または、対人距離)③
　事前学習：課題1の結果のデータを整理しておくこと。(1時間)
　事後学習：課題1レポートの「第3章　結果」を書く。(1時間)
第5回：課題1(心的回転、または、対人距離)④
　事前学習：課題1の結果から考察をし、まとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題1レポートを仕上げる。(1時間)
第6回：課題2(対人距離、または、心的回転)①
　事前学習：課題2に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題2レポートの「第1章　序論」を書く。(1時間)
第7回：課題2(対人距離、または、心的回転)②
　事前学習：課題2の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題2レポートの「第2章　方法」を書く。(1時間)
第8回：課題2(対人距離、または、心的回転)③
　事前学習：課題2の結果のデータを整理しておくこと。(1時間)
　事後学習：課題2レポートの「第3章　結果」を書く。(1時間)
第9回：課題2(対人距離、または、心的回転)④
　事前学習：課題2の結果から考察をし、まとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題2レポートを仕上げる。(1時間)
第10回：課題3(虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択)①
　事前学習：課題3に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。(1時間)
　事後学習：課題3レポートの「第1章　序論」を書く。(1時間)

第11回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）②
事前学習：課題３の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
事後学習：課題３レポートの「第２章　方法」を書く。（１時間）
第12回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）③
事前学習：課題３の結果のデータを整理しておくこと。（１時間）
事後学習：課題３レポートの結果の図表を仕上げる。（１時間）
第13回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）④
事前学習：課題３の検定結果の解釈をし、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
事後学習：課題３レポートの「第３章　結果」を書く。（１時間）
第14回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）⑤
事前学習：課題３の結果から考察をし、まとめておくこと。（１時間）
事後学習：課題３レポートの「第４章　考察」を書く。（１時間）
第15回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）⑥
事前学習：課題３の全体の流れを再確認し、レポートの書き方の見直しをしておく。（１時間）
事後学習：課題３レポートを仕上げる。（１時間）
＜第１回は全教員、第２－15回は４グループに分かれて、それぞれを大森・森本・氏田・伏田が担当＞
＜課題１～２は２つの課題を各４週行い、課題３は４つの中から学生が１課題を選択し６週間実施する＞

成績評価方法

４課題に対するレポート（60%）　平常点（40%）
（平常点は、必要回数以上の授業への出席に対し、参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します）

成績評価基準

■心理学実験の基礎的技術が身についているか
■測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解しているか
■心理学における科学的論文の書き方を習得しているか

テキスト、参考図書

＜参考図書＞
日本心理学会認定心理士資格認定委員会「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」（金子書房）
心理学実験指導研究会編「実験とテスト－実習編－」（培風館）

その他（受講上の注意）

■心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験の単位を修得していること
■原則として、遅刻、欠席およびレポート提出の遅延は認めない

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理的アセスメント (Psychological Assessment)			担当教員	森　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2209	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

感情および性格に関する諸理論や研究を概観し、感情や性格を理解するための枠組みについて学ぶ。その上で、自己や他者の感情や性格をどのように理解し、対人関係の問題にどのように対処したらよいかを考える。

授業の到達目標

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できる。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できる。
・自分の感情や性格について心理学的に考察し評価できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　□討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：感情とは
　事後学習：授業で指定されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べるとともに、授業で理解したことも含め自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(4時間)
第2回：感情の生理過程
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第3回：感情の起源と発達
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第4回：感情が認知や行動にもたらす影響
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第5回：感情の障害
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第6回：性格とは
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第7回：性格の類型論
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)

第８回：性格の特性論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第９回：脳と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第10回：性格の遺伝
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第11回：ライフサイクルと性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第12回：家族関係・対人関係・文化と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第13回：健康と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第14回：性格の病気：人格障害
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第15回：性格の測定
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第16回：期末試験

※各回（初回を除く）とも、授業の前半に前回の事後学習の成果をグループで紹介しあう時間を設ける。（グループワーク）

成績評価方法

学期末に実施する筆記試験（80%）と授業中に指示する課題・授業時の態度等（20%）をもとに評価する。

成績評価基準

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できるか。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できるか。
・自分の感情や性格について心理学的に評価できるか。

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理調査法 (Psychological Questionnaire Methods)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2211	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学の研究手法である質問紙調査法について理解し、実際の質問紙調査を通じて、調査票の作成から統計解析ソフトでの分析方法、レポートの書き方までを修得する。

授業の到達目標

①質問紙調査法の基礎的知識を習得する
②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができる。
③解析結果を基に，レポート（目的・方法・結果・考察）を作成できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（実際に調査を実施する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション序章（質問紙法とは）0
　事前学習：授業前にテキスト1の序章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容を見直し，わからないところがあったら，図書館で調べたり，オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること（2時間）
第2回：質問紙作成の基礎1
　事前学習：授業前にテキスト1の1章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第3回：質問紙作成の基礎2
　事前学習：授業前にテキスト1の1章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第4回：質問紙法の実施方法
　事前学習：授業前にテキスト1の2章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第5回：コーディングと入力
　事前学習：授業前にテキスト1の3章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第6回：心理尺度の作成（信頼性・妥当性）
　事前学習：授業前にテキスト1の4章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第7回：量的資料収集のための質問紙の作成
　事前学習：授業前にテキスト1の5章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第8回：質的資料収集のための質問紙の作成
　事前学習：授業前にテキスト1の6章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第9回：心理尺度の作成（質問紙調査の実施）
　事前学習：授業前にテキスト1の7章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e−ラーニングによる復習課題を課す（2時間）

第10回：データの処理法：質的データの集計
事前学習：授業前にテキスト１の８章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：仁愛大学e－ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第11回：データの処理法：平均値の比較１
事前学習：授業前にテキスト１の９章１を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：仁愛大学e－ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第12回：データの処理法：平均値の比較２
事前学習：授業前にテキスト１の９章２を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：仁愛大学e－ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第13回：データの処理法：相関分析１
事前学習：授業前にテキスト１の10章１を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：仁愛大学e－ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第14回：データの処理法：相関分析２
事前学習：授業前にテキスト１の10章２を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：仁愛大学e－ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第15回：レポートの書き方
事前学習：事前に配布された資料を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：仁愛大学e－ラーニングによる復習課題を課す（２時間）

本講義では実際に質問紙調査を行い，収集したデータを基に統計的分析やレポート（目的・方法・結果・考察）の書き方について学び，最終的にレポートの提出を求める。

成　績　評　価　方　法

各授業での態度および課題提出（70%），提出したレポートの内容（30%）により，総合的に評価をします

成　績　評　価　基　準

①質問紙調査法の基礎的知識を充分習得している。
②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができ，その解析方法が適切である。
③解析結果を基にレポート（目的・方法・結果・考察）を作成することができ，その内容が適切である。

テキスト、参考図書

テキスト１：鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤（編著）心理学マニュアル・質問紙法　北大路書房　2006年
テキスト２：米川和雄・山崎貞政（著）超初心者向けSPSS統計解析マニュアル　北大路書房　2017年
参考文献：小塩真司・西口利文（編）「質問紙調査の手順」ナカニシヤ出版　2014年

その他（受講上の注意）

授業時間以外にも，統計解析やレポート作成等の学習が必要になります。
各自，自律的・積極的に学習することが求められます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅰ (Introduction to Clinical Psychology Ⅰ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2221	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

臨床心理学の概説。
臨床心理学のなりたちと、臨床心理学の代表的な理論について学ぶ。

授業の到達目標

臨床心理学のなりたちと代表的な理論について理解し、その概要を説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(eラーニング、リアクションペーパー)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(リアクションペーパー)
　事前学習：シラバスを熟読すること。(2時間)
　事後学習：テキストを購入して、「巻頭言」「はじめに」を読むこと。(2時間)
第2回：臨床心理学の歴史(日本)(eラーニング：端末を持参すること。)
　事前学習：テキスト第1章を読むこと。(2時間)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)
第3回：臨床心理学の歴史(世界)
　事前学習：テキスト第2章を読むこと。(2時間)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)
第4回：臨床心理学の定義
　事前学習：テキスト第3章を読むこと。(2時間)
　事後学習：What is Clinical Psychology？(テキストP.33)を翻訳すること。
　また、復習テストの準備をすること(2時間)
第5回：臨床心理学の理論①(精神分析)(復習テスト①)
　事前学習：テキスト第4章を読むこと。(2時間)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)
第6回：臨床心理学の理論②(分析心理学)(復習テスト①のフィードバック)
　事前学習：テキスト第5章を読むこと。(2時間)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)
第7回：臨床心理学の理論③(行動論・認知論)
　事前学習：テキスト第6章を読むこと。(2時間)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)
第8回：臨床心理学の理論④(人間性心理学)
　事前学習：テキスト第7章を読むこと。(2時間)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)
第9回：臨床心理学の理論⑤(システム論)
　事前学習：テキスト第8章を読むこと。(2時間)
　事後学習：復習テストの準備をすること。(2時間)
第10回：臨床心理学の理論⑥(グループ・アプローチ)(復習テスト②)
　事前学習：テキスト第9章を読むこと。(2時間)(復習テスト②のフィードバック)
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)

第11回：臨床心理学の理論⑦（コミュニティ・アプローチ）
事前学習：テキスト第10章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第12回：臨床心理学の理論⑧（ナラティブ・アプローチ）
事前学習：テキスト第11章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第13回：臨床心理学の理論⑨（非言語的アプローチ）
事前学習：テキスト第12章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第14回：臨床心理学の理論⑩（統合的アプローチ）
事前学習：テキスト第13章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第15回：「臨床心理学」の各領域に関するまとめと定期試験対策
事前学習：ｅラーニングを活用して、ノートをまとめること。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを活用して、ノートをまとめること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）、復習テスト（20%）、平常点（20%）
復習テストの内容は授業中に指示します。
平常点は受講態度やリアクション・ペーパーの提出状況などで総合的に判断します。

成　績　評　価　基　準

臨床心理学のなりたちと代表的な理論に関して、重要な用語や概念を理解し説明することができる。

テキスト、参考図書

「臨床心理学概論」 野島一彦・岡村達也（編）　遠見書房　2,400円＋税　ISBN：978－４－86616－053－５

その他（受講上の注意）

ｅラーニングを活用します。
ｅラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅱ (Introduction to Clinical Psychology Ⅱ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2222	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

各領域における心理療法（心理学的支援法）の実践事例を学習する。
また、臨床実践における留意点を理解する。

授　業　の　到　達　目　標

代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応を概説できる。
地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、プライバシーへの配慮、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について概説できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（eラーニング、リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション・復習テスト①（リアクションペーパー）
　事前学習：「臨床心理学Ⅰ（「臨床心理学概論Ⅰ）」の内容を復習すること。（2時間）
　事後学習：同上。（2時間）
第2回：精神分析療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　（eラーニング・復習テスト①のフィードバック）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第3回：行動療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第4回：来談者中心療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第5回：受理面接：
　ラポール・主訴・経過の聴き方（良好な人間関係を築くコミュニケーション）
　援助構造・面接記録・守秘義務（プライバシーへの配慮）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：復習テスト②の準備をすること（2時間）
第6回：医療①：抑うつに対する認知行動療法・復習テスト②
　事前学習：復習テスト②の準備をすること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第7回：医療②：抑うつに対する認知行動療法（プライバシーへの配慮と多職種連携）
　（復習テスト②のフィードバック）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第8回：産業①：バーンアウトに対する評価と介入
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）

第９回：産業②：バーンアウトに対する評価と介入（論理情動行動療法にもとづく心の健康教育）
　　事前学習：日常生活において、バーンアウトの事例を探すこと。（２時間）
　　事後学習：日常生活において、不合理な信念の事例を探すこと。（２時間）
第10回：教育①：スクールカウンセリングの実際（良好な人間関係を築くコミュニケーション）・復習テスト③
　　事前学習：復習テスト③の準備をすること。（２時間）
　　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第11回：教育②：スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー（要支援者の関係者への支援）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
　　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第12回：教育③：教室で使える心理アセスメント（心理アセスメント適用と倫理）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
　　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第13回：福祉①：ぜんそく予防の応用行動分析（地域支援の意義）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
　　事後学習：定期試験の準備を始めること。（２時間）
第14回：福祉②：ぜんそく予防の応用行動分析（心の健康教育）
　　事前学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
　　事後学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
第15回：「臨床心理学」の各領域の臨床実践に関するまとめと定期試験対策
　　事前学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
　　事後学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）、復習テスト（30%）、平常点（10%）
定期試験は「指定持込用紙」の持込を可とします。
第１回目の冒頭に、「臨床心理学Ⅰ（臨床心理学概論Ⅰ）」の内容について復習テストを行います。
平常点は受講態度（ｅラーニングの閲覧状況を含む）、リアクションペーパーの提出状況などで総合的に評価します。

成　績　評　価　基　準

講義で取り上げた心理療法について説明できる。
地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について理解できる。
また、プライバシーへの配慮と関係者との情報共有のかねあいについて意見を持つ。

テキスト、参考図書

スライド資料や参考資料をｅラーニングに掲載します。

その他（受講上の注意）

ｅラーニングを活用します。
ｅラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

健康・医療心理学			担当教員	渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2223	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

健康・医療心理学の基礎的かつ一般的な知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

公認心理師をはじめ心理職が保健医療領域で行う業務について理解し必要な知識を習得する。

授業の到達目標

健康・医療心理学の基本を説明することができる。
保健医療領域における心理職の専門性とその業務について説明することができる。
チーム医療の一員として心理職に期待されている事柄について説明することができる。
公認心理師が身につけておくべき事柄について説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康心理学
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：健康心理学におけるアセスメントと支援
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ストレスマネジメント
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：各種の心理支援法
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：医療心理学
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：医療心理学におけるアセスメントと支援
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：精神科，児童精神科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：院内型独立型心理室
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：心療内科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：小児科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：緩和医療
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：産業保健
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：地域保健活動の実際
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：災害心理学
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：多職種協働と医療連携
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

公認心理師が身につけておくべき知識としてあげられるキーワードについて説明することができるか。

テキスト、参考図書

宮脇稔・大野 太郎・藤本 豊・松野 俊夫『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社，2018
ISBN－13: 978－4263265772

その他（受講上の注意）

講義は公認心理師養成カリキュラムに対応しています。日本心理学会が公開している大学カリキュラム・標準シラバス等も参考に学習してください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅰ (Developmental Psychology Ⅰ)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2231	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

1．本講義では，人生の前半期（胎児期から児童期）の身体的変化および心理的変化について学ぶ。
2．生涯発達に関する主要理論について学ぶ。
3．発達心理学を科学的に研究する方法について学ぶ。

授業の到達目標

・人間の生涯を通して展開される発達について理解する視点を獲得する。
・誕生から児童期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。
・多様な生き方を理解し，互いに認め合う態度を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：生涯発達心理の概要について
　事前学習：テキストの第1章1を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：発達の主要理論
　事前学習：テキストの第1章2を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：発達心理学の研究方法（発達メカニズムを解明する方法と発達過程を記述する方法）
　事前学習：テキストの第1章4を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：発達の規定要因（遺伝要因，環境要因，相互作用）
　事前学習：テキストの第1章5を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：乳児期の発達①（身体と運動機能）
　事前学習：テキストの第2章1を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：乳児期の発達②（知覚能力）
　事前学習：テキストの第1章3と4を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第7回：乳児期の発達③（愛着・親子の心の絆）
　事前学習：テキストの第4章2を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第８回：主な発達理論のまとめと中間試験
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：幼児期の発達①（言語とコミュニケーション）
事前学習：事前に配布された資料を読み，質問をまとめて授業に臨むこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：幼児期の発達②（遊び）
事前学習：テキストの第４章３を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：児童期の発達①（認知）
事前学習：テキストの第３章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：児童期の発達②（記憶と思考）
事前学習：事前に配布された資料を読み，質問をまとめて授業に臨むこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：児童期の発達③（自己・自我）
事前学習：テキストの第５章１を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：児童期の発達④（社会性）
事前学習：事前に配布された資料を読み，質問をまとめて授業に臨むこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：発達に関連する問題（自閉症スペクトラム障害）
事前学習：各自で事前にに自閉症スペクトラムに関する書籍等を読み，問題意識をもって授業に臨むこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）

第16回：まとめと期末評価
授業の進み方は，必ずしもテキストと一致しているとはかぎらない。必ず授業に出席し，復習として，授業と配布するプリントに基づき，各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

成績評価方法

成績評価には，①毎回提出する小レポート（30%），②中間評価（30%）　期末評価（40%）で総合的に評価をする。

成績評価基準

・人間の生涯を通して展開される発達について，生涯発達的視点から理解しているか。
・誕生から児童期における各発達の特徴と心理的問題を説明することができるか。
・これまでの自分自身や他者の生き方をみつめ直し，生涯発達心理学の視点から考察できるか。

テキスト、参考図書

鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ（著）生涯発達心理学・有斐閣アルマ・2016年・ISBN978-4-641-2207-4

その他（受講上の注意）

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席し小レポートを提出すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅱ (Developmental Psychology Ⅱ)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2228	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

1. 本講義では，人生の後半期（青年期から高齢期）の身体的変化および心理的変化について学ぶ。
2. 身体的な加齢と，心理的変化との関係について学ぶ。
3. 社会的変化が個人の発達にどのように影響するのかについて学ぶ。

授業の到達目標

①生涯を通して展開される発達について理解し解説できる
②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。
③多様な生き方について知識を習得し，心理的支援の方法について考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：青年期から成人後期にかけての発達の特徴
事前学習：事前に青年期の発達に関する書籍を読み，あらかじめ疑問点などをまとめて授業に臨むこと（2時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：青年期の発達①　青年期の心理の特徴
事前学習：テキスト1の「心理的離乳と第2反抗期（pp100－102）」を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：青年期の発達②　自我アイデンティティの確立
事前学習：テキスト1の「アイエンティティとは（pp102－107）」を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：青年期の発達③　職業選択
事前学習：事前に配布した資料を読み，質問を考え授業に臨むこと（2時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：青年期の発達④　セクシュアリティ
事前学習：テキスト1の「ジェンダーという自己（pp94－97）」を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：成人初期の発達①　恋愛
事前学習：事前に配布した資料を読み，質問を考え授業に臨むこと（2時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第７回：成人初期の発達②　結婚
事前学習：テキスト１の「第７章４：発達的にみた結婚」を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：青年期から成人初期のまとめと中間評価
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：成人初期の発達③　　子育て
事前学習：テキスト１の「第７章５：親になることによる発達」を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：成人中期の発達①　　中年期の危機とライフサイクル
事前学習：テキスト１の「第８章２自己の揺らぎと成長」を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：成人中期の発達②　身体的機能の衰退と社会活動
事前学習：事前に配布した資料を読み，質問を考え授業に臨むこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：成人中期の発達③　認知機能と記憶の加齢変化
事前学習：テキスト２の「第５章：忘れやすさと忘れにくさ」を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：成人後期の発達①　超高齢社会
事前学習：事前に配布した資料を読み，質問を考え授業に臨むこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：成人後期の発達②　喪失と死
事前学習：テキスト２の「第12章死にゆくこころ」を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：成人後期の発達③　サクセスフルエイジング
事前学習：テキスト２の「第11章３：超高齢期の課題」を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第16回：まとめと期末評価
授業の進み方は，必ずしもテキストと一致しているとはかぎらない。必ず授業に出席し，復習として，授業と配布するプリントに基づき，各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①毎回提出する小レポート（30%），②中間評価（30%）　期末評価（40%）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

①生涯を通して展開される発達について，どの程度正しく理解し適切に解説できるのか
②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題について，どの程度適切に説明するできるのか
③多様な生き方について，どの程度正しく知識を習得し，心理的支援の方法について考えることができるのか

テキスト、参考図書

テキスト１：鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ（著）生涯発達心理学・有斐閣アルマ・2016年・ISBN978-4-641-2207-4
テキスト２：佐藤眞一・高山緑・増本康平（著）老いのこころ・有斐閣アルマ・2014年・ISBN978-4-641-22016-4

その他（受講上の注意）

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

知覚・認知心理学 (Psychology of Perception and Cognition)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

知覚および記憶・言語・思考などの人間の認知に関するトピックについて学ぶ。認知心理学とは、環境との対応と環境に対する働きかけ、あるいは他者とのコミュニケーションといった、我々が生活していく上でその根幹となる機能について考えていく領域である。現象としてではなく、認知に関する理論や研究法について考察し、日常生活や社会における問題解決能力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・知覚・認知に関する理論について理解できる。
・知覚・認知に関する研究法について考察することができる。
・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができる。
・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができる。
・発達障害における知覚・認知の問題について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：認知心理学とは
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(4時間)
第2回：知覚［1］
　事前学習：錯視の例を調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：知覚［2］
　事前学習：奥行知覚について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：知覚［3］
　事前学習：聴覚について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：注意
　事前学習：カクテルパーティー効果について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：注意と発達障害
　事前学習：発達障害について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：記憶［1］記憶の基本過程
　事前学習：記憶の2過程説について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：記憶［２］短期記憶とワーキングメモリー
事前学習：「不思議な数字７±２」について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：記憶［３］長期記憶（意味記憶、エピソード記憶、手続記憶）
事前学習：タルビングの記憶区分について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：知識と記憶
事前学習：処理水準説について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）第11回：スキーマとメタ記憶
事前学習：スキーマとメタ記憶について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：言語の理解
事前学習：言語理解について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：記憶・言語と発達障害
事前学習：言語発達の遅れを示す障害について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：概念と推理
事前学習：概念獲得の研究を調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：思考と問題解決
事前学習：問題解決について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：これまでの講義内容でわからないところをまとめ、講義中に質問すること。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

毎回行うブリーフレポート（20%）、定期試験（80%）

成　績　評　価　基　準

・知覚・認知に関する理論について説明することができるか。
・知覚・認知に関する研究法について考察することができるか。
・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができるか。
・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができるか。
・発達障害における知覚・認知の問題について理解することができるか。

テキスト、参考図書

テキストは使用せず適宜プリントを配布する。

その他（受講上の注意）

授業には積極的に参加し、指示されたことや自分の考えをブリーフレポートに書きこんでください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

神経・生理心理学 (Neuro- and Physiological Psychology)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBC−2231	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

人を含めた動物全般の心的活動には脳が大きくかかわっています。この授業では、様々な心理機能の基盤となる脳を中心とした生理学的メカニズムを理解するために、前半では脳や身体の基本構造と働きについて、後半では心的活動と関連の深い生理的活動について、そのアプローチ法とともに解説します。

授業の到達目標

脳の基本構造と働きについて理解する。生理心理学的アプローチの基本について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(授業の進め方と概要)
　事前学習：「心理学概論」で学んだ生理学的心理学の内容について復習する。(2時間)
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。(2時間)
第2回：脳の構造①
　事前学習：第2回分のプリント(神経の分類)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第3回：脳の構造②
　事前学習：第3回分のプリント(中枢神経系の構造)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第4回：脳の信号①：神経細胞のはたらき
　事前学習：第4回分のプリント(神経細胞の機能)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第5回：脳の信号②：神経系のはたらき
　事前学習：第5回分のプリント(神経細胞の機能と発達)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第6回：知覚のメカニズム(グループワーク)
　事前学習：第6回分のプリント(知覚の生理学的基盤と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第7回：記憶の脳内メカニズム(グループワーク)
　事前学習：第7回分のプリント(記憶の生理学的基盤と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第8回：学習の脳内メカニズム①
　事前学習：第8回分のプリント(学習の種類とその生理学的基盤)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第9回：学習の脳内メカニズム②
　事前学習：第9回分のプリント(学習の生理学的基盤とその障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)

第10回：情動がおこる仕組み①
事前学習：第10回分のプリント（情動の生理学的基盤）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第11回：情動がおこる仕組み②
事前学習：第11回分のプリント（情動の生理学的基盤とその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：睡眠・覚醒の神経メカニズム
事前学習：第12回分のプリント（睡眠・覚醒の神経メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：生理心理学の応用①（グループワーク）
事前学習：第13回分のプリント（意識・注意の生理心理学的メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：生理心理学の応用②
事前学習：第14回分のプリント（臨床心理学との接点）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：生理心理学に関するまとめ
事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（２時間）
事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（２時間）
第16回：定期試験
各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、疑問点などをもって授業に臨んでください。事後学習で整理された質問については、次の授業回でグループワーク
をして整理し、授業の初めに議論したいと思います。

成績評価方法

定期試験（70％）　平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成績評価基準

脳の基本構造と働きについて説明することができるか。生理心理学的アプローチの基本について説明することができるか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。資料の取得方法については、その都度指示します。
参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017）
「生理心理学」 岡田隆　廣中直行・宮本孝史　サイエンス社（2005）

その他（受講上の注意）

身体と心の関係に対する基礎的な理解ができます。実験的な心理学研究に関心のある方には受講をすすめます。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学Ⅰ (Social, Group and Family Psychology Ⅰ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2235	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。
社会心理学Ⅰでは、社会の中の個人に注目し、自己意識、自己概念がどのように形成され、また個人が他者をどのように認知、理解し、自己の行動を表出させるのか、といった問題について解説する。
授業ではできるだけ実社会で起こっている現象をとりあげ社会心理的視点から理解していくことをめざす。

授業の到達目標

(1)社会心理学における基本的な概念について理解する。
(2)集団の中の個人の行動を理解する。
(3)現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(シミュレーションゲーム：ICT(Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：社会心理学について(ICT)
　事前学習：授業前に社会心理学についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第2回：自己意識について(ICT)
　事前学習：授業前に「自己意識」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第3回：自己概念について(ICT)
　事前学習：授業前に「自己概念」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第4回：自己呈示(ICT)
　事前学習：授業前に「自己呈示」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第5回：没個性化(ICT)
　事前学習：授業前に「没個性化」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第6回：原因帰属(ICT)
　事前学習：授業前に「原因帰属」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第7回：対人認知とステレオタイプ(ICT・討議)
　事前学習：授業前に「対人認知やステレオタイプ」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第8回：対人魅力(1)(ICT)
　事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第9回：対人魅力(2)(ICT)
　事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)

第10回：対人魅力（３）（ICT）
事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：対人魅力（４）（ICT）
事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：社会的動機（ICT・討議）
事前学習：授業前に「社会的動機」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：異文化交流ゲーム（１）（ゲーム）
事前学習：授業前に「シミュレーション」関連についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：異文化交流ゲーム（２）（ゲーム）
事前学習：授業前に「シミュレーション」関連についての本を読んでおくことに（２時間）
事後学習：各講義における手書きノートを作るなどすることが望ましい（２時間）
第15回：まとめと小テスト（ICT）
事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく（２時間）

成績評価方法

授業中に実施する課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　　課題・レポート40%　授業への参加態度10%】

成績評価基準

社会心理学の基本的概念について説明できるか。
集団の中の個人の行動を理解できているか。
現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができるか。

テキスト、参考図書

授業中に適宜資料を配布する。

その他（受講上の注意）

基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析、異文化交流ゲームを実施する。ゲームには必ず出席すること。
レポート課題の提出を求めることがある。また、講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動について即座に回答を求めることがある。
回収後の結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる（現在、殆どの学生がスマートフォンで対応）。
よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。
回答時以外でのスマートフォンの利用は不可、授業の中でQRで回答を求めた時にのみ使用を認める。使用を発見した場合、退出を願う場合が有る。
トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。
授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学Ⅱ (Social, Group and Family PsychologyⅡ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2236	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。
社会心理学Ⅱでは、社会の中の個人、集団の中の個人に注目して授業を行う。
現実社会で起こる様々な人間行動について過去の実験や研究を紹介しながら解説していく。
主なテーマは、社会的動機、集団や群衆行動、リーダーシップ、援助行動、攻撃行動、同調と服従などである。
また特別講義として、模擬社会ゲームに参加してもらうこととする。模擬社会ゲームは社会でおこる様々な現象や構造を理解するゲームであり、これに参加することにより大学生活ではあまり遭遇しない社会、集団の概念を理解し、心理的葛藤、集団間葛藤等を体験し、問題解決能力を向上させることができる。このような社会生活に近い体験学習を通じ人間の行動に対する理解をより深め、社会や社会の中の一部である自己を探求し、自己成長することを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

1）社会心理学における基本的な概念について理解する。
2）集団葛藤やコミュニケーションスキルについて理解する。
3）日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（シミュレーションゲーム：ICT（Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：状況の力とは（ICT）
　事前学習：授業前に「環境や状況と心理学」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第2回：個人と集団（ICT）
　事前学習：授業前に「集団とは何か」関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：集団の凝集性（ICT）
　事前学習：授業前に「凝集性」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：集団意思決定（ICT・討議）
　事前学習：授業前に「意思決定」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：リーダーシップ（ICT・討議）
　事前学習：授業前に「リーダーシップ」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：同調と服従（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「同調」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：同調と服従（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「服従」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第８回：囚人と看守実験（ICT）
事前学習：授業前に「役割取得」について関連する本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第９回：流言（ICT・討議）
事前学習：授業前に「流言」について今までに流行した流言についてまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第10回：パニック行動（ICT）
事前学習：授業前に「パニックとは何か」関連した本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：援助行動（ICT）
事前学習：授業前に「援助行動、災害、防災意識」関連ついての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：攻撃行動（１）（ICT）
事前学習：授業前に「攻撃行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：攻撃行動（２）（ICT）
事前学習：授業前に「攻撃行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：模擬社会ゲームについて（ゲーム・ICT）
事前学習：講義中にゲームのルールブックを配布する。よく読み自主的に復習すること（２時間）
事後学習：模擬社会ゲームについてまとめておく（２時間）
第15回：まとめと小テスト（ICT）
事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
事後学習：分からなかった部分についてまとめる（２時間）

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　　課題レポート40%　授業への参加態度10%】

成　績　評　価　基　準

社会心理学における基本的概念について説明できるか。
集団葛藤やコミュニケーションスキルについて説明できるか。
日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解できているか。

テキスト、参考図書

授業中に資料配布。

その他（受講上の注意）

基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析、グループディスカッション、ゲームを実施する。その際、レポート課題の提出を求めることがある。
講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動について即座に回答を求めることがある。
回収後、結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる（現在、殆どの学生がスマートフォンで対応）。
よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。
回答時以外でのスマートフォンの利用は認められない。
使用を発見した場合、退出を願う場合が有る。
トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。
授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。
SIMSOC（模擬社会ゲーム）を特別授業として行う。このゲームへの参加により、集団における心理的葛藤や協調、意思決定などを学ぶことができる。ゲームへの参加は任意ですが、参加表明された方は必ず出席すること。
人数が多い場合は抽選となることがある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅰ (Industrial and Organizational Psychology Ⅰ)			担当教員	重森　雅嘉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2233	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会や組織で必要とされる心理的スキルや知識を講義する。またコメントシートにより各自が当該事項について考え、グループディスカッションにより、それらを共有することにより深い理解をめざす。

授業の到達目標

社会や組織で必要とされる心理的なスキルや知識を理解し、簡潔に説明できる。またそれらについて自分の考えや疑問を示せる。積極的に社会や組織活動に取り組める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：産業・組織心理学の概略、授業の説明、グループディスカッション手法《グループディスカションで何を見るか》
事前学習：第1回目の授業内容について事前に調べておくこと。(2時間)
事後学習：《グループディスカションで何を見るか》について、レポート作成。(2時間)
第2回：経営理念《就職したい企業の経営理念を調べ考察》
事前学習：経営理念について事前に調べておくこと。(2時間)
事後学習：《就職したい企業の経営理念》に関するレポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)
第3回：グループディスカッション：職場で必要とされる心理スキル《グループディスカッション結果》
事前学習：職場で必要とされる心理スキルについて調べておくこと。(2時間)
事後学習：《グループディスカッション結果》について、レポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)
第4回：社会人基礎力《仁愛大学で学べる社会人基礎力に関する考察》
事前学習：社会人基礎力について調べておくこと。(2時間)
事後学習：《仁愛大学で学べる社会人基礎力に関する考察》について、レポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)
第5回：気づき(自己モニタリング、平均以上効果、危険予知)《自分の自己モニタリング傾向に関する考察》
事前学習：気づき(自己モニタリング、平均以上効果、危険予知)について調べておくこと。(2時間)
事後学習：《自分の自己モニタリング傾向に関する考察》について、レポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)
第6回：人事評価と公正性《仁愛大学の評価の公正性について考察》
事前学習：人事評価と公正性について調べておくこと。(2時間)
事後学習：《仁愛大学の評価の公正性について考察》について、レポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)
第7回：グループディスカッション：理想のリーダー、メンバーの役割《グループディスカッション結果の整理と考察》
事前学習：理想のリーダー、メンバーの役割について調べておくこと。(2時間)
事後学習：《グループディスカッション結果の整理と考察》について、レポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)
第8回：リーダーシップ　《身近なリーダーに関する評価》
事前学習：リーダーシップについて調べておくこと。(2時間)
事後学習：《身近なリーダーに関する評価》について、レポート(事後学習シート)作成及び修正。(2時間)

第９回：自主的安全リーダー 《身近な自主的リーダー》
事前学習：自主的安全リーダーについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《身近な自主的リーダー》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第10回：チームワーク（チームワークの特性、集団意思決定、集団極性化）、レポート課題説明《自分のチームでの役割》
事前学習：チームワーク（チームワークの特性、集団意思決定、集団極性化）について調べておくこと。（２時間）事後学習：《自分のチームでの役割》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
事後学習：《自分のチームでの役割》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第11回：グループディスカッション：自分の仕事にプライドを持てるか《グループディスカッション結果の整理と考察》
事前学習：グループディスディスカッションのテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《グループディスカッション結果の整理と考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第12回：職業的自尊心、組織違反、組織事故 《具体的な組織事故や犯罪をあげて考察》
事前学習：職業的自尊心、組織違反、組織事故について調べておくこと。（２時間）
事後学習：《具体的な組織事故や犯罪をあげて考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第13回：属人主義、最終レポート課題 《身の回りの組織の属人主義傾向に関する考察》
事前学習：属人主義について調べておくこと。（２時間）
事後学習：《身の回りの組織の属人主義傾向に関する考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第14回：組織の安全文化の醸成、組織のレジリエンス 《目指すべき安全な職場の姿》
事前学習：組織の安全文化の醸成、組織のレジリエンスについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《目指すべき安全な職場の姿》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第15回：グループワーク
：ピアレビューチェック
事前学習：グループワーク
の準備しておくこと。（２時間）
事後学習：グループワーク
の結果について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
授業外学修は，各回の授業に関する考察（事後学習シート）を課します（《》内各回２時間（２時間×15回＝30時間）。また同じく授業外学修として，レポートの作成，修正を課します（30時間）。（30時間＋30時間＝60時間）

成 績 評 価 方 法

レポート（30%）ピアレビュー（10%）事後学習シート（20%）授業コメント（30%）授業への取り組み（10%）

成 績 評 価 基 準

社会や組織で必要とされる心理的なスキルや知識について簡潔に説明できるか、また、自分の考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストはありません。毎回資料を配布します。

その他（受講上の注意）

携帯電話は使用禁止です。レポートは手書きは不可です。状況により座席指定の可能性があります。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅱ (Industrial and Organizational PsychologyⅡ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2234	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

産業組織の中で働く人々の心理および行動について解説する。具体的には、ストレス、ワークモチベーション、勤労観等について解説する予定である。また、それぞれの課題においてディスカッションを行う。

授業の到達目標

産業組織の中で働く人々の心理、行動について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ICT）

授業の計画及び授業外の学習方法

1．オリエンテーション（ICT）
　事前学習：産業・組織心理学についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分かったことをレポートにまとめておくこと（2時間）
2．モチベーション（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「モチベーション」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
3．モチベーション（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「組織でのモチベーション」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
4．モチベーション（3）（ICT）
　事前学習：授業前に「モチベーション」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
5．リーダーシップ（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「リーダーシップの種類」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
6．リーダーシップ（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「良いリーダーとはどのようなリーダーか」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
7．個人と組織（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「個人と組織」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
8．個人と組織（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「個人と組織」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
9．職場のコミュニケーション（ICT）
　事前学習：授業前に「職場のコミュニケーション」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
10．組織とストレス（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「ストレス」について関連する本を読み、自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

11. 組織とストレス（2）（ICT）
　　事前学習：授業前に「組織とストレス」について実際の事例をさがしておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
12. 組織とストレス（3）（ICT）
　　事前学習：授業前に「組織とストレス」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
13. 職場のメンタルヘルス（1）（ICT）
　　事前学習：授業前に「職場のメンタルヘルス」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
14. 職場のメンタルヘルス（2）（ICT）
　　事前学習：授業前に「職場のメンタルヘルス」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
15. ワーキングプア（ICT）
　　事前学習：授業前に「自己意識」についての本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

各回に関連する心理学的事象について講義前・講義後において理解を深めるよう努力すること。
その際、関連論文・参考文献等講義内にて指示する

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　課題・レポート40%　授業への参加態度10%】

成　績　評　価　基　準

産業組織の中で働く人々の心理および行動について、説明および考察することができるか。

テキスト、参考図書

適宜授業で配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。

その他（受講上の注意）

講義形式だが、より理解を深めるため、必要に応じてVTR視聴、自己分析、を実施する。
講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動、産業組織における様々な問題について回答を求めることがある。
回収後の結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる（現在、殆どの学生がスマートフォンで対応）。
よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。
回答時以外でのスマートフォンの利用は不可、使用は認められない。
使用を発見した場合、退出を願う場合が有る。
トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。
授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別講義 (Topics in Psychology)			担当教員	片畑真由美、西村　則昭、大森　慈子、 水田　敏郎、山本　雅代、三脇　康生、 森　　俊之、森本　文人、吉水ちひろ、 竹村　明子、渡辺　克徳、稲木康一郎、 杉島　一郎、氏田　麻美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-F-2239	2単位	2年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学科の全教員が1回の持ち回りで講義を行うオムニバス形式の授業である。各専任教員が専門とする心理学の諸分野を解説する。

授業の到達目標

心理学の諸分野について理解を深める。様々なトピックスに触れる中で、心理学に対する関心を高める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(学科ガイダンス時に実施する)
　　事前学習：なし　事後学修：関心のある心理学分野について調べておく(4時間)
第2回：各教員が専門とする内容①稲木　康一郎
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第3回：各教員が専門とする内容②氏田　麻美
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第4回：各教員が専門とする内容③大森　慈子
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第5回：各教員が専門とする内容④竹村　明子
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第6回：各教員が専門とする内容⑤杉島　一郎
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第7回：各教員が専門とする内容⑥西村　則昭
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第8回：各教員が専門とする内容⑦水田　敏郎
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第9回：各教員が専門とする内容⑧三脇　康生
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)
第10回：各教員が専門とする内容⑨森　俊之
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間)
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)

第11回：各教員が専門とする内容⑩森本　文人
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第12回：各教員が専門とする内容⑪山本　雅代
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第13回：各教員が専門とする内容⑫吉水　ちひろ
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第14回：各教員が専門とする内容⑬渡辺　克徳
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第15回：各教員が専門とする内容⑭未定
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
＊担当教員全員が一回ずつ担当する授業になる。担当者の順はオリエンテーション時に伝える。
毎回担当教員が変わるため、疑問や予め知っておきたい事項があるときには、時間外（オフィスアワーなど）を活用して、担当教員に質問などをするようにして、予習・復習をする。また、担当教員により、グループワークを実施する場合もある。

成　績　評　価　方　法

小レポート（50％）　平常点（50％）
（毎回、授業後に小レポートを課す。平常点は授業への参加状況・受講態度などを総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

各授業において担当教教員の説明する心理学的トピックについて理解を深めることができたか。また、あわせて関心や疑問をもつことができたか。

テキスト、参考図書

使用しない

その他（受講上の注意）

①３年生から始まるゼミ（心理学特別演習Ⅰ・Ⅱ）の担当教員や４年生の卒業研究のテーマを決めるうえで、重要な授業となります。週ごとに担当教員が変わるので、毎回出席してください。
②スケジュールに変更がある場合は、学科ガイダンス（オリエンテーション）にて説明し、心理学科掲示板に掲示するので必ず事前に確認して臨んでください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本の言語文化a (Japanese Language and Culture a)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2205	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降の日本文学とそれを原作とした映画を取り上げ、言語と文化・社会の変化について考える。文字表現による文学、映像・音声表現による映画の特性に着目しながら、作中の日本語や文化・社会の表現について考察する。

授業の到達目標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、日本の言語・文化について認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(課題提出)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。(2時間)
　事後学習：復習課題の概要を把握しておく。(2時間)
第2回：森鴎外、小説「舞姫」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。(2時間)
第3回：小説「舞姫」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。(2時間)
第4回：小説「舞姫」(3)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。(2時間)
第5回：小説「舞姫」(4)、映画「舞姫」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を提出する。(2時間)
第6回：映画「舞姫」(2)
　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題2を提出する。(2時間)
第7回：泉鏡花、小説「外科室」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を行う。(2時間)
第8回：小説「外科室」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を提出する。(2時間)
第9回：映画「外科室」
　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を提出する。(2時間)
第10回：伊藤左千夫、小説「野菊の墓」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を行う。(2時間)

第11回：小説「野菊の墓」（２）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を行う。（２時間）
第12回：小説「野菊の墓」（３）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を行う。（２時間）
第13回：小説「野菊の墓」（４）、映画「野菊の墓」（１）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を提出する。（２時間）
第14回：映画「野菊の墓」（２）
　　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題６を提出する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

復習課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

テキスト、参考図書

森鴎外・井上靖　『現代語訳　舞姫』（ちくま文庫）　筑摩書房　2006年
泉鏡花　『外科室・海上発電 他五篇』（岩波文庫）　岩波書店　1991年
伊藤左千夫　『野菊の墓』（新潮文庫）　新潮社　1955年

その他（受講上の注意）

授業で使用するPowerPointの資料を配付するので、気づいたこと･考えたことをノート欄に記入すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

言語コミュニケーション論 (Verbal Communication)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2206	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションにおける言語の役割について学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

円滑な人間関係を維持する上で、必要となる言語的要素について知識を得る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前に言語を用いたコミュニケーションについて、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第2回：ことばと社会（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第3回：方言（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第4回：方言（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第5回：呼称（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第6回：呼称（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第7回：対人関係の親密化（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第8回：対人関係の親密化（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第9回：自己開示（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第10回：自己開示（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第11回：自己呈示（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）

第12回：自己呈示（2）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第13回：ポライトネス理論（1）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第14回：ポライトネス理論（2）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
予習として、各回に関連する資料を読み、あらかじめ疑問点を考えておくこと。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

コミュニケーションにおいて、言語が果たす役割を説明することができるか。

テキスト、参考図書

参考図書　町田健・籾山洋介　『よくわかる言語学入門』　バベルプレス　1996年
その他、適宜プリントを配布する。

その他（受講上の注意）

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず国語辞書（電子辞書可）を持参すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報社会論 (Information and Society)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2207	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報サービスは、ビジネスの形態に大きく影響を与えます。たとえば、ブログやマイクロブログの登場により、個々人が情報を発信する社会が実現されました。その流れに伴い、個々人が発生した生の声を解析・操作する口コミマーケティングやモバイル端末と拡張現実の組み合わせによる広告モデルなど、最新のサービスに合わせたアプローチが数多く提案されています。本講義では、様々な情報サービスを題材として、「最新の技術やサービスを知る」、「知った技術やサービスがどのようにビジネスで活用されているかを把握する」、「モデル事例（社会における課題）を紹介し、その課題に対してどのような技術やサービスが適用できるかを考える」の3つの流れを繰り返し実施します。このことにより、社会に出た際に、最新の技術の知識を持っているだけではなく、その知識をどのように活かせばよいかを学ぶ力を身につけさせることを目的とします。

授　業　の　到　達　目　標

最新の技術やサービスを知り、知った技術やサービスをどのようにビジネスで活用できるかを提案する技術や知識を習得すること

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　情報とは何か
　事前学習：シラバスをよく読み、自分なりの観点で『情報』の理解を深めること（2時間）
　事後学習：情報について理解し、世の中で利用されている情報について理解を深めること（2時間）
第2回：情報コミュニケーションツールの最新事例の紹介
　事前学習：世の中で利用されている情報コミュニケーションツールについて理解を深めること（2時間）
　事後学習：授業資料をよく読み、コミュニケーションツールとその成り立ちについて復習すること（2時間）
第3回：ビックデータとは何か
　事前学習：ビックデータという言葉について調べ、世の中でどのように利用されているのか事前学習すること（2時間）
　事後学習：次回の授業よりグループワーク
　を行うため、世の中の情報コミュニケーションツールについて調査し、理解を深めること（2時間）
第4回：グループワーク
①（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：ツールの選定）
　事前学習：グループワーク
　を円滑に進めるための方法について調査し、理解を深めること（2時間）
　事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（2時間）
第5回：グループワーク
②（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：ツールが利用されているサービスの収集）
　事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（2時間）
　事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（2時間）

第６回：グループワーク
③（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：各サービスの強みと弱みのまとめ）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第７回：グループワーク
④（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：発表用資料の作成）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：発表準備を行うこと（２時間）
第８回：発表（情報コミュニケーション）
事前学習：グループメンバーで集まり発表練習を行うこと（２時間）
事後学習：グループで集まり、グループの反省点、良かった点をまとめ総括を行うこと（２時間）
第９回：グループ分け、情報社会と就活
事前学習：前回のグループワーク
の反省を活かしつつ、グループワーク
を円滑に進めるための方法について調査し、理解を深めること（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第10回：グループワーク
①（企業を採点しよう～企画・立案～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第11回：グループワーク
②（企業を採点しよう～調査～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第12回：グループワーク
③（企業を採点しよう～ヒアリング・分析～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第13回：グループワーク
④（企業を採点しよう～プレゼンテーション作成～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：発表準備を行うこと（２時間）
第14回：発表（情報社会と就活）
事前学習：グループメンバーで集まり発表練習を行うこと（２時間）
事後学習：グループで集まり、グループの反省点、良かった点をまとめ総括を行うこと（２時間）
第15回：外部講演（情報化社会を生き抜くために）
事前学習：講演内容については講義後半に説明する。その内容について自分なりに調べ事前学習すること（２時間）
事後学習：講義内容について事後レポートを記載し提出すること（２時間）

成　績　評　価　方　法

授業中のグループワーク
での発言と各グループの発表（１グループ15分程度×２）の内容および日々の発言内容等を加味して総合的に評価する。
発表（50%）　　平常点（50%）（平常点はディスカッションの参加度や発言内容を加味して総合的に判断する）

成　績　評　価　基　準

身の回りのさまざまな情報について主体的に読み解くことができるか。
最新の技術やサービスがどのようにビジネスで活用されているかを調査する力や，新しいビジネスを考案する知識を習得できているか。

テキスト、参考図書
使用しない。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

公共政策 (Public Policy)			担当教員	竹内　直人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2208	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

新聞記事から学生が自ら公共政策に関する記事を選ぶことを出発点とする。記事を手掛かりに、公共政策の基礎理論を分かりやすく解説するとともに、学生同士でディスカッションや発表を行う。

授業の到達目標

我々の暮す社会は自由な社会であること。自由であるからこそ、公共政策が必要であることを理解するとともに、地域や社会への関心を広げることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：新聞から国、県、市町の「公共政策」を探す。
　　グループワーク
（ディスカッション含む）と発表　テーマ：私の選んだ「公共政策」
　　事前学習：公共政策に関する新聞を読み、記事を選んでくる。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第2回：私たちが生活する社会の特徴＝自由な社会
　　事前学習：配布資料（旧民法）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第3回：私たちが生活する社会の特徴＝組織社会
　　事前学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第4回：自由な社会の制度（契約自由と社会契約）を理解する。
　　事前学習：配布資料（民法555条、コモン・センス（抜粋））を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第5回：市民の自由を守る仕組み＝民事法と刑事法
　　事前学習：配布資料（民法709条、刑法235条、国家賠償法）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第6回：自由な社会は効率社会（市場のしくみ）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第7回：政府はなぜ必要か（市場の失敗＝公共政策の必要性）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第8回：政府はなぜ無駄使いなのか（政府の失敗）
　　事前学習：小テストを行います。（2時間）
　　事後学習：小テストの復習。（2時間）
第9回：公共政策の例と手法（1：外部性）
　　グループワーク
（ディスカッション含む）と発表　テーマ：個人のフラワーガーデン整備に補助金を出せるか。
　　事前学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）

第10回：公共政策の例と手法（２：情報非対称性）
　　グループワーク
　　（ディスカッション含む）と発表　テーマ：中古車の売り手と買い手
　　事前学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（２時間）
第11回：公共政策の担い手（公務員とNPO）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第12回：国と地方の公共政策（ソーシャルキャピタルと地方分権）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第13回：公共政策を読む（ソーシャル・キャピタル政策を探す）
　　グループワーク
　　（ディスカッション含む）と発表　テーマ：福井県の政策を考える。
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第14回：新しい公共政策（ソーシャル・キャピタル政策を作る）
　　グループワーク
　　（ディスカッション含む）と発表　テーマ：越前市の政策を考える。
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第15回：新しい公共政策（ボランティアの活躍）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）　小レポート（30%）　平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

自由な社会の特徴とその課題および公共政策の必要性について説明できること。

テキスト、参考図書

秋吉貴雄（2017年）『入門　公共政策』（中公新書）

その他（受講上の注意）

次回の授業に使用する資料を事前に配布するので、必ず読んでおくこと。
第14回目に小レポートを提出する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プレゼンテーション技法 (Presentation Skills)			担当教員	北神　慎司
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2212	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授業の内容

Power Pointを用いて、プレゼンテーションのための技法を習得する演習を行う。その前段階として、図表をはじめとして、情報をわかりやすく伝えるための手段の一つであるビジュアライゼーション（視覚化）についての解説と絵集を行う。さいごに、まとめとして、グループによるプレゼンテーションと相互評価を実施する。

授業の到達目標

ビジュアライゼーションのスキルやPower Pointの基本的な操作スキルを習得するだけでなく、自らのアイデアと適切な情報収集によって、プレゼンテーションの企画立案を行い、説得的なコミュニケーションという位置づけにおいて、魅力あるプレゼンテーションを実現できる能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション（プレゼンテーションとは？）
　事前学習：授業のシラバスを十分理解できるまで読んでおく。（2時間）
　事後学習：Power Pointで自己紹介用のスライドを作成しておくこと。（2時間）
第2回：ビジュアル・コミュニケーションって何？
　事前学習：テキストのP.1〜10を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや，および，分からないことがあったら，図書館やインターネットを活用して調べておくこと。（2時間）
第3回：ビジュアル・コミュニケーションの概説（1）
　事前学習：テキストのP.11〜24を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや，および，分からないことがあったら，図書館やインターネットを活用して調べておくこと。（2時間）
第4回：ビジュアル・コミュニケーションの概説（2）
　事前学習：テキストのP.24〜28を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや，および，分からないことがあったら，図書館やインターネットを活用して調べておくこと。（2時間）
第5回：ビジュアライゼーション（視覚化）の演習（1）
　事前学習：テキストのP.29〜39を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアライゼーションを行っておくこと。（2時間）
第6回：ビジュアライゼーション（視覚化）の演習（2）
　事前学習：テキストのP.40〜58を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアライゼーションを行っておくこと。（2時間）
第7回：ビジュアル・デザインの演習（1）
　事前学習：テキストのP.59〜74を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアル・デザインを行っておくこと。（2時間）

第８回：ビジュアル・デザインの演習（２）
事前学習：テキストのP.74～90を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアル・デザインを行っておくこと。（２時間）
第９回：プレゼンテーションの企画とスライドの作成（１）（グループワーク）
事前学習：グループでのプレゼンテーションのテーマを複数案考えてくること。（２時間）
事後学習：授業時にグループで決めプレゼンテーションのテーマについて，図書館やインターネットを利用して調べておくこと。（２時間）
第10回：プレゼンテーションの企画とスライドの作成（２）（グループワーク）
事前学習：スライドのコンテンツを整理しておくこと。（２時間）
事後学習：テキストを見返しながら授業時に作成したスライドをさらに洗練させておくこと。（２時間）
第11回：プレゼンテーションの企画とスライドの作成（３）（グループワーク）
事前学習：口頭での説明の原稿を作成しておくこと。（２時間）
事後学習：テキストを見返しながら授業時に作成したスライドをさらに洗練させておき，完成させておくこと。（２時間）
第12回：プレゼンテーション演習と評価（１）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第13回：プレゼンテーション演習と評価（２）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第14回：プレゼンテーション演習と評価（３）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第15回：プレゼンテーション演習と評価（４）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）

成績評価方法

課題等の提出物を30%、授業における発表を50%、平常点を20%として評価する。なお、平常点は、授業への参加状況・受講態度・授業中の発言等を総合して判断する。

成績評価基準

ビジュアライゼーションの考え方を理解しそれを実践できること、Power Point を操作することによって、プレゼンテーションのスライド（資料）を作成することができること、また、そのスライドを用いて、プレゼンテーションの評価項目に留意しながら、魅力あるプレゼンテーションを行うことができることについて、受講生の評価も考慮に入れつつ評価する。

テキスト、参考図書

ワイルマン、R.E.・井上智義・北神慎司・藤田哲也『ビジュアル・コミュニケーション』北大路書房 2002年

その他（受講上の注意）

授業の中では、グループワーク
も予定しているため、できるだけ欠席をすることのないように留意すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発論Ⅰ (Study of Planning and Development Ⅰ)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOO− 2216	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目では、「企画開発」に必要となる知識の修得を目指します。国内外における地域活性化のケーススタディをおこないながら、アイディア発想と論理的思考のためのフレームワーク、および「検索」の技術について考えます。

授　業　の　到　達　目　標

・アイディアを発想するための具体的方法をいくつか修得する
・ものごとを企画する（くわだてる）ための論理的思考の基礎を修得する
・「検索」の意義と基本的方法を理解する

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（講義の目的とマインドセット）
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e−learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：アイディア発想の方法①ーバグリスト、ノンストップライティングなど
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第3回：アイディア発想の方法②ーなぜなぜ分析、コンセプト・ファンなど
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第4回：アイディア発想の方法③ー仮定破壊、問題逆転など
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第5回：アイディア発想の方法④ーオズボーン・チェックリストなど
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第6回：論理的思考の方法①ーMECE、ロジックツリー、マトリクスなど
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第7回：論理的思考の方法②ーPEST分析、3C分析、SWOT分析など
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第8回：論理的思考の方法③ーセグメンテーションとターゲッティングなど
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）

第９回：論理的思考の方法④ーバランス・スコア・カードなど
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第10回：中間テスト
事前学習：授業前に第９回までの内容を復習すること。（２時間）
事後学習：テストを振り返り、不明な点を復習すること（２時間）
第11回：中間テストの返却とリフレクション
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてここまでの全体のリフレクションを実施すること。（２時間）
第12回：「検索」の方法①ー「検索」とは何か（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第13回：「検索」の方法②ーズームとフォーカス（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第14回：「検索」の方法③ーシソーラス（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第15回：講義のまとめとデブリーフィング
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

中間テスト（40％）、期末レポート（40％）、平常点（20％）。
平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容、小課題等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・アイディア発想の知識を理解しているか
・論理的思考の知識を理解しているか
・「検索」の重要性を理解し、情報を適切に検索できるか

テキスト、参考図書

特定のテキストは指定しません。講義中に適宜紹介します。

その他（受講上の注意）

他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザイン文化論 (Design and Culture)			担当教員	舩山　俊克
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOO− 2217	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

近代日本の隆盛を支えたデザインの世界。西欧社会や我が国のデザイン教育および社会的なデザイン活動における歴史的検証から今後のデザイン活動のあり方について考察する。

授業の到達目標

デザインに関する本質的概念の理解と、日常生活やそれを取り巻く生活環境におけるデザイン（行為も含む）の存在意義や効果について多様な視点を持てるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「デザイン」に対する「自分の考え」を漠然とで良いので考えること（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第2回：デザイン・designの意味
　事前学習：英語の辞書または英英辞書で「design」という言葉を調べ、それに関連する用語も調べてみること（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第3回：デザインの歴史①
　事前学習：これまでに学んできた「歴史」の授業を思い出し、その必要性について考えてみること（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第4回：デザインの歴史②
　事前学習：前回の授業を踏まえ、歴史を学ぶ上での自分自身のモチベーションを整理しておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第5回：デザイン基礎：文字
　事前学習：「デザインにおける文字」とはどういうことか、考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第6回：デザイン基礎：色彩
　事前学習：「デザインにおける色彩」とはどういうことか、考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第7回：デザイン基礎：レイアウト
　事前学習：「デザインにおけるレイアウト」とはどういうことか、考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第8回：実習①（PBL・グループワーク）
　事前学習：7回までの授業内容を振り返っておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第9回：実習②（ディスカッション）
　事前学習：前回の実習内容を振り返り、修正点などを明確にしておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第10回：実習③（実技）
　事前学習：前回の実習内容を振り返り、修正点などを明確にしておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）

第11回：プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーションする内容を整理し、リハーサルを行っておくこと（2時間）
　　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第12回：振り返り
　　事前学習：11回までの内容を振り返っておくこと（2時間）
　　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第13回：コンシリエンスデザインについて
　　事前学習：新しい言葉に向かう時にすべきことを整理しておくこと（2時間）
　　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第14回; 未来創成としてのデザイン
　　事前学習：自分にとっての未来と社会にとっての未来を考えておくこと（2時間）
　　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第15回：総括
　　事前学習：14回までの内容を振り返っておくこと（2時間）
　　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）

成　績　評　価　方　法

レポート50%,平常点50%（平常点は，授業への参加状況、受講態度、レポートの提出等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

デザインおよびデザイン思考に関して自らの観点や考察を行えるかどうか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

必要に応じて紹介する。

その他（受講上の注意）

授業時以外の調査などの作業を要する。
大学生ならではの行動力を生かし、生活環境や周辺社会での観察を活発に行う。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

地域経済論 (Regional Economics)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOC−2223	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、地域社会学的な視点から、地域の経済活動を「人びとの営み」として包括的に理解するために必要な理論と知識の枠組みを学びます。そのうえで、具体的事例をもとに地域のこれからの経済のあり様に対する考えを深めます。

授業の到達目標

・地域活動に関する経済学、社会学および地域開発を理解する知識を修得する。
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいて意見を述べ、説明できる。
・講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第2回：経済活動と社会・地域
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第3回：「地域活動」を捉える視角①
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第4回：「地域活動」を捉える視角②
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第5回：「地域活動」を捉える視角③　(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第6回：地域開発の理論①
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第7回：地域開発の理論②
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)

第８回：地域開発の理論③　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第９回：日本の地域開発の歴史①── 地域間格差の是正と全国総合開発計画
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第10回：日本の地域開発の歴史②── バブル経済とそれ以降の地域開発
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第11回：「来るべき経済」を考える ── 具体的な事例を考えてみる　（課題解決型学習（PBL）、討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第12回：具体的な地域経済①　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第13回：具体的な地域経済②　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第14回：具体的な地域経済③　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第15回：講義のまとめ（課題解決型学習（PBL）、討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して、要点をまとめて整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（４時間）

成　績　評　価　方　法

レポート（70%）平常点（30%）
?平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
?internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は、不可になります。

成　績　評　価　基　準

・経済学、社会学および地域開発を理解する知識を修得しているか。
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に説明できるか。
・講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができるか。

テキスト、参考図書

特定のテキストは指定しません。講義中に適宜紹介します。

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報システム論 (Introduction to Sociology b)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2224	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

情報システムを支える基盤技術(データベース、ネットワーク、セキュリティ、認証など)の概念と原理を現実社会の例と照らし合わせて学ぶ。
講義の内容によっては座学だけでなく、ディスカッション等も取り入れる場合がある。

授業の到達目標

情報システムに関する知識を習得した上で、利用者、導入者、管理者、開発者等の様々な視点から情報システムを分析し、提案できる能力を身に着ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(スマホを用いた実習・課題)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル　情報とは何か
　事前学習：シラバスを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第1回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第2回：データの種類と拡張子について、コンピューターの特徴
　事前学習：第1回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第2回を読み、課題を提出すること(2時間)
第3回：高度情報化社会とコンピューター
　事前学習：第2回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第3回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第4回：コンピュータの仕組みと5大機能
　事前学習：第3回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第4回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第5回：第1回から第4回のまとめ
　事前学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、復習を行うこと(2時間)
第6回：情報の計算
　事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲をまとめること(2時間)
　事後学習：第6回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第7回：情報の表現
　事前学習：第6回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第7回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第8回：ネットワークをつなぐ
　事前学習：第7回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第8回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第9回：ネチケットとインターネットの落とし穴
　事前学習：第8回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第9回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第10回：第6回目から第9回目計算問題まとめ
　事前学習：第6回から第9回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：第6回から第9回までの授業資料を読み、復習を行うこと(2時間)

第11回：福祉と情報、プログラミング思考
　　事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲を復習すること（２時間）
　　事後学習：第11回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第12回：情報システムにおけるアルゴリズム
　　事前学習：第11回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第12回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第13回：フローチャートの記述（実習）
　　事前学習：第12回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第13回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第14回：データベースについて（実習）
　　事前学習：第13回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第14回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第15回：デザイン思考について
　　事前学習：第14回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第15回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第16回：定期試験
この授業では、非常に多くの関連する用語について、その意味などを理解する必要があるので、情報関連の用語事典なども参考にすること。

成　績　評　価　方　法

定期試験50%、授業内小テストおよび課題50％

成　績　評　価　基　準

情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解し、説明できているかを評価の基準とする。

テキスト、参考図書

授業は自作スライドを中心に行う。特定のテキストは指定しないが、参考図書については講義中に適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本の言語文化b (Japanese Language and Culture b)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2226	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降の日本文学とそれを原作とした映画を取り上げ、コミュニケーションの様相について考える。文字表現による文学、映像・音声表現による映画の特性に着目しながら、登場人物のコミュニケーションや文化・社会の表現について考察する。

授業の到達目標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、コミュニケーションの様相について認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(課題提出)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。(2時間)
　事後学習：復習課題の概要を把握しておく。(2時間)
第2回：宮沢賢治、童話「銀河鉄道の夜」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。(2時間)
第3回：童話「銀河鉄道の夜」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。(2時間)
第4回：童話「銀河鉄道の夜」(3)、映画「銀河鉄道の夜」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、童話の復習課題1を提出する。(2時間)
第5回：映画「銀河鉄道の夜」(2)
　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、映画の復習課題2を提出する。(2時間)
第6回：野坂昭如、小説「火垂るの墓」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を行う。(2時間)
第7回：小説「火垂るの墓」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を行う。(2時間)
第8回：小説「火垂るの墓」(3)、映画「火垂るの墓」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を提出する。(2時間)
第9回：映画「火垂るの墓」(2)
　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を提出する。(2時間)
第10回：小川洋子、小説「博士の愛した数式」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を行う。(2時間)

第11回：小説「博士の愛した数式」（２）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を行う。（２時間）
第12回：小説「博士の愛した数式」（３）、
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を行う。（２時間）
第13回：小説「博士の愛した数式」（４）、映画「博士の愛した数式」（１）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を提出する。（２時間）
第14回：映画「博士の愛した数式」（２）
　　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題６を提出する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

復習課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて、十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

テキスト、参考図書

宮沢賢治　『新編 銀河鉄道の夜』（新潮文庫）　新潮社　1989年
野坂昭如　『アメリカひじき・火垂るの墓』（新潮文庫）　新潮社　1972年
小川洋子　『博士の愛した数式』（新潮文庫）　新潮社　2005年

その他（受講上の注意）

授業で使用するPowerPointの資料を配付するので、気づいたこと･考えたことをノート欄に記入すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学Ⅱ (English Linguistics Ⅱ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英語学への理解を深め、体系的な英語の知識を身に付ける。国際共通語としての英語の運用面に焦点をあて、英語使用の多様性を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

英語の概要・背景を学び、異文化理解力および英語力を多面的に向上させる。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、英語学Ⅰの復習を行うこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第2回：英語と社会的属性(1)地域方言(イギリスの地域方言的特徴・英語の変種と方言の関係)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第3回：英語と社会的属性(2)社会階層(階層方言・Trudgill (1943) によるイギリスのノリッジ調査・Labov (1966) によるアメリカのニューヨーク調査)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第4回：英語と社会的属性(3)ジェンダー(社会集団としてのジェンダー・英語運用にみられるジェンダー)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第5回：英語の発話行為(1)語用論とは(ソシュールのパロールとラング)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第6回：英語の発話行為(2)お礼(発話行為の仕組み・英語による「お礼」のストラテジー・「お礼」の日英比較)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第7回：英語の発話行為(3)侘び(「詫び」という発話行為・「詫び」の日英比較)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第8回：英語のポライトネス(1)協調の原理(談話分析・Grice・会話の含意)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第9回：英語のポライトネス(2)Brown & Levinson (1987)(ポライトネス理論・消極的面目と積極的面目)(ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)

第10回：英語のポライトネス（3）日米比較（日米の依頼行為にみるポライトネス）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第11回：談話分析とは（談話分析の研究対象）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第12回：英語文化とコミュニケーションスタイル（1）異文化コミュニケーション（国民文化・サブカルチャー）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第13回：英語文化とコミュニケーションスタイル（2）文化モデル（Hall（1976）モデル・Hofstede（1928）モデル）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第14回：英語文化とコミュニケーションスタイル（3）日英コミュニケーション（アカデミック談話にみる事例研究）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直して復習をしてください。

成績評価方法

期末レポート（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。

成績評価基準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、異文化への理解ができているのか。

テキスト、参考図書

テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房　2016年
参考図書：よくわかる社会言語学（田中春美、田中幸子著、ミネルヴァ書房 平成27年）

その他（受講上の注意）

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文講読 a (English Reading a)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2232	2 単位	2 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。

授業の到達目標

多読に親しみ、望ましい読書習慣を身につける。多様なリーディング・ストラテジーを理解し読みの目的に応じて使用できる。詩やスピーチを読んで暗唱できる。効果的な語彙学習の方法を知り語彙力を高めることができる。テキストに明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができる。英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイディアを把握できる。必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べることができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：多読：目的と読み方、望ましい読書習慣
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2 時間)
　事後学習：多読の目的と読み方、望ましい読書習慣を復習する。(2 時間)
第 2 回：多読：読書レポート、読書記録、本の選択
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2 時間)
　事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。(2 時間)
第 3 回：プレビューイング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2 時間)
　事後学習：多読用の本を規則的に読む。(2 時間)
第 4 回：スキャニング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2 時間)
　事後学習：スキャニングの練習をする。(2 時間)
第 5 回：レシテーション：英詩、発表 (ストーリーテリング)
　事前学習：事前に詩人のプロフィールを読んでおく。(2 時間)
　事後学習：暗唱課題の英詩を読んで理解する。(2 時間)
第 6 回：スキミング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2 時間)
　事後学習：スキャニングの練習をする。(2 時間)
第 7 回：読みのストラテジー
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2 時間)
　事後学習：読みのストラテジーを整理する。(2 時間)
第 8 回：語彙学習：辞書の活用
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2 時間)
　事後学習：語彙学習：辞書の活用について復習し、課題をする。(2 時間)

第９回：語彙学習：品詞、語形成、文脈による語義の推測
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：品詞、語形成、文脈による語義推測の練習問題をする。（２時間）
第10回：情報収集のための読みとディスカッション（グループワーク）：環境問題
　　事前学習：事前に環境問題に関する資料を読む。（２時間）
　　事後学習：環境問題に関して、自分の意見を英語でまとめる。（２時間）
第11回：推論、レシテーション：スピーチ
　　事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。（２時間）
　　事後学習：スピーチのスクリプトを読んで、理解する。（２時間）
第12回：パラグラフの理解：トピック、メインアイディア
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：パラグラフのトピック・メインアイディアについて復習課題をする。（２時間）
第13回：パラグラフの理解：パラグラフの構成
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。（２時間）
第14回：情報収集のための読みとディスカッション：社会問題
　　事前学習：事前に社会問題について調べておく。（２時間）
　　事後学習：社会問題の解決策を英語でまとめる。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：暗唱課題を復習する。（２時間）
　　事後学習：読みのストラテジー及びパラグラフの構成について復習課題をする。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

1. 多読（reading for pleasure）に親しむことができたか。
2. 多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
3. 詩やスピーチを読んで暗唱できるか。
4. 効果的な語彙学習の方法を知り、語彙力を高めることができるか。
5. 明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができるか。
6. 英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイディアを把握できるか。
7. 必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べることができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：MORE READING POWER　Mikulecky, B.S., and L. Jeffries.　Addison－Wesley Publishing Company.
参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌等の記事、NetAcademy

その他（受講上の注意）

なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文講読b (English Reading b)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2233	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。

授業の到達目標

多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できる。読んだ物語を英語で話すことができる。英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できる。新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができる。読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができる。速読の方法を理解し、英文を速読できる。正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：リーディング・ストラテジー
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2時間)
　事後学習：リーディング・ストラテジーを整理し、復習する。(2時間)
第2回：ストーリーテリング(発表)
　事前学習：ストーリーテリング用のメモを作成し、リハーサルしておく。(2時間)
　事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。(2時間)
第3回：英文構成パターン：列挙・連続(時系列)・比較のパターン
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)
　事後学習：列挙・連続(時系列)・比較のパターンの復習課題をする。
　多読用の本を規則的に読む。(2時間)
第4回：英文構成パターン：因果関係・問題解決のパターン
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)
　事後学習：因果関係・問題解決のパターンの復習課題をする。
　多読用の本を規則的に読む。(2時間)
第5回：英字新聞の読み方：記事の構成、見出しのルール、リード
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)
　事後学習：英字新聞の記事の構成、見出しのルール、リードについて復習する。
　多読用の本を規則的に読む。(2時間)
第6回：英字新聞の読み方：スキャニング、レポート
　事前学習：英字新聞の記事を読み、レポーティングの準備をする。(2時間)
　事後学習：多読用の本を規則的に読む。(2時間)
第7回：ニュース・レポーティングとディスカッション(グループワーク)：社会問題
　事前学習：事前に社会問題に関する記事を読み、理解しておく。(2時間)
　事後学習：社会問題についての意見をまとめる。
　多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第８回：レシテーション：スピーチ
　　事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。（２時間）
　　事後学習：スピーチのスクリプトを読んで、理解する。（２時間）
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第９回：速読：目的と読み方
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：速読の目的と読み方を復習する。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第10回：速読：読むスピードの測定方法・記録
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：速読の練習課題をし、読むスピードを記録する。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第11回：ニュース・レポーティングとディスカッション：教育問題（発表）
　　事前学習：事前に教育問題に関する記事を読み、理解しておく。（２時間）
　　事後学習：教育問題についての意見をまとめる。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第12回：精読の方法
　　事前学習：事前に精読用資料を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第13回：精読：説明文
　　事前学習：事前に説明文を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第14回：精読：小説
　　事前学習：事前に小説を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：読みの目的に応じた読み方を再確認する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

1. 多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
2. 読んだ物語を英語で話すことができるか。
3. 英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できるか。
4. 新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができるか。
5. 読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができるか。
6. 速読の方法を理解し、英文を速読できるか。
7. 正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：MORE READING POWER Mikulecky, B.S., and L. Jeffries. Addison-Wesley Publishing Company.
参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌・BBC・CNN等の記事、NetAcademy

その他（受講上の注意）

なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英米文化論 (Anglo-American Cultural Studies)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2234	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英国および米国の文化と、世界の多様な文化とを対比しながら学んでいく。本授業では、「食」を手がかりに、英国・米国に加え、世界各国の食にまつわる伝統・文化についての知識と理解を深める。

授業の到達目標

・「食」を切り口とした、英国・米国を含む世界の多様な文化について学ぶ。
・上記の事柄に関し、調べ学習を通して理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(事前の調べ学習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：教科書に目を通すこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：Why are Jewish dietary laws so strict?
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：The reason why Muslims will not eat pork
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：Christianity did away with food taboos
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：The meat and drink taboos of Buddhism
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：America was once the world's leading whaling nation
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：Mussels are a "must" with spaghetti
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：Is Paris best for tuna, and Southeast Asia best for red sea bream?
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：Cultures that eat dog meat
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：Snails are sold at fish shops
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：Don't say "It's only an egg".
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：Shabu－shabu and fondue
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：Which is tastier, sukiyaki or gyunabe
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：The relation between cacao and chocolate
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、授業内課題（40％）、平常点（20％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・「食」を切り口とした、英国・米国を含む世界の多様な文化に関する知識を身につけたか。
・上記の事柄に関し、調べ学習ができたか。

テキスト、参考図書

大橋久利、Baxter, Blake（2016）『食文化で知る東洋、西洋』成美堂

その他（受講上の注意）

本講義を受ける前に、「異文化理解a」「異文化理解b」の単位を取得すること。
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発演習Ⅰ (Practice in Planning and Development Ⅰ)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2252	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

多様な他者との対話・触発・協働によって、他者にとって有意義なコト（イベント、ゲームなど）を企画開発し、プロトタイピング（試作試行）し、磨き、振り返り、改善・革新へと結びつける体験を繰り返すことで、企画開発力を実践的に学ぶ。

授業の到達目標

1．多様な他者との対話・触発・協働によって自他の創造性を高めあい、斬新かつ発展性のある企画の実現ができる。
2．自分とは価値観が異なる他者にとって、有意義であるとはどういうことかへの想像力を獲得する。
3．企画の実現にとって事前、最中、事後にそれぞれ必要なことがわかる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：これからの世界と企画開発力の関係を理解する
第2回：伝わるとは、どういう状態だろうか（グループワーク）
　事前学習：自分に固有の楽しみを、それを知らない他者に伝えるための説明資料を作成する（2時間）
　事後学習：伝わるために必要な条件をまとめる（2時間）
第3回：伝えたい何かを生み出してみる。高速で。
　事後学習：既存の商品、イベントを革新するアイディアを生み出し、その魅力の説明資料を作成する（2時間）
第4回：伝えたい何かを生み出し、物語化する。
第5回：同上
第6回：自分が生み出した物語を他者に語る（プレゼンテーション）
第7回：ネタを変えて、同じことをやってみる。上達の感覚はあるか。
第8回：同上
第9回：新聞記者の取材に答える「外部目線への洞察」
第10回：リソースを活用して、地域の問題解決を考える
第11回：同上
第12回：同上
第13回：顧客体験を創造し、追体験する。物語のディテールを磨く。
第14回：企画実現のプロセスを描く。いかにリソースを集め、活用するか。
第15回：ゼロから企画開発する（最終レポート作成）
企画の準備を授業だけで完結させるのは困難であるため、授業外での調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを
実施していることが必要になる。授業外での取り組み方が授業内での成果に大きく影響する。
一部例示したが、授業各回において、事前準備と事後まとめを求める。詳細は各回ごとに伝える。

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み姿勢（50%）、課題の成果（30%）、最終レポート（20%）

成　績　評　価　基　準
1．企画開発の過程において、日頃の仲間関係を超えて、多様な他者の意見に耳を傾ける対話の姿勢が持てるか。 2．自分の価値観を保留して、他者の価値観にとって有意義であるとはどういうことかを想像できるか。 3．着想から実現、さらなる展開までの思考・実行プロセスを自分の言葉で表現できるか。
テキスト、参考図書
必要に応じてレジュメを配布する。
その他（受講上の注意）
「企画開発基礎演習」「企画開発論１」をベースとして、発展的に学ぶ科目であるため、両科目の受講を終えていることを推奨する。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法Ⅰ (Communication Techniques Ⅰ)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2254	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

日常的・実用的な文章例やレポート・論文の文章例をもとに、その例の問題点を自分たちで考え、修正し、発表する。どのような人にどのような情報をどのような順序で書くか、読む人の側に立って書く力を身につける。

授業の到達目標

・対象や目的に沿った書き方を理解し、実践することができる。
・読む人の側に立った書き方を理解し、実践することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他(課題提出)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(ディスカッション)
　事前学習：テキストのトレーニング1～11、13, 14の最初の文章例に目を通す。(2時間)
　事後学習：グループで取り組む課題を決め、eラーニングでエントリーする。(2時間)
第2回：お知らせのメール(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング1を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第3回：レストランのメニュー(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング2を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第4回：問い合わせのメール(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング3を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第5回：注意書きやサービス案内(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング4を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第6回：お願いのメール(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング5を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第7回：お店やイベントの広告(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング6を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第8回：わかりやすいマニュアル(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング7を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第9回：場所や交通の案内(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング8を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)
第10回：企画や提案を出す(グループワーク・発表)
　事前学習：テキストのトレーニング9を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。(2時間)

第11回：ニュースレターを作る（グループワーク・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング10を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第12回：アンケート用紙を作る（グループワーク・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング11を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第13回：日本語弱者のことを考えて書く（グループワーク・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング13を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第14回：レポートや論文を書く（グループワーク・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング14を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：発表した課題をWordで仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：これまでの授業で取り上げた問題点を確認し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

・対象や目的に沿った書き方を理解し、実践することができるか。
・読む人の側に立った書き方を理解し、実践することができるか。

テキスト、参考図書

『日本語を書くトレーニング』 第２版　野田尚史・森口稔著　ひつじ書房　2014年

その他（受講上の注意）

受身ではなく、自分たちで問題点を発見し、解決することが求められる。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法Ⅱ (Communication TechniquesⅡ)			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2255	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションの原点は相手の気持ちを察しながら自分の考えを的確に伝えること。それを紡ぐのが「言葉」である。
授業では、「話す」「きく」の基本に加え、報告、説明、説得、発表などの演習を通し、言葉による自己表現力、コミュニケーション能力の向上をめざす。

授　業　の　到　達　目　標

・言葉を使って、自分の考えや情報を的確に過不足なく相手に伝える。
・人前で分かりやすく、相手の心をつかむ自己紹介、説明、報告、発表ができる。
・グループワーク
を通して他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：コミュニケーションとは何か、真のコミュニケーション能力とは何か自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：失敗だったり、好ましくなかったコミュニケーションから自分の課題、目標を立ててみること。(2時間)
第2回：コミュニケーション・スキルを身につける→必要性と理由
　事前学習：コミュニケーションの際に、特に気を付けていることはどのようなことか考えて、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：プリントを熟読すること。課題問題を課す。(2時間)
第3回：コミュニケーションは難しい→なぜギャップが生じるのか
　事前学習：話して楽しい人とそうでない人、どこが違うのか。自分なりの意見を発表できるようにしておくこと。(2時間)
　事後学習：成功するコミュニケーションの心がけについての課題問題を課す。(2時間)
第4回：:「非言語コミュニケーション・スキル」を磨く
　事前学習：言語以外の手段でコミュニケーションをとるにはどのような方法があるのか考えてまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：非言語コミュニケーションを具体的に理解し、実践すること。(2時間)
第5回：「非言語コミュニケーション」について(グループワーク)
　事前学習：授業では周辺言語、身体言語について実際に体験するため、理解を深めておくこと。(2時間)
　事後学習：説明、報告における非言語コミュニケーションの復習課題を課す。(2時間)
第6回：「話をきくためのスキル」→傾聴する
　事前学習：人の話に耳を傾けることは忍耐が必要である。どのような場合に話を聞けないか考え、まとめること。(2時間)
　事後学習：傾聴の意味を理解し、聴いていることを相手に伝える方法を日頃から実践すること。(2時間)
第7回：「話を聞くためのスキル」→観察する、共感する
　事前学習：「傾聴」「観察」「共感」についてプリントを熟読し、理解を深めること。(2時間)
　事後学習：「傾聴」「観察」「共感」の課題を課す。(2時間)

第８回：「傾聴」について（グループワーク）
事前学習：プリントで提示した「傾聴」の講義内容を理解し、まとめておくこと。（２時間）
事後学習：プリントで提示した「傾聴」の課題を課す。（２時間）
第９回：理解を深めるためのスキル→質問する、確認する
事前学習：日常的な会話の場面で質問・確認を実践し、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：プリントで提示した課題を課す。（２時間）
第10回：分かりやすい「説明」
事前学習：考え方や理解力の異なる相手に正確に伝え、理解させる説明に必要なことは何かまとめること。（２時間）
事後学習：プリントを熟読し、与えられたテーマについて説明をすることを課す。（２時間）
第11回：「説明」（グループワーク）
事前学習：授業では、口頭で道案内や品物の説明を実践する。効果的な説明を考え発表に備えること。（２時間）
事後学習：プリントを熟読し、分かりやすい説明をするための組み立てや順序を理解すること。（２時間）
第12回 分かりやすい「報告」「連絡」
事前学習：ビジネスシーンでよく使われる報告・連絡の重要性について調べ、まとめること（２時間）
事後学習：プリントに記載している報告の課題を課す。（２時間）
第13回：「会話力を磨く」
事前学習：「ミラーニューロン仮説」「ペーシング」「自己開示の返報性」について調べ、まとめておくこと。（２時間）
事後学習：自身のコミュニケーション力を振り返り、DVDを見ての気づき、意見、感想をまとめること。（２時間）
第14回：「プレゼンテーション」の基本→流れ、準備、発表
事前学習：授業前にプリントを熟読し、テーマに沿ったプレゼンテーションのシナリオを作る準備をすること。（２時間）
事後学習：シナリオを完成し、次回のプレゼンテーションの準備をすること。（２時間）
第15回：「プレゼンテーション」（発表）
事前学習：プレゼンテーションをする場面、目的、テーマを明確にし、説得力のある発表にすること。（２時間）
事後学習：心をつかむプレゼンテーションとはどのような発表か、他者の発表を通して考えること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）演習（25%）平常点（25%）
＊平常点は出席状況、授業への参加態度、グループワーク
演習への取り組み姿勢等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・言葉を使って、自分の考えや情報を的確に過不足なく相手に伝えることができるか。
・人前で分かりやすく、相手の心をつかむ自己紹介、説明、報告、発表ができるか。
・グループワーク
を通して他者とのコミュニケーションを円滑に行う能力を磨いているか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。（適時プリント資料を配布する）

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ライティング技法 (Writing Strategies)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2256	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

メディアにおけるライティングの違いを検証。各メディア特性を確認しながらメディア(ライティング)を制作し効果を学ぶ。
最終的にデジタルメディアに集結するコミュニケーションを、企画制作する。

授業の到達目標

コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高める。
コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：コミュニケーションとコピーライティング
　事前学習：コミュニケーションツールとしてのコピー(広告用の言葉・フレーズ・惹句)について理解しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業中に示された各種コピーについてのメモをレポート化しておくこと。(2時間)
第2回：コピーライティング概論(新聞・TV・ポスター・web・各種)
　事前学習：授業前に各媒体から興味のあるクリエイティブ作品を選択、記録しておく。(2時間)
　事後学習：授業後、媒体特性を理解し選択したクリエイティブ作品についての分析を行う。(2時間)
第3回：コピーライティングの制作実践
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。(2時間)
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間)
第4回：作品の評価・ミーティング
　事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。(2時間)
　事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。(2時間)
第5回：コンセプトの必要性(クライアント設定～制作～効果)
　事前学習：予告されたクライアントについいてのコンセプト(企業・地域・広報等)を準備しておく。(2時間)
　事後学習：学習したブラッシュアップ法によって、コンセプトを再度確認する・。(2時間)
第6回：設定クライアント(製品)①におけるミーティング(グループワーク)
　事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。(2時間)
　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を図書館などで調査する。(2時間)
第7回：制作実践(課題1/コンセプトライティング)
　事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。(2時間)
　事後学習：設定したコンセプトが正しいかどうかを、クライアント確認とともに精査する。(2時間)
第8回：制作実践(課題1/キャッチコピーライティング)
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。(2時間)
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間)
第9回：制作実践(課題1/ボディコピーライティング)
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のボディコピーと説明を用意しておく。(2時間)
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間)

第10回：制作実践（課題１/ライティング発表）
　　事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。（２時間）
　　事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。（２時間）
第11回：設定クライアント（製品）②におけるミーティング（グループワーク）
　　事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。（２時間）
　　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を図書館などで調査する。（２時間）
第12回：制作実践（課題２/コンセプトライティング）
　　事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。（２時間）
　　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を図書館などで調査する。（２時間）
第13回：制作実践（課題２/キャッチコピー＆ボディライティング）
　　事前学習：与えられた課題について、複数のキャッチ＆ボディコピーと説明を用意しておく。（２時間）
　　事後学習：授業中制作ンしたコピーについて、再度ブラッシュアップする。（２時間）
第14回：制作実践（課題１～２についての総合企画書）
　　事前学習：課題１～２についてのプロセスを考慮しながら、企画骨子をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：指定された企画シートに沿って内容をまとめる。（２時間）
第15回：課題１～２における企画プレゼンテーション制作準備（プレゼンテーション）
　　事前学習：総括した企画を１枚のシートにまとめる。（２時間）
　　事後学習：担当教員とのディスカッション後、プレゼンテーションツールを作成しておく。（２時間）
第16回：最終試験
（※受講者数・状況により変更の場合あり）

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み・定期試験（50%）課題成果（30%）平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

メディアを利用しての実践的制作プロセス（ライティング・コンセプトメイキング・企画）のスケジュール把握とデジタルツールへの効果的・効率的な情報運用。
コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができているか。
コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができているか。

テキスト、参考図書

使用しない

その他（受講上の注意）

原則としてコミュニケーション技法Ⅰ（２年前期）を履修したものに限る。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア･コミュニケーション論 (Study of Media Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2257	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報社会と呼ばれる今日では、様々なメディアが私たちの生活に深く入り込み、日常のコミュニケーションを通じて社会のあり様を大きく変えている。授業では、情報が溢れかえる時代において、物事の本質を問う力、考える力、および表現する力の向上を狙いとする。

授業の到達目標

・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができる。
・メディアと社会の変容について分析することができる。また、自身の意見をもち考えを述べることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：メディア・コミュニケーションとは
　事前学習：初回の授業ではメディアの意味・役割について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：視覚メディア
　事前学習：次回の授業では視覚メディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：聴覚メディア
　事前学習：次回の授業では聴覚メディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：ニューメディア
　事前学習：次回の授業ではニューメディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：地域メディア＜動画＞
　事前学習：次回の授業では地域メディア(動画)による情報発信について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：地域メディア＜紙媒体＞
　事前学習：次回の授業では地域メディア(紙媒体)による情報発信について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第７回：地域メディア＜ゆるキャラ＞
事前学習：次回の授業では地域メディア（ゆるキャラ）による情報発信について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：自分というメディア（分析）
事前学習：次回の授業では自分というメディアの分析方法について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：自分というメディア（制作）
事前学習：次回の授業では自分というメディアの表現方法について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された取扱説明書について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第10回：自分というメディア（発表）
事前学習：次回の授業では自分というメディアの効果的なプレゼン方法について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：メディア・リテラシー（グループワーク）
事前学習：次回の授業ではメディア・リテラシーの意味・役割について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：メディア・リテラシー教育（発表）
事前学習：次回の授業ではメディア・リテラシー教育について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：バーチャルとリアルの世界①
事前学習：次回の授業ではバーチャルコミュニケーションの可能性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：バーチャルとリアルの世界②
事前学習：次回の授業ではリアルコミュニケーションと信頼について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業ではメディア・コミュニケーショの果たす役割について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70%）、平常点（30%）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断

成　績　評　価　基　準

・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができるか。
・メディアと社会の変容について分析することができるか。また、自身の意見をもち考えを述べることができるか。

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他（受講上の注意）

リアクション・ペーパー（授業中作成）の内容については、次回授業においてフィードバックします。なお、「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア・デザイン (Media Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2258	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

映像表現を用いたコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。メディア（テレビ、ウェブ等）や目的（PV、CM等）に応じた映像表現の基本ルールの理解と平行して、コンピュータ（Mac）／スマートフォンのアプリケーションを用いた映像表現の技法を習得していく。

授業の到達目標

現在において動画コンテンツが有効とされている理由を理解する。映像表現の基本ルール・手法について理解する。コンピュータを用いた映像表現の技法を習得する。映像表現を駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：制作ツールの紹介、データの管理方法、映像制作の流れ、著作権について（実習）
　事前学習（2時間）：教科書の目次を読み、教科書中の図案を見る
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの基本操作を覚える
第2回：撮影技法① 安全や周囲への配慮、カメラの構え方、カメラワーク（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：撮影技法の基本に基づいて撮影を更に試す
第3回：撮影技法② 三脚固定、タイムラプス、スロー（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：タイムラプスやスローの機能を更に試す
第4回：編集技法① カット編集、トランジション（実習）
　事前学習（2時間）：教科書10～24ページを読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、カット編集の基本を覚える
第5回：編集技法② テロップやサウンドの挿入（実習）
　事前学習（2時間）：教科書25～51ページを読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、テロップの作成方法を覚える
第6回：編集技法③ ワイプ、インサート編集、色補正（実習）
　事前学習（2時間）：教科書54～76ページを読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、色補正の方法を覚える
第7回：編集技法④ 時間操作（実習）
　事前学習（2時間）：教科書126～143ページを読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、タイプリマップの使い方を覚える
第8回：制作実践①SNS向け動画（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：素材となる動画を撮影する
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、SNS用動画の様式を覚える
第9回：制作実践②インタビュー動画撮影（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：コンテンツ（インタビュー内容）を準備する
　事後学習（2時間）：ロケ撮影をする
第10回：制作実践②インタビュー動画編集（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：絵コンテを作成する
　事後学習（2時間）：協同で編集し完成度を高める

第11回：期末課題制作① オリエンテーション、絵コンテの作成（課題解決型学習、フィールドワーク）
事前学習（２時間）：教科書を読み直して動画編集の基本について理解を深める
事後学習（２時間）：ロケハンをする
第12回：期末課題制作② 編集（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：撮影データを整理してMacに読み込んでおく
事後学習（２時間）：撮影をする
第13回：期末課題制作③ 編集、中間チェック（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：数人で途中経過をプレビューし意見交換する
事後学習（２時間）：担当教員からのフィードバックをもとに品質を高める
第14回：期末課題制作④ ブラッシュアップ、作品完成・提出（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：更に良い作品にするために何度もプレビューする
事後学習（２時間）：作品データを完成、データはEラーニングより提出する
第15回：期末課題制作⑤ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
事前学習（２時間）：プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）：他の学生の作品を鑑賞し批評する
その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「技法」を意識して、日常流れている動画を別の視点で見る。
・センスを鍛えるために自主制作をする。
・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・映像表現の基本ルールが理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・映像表現の基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。

テキスト、参考図書

テキスト：SHIN－YU「プロが教える! Premiere Pro デジタル映像 編集講座 CC対応」ソーテック社 2018年
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

撮影は必要に応じて授業時間外に実施することがある。
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン基礎 (Fundamentals of Project Design)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOO− 2262	2単位	2年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていく。プロジェクトはチーム単位で学内外の諸課題の解決に取り組み、学生自らが主体的にアイディアを出し、目標・計画を立て、実行し、評価し、改善・革新していく。

授業の到達目標

学生自ら授業・プロジェクトを生み出し、展開していけること。学生相互に学び合うだけでなく、異なるプロジェクトの間で学び合い、多様な学生・プロジェクトが触発しあいながら、次年度の授業・プロジェクトに向けた基盤・展望・意欲が形成できること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、プロジェクトチームの編成
　事前学習：企画書案について自分なりの意見をまとめておく（2時間）
　事後学習：企画実施に何が必要か自分なりの考えをまとめておく（2時間）
第2回：企画内容、実施計画の検討（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるよう個人でアイディア出しをしておく（2時間）
　事後学習：企画書作成に向けて、必要事項の調査、整理をしておく（2時間）
第3回：実施計画書の作成（グループワーク）
第4回：実施計画書レビュー（グループワーク）
　事後学習：レビュー結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（2時間）
第5回：プロジェクトの実施準備（グループワーク）
第6回：プロジェクトの実施（グループワーク）
第7回：同上
第8回：同上
第9回：同上
第10回：プロジェクト成果の評価、改善策の検討（グループワーク）
第11回：報告書の発表
第12回：報告書の発表
第13回：次年度に向けた企画の構想（グループワーク）
第14回：次年度に向けた企画書の作成、レビュー（グループワーク）
第15回：企画書レビュー
一部例示したが、授業各回の前後において、改善策の立案、企画案の修正など、個別学習が必須となる。
また、授業外でのグループの打ち合わせをしなければ、プロジェクトの実施に支障が出る場合も想定される。

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準
・プロジェクトを生み出し、展開できているか。 ・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。 ・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。
テキスト、参考図書
特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。
その他（受講上の注意）
一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第１回に行うので、必ず出席すること。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡa (Oral CommunicationⅡa)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2265	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、テキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイディアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。

授業の到達目標

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらに、その意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また、物事を批評する力を身につけることを目指す。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：四季の描写、日本とアメリカ　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された四季の描写、日本とアメリカについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第2回：四季の描写、日本とアメリカ　(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された四季の描写、日本とアメリカについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：国内旅行　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された国内旅行について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第4回：国内旅行　(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された国内旅行について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第5回：ハンバーガーの生い立ち　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたハンバーガーの生い立ちについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第6回：ハンバーガーの生い立ち　(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたハンバーガーの生い立ちについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第7回：復習(第1回～6回の内容についての復習)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第1,6,2ユニットを復習。(2時間)
　事後学習：テキストの第1,6,2ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：ファースト・フードと健康　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第16章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたファースト・フードと健康について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第9回：ファースト・フードと健康　(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第16章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたファースト・フードと健康について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第10回：世界で最も幸せな国　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された世界で最も幸せな国について、ノートにまとめておくこと。(2時間)

第11回：世界で最も幸せな国　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された世界で最も幸せな国について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：間接喫煙　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された間接喫煙について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：間接喫煙　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された間接喫煙について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：甘い飲み物　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第５章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された甘い飲み物について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：甘い飲み物　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第５章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第16,10,11,5ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。
物事を批評する力を身につけているか。

テキスト、参考図書

テキスト
Life Topics: A Critical Thinking Approach to English Proficiency（総合英語ライフトピックス）
Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2012.　NAN’UN－DO　ISBN 978-4-523-17689-3
（島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2012）
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Self－motivation and effort are very important for successful completion of this course.

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡb (Oral CommunicationⅡb)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2266	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初にテキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイディアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。

授業の到達目標

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また物事を批評する力を身につけることを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：幽霊　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された幽霊について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第2回：幽霊　(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された幽霊について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：宇宙人とUFOは存在するか(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された宇宙人とUFOは存在するかについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第4回：宇宙人とUFOは存在するか(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された宇宙人とUFOは存在するかについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第5回：インターネットの発達(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたインターネットの発達について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第6回：インターネットの発達(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたインターネットの発達について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第7回：復習(第1回～6回の内容についての復習)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第15,9,4ユニットを復習する。(2時間)
　事後学習：テキストの第15,9,4ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：インターネットで買い物(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたインターネットで買い物について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第9回：インターネットで買い物(課題を踏まえての討論)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたインターネットで買い物について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第10回：クレジットカードの罠　(文章の理解、語彙の確認)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第18章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたクレジットカードの罠について、ノートにまとめておくこと。(2時間)

第11回：クレジットカードの罠　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第18章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたクレジットカードの罠について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：遺伝子組換え　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第22章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された遺伝子組換えについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：遺伝子組換え（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第22章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された遺伝子組換えについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：整形　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された整形について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：整形　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第8,18,22,12ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。
物事を批評する力を身につけているか。

テキスト、参考図書

テキスト
Life Topics: A Critical Thinking Approach to English Proficiency　（総合英語ライフトピックス）
Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2012. NAN’UN－DO ISBN 978-4-523-17689-3
（島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2012）
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Self－motivation and effort are very important for successful completion of this course.

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

TOEIC英語Ⅰ (TOEIC EnglishⅠ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2269	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

TOEICテストの各パートの出題形式を理解し 、問題に取り組むためのテクニックを学ぶ。TOEIC600点レベルの語彙400語を確かなものとする。

授業の到達目標

リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのスコアアップを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第2回：写真描写問題（1）/ 穴埋め問題（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第3回：写真描写問題（2）/ 穴埋め問題（2）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第4回：応答問題（1）/ 穴埋め問題（3）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第5回：応答問題（2）/ 穴埋め問題（4）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第6回：会話問題（1）/ 穴埋め問題（5）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第7回：会話問題（2）/ 穴埋め問題（6）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第8回：説明文問題（1）/ 穴埋め問題（7）/ 長文読解問題（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第9回：説明文問題（2）/ 穴埋め問題（8）/ 長文読解問題（2）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第10回：写真描写問題（3）/ 穴埋め問題（9）/ 長文読解問題（3）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第11回：応答問題（3）/ 穴埋め問題（10）/ 長文読解問題（4）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること

第12回：会話問題（3）/ 穴埋め問題（11）/ 長文読解問題（5）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第13回：説明文問題（3）/ 穴埋め問題（12）/ 長文読解問題（6）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第14回：リスニング全般 / リーディング全般（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること
第15回：まとめ
第16回：定期試験
・TOEICを実際に受験すること（学内外を問わない）
・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

成 績 評 価 方 法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

TOEIC600点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

小石裕子 『はじめて受けるTOEIC（R）L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年 アルク
TEX加藤 『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年 朝日新聞出版
また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他（受講上の注意）

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア英語 (Media English)			担当教員	福永　眞理子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2274	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

メディアに関わる英語とその文化的背景を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

メディアに関わる英語に関し、その言語特徴および文化的背景を理解する能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
事前学習：授業前にテキストのA Table of Contentsを見て、国を1つ選び、選んだ理由を1つ考える。（2時間）
事後学修：授業の復習をする。また、授業の進め方等についてわからないことがあったら、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第2回：Victoria, Canada
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）

第3回：Cameroon
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）

第4回：North Island, New Zealand
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）

第5回：Nepal
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）

第6回：Birmingham, England
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）

第7回：Review（中間復習と、一部ディスカッションの時間を設ける）
事前学習：第1回～第7回の内容を読み返す。（2時間）
事後学修：授業で議論した「国々の違い」をよく復習する。（2時間）

第 8 回：Nice, France
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第 9 回：Wisconsin, USA
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第10回：Rio, Brazil
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第11回：Wicklow, Ireland
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第12回：Geneva, Switzerland
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第13回：Gold Coast, Australia
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第14回：St. Andrews, Scotland
事前学習：テキストのIntroductionを読み、わからない単語は調べておく。Vocabulary Previewの単語を覚える。（2 時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2 時間）
第15回：まとめ（授業内容の統括と、一部ディスカッションの時間を設ける）
事前学習：これまでの授業内容をもとに、英文レポートを仕上げる。（2 時間）
事後学修：全ての授業において学習した内容を復習する。特に、覚えていない単語を再確認し、覚える。（2 時間）

成 績 評 価 方 法

期末レポート（50%）授業内レポート（30%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

メディア英語の言語的特徴と文化背景に基づき、英文を分析的に理解することができるか。

テキスト、参考図書

Lander, J. S.（2007）"World Explorer" Asahi Press
Voice of America https://learningenglish.voanews.com/

その他（受講上の注意）

5 分以上20分未満の遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。
20分以上の遅刻は欠席とみなします。
必ず英和辞書（電子辞書可）を持参してください。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英作文演習 (English Writing)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2275	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

パラグラフ・ライティングに焦点を当て、基本的なパラグラフ構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、ライティングにおける流暢さと正確さを追及する。

授業の到達目標

1．基本的なパラグラフ構成を理解し、意図することを読み手に効果的に伝えるパラグラフを書くことができる。
2．与えられたテーマについて、意図することを読み手に正確に伝えるパラグラフを、10分間で80語程度書くことができる。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・文書作成能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：トピックセンテンスの書き方(グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたトピックセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第2回：サポーティングセンテンスの書き方(グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたサポーティングセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：コンクルーディングセンテンスの書き方(グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたコンクルーディングセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第4回：描写のパラグラフの書き方(グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された描写のパラグラフについて、自分の描写のパラグラフを書いて、e−ラーニングシステムにアップロードする。(2時間)
第5回：物語のパラグラフの書き方(グループワーク発表)
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された物語のパラグラフについて、自分の物語のパラグラフを書いて、e−ラーニングシステムにアップロードする。(2時間)
第6回：説明のパラグラフの書き方(グループワーク発表)
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された説明のパラグラフについて、自分の説明のパラグラフを書いて、e−ラーニングシステムにアップロードする。(2時間)
第7回：復習(第1回〜第6回)(グループワーク発表)
　事前学習：授業前にテキストの第1〜6ユニットを復習する。(2時間)
　事後学習：テキストの第1〜6ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：まとまりとは(グループワーク)
　事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e−ラーニングシステムにアップロードする。(2時間)

第９回：結束とは（グループワーク発表）
事前学習：授業前にテキストの第８と９章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e－ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第10回：プロセス について/ Process（グループワーク発表）
事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e－ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第11回：理由と結果の書き方 / Reasons and Results（グループワーク発表）
事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e－ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第12回：意見の書き方/ Opinions（グループワーク発表）
事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e－ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第13回：復習（第８回～第13回）（グループワーク発表）
事前学習：授業前にテキストの第７～12ユニットを復習。（２時間）
事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
第14回：英作文発表の準備（グループワーク発表）
事前学習：授業前に英作文を書き、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
第15回：英作文の発表（発表）
事前学習：授業前に書いた作文の発表することを練習する。（２時間）
事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
定期試験

成績評価方法

授業での言語活動15%、毎時間の小テスト20%、課題15%、定期試験50%

成績評価基準

1．基本的なパラグラフ構成を理解し、意図することを読み手に効果的に伝えるパラグラフを書くことができるか。
2．与えられたテーマについて、意図することを読み手に正確に伝えるパラグラフを、10分間で80語程度書くことができるか。

テキスト、参考図書

テキスト
"Writing to Communicate 1 －Paragraphs－" C. Boardman. Pearson/Longman. 2008.
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

英和辞書、和英辞書、英英辞書を必ず持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

家族社会学 (Sociology of the Family)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2279	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「家族」について、さまざまな視点から考える。また、多様な家族のあり方を知る。

授業の到達目標

「家族」はあまりに身近な存在であるがために、自分の知る「家族」だけが、当たり前のものだと考えがちである。しかし「家族」は普遍的なものではなく、時代や社会によって大きく異なり、また同じ社会の中でもさまざまである。授業を通じて、家族を社会学的な視点からみつめ、家族の歴史や多様性を理解することをめざす。
また、さまざまなライフイベント（就職・結婚・育児・離婚など）に関する制度や法律について適切に理解することをめざす。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクション・ペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション：「家族」とは何か？
　事前学習：シラバスや参考図書に目を通しておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第2回：「家族」を捉える
　事前学習：「家族」の捉え方について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第3回：ジェンダー：男は仕事、女は家庭？
　事前学習：「ジェンダー規範」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第4回：「近代家族」の誕生①
　事前学習：「近代家族とは何か」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第5回：「近代家族」の誕生②
　事前学習：「日本の近代家族」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第6回：パートナーシップ①：結婚，事実婚，同棲
　事前学習：「婚姻制度」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）
第7回：パートナーシップ②：未婚化・晩婚化・非婚化，婚活
　事前学習：「晩婚化」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（2時間）

第８回：パートナーシップ③：異性，同性，SOGI
事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第９回：妊娠・出産・子育て①：リプロダクティブヘルス・ライツ，妊活
事前学習：「リプロダクティブヘルス・ライツ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第10回：妊娠・出産・子育て②：育児の社会化，少子化
事前学習：「少子化」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第11回：妊娠・出産・子育て③：マミートラック，マタニティハラスメント
事前学習：「マミートラック」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第12回：パートナーシップ④：離婚，再婚，ひとり親，ステップファミリー
事前学習：「パートナーシップ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第13回：貧困とジェンダー
事前学習：「貧困」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第14回：暴力：DV，児童虐待，性暴力，セクシュアルハラスメント
事前学習：「親密な関係における暴力」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第15回：まとめ：社会の中の家族，家族をめぐる「選択」
事前学習：「家族のオルタナティブ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

定期試験（50%）、平常点（50%）
※平常点は受講態度、小テスト、小レポート、授業への参加状況等を総合して判断する。

成績評価基準

現在の家族に関する制度や法律について正しく理解できているか。
家族の多様性や歴史的な変化を正しく理解し、具体的な事例を用いて説明することができるか。

テキスト、参考図書

テキストは指定しない。
参考図書として、落合恵美子『21世紀家族へ（第３版）』有斐閣（2004年）
中野円佳『「育休世代」のジレンマ――女性活用はなぜ失敗するのか？』光文社（2014年）
岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族（第３版）』有斐閣（2013年）　など。
また、授業中に適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

受講生の関心に応じて、「授業の計画」に提示した内容から若干変更する可能性がある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会調査法 (Social Research Methods)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2280	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を解説する。調査目的と調査方法、調査方法の決め方、調査企画と設計、仮説構成、全数調査と標本調査、無作為抽出、標本数と誤差、サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法(調査票の配布・回収法、調査データの整理などを学ぶ。

授業の到達目標

・調査票調査の手順を理解する。
・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解する。
・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得する。
・無作為抽出の意義を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(模擬調査及およびパソコンを用いた演習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第2回：調査方法の選択
　事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第3回：アンケート調査の進め方(1)　リサーチクエスチョン，仮説を構成する
　事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第4回：アンケート調査の進め方(2)　調査の企画
　事前学習：テキストの第4章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第5回：調査票作成の基礎(1)　仮説と質問項目
　事前学習：テキストの第4章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第6回：調査票作成の基礎(2)　ワーディング
　事前学習：テキストの第6章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第7回：調査票作成の基礎(3)　質問文の形式と選択肢の構成
　事前学習：テキストの第6章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第8回：サンプリング(1)　ランダム・サンプリングがなぜ必要か
　事前学習：テキストの第7章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第9回：サンプリング(2)　サンプリングと調査票の配布から回収まで
　事前学習：テキストの第7章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)

第10回：模擬調査
　　事前学習：テキストの第８章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第11回：調査データの作成（１）　エディティング，コーディング
　　事前学習：テキストの第９章（前半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第12回：調査データの作成（２）　データ入力，データクリーニング
　　事前学習：テキストの９章（後半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第13回：データ分析（１）　記述統計
　　事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第14回：データ分析（２）　クロス表分析
　　事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第15回：報告書の作成
　　事前学習：テキストの13章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

・定期試験（50%）
・課題提出・受講態度（50%）

成　績　評　価　基　準

・調査票調査の手順を理解できているか。
・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解できているか。
・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得しているか。
・無作為抽出の意義を理解できているか。

テキスト、参考図書

『入門・社会調査法』（第三版）轟・杉野編　法律文化社　2017年

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【B】〔調査設計と実施方法に関する科目〕に相当する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査基礎 (Fundamentals of Information and Social Research)			担当教員	織田　暁子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2281	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義は、社会調査(量的調査・質的調査)に関する本の論文を読み、社会調査に関する基礎的な理解を目指す。毎回の講義をとおして、情報・社会調査の基礎体力を習得することを目的とする。なお、読む論文の順序は入れ替わることがある。

授業の到達目標

情報・社会調査のスキルと概念を理解したうえで、現代社会を分析する視角として用いることができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(織田・早川)
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：授業の内容を振り返り、e−learningを通じてリフレクションを実施すること。(2時間)
第2回：論文講読方法の指導、担当者決定(織田・早川)
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第3回：【講義】課題論文の解説(織田・早川)
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第4回：論文報告(1)(2)(織田・早川)
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第5回：論文報告(3)(4)(織田・早川)
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第6回：論文報告(5)(6)(織田・早川)
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第7回：論文報告(7)(8)(織田・早川)
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること(2時間)?
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)

第８回：論文報告（９）（10）（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第９回：【講義】課題論文の解説（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第10回：論文報告（11）（12）（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第11回：論文報告（13）（14）（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第12回：論文報告（15）（16）（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第13回：論文報告（17）（18）（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第14回：論文報告（19）（20）（織田・早川）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をすること（２時間）?
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第15回：まとめ（織田・早川）
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）?
事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

レジュメの作成（40%）、プレゼンテーション（40%）、ディスカッションへの参加（20%）

成　績　評　価　基　準

情報・社会調査の基礎体力を習得できたか。講義中に扱った概念を用いて、日常生活世界の分析ができるようになったか。

テキスト、参考図書

必要な場合は講義内で指示します。

その他（受講上の注意）

講義で使用する論文は、保管場所を別途指示します。
必ず各自印刷の上で論文を読み、講義時に持参してください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会調査方法論 (Social Data Analysis)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2283	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、量的なデータを読み、正しく理解するために必要な統計学の知識について、基礎から説明していく。単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた、さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方を学ぶことで、官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文を読めるようにする。

授業の到達目標

・必要に応じて、官庁統計を探し、それを読みこなせるようになる。
・基礎的な統計量について理解できるようになる。
・データをグラフなどを用いて要約できるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(パソコンを用いた演習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習する(2時間)
第2回：統計データとはなにか
　事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習する(2時間)
第3回：統計データの入手方法　官庁統計を利用する
　事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第3章の「課題」に取り組む(2時間)
第4回：統計データの読み方(1)　単純集計・度数分布
　事前学習：テキストの第4章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第4章の「課題」に取り組む(2時間)
第5回：統計データの読み方(2)　基本統計量：代表値・分散・標準偏差
　事前学習：テキストの第5章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第5章の「課題」に取り組む(2時間)
第6回：小テスト
　事前学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する(2時間)
　事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する(2時間)
第7回：統計データをグラフにする(1)　円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ
　事前学習：テキストの第7章(前半)を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む(2時間)
第8回：統計データをグラフにする(2)　ヒストグラム、散布図
　事前学習：テキストの第7章(後半)を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む(2時間)
第9回：関連性を探る(1)　相関係数
　事前学習：テキストの第8章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第8章の「課題」に取り組む(2時間)

第10回：関連性を探る（２）　クロス集計表
　　事前学習：テキストの第11章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第11章の「課題」に取り組む（２時間）
第11回：関連性を探る（３）　クロス集計表
　　事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第12章の「課題」に取り組む（２時間）
第12回：小テスト
　　事前学習：これまでの授業で学んだパソコンの操作法について復習する（２時間）
　　事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（２時間）
第13回：相関係数と因果関係　みかけの相関に騙されないために
　　事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第10章の「課題」に取り組む（２時間）
第14回：質的データのまとめ方
　　事前学習：テキストの第13章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第13章の「課題」に取り組む（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：テキストの第14章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第14章の「課題」に取り組む（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）
平常点・小テスト・課題提出（50%）
（平常点は授業への参加状況・受講態度を総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・必要に応じて、適切な官庁統計を探せているか。また、それを読みこなせているか。
・基礎的な統計量について理解できているか。
・データをグラフなどを用いて要約できるようになっているか。

テキスト、参考図書

『社会調査のための統計データ分析』　廣瀬毅士・寺島拓幸　オーム社　2010年

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【C】〔基本的な資料とデータの分析に関する科目〕に相当する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

統計学 (Statistics)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2284	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会調査の統計的データをまとめたり分析したりするために必要な基礎的統計学を学ぶ。まず推測統計の論理として確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用、抽出法の理論を学び、その後変数間の関連を表す統計量として、クロス表の統計量、相関係数、回帰分析についての基礎を学ぶ。

授業の到達目標

・統計的データをまとめることができる。
・推測統計に必要な知識と方法を理解している。
・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキスト第1章・第2章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：社会調査のデータと変数に関するそれぞれの名称を確認しておくこと（2時間）
第2回：記述統計と推測統計との違い
　事前学習：テキスト第3章・第4章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：記述統計と推測統計の違いについて確認する（2時間）
第3回：部分から全体を推測する　社会を知るための諸条件
　事前学習：テキスト第9章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：推測統計が可能な条件について確認する（2時間）
第4回：確率分布について（1）　二項分布・ポアソン分布
　事前学習：二項分布・ポアソン分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第5回：確率分布について（2）　正規分布・t分布
　事前学習：正規分布・t分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第6回：確率分布について（3）　カイ二乗分布・F分布
　事前学習：カイ2乗分布・F分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第7回：推定の論理（1）　中心極限定理
　事前学習：テキスト第10章を読み、疑問点を確認しておくこと
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）
第8回：推定の論理（2）　信頼区間
　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）
第9回：推定の論理（3）　帰無仮説の考え方
　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）

第10回：検定の論理（１）　t検定
　　事前学習：テキスト第13章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第11回：検定の論理（２）　カイ二乗検定
　　事前学習：テキスト第12章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第12回：相関係数
　　事前学習：テキスト第５章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第13回：回帰分析
　　事前学習：テキスト第６章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第14回：回帰係数の検定
　　事前学習：テキスト第８章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでの授業内容を復習し、疑問点や不明点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、授業中の小レポートと受講態度（50%）

成　績　評　価　基　準

・統計的データをまとめることができるか。
・推測統計に必要な知識と方法を理解しているか。
・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っているか。

テキスト、参考図書

『社会調査のための統計学――生きた実例で理解する――』　神林博史・三輪哲 著　技術評論社　2011年

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【D】〔社会調査に必要な統計学に関する科目〕に相当する。
数学的知識を必要とするが、全員あまり数学的知識を持っていないものとして授業をすすめる。
なお、「社会調査方法論」で学ぶ記述統計学の知識を前提とする。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

データ解析法a (Qualitative Data Analysis a)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2285	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、まず、さまざまな質的データの収集や分析方法について解説をおこなう。具体的には、聞き取り調査、参与観察法、会話分析の他、活字や映像などのメディア・テクスト(コンテンツ)に関する質的データの分析法について、実例を通して学ぶ。そのうえで、実習として、インタビュー調査の経験をしてもらう。

授業の到達目標

質的データの収集や分析方法を理解したうえで、実際にインタビュー調査を企画し、実施、報告をおこなうことができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他(　)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第2回：量的調査の可能性と限界
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①第1章を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第3回：質的データとは何か　(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献②を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第4回：質的調査の手法(1)インタビュー調査
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②のインタビュー調査に該当する部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、インタビューの手法についても理解しておくこと。(2時間)
第5回：質的調査の手法(2)参与観察法
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②の参与観察に該当する部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、出来れば参与観察による研究論文をciniiなどで調べ、読んでおくことが望ましい。(2時間)
第6回：質的調査の手法(3)会話分析　(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献・論文等を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、会話分析に関する参考書籍(授業内に指示)を図書館等で調べ、精読すること。(2時間)
第7回：質的調査の手法(4)ドキュメント分析(活字メディア)
　事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献を読んでおくこと。(2時間)。
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)

第８回：質的調査の手法（ ５ ）ドキュメント分析（映像メディア）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第９回：インタビュー法の習得（ １ ）インタビューの企画　（フィールドワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークに関する書物を図書館等で調べ、精読すること。また、グループ内で実施するフィールドワークの方向性について議論し、検討すること。（２時間）
第10回：インタビュー法の習得（ ２ ）対象者と質問内容の決定　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、調査の最終準備を行うこと。（２時間）
第11回：インタビュー法の習得（ ３ ）インタビューの実施　　（グループワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、インタビュー法の手順などを覚えてくること。（２時間）
事後学習：インタビューで得られたデータを記録し、グループ内で共有できるようにすること。（２時間）
第12回：調査データの分析（ １ ）　（討議（ディスカッション、ディベート）　を実施）（グループワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内でデータ内容やレポートテーマ等を批判的に検討すること。（２時間）
第13回：調査データの分析（ ２ ）（課題解決型学習（PBL）を実施）
事前学習：前回のデータ分析をもとに、講義内で必要な資料収集やデータの精査をすすめること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内で具体的な分析をおこなった上で、考察を行うこと。（２時間）
第14回：質的調査の可能性と限界
事前学習：これまでのノートや調査データを見直し、参考文献①②の該当箇所を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：前回のノートを見直し、これまで学んだ内容、調査で得られたデータなどを整理すること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、全ての講義内で講じられた内容を整理し、理解するように務めること。（４時間）

成　績　評　価　方　法

講義中の発表、レポート（70%）平常点（ 30 %）
平常点は授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

①質的調査法の長所・短所を理解しているか。
②質的調査、特にインタビュー調査を企画、実施し、かつその内容を報告できるか。

テキスト、参考図書

参考文献①：大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著『新・社会調査へのアプローチ――論理と方法』ミネルヴァ書房
参考文献②：佐藤郁哉著『フィールドワーク増補版――書を持って街へ出よう』新曜社

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

観光社会学 (Sociology of Tourism)			担当教員	●● ●●
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2291	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、「観光」という現象を理解するために必要な知識の枠組みを主に社会学・文化人類学の観点から学びます。また地域と観光の関係について、学外実習を踏まえながら、グループワーク
と個人ワークを通じて考えを深めます。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です

授業の到達目標

・観光における複数の立場を理解し、観光現象を論じることができる
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいた議論ができるようになる
・コミュニケーション・ツールを活用し、グループワーク
を運営できる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e−learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：観光研究の輪郭――観光社会学と観光人類学
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第3回：社会現象としての観光の構造――構成要素と変遷
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第4回：RESAS（地域経済分析システム）からみる福井の観光動向
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第5回：オルタナティヴ・ツーリズム、エコ・ツーリズム　、Pro−Poor Tourism
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第6回：Special Interest Tourism①ー教育志向のツーリズム
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第7回：Special Interest Tourism②ー体験志向のツーリズム
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）

第８回：観光とまちづくり、あるいは観光まちづくり
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第９回：グループワーク
①── テーマ設定とリサーチ（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第10回：スタディ・ツーリズム実習（フィールドワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、調査項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第11回：グループワーク
②── データの整理（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第12回：グループワーク
③── コンセプト・メイキング（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第13回：グループワーク
④── ブラッシュアップ（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第14回：グループ課題の発表（プレゼンテーション）
事前学習：グループごとに発表準備を進めること（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。（２時間）
第15回：講義のまとめデブリーフィング
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

グループ課題（20%）最終レポート（50%）平常点（30%）
平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・観光現象における複数の立場を理解できたか
・各種統計や観察データをもとに観光現象を論じることができたか
・グループのメンバーと共同し、魅力的な観光プランを計画できたか

テキスト、参考図書

特定のテキストは指定しません。講義中に適宜紹介します。

その他（受講上の注意）

・受講者の理解度により講義内容を変更することがあります
・固定メンバーによるグループワーク
があるため、責任ある受講を求めます

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅲa (EnglishⅢa)			担当教員	Rダイクス
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2341	1単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.

授業の到達目標

The focus of the course is on developing reading and discussion skills. Students will learn about the world around them and then engage in thoughtful discussions in an effort to deepen their international understanding.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introductions (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第2回：Who Is J.K. Rowling? ① (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第3回：Who Is J.K. Rowling? ② (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第4回：What Are Some New Year's Customs? ① (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第5回：What Are Some New Year's Customs? ② (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第6回：Where Is Buckingham Palace? ① (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第7回：Where Is Buckingham Palace? ② (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第8回：Mid−term Examination / Why Are Cows Special In India? ① (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第9回：Why Are Cows Special In India? ② (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第10回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ① (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)

第11回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：What's Special About The Blowfish? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）（ディスカッション）
第13回：What's Special About The Blowfish? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Who Are The Sami? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Who Are The Sami? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Final Examination
Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

成 績 評 価 方 法

Proactive In-class Participation, Homework and Assignments - 25%
Mid-term Examination - 25%
Final Examination - 50%

成 績 評 価 基 準

Students will be evaluated on their contributions during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the mid-term and final evaluations.

テキスト、参考図書

Broukal, Milada. What A World Reading 1 : Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8

その他（受講上の注意）

Active participation in class is essential for success in this course.

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅲb (EnglishⅢb)			担当教員	Rダイクス
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2342	1単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.

授業の到達目標

The focus of the course is on developing reading and discussion skills. Students will learn about the world around them and then engage in thoughtful discussions in an effort to deepen their international understanding.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introductions (ディスカッション)
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第2回：Why Are Rain Forests Important? ① (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第3回：Why Are Rain Forests Important? ② (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第4回：What Is Tornado Alley? ① (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第5回：What Is Tornado Alley? ② (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第6回：Who Was Andrew Carnegie? ① (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第7回：Who Was Andrew Carnegie? ② (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第8回：Mid−term Examination / Why Do People Decorate Their Bodies? ① (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第9回：Why Do People Decorate Their Bodies? ② (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
第10回：What Is Canada's Favorite Sport? ① (ディスカッション)
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)

第11回：What Is Canada's Favorite Sport? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：What's Special About New Zealand? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：What's Special About New Zealand? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Final Examination
Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

成 績 評 価 方 法

Proactive In-class Participation, Homework and Assignments - 25%
Mid-term Examination - 25%
Final Examination - 50%

成 績 評 価 基 準

Students will be evaluated on their contributions during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the mid-term and final examinations.

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Broukal, Milada. What A World Reading 1: Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

Active participation in class is essential for success in this course.

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2251	2 単位	2年前期･3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授　業　の　到　達　目　標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
（https://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf）

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って進めるが、毎授業の20分間程度は演習問題を採りいれる。
第１回：ITパスポート試験の概説、サンプル問題
　事前学習：テキストp.7～15を読み、試験概要について予習する（0.5時間）
　事後学習：サンプル問題の復習（1.5時間）
第２回：ITパスポート試験シラバスVer4.0の新出項目
　事前学習：テキストp.17～51を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.52～57（２時間）
第３回：第１章 企業と法務（１）
　事前学習：テキストp.61～96を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.107～109（２時間）
第４回：第１章 企業と法務（２）第２章 経営戦略
　事前学習：テキストp.96～137を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.138～139（２時間）
第５回：第３章 システム戦略
　事前学習：テキストp.141～158を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.159～161（２時間）
　過去問題（ストラテジ系）を試行（２時間）
第６回：第４章 開発技術
　事前学習：テキストp.165～183を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.184～185（２時間）
　過去問題（ストラテジ系）を試行（２時間）
第７回：第５章 プロジェクトマネジメント
　事前学習：テキストp.187～200を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.201～203（２時間）
　過去問題（ストラテジ系）を試行（２時間）
第８回：第６章 サービスマネジメント
　事前学習：テキストp.205～216を読み予習する（１時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.217～219（２時間）
　過去問題（マネジメント系）を試行（１時間）

第９回：第７章 基礎理論（１）
事前学習：テキストp.223～238を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（マネジメント系）を試行（２時間）
第10回：第７章 基礎理論（２）　第８章 コンピュータシステム（１）
事前学習：テキストp.239～267を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.254～255（１時間）
過去問題（マネジメント系）を試行（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム（２）
事前学習：テキストp.268～288を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題p.289～291（３時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
事前学習：テキストp.293～315を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（マネジメント系）を試行（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
事前学習：テキストp.316～336を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（テクノロジ系）を試行（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
事前学習：テキストp.337～358を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（テクノロジ系）を試行（３時間）
第15回：第10章 表計算、CBT試験対策
事前学習：テキストp.316～379を読み予習する（１時間）
事後学習：本日採り上げた範囲について復習（１時間）
過去問題（テクノロジ系）を試行（３時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）　演習課題（10%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト
『ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集　2019年度版』　FOM出版　2018年
参考図書
『平成31／01年　栢木先生のITパスポート教室』　技術評論社　2018年
『平成31／01年　ITパスポート合格教本』　技術評論社　2018年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2252	2単位	2年後期･3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授　業　の　到　達　目　標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験(iパス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
(http://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver 3 _0.pdf)

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

授業は、ITパスポート試験の過去問題演習や問題研究、さらに問題作成に取り組むことを主体とし、前期授業の補足も併せて行う。
第1回：前期情報処理演習a試験問題の解説・解法
　事前学習：テキスト全体を読み、予習する(4時間)
第2回：第1章 企業と法務、第2章 経営戦略
　事前学習：テキスト第1章～第21章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第3回：第3章 システム戦略、第4章 開発技術
　事前学習：テキスト第1章～第21章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第4回：第4章 開発技術、第5章 プロジェクトマネジメント
　事前学習：テキスト第4章～第5章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第5回：第6章 サービスマネジメント、第7章 基礎理論
　事前学習：テキスト第6章～第7章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第6回：第8章 コンピュータシステム、第9章 技術要素
　事前学習：テキスト第8章～第9章を読み予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題を解く(2時間)
第7回：直近のITパスポート試験公開問題解説(1)
　事前学習：直近のITパスポート試験公開問題を解く(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行(2時間)
第8回：直近のITパスポート試験公開問題解説(2)
　事前学習：公開問題の解法を書き出す(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行(2時間)
第9回：直近のITパスポート試験公開問題解説(3)
　事前学習：公開問題の解法を書き出す(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行(2時間)

第10回：問題作成演習（１）
　　事前学習：公開問題の解法を書き出す（２時間）
　　事後学習：公開問題を参考にして、改題案を作成する（２時間）
第11回：問題作成演習（２）
　　事前学習：公開問題の解法を書き出す（２時間）
　　事後学習：公開問題を参考にして、改題案を作成する（２時間）
第12回：問題作成演習（３）
　　事前学習：公開問題の解法を書き出す（２時間）
　　事後学習：公開問題を参考にして、改題案を作成する（２時間）
第13回：改題案のプレゼンテーション（１）
　　事前学習：解法のプレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行（２時間）
第14回：改題案のプレゼンテーション（２）
　　事前学習：解法のプレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行（２時間）
第15回：改題案のプレゼンテーション（３）
　　事前学習：解法のプレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、過去問題プログラムを実行（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）　CBT模擬テスト等（20%）　レポート課題（30%）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト
『ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集　2019年度版』　FOM出版　2018年
参考図書
『平成31／01年　栢木先生のITパスポート教室』　技術評論社　2018年
『平成31／01年　ITパスポート合格教本』　技術評論社　2018年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須
前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(インターンシップ) (Fieldwork Practice(Internship))			担当教員	稲木　康一郎、升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2361	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・フィールドワーク科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業は、主として「福井県インターンシッププログラム」(3年生対象)に沿って、民間企業や各種団体、自治体等における就業体験(原則として5日間)を夏期休業中に行う。インターンシップ参加者(福井県外での参加者含む)は、事前の本学教員および主催者によるガイダンスや面接等を受講し、事後の報告会等に参加することを義務づけ、就業意識の高揚をねらう。

授業の到達目標

民間企業や各種団体・自治体等で就業体験(実習)を行い、以後の学習・研究のための動機付けを得ること、また社会人・職業人となるための自己認識、自己啓発につなげること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

■準備・事前研修期間
4月上旬：本学ガイダンスへの参加(学内実施)
4月上旬：インターンシップ志望動機書の提出(学内実施)
4月下旬：面接(学内実施)　※結果発表：5月上旬
4月下旬：合同ガイダンスへの参加(学外実施)
5月中旬：エントリーシートの提出(学内実施)
6月上旬：本学事前研修会への参加(学内実施)
6月下旬：就業体験先企業・団体の通知(学内実施)
7月中旬：合同事前研修会への参加(学外実施)
■就業体験期間
7月上旬～：就業体験先企業・団体と事前調整
8月上旬～9月下旬：就業体験
■事後研修期間
10月下旬：合同事後研修会への参加(学外実施)(グループワークおよび発表)
事後学習：授業で課された「インターンシップで学んだこと」について、レポートにまとめておくこと。
11月下旬：レポートの提出(学内実施)　※テーマ：インターンシップで学んだこと
※授業外の基本的な学習(60時間)方法として、就業体験先企業・団体の組織概要や事業内容について 調べたり、あらかじめ疑問点を考えておくなどし、問題意識をもって就業体験に参加してください(予習)。また、就業体験、研修の内容や気づいたことなどを整理・確認するなどし、次回プログラムに備えてください(復習)。

成　績　評　価　方　法

就業体験先企業・団体の評価(35%)、レポート(30%)、平常点(35%)
平常点は事前研修(ガイダンス・面接を含む)の参加状況、参加意欲(志望動機)等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準
インターンシップ先の研修において、期待される行動・態度がとれているか。 就業体験をとおして、今後自己に必要な学習・研究について明確化することができているか。 民間企業や各種団体等での就業体験によって、自己の就業意識を向上することができたか。
テキスト、参考図書
使用しない。
その他（受講上の注意）
本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。 ・受講希望者には、「志望動機書」の提出および面接を行い、就業意欲を認めたうえで実施する。 ・授業計画は、協力団体などの都合により、前後したり変更する場合がある。 ・第１回キャリアガイダンスにおいてスケジュールなどについて説明するので、必ず出席すること。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice(Volunteer))			担当教員	大森　慈子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授業の到達目標

それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。学生間はもとより地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
4～7月　　事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
8～9月　　現地にて研修（26時間以上）
10～11月　　事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施　（2時間）
課題に関連する情報の収集
・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。
　　レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

成　績　評　価　方　法

プログラムへの取組み（50%）　レポート（20%）　プレゼンテーション（30%）

成　績　評　価　基　準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice(International Exchange))			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2165	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)もしくはカナダ・アルバータ大学附属英語学校での集中講義(3週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
本科目では、原則として、「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を行い、以後の学修・研究のための動機付けを得ること、異文化理解を深めることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：全体説明会
　事前学習：英語教育センターにある資料を読み、質問項目をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第2回：事前授業(提出物、課題指示等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第3回：事前授業(提出物、課題指示等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第4回：事前授業(現地活動の企画等)①(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第5回：事前授業(現地活動の企画等)②(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第6回：事前授業(現地活動の準備等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第7回：事前授業(現地活動の準備等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第8回：事前授業(現地活動の準備等)③(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第9回：事前授業(航空券、その他書類配付等)(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)

第10回：事前授業（出発前の最終確認）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
＜集中講義（夏季休暇中）＞
第11回：事後授業（研修のふりかえり・レポート課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第12回：事後授業（プレゼン課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第13回：事後授業（プレゼン練習）（グループワーク）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第14回：事後授業（報告会）（発表）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第15回：事後授業（まとめ）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

テキスト、参考図書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研 修 期 間：夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏季休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理検査法Ⅱ (Psychological Assessment Methods Ⅱ)			担当教員	吉水 ちひろ、渡辺　克徳、坂井　祐円、 青井　利哉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2310	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この授業では、心理検査の背景理論や実施方法について学習した後、実際に検査者と被検者の双方を体験する。これを通して、心理検査を正しく理解するだけでなく、その効用と限界の認識、さらに倫理性をわきまえた態度を身につけていく。また、一定の決められた実施法や解釈の仕方などを習得する中で、新たな自分への気づきや他者理解へと繋げることを目的とする。

授　業　の　到　達　目　標

・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できる。
・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できる。
・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができる。
・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

この授業では、さまざまな心理検査について体験的学習を行うためにグループ別にて演習を行う。以下のように4週ごとに異なる検査について学ぶ。

第1回：オリエンテーション
　事前学習：心理検査法Ⅰを振り返り、基礎的な知識の復習をしておく。(2時間)
　事後学習：テキストを参照し、質問項目をまとめておく。(2時間)
第2回：アセスメントにおける心理検査法の役割・レポートの書き方についての説明
　事前学習：授業のテーマについてテキストを見直し、自分なりの意見をまとめておく。(2時間)
　事後学習：関連することを参考文献等で調べ、ポイントを整理しまとめておく。(2時間)
第3回：質問紙法検査(YG、CMI)・投影法検査(風景構成法・P−Fスタディ)・知能検査(WAIS−Ⅲ)①実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第4回：質問紙法検査(YG、CMI)・投影法検査(風景構成法・P−Fスタディ)・知能検査(WAIS−Ⅲ)②実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第5回：質問紙法検査(YG、CMI)・投影法検査(風景構成法・P−Fスタディ)・知能検査(WAIS−Ⅲ)③実習
　事前学習：それぞれのテキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第6回：質問紙法検査(YG、CMI)・投影法検査(風景構成法・P−Fスタディ)・知能検査(WAIS−Ⅲ)④実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第7回：質問紙法検査(YG、CMI)・投影法検査(風景構成法・P−Fスタディ)・知能検査(WAIS−Ⅲ)①実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第8回：質問紙法検査(YG、CMI)・投影法検査(風景構成法・P−Fスタディ)・知能検査(WAIS−Ⅲ)②実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)

第９回：質問紙法検査（YG、CMI）・投影法検査（風景構成法・P－Fスタディ）・知能検査（WAIS－Ⅲ）③実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（２時間）
第10回：質問紙法検査（YG、CMI）・投影法検査（風景構成法・P－Fスタディ）・知能検査（WAIS－Ⅲ）④実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（２時間）
第11回：質問紙法検査（YG、CMI）・投影法検査（風景構成法・P－Fスタディ）・知能検査（WAIS－Ⅲ）①実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（２時間）
第12回：質問紙法検査（YG、CMI）・投影法検査（風景構成法・P－Fスタディ）・知能検査（WAIS－Ⅲ）②実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（２時間）
第13回：質問紙法検査（YG、CMI）・投影法検査（風景構成法・P－Fスタディ）・知能検査（WAIS－Ⅲ）③実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（２時間）
第14回：質問紙法検査（YG、CMI）・投影法検査（風景構成法・P－Fスタディ）・知能検査（WAIS－Ⅲ）④実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（２時間）
第15回：演習の振り返りとまとめ
事前学習：これまでの演習を復習しておく。（２時間）
事後学習：授業の到達目標に達しているかを確認する。（２時間）
※各検査の担当者は［　　］に示す通りである。質問紙法検査［青井］、投影法検査［吉水］、知能検査［渡辺・坂井］
予習：テキストおよび参考文献を用いて各回で取り上げる心理検査について予習し、基本的な事柄について理解しておくこと。
復習：授業で体験した心理検査を通して、考えたことや感じたことをまとめておくこと。また、授業時間だけでは作業が終わらない場合は、残った作業を遂行して次回の授業に臨むこと。

成　績　評　価　方　法

授業への参加状況や受講態度（60％）、検査ごとに作成する課題レポート（30％）、演習全体を通した小レポート（10％）などから総合的に評価する。心理検査を用いた演習を行うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準

・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できるか。
・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できるか。
・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができるか。
・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できるか。

テキスト、参考図書

＜テキスト＞願興寺礼子・吉住隆弘（編）「心理検査の実施の初歩」（ナカニシヤ出版,2011年発行）
そのほか、各検査毎に必要な資料を配布したり、参考図書を指示する。

その他（受講上の注意）

・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
・心理検査の学習者・実施者の倫理（授業時に説明）を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神医学Ⅰ (Psychiatry Ⅰ)			担当教員	三脇　康生
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2323	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

精神医学は日本が近代化される中で構築された。そこには日本の近代化の遅れが投影されている。その歴史を学び改善をする方向性について、外国のシステムを参考にしながら考える。具体的な病気についても、重い病気を中心に学ぶが、それが軽症化してきている現代社会の特徴についても考える。

授業の到達目標

歴史をふまえて日本の精神医療がどのように成立したか説明でき、他国と比較でき、これからの姿を各自で考えられること。さらに疾患の基礎知識を獲得すること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：精神病院の様子の紹介
事前学習：精神病院に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
第2回：近代精神医学の歴史　日本1
事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
第3回：近代精神医学の歴史　日本2
事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
第4回：近代精神医学の歴史　ヨーロッパ1
事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト9−69ページを熟読する。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
第5回：近代精神医学の歴史　ヨーロッパ2
事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
第6回：精神障害と人権
事前学習：人権に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人権に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

第７回：統合失調症１
事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第８回：統合失調症２
事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第９回：地域と病院の協力のしかた１
事前学習：地域に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト171－185ページを熟読する。地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第10回：地域と病院の協力のしかた２
事前学習：精神医療に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第11回：気分障害１
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第12回：気分障害２
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第13回：気分障害３
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第14回：パニック障害１
事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第15回：パニック障害２
事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

レポートも期末テストと同時に提出。期末テスト70%レポート30%で評価する。
テストにはかならずテキストを持ち込むこと。持ち込まないと、テストは受けられない。

成績評価基準

日本の精神医療がどのように成立したかレポートを書かせ確認する。疾患の基礎知識についてテストを行い確認する。

テキスト、参考図書

テキスト・多賀茂　三脇康生「医療環境を変えるー制度を使った精神療法の実践と思想」京都大学学術出版会2008年

その他（受講上の注意）
学則上は５回まで欠席は認められているが、この講義では文系理系の多様な分野を扱うので３回までしか認めない。公式の用事がある場合は欠席に数えない。証明書を提出すること。まずこれをクリアーしたらテストを受けられる。 私語は一切禁じる。二度注意されたら自ら教室を去ること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神医学Ⅱ (Psychiatry Ⅱ)			担当教員	三脇　康生
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−AOO−2324	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

精神医学1は原因がわからない重病について学んだが、精神医学2ではその原因が現代社会で問題になっている病について学ぶ。災害や職場や学校での暴力から生じる病について学ぶ。

授業の到達目標

現代はハラスメント社会とも呼ばれる状況にある。この外的なトラウマと精神分析的な精神的なトラウマの関係はフロイトですら明確には出来なかった。この二つのトラウマについて考え、各自の意見をこの問題に持てるようになり、ハラスメント社会を生き抜く方法を考える、

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：PTSDとは何か1
事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

第2回：PTSDとは何か2
事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

第3回：PTSDとは何か3
事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

題4回：PTSDとは何か4
事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

題5回：PTSDとは何か5
事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

題6回：解離
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)

題７回：解離
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第８回：解離とと多重人格
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
題９回：人格障害
事前学習：人格障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人格障害に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第10：社会的ひきこもり（摂食障害の説明も含む）1
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
題11回：社会的引きこもり２
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第12回：社会的引きこもり３
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第13回：東日本大震災特講
事前学習：東日本大震災に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、東日本大震災に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第14回：性同一性障害
事前学習：性同一性障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、性同一性障害に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第15回：現代社会において、それぞれ個人でできることは何だろうか？
事前学習：PTSDやハラスメントに関する本を図書館で読むこと。自分がバイトさきなどで経験したことを分析して考察することも出来る。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

平常点20パーセント　期末テスト50パーセント　レポート30パーセント
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

ハラスメント社会を深く理解し、それを切り抜ける方法を身につけたか。

テキスト、参考図書

参考図書　就労と教育システムに関して：
大野正和『自己愛化する仕事』l労働調査会　2011年　（レポートを書くとき必ず必要）
参考書　PTSDへのアートセラピーに関して：
三脇康生他　『アート×セラピー潮流』　　フィルムアート社　2002年

その他（受講上の注意）
私語は厳禁とする。二度注意を受けたら自から教室を去ること。東日本大震災の講義は実施時期がゲスト講師の都合により変わり得るので注意すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育心理学 (Educational Psychology)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABO−2332	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

教育とは、子どもの発達と自己形成の支援を行うものである。このような「教育」について、心理学の視点から考える学問が教育心理学である。
本講義では，児童・生徒の発達や学習、人間関係に関する特徴について学び、各子どもに適切な学習指導や生徒指導について考察する。また標準的発達とは異なる特徴を示す児童・生徒についても，知識や理解を深め，彼らへの支援法について考えていく。

授業の到達目標

①児童・生徒の発達や学習の特徴，障害について，基本的な知識を習得できる
②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について考えることができる
③現在の教育上の問題について，考察することができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション：教育心理学とは
　事前学習：テキストの第1章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：発達を促す
　事前学習：テキストの第2章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：動機づけ（欲求と意欲）
　事前学習：テキストの第3章Iを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：動機づけ（内発的動機づけ）
　事前学習：テキストの第3章IIを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：動機づけ（目標理論　原因帰属）
　事前学習：テキストの第3章IIIを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：学習（条件づけ）と記憶
　事前学習：テキストの第4章IとIIを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第7回：問題解決としての学習
　事前学習：テキストの第4章IIIを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第８回：まとめと中間評価
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：学習指導法
事前学習：テキストの第５章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：教育評価
事前学習：テキストの第６章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：知的能力
事前学習：テキストの第７章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：社会性
事前学習：テキストの第９章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：学級集団の心理学
事前学習：テキストの第10章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：学校不適応行動の理解
事前学習：テキストの第11章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：発達障がいと特別支援教育
事前学習：テキストの第12章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）

第16回：まとめと期末評価
日頃から教育に関連する書籍・新聞を読み，興味を持って授業に臨むこと

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①毎回提出する小レポート（30％），②中間評価（30％）　期末評価（40％）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

①児童・生徒の発達や学習の特徴，障害について，基本的な知識をどの程度習得できているか
②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について，どの程度適切に考えることができるか
③現在の教育上の問題について，どの程度論理的・具体的に考察することができるか

テキスト、参考図書

・テキスト：櫻井茂男（編）たのしく学べる教育心理学　図書文化　2017年　ISBN978-4-8100-7690-5
・参考図書：富永大介他（編）　教職をめざすひとのための発達と教育の心理学　ナカニシヤ出版　2016年　ISBN978-4-7795-1067-0

その他（受講上の注意）

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席し小レポートを提出すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

家族心理学 (Family Psychology)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2337	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授業の内容

1. 家族の定義と，現在の家族の状況について学ぶ。
2. 家族の発達過程と，各発達段階に生じる問題について学ぶ。
3. 家族を対象とした臨床的援助について学ぶ。
4. 時代や社会により異なる家族像を知り，地域（福井）に対する理解を深める

授業の到達目標

・家族の機能や家族内で展開される人間関係の特徴について説明することができる。
・現在社会の家族が抱える問題について分析し，心理学的視点から考察することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーションおよび序論
　事前学習：家族に関する書籍・新聞などを読み，あらかじめ興味を持って授業に臨むこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：家族とは何か
　事前学習：テキストの第1章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：家族の健康とは
　事前学習：テキストの第2章前半部を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：家族のライフコースと発達段階
　事前学習：テキストの第2章後半部を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：家族づくりの準備段階
　事前学習：テキストの第3章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：夫婦の発達
　事前学習：テキストの第4章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第7回：子どもが育つ場としての家族
　事前学習：テキストの第5章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第８回：主要理論のまとめと中間評価
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：変化する社会の中の家族１
事前学習：テキストの第６章前半部を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：変化する社会の中の家族２
事前学習：テキストの第６章後半部を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：家族療法の理論と技法
事前学習：テキストの第７章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：家族の変化に役立つ臨床的援助技法
事前学習：テキストの第８章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：家族への臨床的アプローチの実際１（児童虐待）
事前学習：テキストの第９章（９－３）を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：家族への臨床的アプローチの実際２（家族間の心理的問題）
事前学習：テキストの第９章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：福井県家族の特徴
事前学習：事前に配布された資料を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）

第16回：まとめと期末評価
日頃から，家族に関連する書籍・新聞・雑誌記事を読み，興味を持って授業に臨むこと。

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①毎回提出する小レポート（30%），②中間評価（30%）　③期末評価（40%）をもって総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

・家族の機能や家族内で展開される人間関係の特徴について，心理学用語を用いて説明することができるか。
・現在社会の家族が抱える問題について分析・考察し，自分の意見を適切に表現できるか。

テキスト、参考図書

平木典子・中釜洋子（共著）家族の心理－家族への理解を深めるために－　梅本堯夫・大山　正（監修）ライブラリ実践のための心理学３　サイエンス社　ISBN４－7819－1144－７

その他（受講上の注意）

本講義はCOC+開講科目である。
授業内では，仲間と説明をし合ったり，話し合いをする時間を設ける。よって，単に授業を聞くだけでなく，自分の意見をまとめ人に説明するような積極的態度を持って授業に臨むこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツ心理学 (Sport Psychology)			担当教員	野田　政弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBC−2338	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

スポーツ心理学は応用科学としてスポーツ行動における心理学的事象を解明し、それらに対処できるようにすることを目的としたものである。スポーツ全般における心理学的な諸問題をとりあげ今日までの研究成果に基づいて学習する。

授業の到達目標

スポーツ心理学の各領域（運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学）の内容について理解し説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（授業の最後に今回の内容について意見を交換する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：運動のメカニズム（意見交換）
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第2回：運動学習の原理
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第3回：効果的な運動指導
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第4回：運動の制御
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第5回：内発的動機づけと外発的動機づけ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第6回：目標設定と動機づけ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第7回：スポーツにおける集団
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第8回：パーソナリティとスポーツ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第9回：スポーツ選手と心理サポート
　事前学習：テキストの第Ⅱ部第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第10回：スポーツメンタルトレーニング
　事前学習：テキストの第Ⅱ部第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）

第11回：スポーツカウンセリング
事前学習：テキストの第Ⅱ部第３章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第12回：健康スポーツ心理学の基礎
事前学習：テキストの第Ⅲ部第１章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第13回：健康増進を目的とした身体活動・運動の参加と継続
事前学習：テキストの第Ⅲ部第２章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第14回：スポーツ傷害の心理学、バーンアウト（燃え尽き症候群）
事前学習：テキストの第Ⅲ部第３章、第４章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第15回：アダプテッド・スポーツ心理学
事前学習：テキストの第Ⅳ部第１章～第４章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第16回：定期試験
各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）、レポート（30％）。

成　績　評　価　基　準

スポーツ心理学の各領域（運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学）の内容について理解し説明できる。

テキスト、参考図書

荒木雅信編著「これから学ぶスポーツ心理学　改訂版」大修館書店 2018

その他（受講上の注意）

スポーツや運動に関するできごとや情報に積極的に関心を向けること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理療法論Ⅰ (Theory of Psychotherapy Ⅰ)			担当教員	森　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2351	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

さまざまな心理療法の考え方について学ぶとともに、そうした考え方を参考に自分自身の心の健康をめざすための方略について考える。

授業の到達目標

・代表的な心理療法の背景にある基本的な考え方を理解する。
・自分自身の心の健康法について考える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理療法とは
　事前学習：2年次で履修した臨床心理学ⅠⅡの授業について、自分なりに復習しておく(3時間)
　事後学習：授業時に指定されたキーワードについて、自分なりに整理しておく(1時間)
第2回：無意識を理解する(精神分析的心理療法)①
　事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる(2時間)
第3回：無意識を理解する(精神分析的心理療法)②
　事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる(2時間)
第4回：クライエントを尊重する(来談者中心療法)①
　事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる(2時間)
第5回：クライエントを尊重する(来談者中心療法)②
　事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる(2時間)
第6回：行動を変える(行動療法)①
　事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく(2時間)
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる(2時間)

第７回：行動を変える（行動療法）②
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第８回：認知を変える（認知行動療法）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第９回：身体をリラックスさせる（自律訓練法）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第10回：人間関係を分析する（交流分析）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第11回：自己を表現する（芸術・表現療法）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第12回：家族で解決する（家族療法）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第13回：集団で解決する（集団療法）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第14回：日本生まれの心理療法を考える（森田療法・内観療法）
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：前回の授業終了時に指定されたキーワードについて、参考書等で言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業内容を参考にしながら、自分なりの言葉に書き直してみる（２時間）
第16回：期末試験
※各回（最終回を除く）とも授業の前半に、前回の授業後の事後学習の内容についての振り返り（数人の学生による発表を含む）を行う。（グループワーク）

成　績　評　価　方　法

学期末に実施する筆記試験（80%）と、授業中に指示する課題や授業中の態度（20%）から、評価する。

成　績　評　価　基　準

・代表的な心理療法の背景にある基本的な考え方を理解し、説明できるか。
・自分自身の心の健康法について考えることができるか。

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他（受講上の注意）
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理療法論Ⅱ (Theory of Psychotherapy Ⅱ)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−AOC−2352	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

無意識に着目する、フロイト以来の深層心理学的(力動的)心理療法を中心に学習する。

授業の到達目標

・無意識について実感をもって理解し、人間存在をより深く理解することができる。
・自己の無意識を見つめ、自分の将来像や人生設計を構築することができる。
・無意識の問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの「Ⅰ　攻撃性退行から道づくりへ」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：箱庭療法1
　事前学習：テキストの「Ⅱ　緘黙の入口と出口」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：箱庭療法2
　事前学習：テキストの「Ⅲ　反対の国からの帰還」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：ユングのタイプ論(タイプ・テスト実習)
　事前学習：「ユング」と「分析心理学」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：マンダラ(マンダラ・テスト実習)
　事前学習：「仏教(密教)のマンダラ」と、「ユングのマンダラ」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：緩和ケア
　事前学習：テキストの「Ⅳ　死者たちへの鎮魂歌」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：恐怖症の心理療法
　事前学習：テキストの「Ⅴ　赤鬼・青鬼の悪夢」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：解離性障害の心理療法
事前学習：テキストの「『あんたお母さんじゃない』」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：思春期男子の心理療法
事前学習：テキストの「写真を媒体にした精神療法」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：思春期女子の心理療法
事前学習：テキストの「文通の中で自己を発見」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：セラピストとは（小テスト）
事前学習：ブランケンブルク，W．の症例「アンネ・ラウ」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第12回：パーソナリティ障害の心理療法
事前学習：日本の昔話「蛇婿入り」と「手なし娘」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第13回：解離性同一性障害の心理療法
事前学習：「解離性同一性障害（多重人格）」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第14回：マインドフルネスと仏教１（実習）
事前学習：「マインドフルネス」と「道元」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：実習体験を振り返り、感想や意見をレポートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：マインドフルネスと仏教２（実習）
事前学習：「阿闍世（アジャセ）王の物語」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：実習体験を振り返り、感想や意見をレポートにまとめておくこと。（２時間）

成　績　評　価　方　法

レポート（50%）　小テスト（30%）　平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・力動的心理療法の考え方を正しく理解し、他の心理療法（特に「科学的」な心理療法）との違いを説明できるか。
・無意識という概念を正しく理解し、それを組み込んだ人生観や世界観を持つことができるか。
・心を病んだ人のことを適切に理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：山中康裕・『少年期の心』・中公新書・1978年
参考図書：西村則昭・『アニメと思春期のこころ』・創元社・2004年

その他（受講上の注意）

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

アイデンティティ心理学 (Identity Psychology)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−AOC−2353	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「本当の自分」とは何か、深層心理学の立場から考える。

授業の到達目標

・「本当の自分」とか「本当の幸福」が何か、自ら論理的（心理学的＝哲学的）に考え、イメージとしても思い描くことができる。
・本来的自己と非本来的自己、性別など、アイデンティティの問題について自ら考えたことに基づいて、自分の将来像や人生設計を構築することができる。
・アイデンティティの問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
事前学習：「アイデンティティ」という心理学概念について、インターネット等で調べ、簡単な心理テストをおこなうので、自分のことをいろいろと振り返っておくこと。（2時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第2回：ラカンの精神分析1
事前学習：ラカンの「鏡像段階」の考え方について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第3回：ラカンの精神分析2
事前学習：ラカンの「現実界」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第4回：無気味なもの
事前学習：フロイトの論文「無気味なもの」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第5回：写真論
事前学習：写真家の「アッジェ」、「アーバス」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第6回：ファッション論
事前学習：デザイナーの「川久保玲」と小説家の「サド」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：ラカンの精神分析３
事前学習：ラカンの「象徴界」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：父性と母性
事前学習：映画「ゴッドファーザー」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：精神病
事前学習：フロイトが分析した「シュレーバー症例」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：欲望
事前学習：フロイトの記載した幼児の「糸巻き遊び」と、ウィニコットの「移行対象（過渡的対象）」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：ヒステリー
事前学習：「ヒステリー」及び「転換性障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：境界性パーソナリティ障害
事前学習：「境界性パーソナリティ障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：性別１
事前学習：映画「昭和残侠伝」（高倉健主演）について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：性別２
事前学習：「性同一性障害」と「異性服装倒錯（transvestism）」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：宗教的アイデンティティ
事前学習：「隠れキリシタン（潜伏キリシタン）」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
講義で説明したことを、自分の日常的な思考や観察される現象と重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。

成績評価方法

期末レポート（50%）、小レポート（30%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成績評価基準

・深層心理学の考え方を自ら思索し直しつつ、「本当の自分」や「本当の幸福」を思索できるか。
・その上で、自分の将来像や人生設計を構築し、その意義を論理的（心理学的＝哲学的）に説明することができるか。
・心を病む人におけるアイデンティティの問題が何かを理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は、適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

犯罪心理学 (Criminal Psychology)			担当教員	廣井　亮一
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−AOC−2354	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

講義内容を3部で構成する。
第1部では、少年犯罪の現状をもとに現代の少年犯罪の特徴を考察する。
第2部では、少年非行の歴史的変遷をもとに、非行や犯罪につながる「攻撃性」の質的変質を説明したうえで、現代の社会問題になっている児童虐待と非行、現代型いじめについて講義する。
第3部では、ストーカー犯罪についての解説を行いながら司法臨床の必要性を明示する。
＊以上について、ワークとディスカッションを行いながら講義をすすめる。

授業の到達目標

・非行少年や犯罪者を十分に理解して、彼らの更生の援助ができる。
・人と人との関係性を修復することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：講義の進め方、犯罪心理学への導入
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第2回：現代の少年犯罪の特徴
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第3回：少年犯罪の現状
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第4回：非行少年とは
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第5回：少年事件と家庭裁判所、犯罪者と地方裁判所
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第6回：少年非行の歴史的変遷－その1
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第7回：なぜ人を殺してはいけないのか
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第8回：少年非行の歴史的変遷－その2
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)
第9回：愛着障害と非行－広島少女遺体遺棄事件
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)

第10回：現代型いじめ
事前学習：テキストの第６章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第11回：現代の子どもの死?観
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第12回：ストーカー犯罪の理解と対応－逗子ストーカー事件をもとに
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第13回：ストーカー犯罪の検証－大阪府警の100ケースをもとに
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第14回：非行・犯罪と攻撃性と依存性
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料、ノートで今まで総復習を行うこと。（２時間）
第15回：テストとまとめ
事前学習：テストに備えた学修をすること。（２時間）
事後学習：テストで分からなかった点をテキスト、配布資料等で学修すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

テスト（50%）。平常点（50%）：授業態度、出席等。

成　績　評　価　基　準

・非行少年や犯罪者を十分に理解しているか。
・人と人との関係性を修復するために必要な知識を得たか。
テストは授業の理解度、小レポートは論旨を明瞭に記述できるか、平常点は出席と授業態度

テキスト、参考図書

テキスト：『心理師・援助者のための法と臨床』　廣井亮一ほか著　有斐閣　2019年
（＊テキストは講義とテストに使?するので、各?必ず準備すること）

その他（受講上の注意）

授業中のスマホ・携帯は禁止。パソコン使用については講義中に説明する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理演習 (Clinical Psychology Training)			担当教員	渡辺　克徳、坂井　祐円、青井　利哉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABO−2355	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2クラスに分かれ、いずれかの教員の指導のもと、ペアまたは少人数のグループで、いろいろな対話や表現を体験する。これらの体験を通して、自己理解・他者理解を促すとともに、傾聴などカウンセリングの基本的態度を身に付ける。

授業の到達目標

カウンセリングにおける話の聴き方の基本を理解する。
自分自身のコミュニケーションの特徴について理解する。
ものの捉え方や考え方、コミュニケーションの仕方などの多様性について考える。
他者と円滑にコミュニケーションできる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　【担当：渡辺、青井】
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：自他理解のためのグループ体験①　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：自他理解のためのグループ体験②　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：自他理解のためのグループ体験③　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：自他理解のためのグループ体験④　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第６回：自他理解のためのグループ体験⑤　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：自他理解のためのグループ体験⑥　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：全体で体験の分かち合い　　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：傾聴のための基本技法と実践①　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：傾聴のための基本技法と実践②　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：傾聴のための基本技法と実践③　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：傾聴のための基本技法と実践④　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：傾聴のための基本技法と実践⑤　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：傾聴のための基本技法と実践⑥　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：自己理解と傾聴に関するまとめ　【担当：渡辺、青井】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
※第１回の際にグループ分けを行う。第８回では全体で体験の分かち合いを行い、第15回では自己理解と傾聴に関するまとめを行う。その他の回については、いずれかの教員のもとで演習を行う。

成　績　評　価　方　法

授業中に課す課題（60%）と授業への参加態度（40%）で評価する。
授業への参加態度については、演習活動への積極性や授業中の発言の内容などから総合的に評価する。
体験型学習ですので出席を重視し、欠席は厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準
カウンセリングにおける話の聴き方の基本について説明できるか。また、それを模擬的に実践できるか。 自分自身の考え方やコミュニケーションなどの特徴について説明できるか。 考え方やコミュニケーションの仕方の多様性について考えられるか。 他者と円滑にコミュニケーションが行えるか。
テキスト、参考図書
授業時に資料を配付する。 そのほか、参考書については、授業時に随時、紹介する。
その他（受講上の注意）
授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

比較心理学 (Comparative Psychology)			担当教員	氏田　麻美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBO−2361	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

動物の行動や認知機能について比較分析した諸研究を紹介しながら，比較心理学がどのような学問であるかの理解を深める。

授業の到達目標

科学原則に則った心理学の研究法を説明できる。
様々な認知機能について，ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できる事。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス・比較心理学とは
第2回：比較心理学の歴史
　事後学習：比較心理学の歴史についてノートにまとめる（2時間）
第3回：比較心理学の研究手法
　事前学習：前回の復習・研究手法について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：比較心理学の研究手法についてノートにまとめる（2時間）
第4回：動物の感覚の特徴
　事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間）
第5回：動物の知覚過程
　事前学習：前回の復習・知覚過程について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：第1回～第5回までの資料をまとめる（3時間）
第6回：動物の学習について
　事前学習：動物の学習について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：学習についてノートにまとめる（2時間）
第7回：動物の学習過程
　事前学習：前回の復習・学習過程について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：動物の学習過程についてノートにまとめる（2時間）
第8回：動物の記憶－1－
　事前学習：前回の復習・記憶に関連する事を調べる（2時間）
　事後学習：動物の記憶の種類についてノートにまとめる（2時間）
第9回：動物の記憶－2－
　事前学習：前回の復習・記憶（忘却）に関連する事を調べる（2時間）
　事後学習：動物の記憶についてノートにまとめる（2時間）
第10回：動物の思考過程－1－
　事前学習：前回の復習・思考について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：第6回～第10回までの資料をまとめる（3時間）
第11回：動物の思考過程－2－
　事前学習：思考の種類について関連箇所を調べる（2時間）
　事後学習：動物の思考過程についてノートにまとめる（2時間）

第12回：動物の概念形成
　　事前学習：前回の復習・概念について調べる（２時間）
　　事後学習：概念形成の仕組みについてノートにまとめる（２時間）
第13回：動物のコミュニケーション
　　事前学習：前回の復習・コミュニケーション（音声を用いたもの）について調べる（２時間）
　　事後学習：動物のコミュニケーションの種類についてノートにまとめる（２時間）
第14回：動物の社会的認知
　　事前学習：前回の復習・社会的認知について関連箇所を調べる（２時間）
　　事後学習：第11回～第14回までの資料をまとめる（３時間）
第15回：動物の心の理論
　　事前学習：心の理論について関連箇所を調べる（２時間）
　　事後学習：動物の心の理論についてノートにまとめる,第１回～の資料をまとめる（５時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（65%）　小テスト３回（15%）　平常点（20%）
（平常点は，授業への参加状況，受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

科学原則に則った心理学の研究法を説明できるか。
様々な認知機能において，ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できるか。

テキスト、参考図書

必要な資料を随時配布する。
参考図書：「比較認知科学への招待～こころの進化学～」藤田和生著 ナカニシヤ出版
　　「心の進化～人間性の起源をもとめて～」松沢哲郎・長谷川寿一編 岩波書店

その他（受講上の注意）

質問等があった場合は出欠カードの裏に書いてもらえれば次回の授業で回答していきますので，積極的に質問をしてください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

神経心理学 (Neural Psychology)			担当教員	森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABO−2362	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

様々な心的活動と神経系の機能との関連性について、身近な医療臨床場面で見られる症状や身近な知覚・認知の例（錯覚など）、あるいは最新の脳科学および実験心理学の知見を通して概観します。

授業の到達目標

■局在論に基づいた脳の基礎的な構造と心的機能の関連について基礎的な知識を獲得する。
■高次脳機能障害として扱われる代表的な症例を理解する。
■認知神経心理学的観点から，脳機能を測定する実験研究について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

臨床神経心理学および認知神経心理学と呼ばれる神経系と心理過程の関連を探求する分野の各種トピックについて、各回で取り上げ紹介します。講義で扱うトピックは日々の生活の中に溢れているため、身近な日常に当てはめて、さらに理解を深められるように心構えしておいてください。また、脳科学および医療臨床における最新の知見は、各種メディアなどで取り上げられることも多いため、それらにアンテナを張って、貪欲に知識を得る心構えを日常的にしておくことが望ましいです。

第1回：オリエンテーション
　事前学習：なし
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）
第2回：脳外観
　事前学習：脳の大きな区分分けである4つの「葉」について，各自で調べまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）
第3回：全体論と局在論
　事前学習：「全体論」と「局在論」という語について，各自で調べまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）
第4回：脳神経科学研究法　脳機能測定法
　事前学習：生体の脳機能を測定する方法について，各自で調べまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）
第5回：神経系の構造　ニューロン
　事前学習：脳の最たる構成物であるニューロンとその機能について，各自で調べまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）
第6回：視覚神経系
　事前学習：視覚情報の入り口である「眼」とその後の情報処理に至る脳の神経経路について，各自で調べまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）
第7回：聴覚神経系
　事前学習：聴覚情報の入り口である「耳」とその後の情報処理に至る脳の神経経路について，各自で調べまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）

第８回：半側空間無視・失認
事前学習：脳への器質的ダメージの後に後遺症として見られることの多い「失認」とその最たる例である「半側空間無視」について，各自で調べまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第９回：嗅覚・味覚神経系
事前学習：嗅覚・味覚情報の入り口である「鼻」と「口（舌）」とその後の情報処理に至る脳の神経経路について，各自で調べまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第10回：共感覚・だまされる脳
事前学習：異なる複数の感覚が生じる特殊な知覚現象である「共感覚」について，各自で調べまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第11回：錯覚と神経系
事前学習：さまざまな感覚で生じる「錯覚」の神経的なメカニズムについて，各自で調べまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第12回：高次脳機能障害
事前学習：代表的な「高次脳機能障害」の種類・症状・またその発生機序について，各自で調べまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第13回：言語障害　失行
事前学習：高次脳機能障害の一例として「言語障害」と「失行」について，各自で調べまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第14回：認知症
事前学習：高次脳機能障害の一例として「認知症」について，各自で調べまとめておく。（３時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第15回：記憶障害
事前学習：高次脳機能障害の一例として「記憶障害」について，各自で調べまとめておく。（３時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

定期試験（85%）平常点（15%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合評価する）

成績評価基準

■局在論に基づいた脳の基礎的な構造と心的機能の関連について理解しているか。
■高次脳機能障害として扱われる代表的な症例を理解しているか。
■認知神経心理学的観点から，脳機能を測定する実験研究について理解しているか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特殊実験Ⅰ (Experiments in Psychology Ⅰ)			担当教員	水田　敏郎、大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBO−2363	2単位	3年前期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学、特に生理心理学的実験研究の全過程について実習を行う。実験に関連した文献研究、問題設定、実験計画の立案と実行、さらに分析と結果に対する考察すべてを行う。特定の心理機能に注目し、その働き、メカニズムや変化を反映する指標とその記録や分析の方法を実習を通じて学ぶ。本授業では、感情・コミュニケーション・言語・注意・認知・記憶などの心理機能を主題として扱う。実験上の独立変数は先行研究（文献）の講読を通じて学生自身が選択し、従属変数にはテーマに即した生理心理学的指標、各種行動指標、質問紙などによる認知尺度を用いる。これらの過程で、生理心理学実験で用いる機器・装置類の取り扱い方や、各種刺激づくりを学生自らが体験、習得する。また、実験内容をレポートにまとめ、最終発表会を行うことで論文作成とプレゼンテーションのスキルを培う。

授業の到達目標

■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定する。
■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができる。
■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができる。
■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることが出来る。
■実験結果に対して理論的に考察をすることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：・オリエンテーション
事前学習：「心理学実験」や「心理学基礎実験Ⅱ」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。（1時間）
事後学習：生理心理学実験と一般の心理学実験の共通点と相違点についてまとめておく。（1時間）
第2回：・生理心理学実験の基礎とその技術①「ヒトの生理反応のメカニズムと心理的意義について」
事前学習：生体反応と行動の測定を熟読し、確認テスト（第3回の授業中に実施）の予習をする。（1時間）
事後学習：生体反応と行動の測定の解説部分を振り返り、ノートにまとめる。（1時間）
第3回：・生理心理学実験の応用とその技術②「ヒトの生理反応の記録方法について」
事前学習：生体反応と行動の測定を熟読し、確認テスト（第3回の授業中に実施）の予習をする。（1時間）
事後学習：確認テストの内容、生体反応と行動の測定の解説部分を振り返り、ノートにまとめる。（1時間）
第4回：・生理心理学実験に関する文献検索と講読（目的と実験計画の設定のためのグルーピング＊1）（PBL、討議）
A（感情・コミュニケーション・言語）　B（注意・認知・記憶）
＊1：学生は4～5人のグループに分かれ、上記AまたはBの中からテーマを選び実験計画を立て、実験を実施する。
事前学習：文献を講読し、内容をまとめレジュメを作成する。質問をまとめておく。（1時間）
事後学習：文献を講読で出された質問や議論をまとめておく。実験の計画の草案を立てる。（1時間）
第5回：・コンピュータによる実験刺激の作製①（PBL、グループワーク）
・実験計画の立案と発表①（発表）
事前学習：実験計画の立案、レジュメ作成。（1時間）
事後学習：実験計画の立案発表で出された質疑をまとる。コンピュータによる刺激づくりの復習。（1時間）

第６回：・コンピュータによる実験刺激の作製②（PBL、グループワーク）
・実験計画の立案と発表②（発表）
・レポートの書き方①（序論、目的の組み立てについて）
事前学習：実験計画の立案、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：レポートの「第１章　序論」の作製。（１時間）
第７回：・予備実験①（実験、グループワーク）
・生理心理学的指標のデータ分析方法の説明と実施①
・レポートの書き方②（方法について）
事前学習：生理心理学的指標のデータ分析方法を予習し質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：レポートの「第２章　方法」の作製。（１時間）
第８回：・予備実験②（実験、グループワーク）
・生理心理学的指標のデータ分析の実施②
・行動指標・認知系尺度の分析
・実験計画の立案、発表と決定③（発表）
事前学習：予備実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。実験計画の立案、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：実験計画の最終修正。（１時間）
第９回：・本実験①（実験、グループワーク）
生理心理学的指標、行動指標、認知系尺度（質問紙）を全グループが記録・分析する。
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第10回：・本実験②（実験、グループワーク）
・本実験のデータ分析①
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第11回：・本実験③（実験、グループワーク）
・本実験のデータ分析②
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第12回：・本実験のデータ分析③（実験・実技、グループワーク）
・結果の中間報告
事前学習：中間報告に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第13回：・研究発表会の準備（グループワーク）
・抄録の書き方
事前学習：抄録の書き方の予習と質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：研究発表会の準備。（１時間）
第14回：・研究発表会の予行演習（発表、グループワーク）
・効果的なプレゼンテーションについて
事前学習：研究発表会の予行演習に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：研究発表会の予行演習で指摘された課題の修正。（１時間）
第15回：・研究発表会（プレゼンテーション・ソフトを使用）（発表、グループワーク）
事前学習：研究発表会に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：レポート・抄録作成。（１時間）
全15回すべてを２名の教員が担当する。
第４回以降は上のA、Bのテーマ別のグループを教員１名づつがついて指導する。

成　績　評　価　方　法

レポート（60％）　平常点（40％）
（平常点は、授業の参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定することができるか。
■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができるか。
■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができるか。
■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることができるか。
■実験結果に対して理論的に考察をすることができるか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。
参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017）
認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎　日本心理学会認定心理士資格認定委員会編　金子書房（2015）

その他（受講上の注意）
原則として、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験、心理測定実習の単位を修得していること。少人数グループでの活動が多くなります。個人の役割が明確になるので、責任感をもって課題に取り組んでください。実験は長時間におよぶこともあります。授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要があります。２年次の生理心理学を履修し、人間の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特殊実験Ⅱ (Experiments in Psychology Ⅱ)			担当教員	水田　敏郎、大森　慈子、氏田　麻美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBO−2364	2単位	3年後期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学における実験的研究のなかで用いられる行動指標の記録方法と解析技術を、実験実習を通じて身につける。具体的には、人や動物（ラット）を対象にして行われる心理学実験を数週間にわたり実施する。その中で、行動観察・記録に用いる測定装置に関する基本的知識、取り扱い技術を学び、実際に記録したデータを解析し、結果に対する考察を行う。

授業の到達目標

■自ら進んで課題が設定できる。
■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができる。
■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができる。
■人や動物の様々な行動を客観的に分析できる。
■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
①心理学実験で用いられる行動指標について（授業全般、テーマ共通の概要）
②学生を方法論に基づいて設けられたテーマ別に3グループ（A：単一被験者を対象とした実験、B：2人以上の小集団を対象とした実験、C：動物（ラット）を対象とした実験）に分け、オリエンテーションを行う。

第2回：以降の内容と進め方は以下の通り。
履修学生は5週間ごとに1つのテーマに関する実験を実施し、レポートとしてまとめた後に次のテーマへ移動（ローテーション）する。最終的には学生全員が3つの異なる方法論に基づく心理学実験を完遂する。

A：単一被験者を対象とした実験（担当：水田）
① 単一被験者を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・1週（PBL、討議）
② 単一被験者を対象とした実験で用いられる行動指標の測定（モーションキャプチャー、データグローブ等を用いた各種身体運動の記録、バイオセンサー等を用いた活動量の記録）・・・・・1週（PBL、実験、グループワーク）
③ 実際の実験を計画・実施・・・・・2週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④ ③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・1週（実技）（次週レポート提出）

B：2人以上の小集団を対象とした実験（担当：大森）
① 2人以上の小集団を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・1週（PBL、討議）
② 2人以上の小集団を対象とした実験で用いられる行動指標の測定（アイマークレコーダ──等を用いた視線行動の記録、小集団活動場面のＡＶ記録に基づく会話分析と行動解析）・・・・・1週（PBL、実験、グループワーク）
③ 実際の実験を計画・実施・・・・・2週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④ ③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・1週（実技）（次週レポート提出）

C：ラットを対象とした実験（担当：氏田）
① ラットなどの動物を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・１週（PBL、討議）
② ラットを対象とした実験で用いられる行動指標の測定（オープンフィールドや回転輪等を用いた活動量の記録、各種迷路を用いた学習実験での移動軌跡等の記録）・・・・・１週（PBL、実験、グループワーク）
③ 実際の実験を計画・実施・・・・・２週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④ ③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・１週（実技）（次週レポート提出）
A、B、Cの事前・事後学習については、原則以下の通り共通とする。
①事前学習：「心理学特殊実験Ⅰ」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。（１時間）
事後学習：文献を講読し、内容をまとめ質問をまとめておく。（１時間）
②事前学習：実験装置の準備、取り扱いについてあらかじめ予習しておく。（１時間）
事後学習：分析と実験結果の整理。（１時間）
③事前学習：実験計画の立案とレジュメ作成。（１時間×２）
事後学習：分析と実験結果の整理。（１時間×２）
④事前学習：実験結果のまとめ、発表準備、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：レポート作成。（１時間）
実験心理学や生理心理学に関連する文献や卒業研究などを参考に、課題設定の方向性や具体的な実験方法について調べておくこと。
得られた実験データは、その都度、ノートにまとめたりパソコンなどに入力したりしておくこと。

成績評価方法

実験レポート（60％）、平常点（40％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。）

成績評価基準

■自ら進んで課題が設定できるか。
■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができるか。
■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができるか。
■人や動物の様々な行動を客観的に分析できるか。
■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができるか。

テキスト、参考図書

テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。
参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017）
認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎　日本心理学会認定心理士資格認定委員会編　金子書房（2015）

その他（受講上の注意）

原則として、心理学特殊実験Ⅰの単位を修得していること。実験は長時間に及ぶこともあり、授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要がある。また、人や動物の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

高齢者心理学 (Psychology of Aging)			担当教員	水上　喜美子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2365	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

高齢者の心理を理解するために、人間関係や社会参加などの社会的側面および身体機能やもの忘れなどの生理的側面についても知識を深め、高齢者と関わる上で必要な知識を習得することを目的とする。また、高齢期は「喪失の時期」であるとも言われており、このような喪失体験に対して、どのような心理的な援助ができるのかについても考えていく。

授業の到達目標

・生涯発達における高齢期の位置づけと課題を理解する。
・高齢期における加齢の変化について理解し、自分や自分の身近な人の「老い」について考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　■その他(リアクションペーパー)

授業の計画及び授業外の学習方法

講義形式ですすめる。必要に応じて視聴覚教材を用いながら、高齢期の心理的特徴と行動について学んでいく。
第1回：オリエンテーション
　事前学習：発達心理学の復習をし、高齢期の位置づけを確認すること(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第2回：高齢社会とエイジズム
　高齢社会について、グループ内でディスカッションする
　事前学習：高齢社会について、図書館で調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第3回：生涯発達と高齢期
　事前学習：発達心理学の復習をし、高齢期に発達する機能について調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第4回：加齢による変化①身体機能
　事前学習：身体の仕組みについて、図書館で調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第5回：加齢による変化②記憶・知能・知恵
　事前学習：記憶や知能、知恵について、図書館で調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第6回：加齢による変化③人格
　事前学習：人格について、図書館で調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第7回：高齢期の人間関係①家族・きょうだい
　事前学習：家族やきょうだいについてディスカッションするため、自分の意見をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第8回：高齢期の人間関係②友人・近隣
　事前学習：高齢者の友人や近隣について、祖父母に質問し、その関係性を理解しておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)

第９回：高齢期の心理的問題①死
　　事前学習：死をどのように考えているのか、自分の意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第10回：高齢期の心理的問題②うつ・不安
　　事前学習：うつや不安について、図書館で調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第11回：高齢期の心理的問題③認知症１
　　授業内で、スクリーニング検査を実施し、認知症への理解を深める。
　　事前学習：認知症について、図書館で調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第12回：高齢期の心理的問題④認知症２
　　事前学習：認知症について、関連のある書籍や論文などに目を通すこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第13回：高齢者に対する心理的援助①
　　事前学習：心理的援助について、図書館で調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第14回：高齢者に対する心理的援助②
　　事前学習：高齢者臨床について、関連のある書籍や論文などに目を通すこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第15回：高齢者の心理に関するまとめ
　　事前学習：これまで学んだことについて、さらに関心のある内容について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
毎回、授業後に、リアクションペーパーを実施する。
日常生活の中で、高齢者に関するニュースなどに関心を持つだけでなく、身近な高齢の方々と接する機会を大切にしてほしい。

成　績　評　価　方　法

レポート（30%）、平常点（40%）、小課題（30%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などから総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・生涯発達における高齢期の位置づけと課題を理解できたか。
・高齢期における加齢の変化について理解し、説明できるか。
・自分や自分の身近な人の「老い」について考えることができるか。

テキスト、参考図書

テキストは特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

その他（受講上の注意）

授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

消費者心理学 (Consumer Psychology)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBC−2371	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

私たちは毎日何気なく消費行動を行っている。一方で企業は、どのようなモノやサービス、状況であれば消費行動が行われるのか研究し、戦略を練る。消費者マインドがどのような法則に従って変動するのか、企業はそれをどのように捉えようとしているのか、社会心理学や行動経済学等の視点を取り入れながら解説する。
講義では消費者行動の基礎的な知識を習得するとともに、国内外における企業のマーケティング戦略をとりあげながら応用について学んでいくこととする。

授　業　の　到　達　目　標

1）消費者心理学における基本的な概念を理解する。
2）消費行動や意思決定について理解する。
3）消費者リスクについて理解する。
4）実社会における企業戦略について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（シミュレーションゲーム：ICT（Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：消費者心理について（ICT）
　事前学習：授業前に消費行動についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（2時間）
第2回：行動経済と心理学（ICT）
　事前学習：授業前に「行動経済と心理学」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：消費者の意志決定（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「知覚」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：消費者の意思決定（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「選択的注意」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：消費者の意思決定（3）（ICT）
　事前学習：授業前に「消費者の意思決定（1）」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：消費者の意思決定（4）（ICT）
　事前学習：授業前に「消費者の意思決定（2）」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：消費者の態度（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「消費行動」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第8回：消費者の態度（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「説得」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第９回：消費者の態度（３）（ICT）
　　事前学習：授業前に「態度や態度変容」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと。（２時間）
第10回：広告と消費行動（１）（ICT）
　　事前学習：授業前に「広告」についてどのようなものが心に残っているかまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：広告と消費行動（２）（ICT）
　　事前学習：授業前に「広告と消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：インターネット上の消費行動（ICT）
　　事前学習：授業前に「インターネット上の消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：企業戦略と悪徳商法（ICT）
　　事前学習：授業前に「企業戦略と悪徳商法」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：口コミと消費行動消費ゲーム（ICT）
　　事前学習：授業前に「口コミと消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第15回：まとめと小テスト（ICT）
　　事前学習：各講義における手書きノートを作るなどする（２時間）
　　事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく（２時間）

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【小テスト50％　課題レポート40％　授業への参加態度10％】

成　績　評　価　基　準

消費者行動についての基本的概念が理解できたか。
消費者リスクについて説明できたか。
実社会における企業戦略を分析できたか。

テキスト、参考図書

授業中に資料を配布する

その他（受講上の注意）

基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析、を実施する。その際、レポート課題の提出を求めることがある。
講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動について即座に回答を求めることがある。
回収後の結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる（現在、殆どの学生がスマートフォンで対応）。
よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。
回答時以外でのスマートフォンの利用は不可、使用は認められない。
使用を発見した場合、退出を願う場合が有る。
トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。
授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

対人心理学 (Interpersonal Psychology)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2372	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会動物であるヒトが生活していくうえで欠かせない人間関係における心理、すなわち、心の対人的側面について学ぶ。対人認知、対人行動、他者存在といった主要なテーマに加え、発達過程や文化的な問題まで、さまざまな先行研究や実験例を概観しながら理解を深める。

授業の到達目標

■人間関係における心理について理解を深める
■心理学の対人的な領域に関する主要な人物および成果の知識を得る
■心理学の対人的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：対人心理学とは
　事前学習：対人心理学の領域について調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：対人認知と印象形成(1)
　事前学習：対人認知について調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：対人認知と印象形成(2)
　事前学習：印象形成について調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：コミュニケーションと対人行動(1)
　事前学習：コミュニケーションについて調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：コミュニケーションと対人行動(2)
　事前学習：非言語コミュニケーションについて調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：コミュニケーションと対人行動(3)
　事前学習：対人行動について調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：感情と表情(1)
　事前学習：感情について調べ、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：感情と表情（２）
事前学習：表情について調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：視線行動（１）
事前学習：視線行動について調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：視線行動（２）
事前学習：日本人の視線について調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：対人距離とタッチ（１）
事前学習：対人距離について調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：対人距離とタッチ（２）
事前学習：タッチについて調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：他者存在と自己呈示（１）
事前学習：他者存在の効果について調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：他者存在と自己呈示（２）
事前学習：他者存在の自己呈示の関係について調べ、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだ内容をノートなどを含めて見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：ノートの見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

成績評価方法

期末レポート（70%）、平常点（30%）
（平常点は、６回以上の授業出席に対し、授業への参加状況とコメントペーパーの記入などから加点します）

成績評価基準

■人間関係における心理について理解しているか
■心理学の対人的な領域に関する主要な人物および研究成果を知っているか
■心理学の対人分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

テキスト、参考図書

テキストは使用しない
参考図書については適宜紹介する

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

多変量解析演習 (Multivariate Statistical Analysis)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−OBC−2373	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学のデータを用いて、多変量解析（因子分析，重回帰分析など）の基本的な考え方を理解した上で、実際の心理調査データを用いて分析手法を学ぶ。また、各自がテーマを決定し調査票を作成し、得られたデータを統計解析ソフトで分析し、その結果に対する解釈や考察の方法を学ぶ。

授業の到達目標

調査票を作成し、統計解析ソフトを利用して多変量解析（因子分析，重回帰分析）を行える知識を修得することを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：多変量解析とは？
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（4時間）
第2回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読1
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読2
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：因子分析1
　事後学習：因子分析についてわからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第5回：因子分析2（実習を含む）
　事後学習：実際にデータを取り、入力しておくこと。（4時間）
第6回：因子分析3（実習を含む）
　事後学習：分析した結果についてレポートにまとめること（4時間）
第7回：重回帰分析1
　事後学習：重回帰分析についてわからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第8回：重回帰分析2（実習を含む）
　事後学習：実際にデータを取り、入力しておくこと。（4時間）
第9回：重回帰分析3（実習を含む）
　事後学習：分析した結果についてレポートにまとめること（4時間）
第10回：オリジナル調査の調査票作成1
　事前学習：調査したい内容について考え、参考資料を準備しておくこと。（2時間）
　事後学習：調査項目の準備。（2時間）
第11回：オリジナル調査の調査票作成2（実習を含む）
　事後学習：実際にデータを取り、入力しておくこと。（4時間）

第12回：オリジナル調査のデータ解析１（実習を含む）
事前学習：分析に必要な統計手法についてのSPSSの使用法を調べておくこと。（２時間）
事後学習：分析結果を整理しておくこと。（２時間）
第13回：オリジナル調査のデータ解析２（実習を含む）
事前学習：さらに分析に必要な統計手法についてのSPSSの使用法を調べておくこと。（２時間）
事後学習：分析結果を整理しておくこと。（２時間）
第14回：オリジナル調査のレポート作成
事後学習：授業中にはできなかった分について、分析した結果についてレポートにまとめること（４時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：これまでの授業でわかなかったことなどを考えておき、授業中に質問すること。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

レポート（60%）、平常点（40%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、小課題などから総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

多変量解析（因子分析・重回帰分析など）について理解し、説明ができるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

＜テキスト＞山際勇一郎・服部環（2016）．文系のためのSPSSデータ解析　ナカニシヤ出版

その他（受講上の注意）

受講には、２年次の「心理調査法」の単位を取得していることが必要です。授業時間以外にも、解析、レポート作成等の学習が必要になります。真に、多変量解析をマスターしたい学生のみ受講してください。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業カウンセリングⅠ (Industrial Counseling Ⅰ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−AOC−2374	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

産業領域の心理臨床について、職場のメンタルヘルス対策の実際を学習する。ストレス理論を理解し、厚生労働省の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」にそって、セルフケアの知識と方法について理解を深める。

授業の到達目標

職場のメンタルヘルス対策について概説できること。
ストレス理論を理解し、自身のストレスに気づき、対処・軽減して、必要に応じて支援を求めることを身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(eラーニング、リアクションペーパー、ＮＩＥ(新聞を活用した教育))

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(リアクションペーパー)
　事前学習：シラバスを熟読すること(2時間)。
　事後学習：eラーニングへの登録を行い、携帯電話にメールが配信されるように設定すること(2時間)。
第2回：メンタルヘルス対策の実際①(ストレス調査事例)(eラーニング:端末を持参すること。)
　事前学習：eラーニングを閲覧すること(2時間)。
　事後学習：ホームページ「メンタルヘルス・マネジメント検定試験」(https://www.mental−health.ne.jp/)を閲覧すること(2時間)。
第3回：メンタルヘルス対策の実際②(事業場支援事例)
　事前学習：eラーニングを閲覧すること(2時間)。
　事後学習：新聞を購読(または、図書館利用)し、経済状況や労働環境について情報収集すること(2時間)。
第4回：職場環境の理解①(目標管理と動機づけ理論)
　事前学習：eラーニングを閲覧すること(2時間)。
　事後学習：新聞を購読(または、図書館利用)し、経済状況や労働環境について情報収集すること(2時間)。
第5回：職場環境の理解②(リーダーシップと人事評価)
　事前学習：eラーニングを閲覧すること(2時間)。
　事後学習：新聞を購読(または、図書館利用)し、経済状況や労働環境について情報収集すること(2時間)。
第6回：メンタルヘルス対策の意義①(労働者のストレスと安全配慮義務)
　事前学習：eラーニングを閲覧すること(2時間)。
　事後学習：中間レポートの準備をすること(2時間)。
第7回：メンタルヘルス対策の意義②(心の健康づくり計画)
　事前学習：eラーニングを閲覧すること(2時間)。
　事後学習：中間レポートの準備をすること(2時間)。
第8回：ストレスの理解①(ストレス理論)
　中間レポートの提出(講義の進行状況により変更になる場合があります。)
　事前学習：中間レポートを執筆すること(2時間)。
　事後学習：講義で取り上げたキーワードについて、要点をまとめること(2時間)。

第９回：ストレスの理解②（ストレスによる健康障害）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること（２時間）。
　　事後学習：講義で取り上げたキーワードについて、要点をまとめること（２時間）。
第10回：セルフケア①（セルフケアの重要性）（中間レポートのフィードバック）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること（２時間）。
　　事後学習：講義で取り上げたキーワードについて、要点をまとめること（２時間）。
第11回：セルフケア②（ストレスへの気づき・産業臨床で用いる心理アセスメント）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること（２時間）。
　　事後学習：講義で取り上げたキーワードについて、要点をまとめること（２時間）。
第12回：セルフケア③（ストレスへの対処）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること（２時間）。
　　事後学習：講義で取り上げたキーワードについて、要点をまとめること（２時間）。
第13回：セルフケア④（自発的相談と活用できる資源）
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること（２時間）。
　　事後学習：定期試験の準備をすること（２時間）。
第14回：職場復帰支援
　　事前学習：ｅラーニングを閲覧すること（２時間）。
　　事後学習：定期試験の準備をすること（２時間）。
第15回：「産業カウンセリング」に関するまとめと定期試験対策
　　事前学習：メンタルヘルマネジメント検定を試験を受験するか否か考えること（２時間）。
　　事後学習：定期試験用の「指定持込用紙」を作成すること（２時間）。
第16回：定期試験
テキストや補助資料をもとに講義ノートを充実させてください。
自身のメンタルヘルスに関心を持ち、セルフケアに取り組んでください。
新聞等のマスコミ報道を通じて、経済状況や労働環境について情報収集してください。

成　績　評　価　方　法

定期試験（60％）、中間レポート（30％）、平常点（10％）
定期試験は「指定持込用紙の持込を可とします。
中間レポートは講義中に指示します（新聞を教材とした課題を出します）。
平常点は受講態度やリアクション・ペーパーの提出状況などを総合評価します。

成　績　評　価　基　準

職場のメンタルヘルス対策について説明できる。
自身のメンタルヘルスについて関心を持ち、セルフケアを計画できる。

テキスト、参考図書

『メンタルヘルス・マネジメント検定試験公式テキスト（第４版）［Ⅲ種セルフケアコース］』
大阪商工会議所編　（株）中央経済社　1,944円　ISBN978－４－502－21491－２　2017年

その他（受講上の注意）

講義ノートを作成してください。
新聞を購読するか、図書館で閲覧してください。
講義終了後、適宜、成績評価対象となるリアクション・ペーパーの提出を求めます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業カウンセリングⅡ (Industrial CounselingⅡ)			担当教員	吉水　ちひろ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−AOC−2375	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

産業カウンセリングの実際や職場のメンタルヘルス対策について学習する。

授業の到達目標

産業カウンセリングの実際を理解し、職場のメンタルヘルス対策について具体的な説明や対応策が考えられる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：職場のメンタルヘルスⅠ　うつ病対策
　事前学習：産業カウンセリングⅠで学んだ基礎知識を復習しておく。(2時間)
　事後学習：うつ病対策でわからないことを文献で調べ質問項目を考える。(2時間)
第2回：職場のメンタルヘルスⅡ　自殺予防対策(実習)
　事前学習：どのような自殺予防対策があるかを調べておく。(2時間)
　事後学習：有効な自殺予防対策について自分の意見をまとめる。(2時間)
第3回：職場のメンタルヘルスⅢ　ストレスチェックの活用
　事前学習：こころの耳で、ストレスチェックを体験し、職場での活用の仕方を調べる。(2時間)
　事後学習：ストレスチェックに関連した知識を参考文献等で深めていく。2時間)
第4回：職場のメンタルヘルスⅣ　事例から学ぶ
　事前学習：実際に事例が様々な視点から理解できるように知識を整理しておく。(2時間)
　事後学習：具体的な問題点について整理し対応策を考えまとめる。(2時間)
第5回：職場のメンタルヘルス㈶　活用できる資源
　事前学習：活用できる資源について、参考文献などで予め調べておく。(2時間)
　事後学習：ポイントが押さえられいるか、確認問題を課す。(2時間)
第6回：産業カウンセリングの新しい考え方(実習)
　事前学習：中間レポート課題について調べ、分からない点を質問すること。(2時間)
　事後学習：中間レポートの課題を、配布資料や文献を調べる。(2時間)。
第7回：職場の人間関係作りⅠ　アサーティブコミュニケーション①(実習・ディスカッション)
　事前学習：図書館などで調べて知識を得て、ディスカッションの準備をする。(2時間)
　事後学習：中間レポートを作成する。(2時間)
第8回：職場の人間関係作りⅡ　アサーティブコミュニケーション②(実習・ディスカッション)
　事前学習：次回の授業のディスカッションの内容を考える。(2時間)
　事後学習：実習やディスカッションから、問題点を整理しまとめる。(2時間)
第9回：職場の人間関係作りⅢ　パワーハラスメント
　事前学習：職場のメンタルヘルスについて復習する。(2時間)
　事後学習：授業のポイントの確認問題を課し、それについて調べる。(2時間)
第10回：産業カウンセリングの実際Ⅰ　解決指向カウンセリング①
　事前学習：次回の授業のディスカッションの内容を考える。(2時間)
　事後学習：関連する参考文献や資料を調べる。(2時間)
第11回：産業カウンセリングの実際Ⅱ　解決指向カウンセリング②
　事前学習：分からないところの質問項目をまとめる。(2時間)
　事後学習：テーマについて、自分の意見をまとめる。(2時間)

第12回：セルフケアⅠ　ストレスへの対処、軽減の仕方（実習）
　　事前学習：テーマについて実習ができるように予め調べておく。（２時間）
　　事後学習：学習したストレス対処を実際に体験して効果を検討する。（２時間）
第13回：セルフケアⅡ　ストレスとコーピング①（実習）
　　事前学習：自分自身のストレッサーやライフイベントを把握し整理しておく。（２時間）
　　事後学習：ストレスとコーピングのワークシートを作成する。（２時間）
第14回：セルフケアⅢ　ストレスとコーピング②（実習）
　　事前学習：わからないところを調べ、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：コーピングを実践して効果を記録し整理する。（２時間）
第15回：産業カウンセリングに関するまとめ
　　事前学習：期末レポートの課題について、わからないところを質問する。（２時間）
　　事後学習：期末レポートを作成する。（２時間）
社会情勢、職場環境、メンタルヘルス等に関する情報に関心を持ち、授業で学んだ知識や経験に関連付けて知識を整理し理解を深めること。

成　績　評　価　方　法

中間レポート（20%）＋期末レポート（40%）＋平常点（40%）
（平常点は授業の参加状況、受講態度、質問カードの提出内容などで総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

産業カウンセリングの実際について理解し説明できるか。
職場のメンタルヘルス対策を理解し適切な提案が考えられるか。

テキスト、参考図書

必要に応じて授業中に資料配布する。

その他（受講上の注意）

特になし。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅰ (Special Psychology SeminarⅠ)			担当教員	稲木康一郎、氏田　麻美、大森　慈子、 坂井　祐円、杉島　一郎、竹村　明子、 西村　則昭、水田　敏郎、森　　俊之、 森本　文人、山本　雅代、吉水ちひろ、 渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2381	4単位	3年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自ら研究課題を設定することを目標にして演習を行います。テーマの設定に必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(配属先のゼミの担当教員によって演習内容は異ります。)

授業の到達目標

自らの研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回～30回：各担当教員の進め方に沿って行われる。
ゼミによっては、ディスカッションや発表が取り入れられたり、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行することがある。
第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。
第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。

成　績　評　価　方　法

レポートや発表(50%)　平常点(50%)
(レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。)

成　績　評　価　基　準

自らの研究課題を設定することができるか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できるか。

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

担当教員から指示されます。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス能力論 (Study of Business Skills)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2318	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

企業と社会、企業と生活者を結ビジネス・コミュニケーション（広報・広告・メディア・社内外）の在り方について仮想企業を想定し実践を通して学習します。

授業の到達目標

IT、グローバリゼーション、パーソナル化、少子高齢化によって急速に変化するビジネスを的確にとらえ、コミュニケーションの新たな価値創造を養うことを目的とします。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1部「株式会社コミュニケーション学科＝（株）COM」と事業※仮想企業（株）COMを設定し、事業・人・組織を学ぶ。
企業イメージを創る
第1回：企業イメージ①（仕事をつくるということ）。
事前学習：会社のため、自分のため、社会のため、はたらくとはどういうことかをまとめておく。（2時間）
事後学習：企業人を知ることで、自分ならなにを起こせるかをレポートする。（2時間）
第2回：企業イメージ②（商品・製品イメージ/商品を発想するということ）。
事前学習：今までになかった商品・製品を考えておく。（2時間）
事後学習：発想を変えることで、開発できる製品を創造してみる。（2時間）
第3回：企業イメージ③（技術イメージ/技術を創造するということ）。
事前学習：インダストリアルの背景にある発想、発明を調査しておく。（2時間）
事後学習：商品・製品の存在理由を複数レポートする。（2時間）
第4回：企業イメージ④（ブランドイメージ/ブランドは想いから生まれるということ）。
事前学習：使っている製品や、広告から得るブランドイメージを複数社準備しておく。（2時間）
事後学習：（株）COMのブランドイメージは何かを研究しておく。（2時間）
第5回：企業イメージは「理念」によって生まれる。
事前学習：各企業の理念とイメージについて研究しておく。（2時間）
事後学習：（株）COMの企業理念を考察してみる。（2時間）
第2部「株式会社コミュニケーション学科＝（株）COM」と人間
企業イメージを売る
第6回：（株）COMの理念と、人間。
事前学習：（株）COMの理念にはどんな人間像が想定されるかを考察しておく。（2時間）
事後学習：理念に従うとはどういうことなのかを自分に置き換え考える。（2時間）
第7回：（株）COMの行動指針とスローガン。
事前学習：各企業におけるスローガンを複数選択し、その意味を探っておく。（2時間）
事後学習：スローガン制作を学び、（株）COMに応用する。（2時間）
第8回：（株）COMのイメージ戦略とコスト。
事前学習：各企業におけるイメージ戦略を複数選択しておく。（2時間）
事後学習：短期・中期・長期イメージ戦略を学び（株）COMへの応用を考える。（2時間）

第９回：（株）COMのクリエイティブイメージ。
　　事前学習：広報におけるクリエイティブを、自由に記録しておく。（２時間）
　　事後学習：クリエイティブ制作を学び（株）COMへの応用を考える。（２時間）
第10回：（株）COMの広告表現（ビジネスを言葉にするということ）。
　　事前学習：一貫した企業広告を選択しておく。（２時間）
　　事後学習：広告のノウハウを学び、（株）COMに応用をまとめる。（２時間）
第３部「株式会社コミュニケーション学科＝（株）COM」と組織
企業イメージを残す
第11回：（株）COMとは「ひとり企業」の組織である。
　　事前学習：自分ができるクリエイティブ（仕事）とは何かをまとめておく。（２時間）
　　事後学習：ひとりで完結できることを探求し、成立させてみる。（２時間）
企業イメージを伝える
第12回：（株）COMの企業パンフレットをつくる。
　　事前学習：企業パンフレット（webにも応用可）を複数選択しておく。（２時間）
　　事後学習：企業内での自分の役割、得意分野を探求する。（２時間）
第13回：ひとりひとりの能力が理念に行き着くその時、組織のパワーとなる。
　　事前学習：（株）COMの理念と、自分の能力の重なりを探っておく。（２時間）
　　事後学習：理念と能力を反応させることで、どのような表現が可能かを考える。（２時間）
第14回：パーソナルページが１冊となり「（株）COM企業パンフレット」となる。
　　事前学習：パンフレット内の自分ページのラフを完成させておく。（２時間）
　　事後学習：自分ページのブラッシュアップを行い次回授業に備える。（２時間）
第15回：「（株）COM企業パンフレット」のブラッシュアップ。
「自分とは、（株）COMとは」を、プレゼンテーションする。（グループワーク・プレゼンテーション）
　　事前学習：自分ページの役割を発表する準備を行う。（２時間）
　　事後学習：自分ページと他ページのバランスを考慮し、さらなる応用を考える。（２時間）
第16回：定期試験
※履修人数、状況等により内容・計画第１部～３部を変更する場合があります。

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み・最終試験（50%）課題成果（30%）平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

実践的で現場型の※少数人数教育を通じて、これからのビジネスを理解・創造できる人材育成を目指します。基本的な職業能力を源にしてなお「自立・独立型」の幅広い知識とともに成長することを期待します
組織の中にあっても幅広いコミュニケーション能力ですべての分野を網羅する思考を持つ企業人（ひとり企業）への可能性があるかを見極めます。

テキスト、参考図書

なし

その他（受講上の注意）

ライティング技法（２年後期）を履修したものが望ましい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネスコミュニケーション研究 (Business Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−ABC−2319	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報通信媒体を介したバーチャルコミュニケーションが著しく拡大している今日において、ますます対面のコミュニケーション能力の重要性が問われる時代となっている。授業では、実社会において自身の個性や資質をより活かせるようにするための実践的なコミュニケーション能力の向上を狙いとする。

授業の到達目標

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができる。
・他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：組織とは
　事前学習：初回の授業では組織の意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：ビジネスコミュニケーションの特徴①（グループワーク）
　事前学習：次回の授業ではコミュニケーションの目的について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたマトリクスについて、用紙にまとめておくこと。（2時間）
第3回：ビジネスコミュニケーションの特徴②（発表）
　事前学習：次回の授業ではわかりやすい説明について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：現場と管理部門のコミュニケーション①
　事前学習：次回の授業では現場の役割と特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：現場と管理部門のコミュニケーション②
　事前学習：次回の授業では本部の役割と特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第６回：現場と管理部門のコミュニケーション③
事前学習：次回の授業では企画部門の役割と特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：上司と部下のコミュニケーション①（グループワーク）
事前学習：次回の授業では連絡の留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：上司と部下のコミュニケーション②（発表）
事前学習：次回の授業では報告の留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：会議のコミュニケーション①
事前学習：次回の授業では「うまくいかなかった・うまくいった会議の特徴」について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：会議のコミュニケーション②
事前学習：次回の授業では議論促進のための環境整備について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：交渉のコミュニケーション①（グループワーク）
事前学習：次回の授業では対立の背景・原因について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：交渉のコミュニケーション②（発表）
事前学習：次回の授業では説得の要件について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：顧客とのコミュニケーション
事前学習：次回の授業ではクレーム対応の留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：テキストのコミュニケーション
事前学習：次回の授業では効果的なメール・議事録とはについて意見交換するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業ではビジネスコミュニケーションと信頼について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物（70％）、平常点（30％）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成績評価基準

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができるか。
・他者とのコミュニケーションが円滑に行えるか。

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他（受講上の注意）
リアクション・ペーパー（授業中作成）の内容については、次回授業においてフィードバックします。 なお、「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本文化論 (Japanese Culture)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2327	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降に書かれた小説・詩をもとに、〈日本〉について考える。近代国家構築に関する意識や戦前・戦後の〈日本〉の姿、現在の〈日本〉の多様性などへの理解を通して、〈日本〉の歴史・文化を批評的に捉える眼を養う。

授業の到達目標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、自己の〈日本〉観を見直し、認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(課題提出)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。(2時間)
　事後学習：復習課題の概要を把握しておく。(2時間)
第2回：森鴎外「普請中」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を提出する。(2時間)
第3回：国木田独歩「武蔵野」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題2を行う。(2時間)
第4回：国木田独歩「武蔵野」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題2を提出する。(2時間)
第5回：太宰治「十二月八日」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を提出する。(2時間)
第6回：中島敦「マリヤン」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を行う。(2時間)
第7回：中島敦「マリヤン」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を提出する。(2時間)
第8回：牛島春子「祝という男」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を行う。(2時間)
第9回：牛島春子「祝という男」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を提出する。(2時間)
第10回：金鍾漢「幼年」「辻詩　海」「合唱について」「くらいまつくす」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(2時間)
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題6を提出する。(2時間)

第11回：小島信夫「アメリカン･スクール」（１）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題７を行う。（２時間）
第12回：小島信夫「アメリカン･スクール」（２）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題７を提出する。（２時間）
第13回：目取真俊「水滴」（１）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題８を行う。（２時間）
第14回：目取真俊「水滴」（２）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題８を提出する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

復習課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

テキスト、参考図書

飯田祐子・日高佳紀・日比嘉高編『文学で考える〈日本〉とは何か』・翰林書房・2016年

その他（受講上の注意）

授業で使用するPowerPointの資料を配付するので、気づいたこと･考えたことをノート欄に記入すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発論Ⅱ (Study of Planning and Development Ⅱ)			担当教員	浅野　桃子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2351	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目では、「企画開発」のために必要となる情報収集・探索能力修得のために、ユーザインタビューと行動観察の方法について考えます。そして、上記の方法に基づき、「身近な問題」の解決策をグループワークを通じて考えます。

授業の到達目標

・ユーザーインタビューの手法を理解する
・行動観察の手法を理解する
・講義で学んだ手法を用いて身近な課題の解決策を考えられる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　□討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション (講義の目的とマインドセット)
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、e－learningを通じてリフレクションを実施すること。(2時間)
第2回：企画開発のために必要な調査・探索能力とは
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第3回：ユーザー・インタビューの手法①
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第4回：ユーザー・インタビューの手法②
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第5回：ユーザー・インタビューの手法③
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第6回：行動観察の手法①
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第7回：行動観察の手法②
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第8回：行動観察の手法③
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること(2時間)
第9回：中間テスト
　事前学習：授業前に第9回までの内容を復習すること。(2時間)
　事後学習：テストを振り返り、不明な点を復習すること(2時間)
第10回：中間テストのリフレクション、チームビルディング (グループワーク)
　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：e－learningを通じてここまでの全体のリフレクションを実施すること。(2時間)

第11回：「身近な問題」の設定（グループワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第12回：「身近な問題」の調査（グループワーク・フィールドワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第13回：「身近な問題」の解決策を構想（グループワーク・フィールドワーク）
事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第14回：プレゼンテーション
事前学習：授業前にグループで発表準備をすること。（２時間）
事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第15回：講義のまとめとデブリーフィング
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

中間テスト（40%）、グループワークの制作物（20%）、期末レポート（40%）

成　績　評　価　基　準

・ユーザーインタビューの手法を理解しているか
・行動観察の手法を理解しているか
・講義で学んだ手法を用いて身近な課題の解決策を考えられるか

テキスト、参考図書

特定のテキストは指定しません。講義中に適宜紹介します。

その他（受講上の注意）

他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。 またこの科目は、後期の「企画開発演習Ⅱ」の受講要件となっています。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発演習Ⅱ (Practice in Planning and DevelopmentⅡ)			担当教員	浅野　桃子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2353	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目は、これまでに修得したアイディア発想や各種制作能力を活用し、実際に「企画を開発する」演習です。授業は、PBL（Project Based　Learning）形式でおこなわれ、アイディア構想、具現化、試行錯誤（プロトタイピング）、検証（テスト）、プレゼンテーション、評価までをチームでおこないます。取り組むテーマは、学内外の関係者と相談しながら進めます。

授　業　の　到　達　目　標

・現代社会における企画開発の意義を理解する
・他者と共同して作品をつくるための「チームで働く力」の重要性を知る
・試行錯誤を繰り返して作品をつくることができる

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

本科目はPBL形式の科目であり、グループ活動において授業外の打合せや企画の作業が必然的に発生します。それを前提として、各自、時間管理に努めてください。

第1回：オリエンテーション（講義の意味とマインドセット）
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e－learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：デスクリサーチ①
　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための調査をすること（2時間）
　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（2時間）
第3回：アイディア構想①
　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（2時間）
　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（2時間）
第4回：プロトタイピング①
　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（2時間）
　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（2時間）
第5回：検証（テスト）①
　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（2時間）
　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（2時間）
第6回：デスクリサーチ②
　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（2時間）
　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（2時間）
　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（2時間）
　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（2時間）

第７回：アイディア構想②
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第８回：プロトタイピング②
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第９回：プロトタイピング③
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第10回：ブラッシュアップ①
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第11回：ブラッシュアップ②
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第12回：プレゼンテーション
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第13回：評価①
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第14回：評価②
　　事前学習：グループで取り組むテーマを理解し、そのための作業（調査・制作など）を進めること（２時間）
　　事後学習：グループでの作業内容を確認し、各自で作業を進めること（２時間）
第15回：本発表会とデブリーフィング
　　事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は、進捗管理表への記入、グループでの活動への積極性や途中課題、発表の評価等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・現代社会における企画開発の意義を理解したか
・他者と協働する重要性を理解し、それを行動に移せたか
・試行錯誤を複数回繰り返して作品を作ることができたか

テキスト、参考図書

適宜指示します。

その他（受講上の注意）

本科目は、「企画開発論Ⅰ」、「企画開発演習Ⅰ」、「企画開発論Ⅱ」に連なる演習科目です。
そのため、受講にあたり上記の科目を修得していることを前提で演習を進めます。なお本年度は、「企画開発論Ⅰ」および「企画開発論Ⅱ」の単位取得を受講条件とします。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

マルチメディア演習 (Practice in Multimedia)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2359	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ウェブメディアにおけるコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。ウェブメディアの理解と共に、ウェブサイト制作の技法（HTML／CSSによるページ制作、スマートフォン最適化）を習得していく。

授　業　の　到　達　目　標

現在におけるウェブメディアの役割を理解する。ウェブサイトの構築手法および技法を習得する。ウェブを介してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ウェブ概論、制作ツールの紹介、データの管理方法、著作権について（実習）
　事前学習（2時間）：普段の生活でよく利用するウェブサイトを10個ピックアップする
　事後学習（2時間）：エディタの基本操作を覚える
第2回：HTMLの基礎（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、HTMLの基礎を覚える
第3回：画像をウェブに最適化する（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：画像編集ソフトの操作を復習する、用途に応じた画像の形式を覚える
第4回：CSSの基礎① レイアウト（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、CSSによるレイアウトを理解する
第5回：CSSの基礎② レスポンシブデザインによるスマートフォン最適化（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、レスポンシブを理解する
第6回：CSSの基礎③ 余白の調整（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、余白の調整方法を覚える
第7回：CSSの基礎④ 文字の調整（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、文字の調整方法を覚える
第8回：JavaScriptの基礎（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、JavaScriptで機能を追加できるようになる
第9回：ウェブ制作の実践① シングルページ（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：指定されたコンテンツを準備する
　事後学習（2時間）：ゼロから同じページを再作成する（反復練習）
第10回：ウェブ制作の実践② 一覧ページと詳細ページ（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：指定されたコンテンツを準備する
　事後学習（2時間）：ゼロから同じページを再作成する（反復練習）

第11回：期末課題制作① オリエンテーション、制作フローの確認、ラフスケッチ、コンテンツの準備（課題解決型学習、フィールドワーク）
事前学習（２時間）：これまでの配布資料を読み直しウェブ制作の技法について理解を深める
事後学習（２時間）：コンテンツ制作のための取材（写真撮影を含む）を行う
第12回：期末課題制作② 制作（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：コンテンツデータを整理してMacに読み込んでおく
事後学習（２時間）：デザインの品質を高める
第13回：期末課題制作③ 制作、中間チェック（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：数人で途中経過をプレビューし意見交換する
事後学習（２時間）：担当教員からのフィードバックをもとにデザインの品質を高める
第14回：期末課題制作④ ブラッシュアップ、作品完成・提出（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：更に良い作品にするために何度もプレビューする
事後学習（２時間）：作品データを完成、データはEラーニングより提出する
第15回：期末課題制作⑤ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
事前学習（２時間）：プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）：他の学生の作品を鑑賞し批評する

その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「使いやすさ」「デザインパターン」を意識して、日常利用しているウェブサイトやアプリを別の視点で見る。
・センスを鍛えるために自主制作をする。※制作アプリは無料でダウンロードできます。
・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・ウェブの基本が理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・ウェブの基本を理解した上で、課題作品の制作ができているか。

テキスト、参考図書

テキスト：使用しない
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザイン実務演習 (Practice in Business Design)			担当教員	橋本　洋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2360	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションとビジュアル・デザインに関する知識を基に、その伝達手段のエレメントとしての表現方法について、演習を通して試行・研究する。また、プレゼンテーションを行い伝わるデザインかを検証する。

授業の到達目標

コミュニケーション手段の一つとして、正確に伝わる効果的表現をすることができ、さらに、独創的な伝達方法を提案できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション / 伝わると伝えるについて……＜課題1：「あつい・さむい」を表現＞
　事前学習：「伝わる・伝える」の違いを考える（2時間）
　事後学習：課題「あつい・さむい」を仕上げる（2時間）
第2回：伝わるを試してみよう！（形だけで表現）
　事前学習：プレゼンテーションの仕方を考える（2時間）
　事後学習：伝わるを意識し、表現方法を修正をする（2時間）
第3回：色の持つ役割
　事前学習：社会で使われている色（使われ方・ルール・効果など）について調べる（2時間）
　事後学習：色の持つ効果をまとめる（2時間）
第4回：配色のイメージ表現……＜課題2：配色イメージ表現＞
　事前学習：色の持つイメージ（赤＝エネルギッシュ等）を調べる（2時間）
　事後学習：配色イメージ表現の課題の再検討・修正（2時間）
第5回：最小限の表現 説明と制作
　事前学習：誰もが知っている短編小説や童話などを調べる（2時間）
　事後学習：最小限の表現の課題仕上げとプレゼンテーションを考える（2時間）
第6回：最小限の表現 プレゼンテーション（発表（プレゼンテーション））…＜課題3：最小限の表現について＞
　事前学習：効果的なプレゼンテーションを考える（2時間）
　事後学習：伝わる表現ができたか、改善点はないか（2時間）
第7回：錯視と形……＜課題4：基本の錯視＞
　事前学習：基本の錯視について調べる（2時間）
　事後学習：錯視の課題プリントを仕上げる（2時間）
第8回：ユニバーサルデザイン①
　事前学習：テキスト～P12とP50～P57を参考に、ユニバーサルデザインと思うものを集める（2時間）
　事後学習：テキストP60～P75を参考に、考えをまとめる（2時間）
第9回：ユニバーサルデザインの色②
　事前学習：テキストP26～P48を読み、どのような配慮が必要か考える（2時間）
　事後学習：ユニバーサルデザインの要点を整理する（2時間）
第10回：イベント企画①（規則と内容）　（グループワーク・発表）
　事前学習：授業内で行えるイベント案を複数考え、発表に備える（2時間）
　事後学習：案の見直し（2時間）

第11回：イベント企画②（コンセプトと内容）　（グループワーク・発表）
　　事前学習：コンセプトについて調べる（２時間）
　　事後学習：イベント内容の見直し（２時間）
第12回：役割分担とスケジュール管理　（グループワーク・発表）
　　事前学習：自分の役割について考える（２時間）
　　事後学習：全体の流れを確認する（２時間）
第13回：情報の整理と告知　（グループワーク・発表）……＜課題５：伝達のための表現＞
　　事前学習：必要な情報の整理と、伝達方法を考える（２時間）
　　事後学習：具体的な伝達案を示す課題５を仕上げる（２時間）
第14回：情報の伝達と効果（グループワーク・発表）
　　事前学習：告知案の修正（２時間）
　　事後学習：イベント準備（２時間）
第15回：イベント開催と総括
　　事前学習：イベント準備（２時間）
　　事後学習：イベントの反省と改善点と、他グループのイベントについても同様に考える（２時間）

成　績　評　価　方　法

５回の課題への取り組み（課程）30%　課題成果（結果）30%　プレゼンテーション30%　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・授業態度、提出物の状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

身の廻りのコミュニケーション成立のために、ビジュアルデザインの基礎知識を合理的かつ効果的に活用し、また、その効果を考察して、修正することができるか。

テキスト、参考図書

・岡嶋克典・（一財）日本色彩研究所 著『色彩検定 公式テキスト UC級』　株式会社グラフィック社　2018年
・坂本信二 著　『デザイン入門教室［特別講義］』　SBクリエイティブ株式会社　2018年

その他（受講上の注意）

授業時以外においても、生活内での現状調査等を伴う。
課題に関連する情報収集など積極的に考察・行動し、独自のプレゼンテーションができるように工夫・練習に努めるよう。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン演習 (Practice in Project Design)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2363	2単位	3年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

環境変化のスピードが加速するとともに、予測も困難になってきている今日において、正解を導き出す力よりも、正解のない答え・最善策をメンバーとともに模索していく力が求められている。授業では、多面的・複眼的思考により仮説を設定・プランを策定し、試行錯誤しながら自分達の結論を導き出すための問題解決型のコミュニケーション能力の向上を狙いとする。

授　業　の　到　達　目　標

・現状を把握し、対策を立案することができる。
・アクションプランを策定することができる。
・メンバーとともにプランを実行することができる。
・評価を行い、改善策を検討することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：企画書(案)の理解(グループワーク)
　事前学習：初回授業では企画書の構成について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：実施計画の検討(グループワーク)
　事前学習：次回の授業では実施計画について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：実施計画書の策定(グループワーク)
　事前学習：次回の授業では実施計画について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：実施計画書のレビュー
　事前学習：次回の授業では実施計画について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された実施計画書の加筆・修正について、レポートにまとめておくこと。(2時間)
第5回：実施準備(グループワーク)
　事前学習：次回の授業では実施準備について意見交換をするため、実施準備上の留意点について自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第６回：実施（グループワーク）
事前学習：次回の授業では計画の実行について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：実施（グループワーク）
事前学習：次回の授業では計画の実行について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：評価・改善策の検討（グループワーク）
事前学習：次回の授業では評価・改善について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された報告書について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第９回：報告書の発表
事前学習：次回の授業では報告書について発表をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：取組みテーマの検討（グループワーク）
事前学習：次回の授業では取組みテーマについて意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：取組み内容の検討（グループワーク）
事前学習：次回の授業では取組み内容について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：企画書（案）の策定（グループワーク）
事前学習：次回の授業では企画書（案）について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：企画書（案）の策定（グループワーク）
事前学習：次回の授業では企画書（案）について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：企画書（案）のレビュー
事前学習：次回の授業では企画書（案）について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された企画書（案）の加筆・修正について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：企画書（案）のレビュー
事前学習：次回の授業では企画書（案）について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された企画書（案）の加筆・修正について、レポートにまとめておくこと。（２時間）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70％）、平常点（30％）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成　績　評　価　基　準

・現状を把握し、対策を立案することができるか。
・アクションプランを策定することができるか。
・メンバーとともにプランを実行することができるか。
・評価を行い、改善策を検討することができるか。

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他（受講上の注意）
作成した「企画書」および「実施計画書」は、レビューを通じてフィードバックします。 また、「授業計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションa (English Communication a)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2367	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

世界の様々な出来事について述べている記事を聞いて読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。

授　業　の　到　達　目　標

色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ナウル島の問題(食べ物の選択はどんな影響を与えますか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第2回：ナウル島の問題(食べ物の選択はどんな影響を与えますか。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：情熱(情熱とは何ですか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第4回：情熱(情熱とは何ですか。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第5回：良い教師の影響(良い教師はどんな影響を与えますか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第6回：良い教師の影響(良い教師はどんな影響を与えますか。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第7回：復習(第1回～6回の内容についての復習)(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第2,3,4ユニットを復習する。(2時間)
　事後学習：テキストの第2,3,4ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：ユーモアと笑い(何が面白いですか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第9回：ユーモアと笑い(何が面白いですか。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第10回：デートの心得(デートのルールは何ですか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。(2時間)

第11回：デートの心得（デートのルールは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：栄養と運動（栄誉と運動について。聞く、読む）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：栄養と運動（栄誉と運動について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：脳の異なる層（脳の異なる層について。聞く、読む）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された脳の異なる層について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：脳の異なる層（脳の異なる層について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第5,6,7,8ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキスト
Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス３）
Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN’UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1
（島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2016）
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Students must be fully prepared and proactively participate in each in-class activity.
This is not a lecture course. This course is taught exclusively in English.

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションb (English Communication b)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2368	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

世界の様々な出来事について述べている記事を聞いて読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。

授　業　の　到　達　目　標

色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：テクノロジー中毒(テクノロジーの弱点。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第2回：テクノロジー中毒(テクノロジーの弱点。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：ミラーニューロン(ミラーニューロンとは何ですか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第4回：ミラーニューロン(ミラーニューロンとは何ですか。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第5回：幸福追求の理科(人間はどうやって幸せになるの。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された幸福追求の理科について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第6回：幸福追求の理科(人間はどうやって幸せになるの。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された幸福追求の理科について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第7回：復習(第1回〜6回の内容についての復習)(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第9,10,11ユニットを復習する。(2時間)
　事後学習：テキストの第9,10,11ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：糖分の中毒(糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された糖分の中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第9回：糖分の中毒(糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。書く、話す)(討議　発表)
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された糖分の中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第10回：結婚の進化(結婚の進化について。 聞く、読む)(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。(2時間)

第11回：結婚の進化（結婚の進化について。 書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。 聞く、読む）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。 書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。聞く、読む）（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された男性の脳、女性の脳について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第12,13,14,15ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

テキスト、参考図書

テキスト
Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス３）
Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1
（島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2016）
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Much outside-class preparation is necessary in order to fully participate in this course.
This course is taught exclusively in English.

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

TOEIC英語Ⅱ (TOEIC EnglishⅡTOEIC EnglishⅡ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2370	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

TOEICテストの問題に取り組むためのテクニックを向上させる。TOEIC730点レベルの語彙300語を習得する。

授業の到達目標

リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのさらなるスコアアップを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：Listening Part 1 写真描写問題（1）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：Listening Part 1 写真描写問題（2）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（2）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：Listening Part 1 写真描写問題（3）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（3）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：Listening Part 2 応答問題（1）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：Listening Part 2 応答問題（2）（実技）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：Listening Part 2 応答問題（3）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（2）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：Listening Part 3 会話問題（1）/ Reading Part 7　1つの文書（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：Listening Part 3 会話問題（2）/ Reading Part 7　1つの文書（2）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第10回：Listening Part 3 会話問題（3）/ Reading Part 7　1つの文書（3）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第11回：Listening Part 4 説明文問題（1）/ Reading Part 7　複数の文書（1）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）

第12回：Listening Part 4 説明文問題（2）/ Reading Part 7 複数の文書（2）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第13回：Listening Part 4 説明文問題（3）/ Reading Part 7 複数の文書（3）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第14回：Listening Part 4 説明文問題（4）/ Reading Part 7 複数の文書（4）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第16回：定期試験
・TOEICを実際に受験すること（学内外を問わない）
・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

成 績 評 価 方 法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

TOEIC730点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

塚田幸光 『はじめてのTOEIC? L&Rテスト 全パート総合対策』 アスク 2017年
TEX加藤 『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年
また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他（受講上の注意）

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス英語a (Business English a)			担当教員	福永　眞理子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2371	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ビジネスを行う上で必要とされる英語表現とマナーについて学ぶ。主にペアワークを用いて、学生主体の英会話の練習を中心に行う。

授業の到達目標

ビジネスで多用される英語表現を使うことが出来る。
職務上でのやり取りを英語でスムーズに行うことができる。
ビジネス上のマナーを理解している。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introduction / Business English　(一部ディスカッションを取り入れる)
事前学習：シラバスとテキストのIntroductionとContentsに目を通し、質問事項をメモにまとめておくこと。(2時間)
事後学修：授業のシラバスの説明や「社会人体験談」を参考にして、自己の到達目標をまとめること。(2時間)

第2回：Lesson 1 : Indtoducing Yourself to a Business Colleague
事前学習：授業前にテキストのUnit 1を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：授業中に学んだ会話表現を用いて、初めて会う目上の人への自己紹介を作成する。(2時間)

第3回：Lesson 2 : Making a Self−Introduction at a business Meeting
事前学習：授業前にテキストのUnit 2を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：授業中に学んだ会話表現を用いて、会議の場での自己紹介を作成する。(2時間)

第4回：Lesson 3 : Introducing Business Guests to Colleagues
事前学習：授業前にテキストのUnit 3を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：授業中に学んだ会話表現を用いて、同僚(友人でもよい)を来訪者に紹介する文を作成する。(2時間)

第5回：Lesson 4 : Leaving a Message on an Ansering Machine or Voice Mail
事前学習：授業前にテキストのUnit 4を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：どこかの店に電話をかける状況を設定し、授業中に学んだ会話表現を用いて、伝言文を作成する。(2時間)

第6回：Lesson 5 : Leaving a Message by Phone
事前学習：授業前にテキストのUnit 5を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、電話応対表現をまとめる。(2時間)

第7回：Lesson 6 : Taking a Message in Person for a Colleague
事前学習：授業前にテキストのUnit 6を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、応対表現をまとめる。(2時間)

第8回：Lesson 7 : Getting Ready to Go: Checking−In at the Airport
事前学習：授業前にテキストのUnit 7を音読し、わからない単語を調べる。(2時間)
事後学修：空港のチェックイン時に希望の席を伝える文を授業中に学んだ表現を用いて作成する。(2時間)

第９回：Lesson 8：Getting through Immigration and Customs
事前学習：授業前にテキストのUnit 8を音読し、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：空港の入国審査時に渡航目的を伝える文を授業中に学んだ表現を用いて作成する。（２時間）
第10回：Lesson 9：Settling into your Hotel
事前学習：授業前にテキストのUnit 9を音読し、会話状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：ホテル内での「トラブル」を１つ設定し、解決を要望する文を作成する。（２時間）
第11回：Lesson 10: Conducting a Business Meeting
事前学習：授業前にテキストのUnit 10を音読し、会議の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、会議での表現をまとめる。（２時間）
第12回：Lesson 11: Making Appointments with Customers
事前学習：授業前にテキストのUnit 11を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：テキストのDialogueやMini－Dialoguesのいずれかを利用し、「約束をする」会話文を作成する。（２時間）
第13回：Lesson 12: Making Small－Talk with Colleagues
事前学習：授業前にテキストのUnit 12を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDの表現を利用し、Small－Talk文を作成する。（２時間）
第14回：Lesson 13: Writing and Responding to Business－Related E－Mails
事前学習：授業前にテキストのUnit 13を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：テキストのMini－Dialoguesのいずれかのemailに対する質問をするemail文を作成する。（２時間）
第15回：Lesson 14: Writing and Responding to an Informal E－Mail
事前学習：授業前にテキストのUnit 14を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：テキストのMini－Dialoguesを参考に、友人にイベント開催についてのemail文を作成する。（２時間）

成績評価方法

期末レポート（50%）授業への積極的参加および授業毎の発表内容（50%）

成績評価基準

ビジネス上用いられる英語表現を使用することができるか。
ビジネス上のマナーを理解しているか。

テキスト、参考図書

Leonard, T. J.（2006）"Business as Usual" Seibido
BBC Learning English　http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/english-at-work

その他（受講上の注意）

５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス英語b (Business English b)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2372	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

国内外の企業の歴史について英語で学ぶ。読解能力を高めるための語彙を増やす。

授業の到達目標

各企業の歴史について英語で読むことができる。
各企業の歴史について経営的な観点から理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introduction
事前学習：教科書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第2回：Lesson 1: Kirin
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第3回：Lesson 2: Edwin
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第4回：Lesson 3: NPC
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第5回：Lesson 4: Kobayashi Pharmaceutical
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第6回：Lesson 5: Itochu
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第7回：Lesson 6: Kameda Seika
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第8回：Lessn 7: Urawa Red Diamonds
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第９回：Lesson 8 : Terumo
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：Lesson 9 : Daiseki
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：Lesson 10: Kikkoman
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：Lesson 11: Shoei
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：Lesson 12: Yamaha
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：Various Companies 1
事前学習：興味のある企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：Various Companies 2
事前学習：興味のある企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成 績 評 価 方 法

期末レポート（40%）、授業内課題（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成 績 評 価 基 準

国内外で活躍する企業の歴史を理解したか。
英語の読解能力が身に付いたか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Hayashi, Brenda., 岡田圭子、嶋林昭治、鈴木充夫『Moving ahead in the 21st Century: 12 Forward-looking Companies』（2009）松柏社

そ の 他（受 講 上 の 注 意）

５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語文章表現法 (English Essay Writing)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2276	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

書くプロセスを重視したコミュニカティブ・ライティングにより、メッセージを効果的にわかりやすく読み手に伝えるライティングの力を養成する。

授　業　の　到　達　目　標

英語でのライティング能力を高め、メッセージをグローバルに発信できるコミュニケーション能力を育成する。プロセス･ライティングの方法を理解し、英文を書く際に用いることができる。パラグラフの構成・展開の方法、多様なパラグラフの書き方、エッセイの構成、アウトラインの書き方や効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、文章の統一性やまとまりに留意して、英文を書くことができる。中学校および高校で効果的なライティングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：プロセス・ライティングの理解
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で学習したプロセス・ライティングについての復習課題をする。（2時間）
第2回：書く前の活動
　事前学習：事前にテキストの第1章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：書く前の活動の内容、ブレインストーミングの方法について復習課題をする。（2時間）
第3回：パラグラフの構成について
　事前学習：事前にテキストの第2章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。（2時間）
第4回：パラグラフの展開のしかた
　事前学習：事前にテキストの第3章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：パラグラフの展開のしかたについて復習課題をする。（2時間）
第5回：まとめ①（第1回～4回の内容についての復習）、グループワーク（ピアエディティング）
　事前学習：事前にテキストの第1章～第3章を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：他者からのコメントを元に作文を書き直す。（2時間）
第6回：記述・プロセスパラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第4章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：記述・プロセスパラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第7回：意見パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第5章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：意見パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第8回：比較・対比パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第6章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：比較・対比パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第9回：問題・解決パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第7章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：問題・解決パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）

第10回：まとめ②（第６回～９回の内容についての復習）、ディスカッション・発表（AD－Task）
　　事前学習：事前にテキストの第４章～第７章を復習し、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：課題作文を書く。（２時間）
第11回：エッセイの構成について
　　事前学習：事前にテキストの第８章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：エッセイの構成について復習課題をする。（２時間）
第12回：エッセイのアウトラインの書き方
　　事前学習：事前にテキストの第９章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：エッセイのアウトラインの書き方について復習課題をする。（２時間）
第13回：序論および結論の書き方
　　事前学習：事前にテキストの第10章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：序論および結論の書き方について復習課題をする。（２時間）
第14回：統一性と首尾一貫性
　　事前学習：事前にテキストの第11章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：統一性と首尾一貫性について復習課題をする。（２時間）
第15回：まとめ③（第11回～14回の内容についての復習）、ディスカッション・発表（PS－Task）
　　事前学習：事前にテキストの第８章～第11章を復習し、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：課題作文を書く。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

1．Process writing の方法を理解し、英文を書く際に用いることができるか。
2．パラグラフの構成を理解し、それを踏まえて英文を書くことができるか。
3．パラグラフの展開の方法を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
4．記述パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
5．プロセスパラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
6．意見パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
7．比較・対比パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
8．問題・解決パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
9．エッセイの構成を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
10．アウトラインの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
11．効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
12．統一性やまとまりのある英文を書くことができるか。

テキスト、参考図書

Writing Essays: From Paragraph to Essay　Zemach, D. E.　MACMILLAN LANGUAGE HOUSE　2013
他に随時プリントを使う。

その他（受講上の注意）

なるべく多く英文を書いて、書くことに対する抵抗が少なくなるよう努力してもらいたい。主体的な学習を期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学研究 (Studies on English Linguistics)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2377	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

言語学観点に基づき、英語を体系的に分析・理解する手法を学ぶ。国際共通語としての英語の構造面に焦点をあて、異文化コミュニケーションで営まれる英語を理解する。

授業の到達目標

英語という言語の概要・背景を学び、確かな異文化理解力および英語力を育成する。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、「英語学Ⅱ」の復習をする(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第2回：英語の非言語コミュニケーション(1)近接空間学(人との距離関係と位置関係・空間把握)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第3回：英語の非言語コミュニケーション(2)パラ言語学(話し方と声の出し方によるコミュニケーションへの意味づけ)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第4回：英語の非言語コミュニケーション(3)身体動作学(身振り・手振り・表情・姿勢)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第5回：語彙からみる英語らしさ(1)歴史的観点(イギリス英語とアメリカ英語に見られる借用語・日本語からの借用語)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第6回：語彙からみる英語らしさ(2)認知的観点(英語らしいカテゴリー化・英語らしい喩え方)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第7回：語彙からみる英語らしさ(3)婉曲語法と政治的正しさ(婉曲的語法と政治的正しさの機能)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第8回：文法からみる英語らしさ(1)文法関係(主語・述語・目的語・補語)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること(2時間)
第9回：文法からみる英語らしさ(2)品詞(動詞と名詞にみる英語らしさ)

第10回：文法からみる英語らしさ（3）構文（英語らしい構文と言い回し）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第11回：音韻からみる英語らしさ（1）音声学と音韻論（言語音の物理的側面）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第12回：音韻からみる英語らしさ（2）英語の音声（音素・母音と子音・音節とモーラ）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第13回：音韻からみる英語らしさ（3）英語のアクセント・イントネーション・リズム（語レベルの音韻現象・文と発話レベルの音韻現象）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第14回：音韻からみる英語らしさ（4）国際共通語的観点（共通語としてのintelligibilityに関わる音韻的特徴）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば図書館で調べること（2時間）
予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直して復習をしてください。

成 績 評 価 方 法

期末レポート（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、英語の発話を分析することができるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト：平賀正子（著） 『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房 2016年
参考図書：英語学を学ぼう: 英語学の知見を英語学習に活かす（高橋勝忠著、開拓社 平成29年）

その他（受講上の注意）

遅刻3回で欠席1回とみなす。必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英米文学研究 (British and American Literature British and American Literature)			担当教員	原口　　治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2378	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

イギリス文学（＝小説、詩、演劇、批評）の著名な諸作品の解説及び原典（抜粋）を精読し、作品の政治、文化的背景等の知識を深めることで、文学研究の基礎的能力を修得します。尚、最終的に個人発表と定期試験の基準達成が必須です。

授業の到達目標

文学研究により自他の個性の多様性を理解し、多様な集団・組織の中でのコミュニケーション能力の育成を目指します。また、課題や個人プレゼンテーション、及び定期試験の実施により、様々な情報の収集及び選択能力の養成を図ります。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：テキストP1～P343本講義のガイダンス，図書館における事前学習及び事後学習方法の各種指導
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第2回：テキストP217～P240イギリス小説（Ⅰ）・『プライドと偏見』，『オリヴァ── ・テュイスト』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第3回：P270～P292イギリス小説（Ⅱ）・『嵐が丘』，『ダロウェイ夫人』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第4回：テキストP161～P188イギリス小説（Ⅳ）・『ロビンソン・クルーソー』，『ガリバー旅行記』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第5回：テキストP196～P216イギリス詩（Ⅰ）・ワーズワス，キーツ（ロマン派詩人）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第6回：テキストP140～P160イギリス詩（Ⅱ）・ブレイク，ロバート・バーンズ
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第７回：テキストＰ２～Ｐ29 イギリス詩（Ⅲ）・『ベオウルフ』,『カンタベリー物語』,『サーガーウェンと円卓の騎士』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第８回：テキストＰ293～Ｐ308 イギリス演劇（Ⅰ）・『ピグマリオン』,『マイ・フェア・レディ』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第９回：テキストＰ60～Ｐ73 イギリス演劇（Ⅱ）・演劇創世記
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第10回：テキストＰ96～Ｐ107 イギリス演劇（Ⅲ）・『ジェームス朝』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第11回：テキストＰ74～Ｐ94，Ｐ310～Ｐ311 イギリス演劇（Ⅳ）・シェイクスピア（Ⅳ）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第12回：テキストＰ284～Ｐ292『ダウントン・アビー』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第13回：テキスト発表会準備（個別指導）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第14回：テキストＰ１～Ｐ343　発表会（個人プレゼンテーション及び討議）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第15回：テキストＰ１～Ｐ343　発表会（個人プレゼンテーション及び討議）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第16回：テキストＰ１～Ｐ343 定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験 60％ 毎回の課題提出 10％　個人発表（講義に関する任意のテーマについてのプレゼンテーション）30％

成　績　評　価　基　準

イギリス文学の作品や文化研究を通して、自他の個性の多様性を理解し、発表等において自分の意見を公表できるか。

テキスト、参考図書

秋篠 憲一（他）　『イギリス文学への招待』　朝日出版社　1999年

その他（受講上の注意）

講義（特に第１回）において、本講義受講上の注意や説明等を詳細に行ないます。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

現代社会研究 (Studies of Contemporary Society)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2382	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

現代社会における人種・エスニシティ・ジェンダー・環境などの状況について実例をもとに紹介する。本講義を通じて、社会の抱える諸問題の重要性を理解した上で、社会学的視点から考察する力を養う。

授業の到達目標

現代社会の抱える社会問題に関心をもち、自身の経験や自身をとりまく社会状況にひきつけて考察する発想を身につけること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事前学習：授業前に該当するテキストの序章を読み、重要事項をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第2回：社会学を権力から読み解く
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第3回：社会学と権力の理論①　M.ウェーバー
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第4回：社会学と権力の理論②　M.フーコー
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第5回：社会に潜む権力①　家族
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第6回：社会に潜む権力②　地域生活
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第7回：社会に潜む権力③　都市と農村
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第8回：文化と権力①　メディアと人間
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)

第９回：文化と権力②　教育
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第10回：文化と権力③　民族問題
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第11回：文化と権力④　環境問題
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第12回：文化と権力⑤　時間と労働
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第13回：権力へのまなざし①
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第14回：権力へのまなざし②　（討議（ディスカッション、ディベート）　を実施）
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第15回：まとめ　（討議（ディスカッション、ディベート）　を実施）
　　事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

　レポート（５０％）　平常点（５０％）
?平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
?internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は、不可になります。

成　績　評　価　基　準

?自らでテーマを設定し、必要なデータを収集することが出来るか。
?事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できているか。
?講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができるか。

テキスト、参考図書

西原和久・油井清光編著『現代人の社会学・入門 －グローバル化時代の生活世界』有斐閣

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画・テキスト等に変更を加える可能性があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

データ解析法b (Quantitative Data Analysis b)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2368	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会学的データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを解説する。分散分析や単回帰分析そして重回帰分析を中心に、その考え方と実際の使い方を学ぶ。

授業の到達目標

・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できるようになる。
・多変量解析の考え方を理解できるようになる。
・多変量解析の基礎的な手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来るようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(パソコンを用いた演習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：これまでの授業で使用したテキストで記述統計学・推測統計学について復習しておく(2時間)
　事後学習：統計ソフトの使い方を確認しておく(2時間)
第2回：復習(1)──尺度水準、記述統計量
　事前学習：記述統計量の求め方について確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第3回：復習(2)──検定の考え方
　事前学習：検定とは何か、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第4回：多変量解析の考え方：変数をコントロールするとは、どういうことか？
　事前学習：変数のコントロールとは何か、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第5回：分散分析の理論と演習
　事前学習：分散分析とはどのような分析か、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第6回：単回帰分析の理論と演習
　事前学習：単回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第7回：重回帰分析の理論と演習(1)
　事前学習：重回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第8回：重回帰分析の理論と演習(2)──独立変数が2つの場合
　事前学習：独立変数が2つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第9回：重回帰分析の理論と演習(3)──独立変数が3つ以上の場合
　事前学習：独立変数が3つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)
第10回：カテゴリカル・データの間の連関を探る(1)
　事前学習：カテゴリカル・データとは何か、確認しておくこと(2時間)
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)

第11回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（２）
　　事前学習：カテゴリカル・データの連関について確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（２時間）
第12回：因子分析と主成分分析
　　事前学習：主成分分析とは何か、確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（２時間）
第13回：因子分析の理論と演習（１）
　　事前学習：因子分析とは何か、確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（２時間）
第14回：因子分析の理論と演習（２）
　　事前学習：因子分析と主成分分析の違いについて確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：統計分析を用いたレポートを執筆する（２時間）
　　事後学習：レポートを修正する（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（30%）　平常点（70%）
（平常点は提出物・小テスト・レポートを総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できているか。
・多変量解析の考え方を理解できているか。
・多変量解析の手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来ているか。

テキスト、参考図書

テキストは定めない。
参考図書として、村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士編『SPSSによる多変量解析』オーム社（2007年）
小田利勝『ウルトラ・ビギナーのためのSPSSによる統計解析入門』プレアデス出版（2007年）
また、適宜、授業中に指示を与える。

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【E】〔多変量解析の方法に関する科目〕に相当する。
「社会調査方法論」、「統計学（旧カリ：社会統計学）」、SPSSの使い方の知識を前提として、授業をすすめる。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プログラミング (Programming)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2387	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

プログラミングの実習では、基礎的なプログラミングについて学んでいきます。前半はプログラミングの知識について学んでいきます。プログラム言語には様々な種類がありますが、本実習ではPythonとVBAを扱います。そして、後半は、実際にプログラミングを行います。プログラミングを行うことで、自身の想像したアルゴリズムをフローチャートとして可視化しそれをコーディングする力を養います。これらの能力を養うことで、企業や地域社会における様々問題を解決するために必要な論理的思考力を育みます。

授業の到達目標

自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することが可能となること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　□討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス　プログラミングの基本と種類、開発環境
　事前学習：シラバスについてよく読み、プログラミングの概念について調査すること (2時間)
　事後学習：プログラミングの基本と種類についての資料を熟読し、理解すること (2時間)
第2回：プログラミングの基礎　マイクロビットの開発環境
　事前学習：マイクロビットの開発方法やスタイルについて調査すること (2時間)
　事後学習：マイクロビットの開発環境について慣れ、課題に取り組むこと (2時間)
第3回：プログラミングの基礎　マイクロビットの基礎
　事前学習：マイクロビットの仕組みについて理解し、コーディングに慣れること (2時間)
　事後学習：マイクロビットの基礎課題に取り組むこと (2時間)
第4回：マイクロビットを使ったプログラミング実習　フローチャートの記述
　事前学習：マイクロビットに搭載された各センサーの実装方法を習得すること (2時間)
　事後学習：マイクロビットの基礎課題について取り組むこと (2時間)
第5回：マイクロビットを使ったプログラミング実習　プログラミングの実装
　事前学習：マイクロビットの付随アクセサリーの実装方法を理解すること (2時間)
　事後学習：発表の準備に取り掛かること (2時間)
第6回：マイクロビットを使ったプログラミング発表
　事前学習：応用課題の発表準備に取り組むこと (2時間)
　事後学習：他の発表に用いられた工夫や技術について考察し、まとめること (2時間)
第7回：Pythonの基礎　開発環境
　事前学習：Pythonという言語について事前に学習し、その特徴を理解すること (2時間)
　事後学習：Pythonのコーディング環境について学ぶこと (2時間)
第8回：Pythonを使った手続き型プログラミング
　事前学習：Pythonを使ったコーディング環境でサンプルプログラムを作成すること (2時間)
　事後学習：Pythonを使った手続き型プログラミングの基本構文を理解すること (2時間)
第9回：Pythonを使ったプログラミング　対話型プログラミング　実装
　事前学習：Pythonを使った基本的なコーディングについて学ぶこと (2時間)
　事後学習：繰り返し構造、順次構造、条件分岐について理解を深めること (2時間)

第10回：Pythonを使ったプログラミング　対話型プログラミング　検証・実験
　　事前学習：順次構造、繰り返し構造、条件分岐を使ったプログラムのコーディングに取り組むこと（2時間）
　　事後学習：応用課題の発表準備を行うこと（2時間）
第11回：Pythonプログラムの発表
　　事前学習：応用課題の発表準備に取り組むこと（2時間）
　　事後学習：他の発表に用いられた工夫や技術について考察し、まとめること（2時間）
第12回：VBAの基礎
　　事前学習：VBAという言語について事前に学習し、その特徴を理解すること（2時間）
　　事後学習：VBAのコーディング環境について学ぶこと（2時間）
第13回：VBAの応用
　　事前学習：VBAを使ったコーディング環境でサンプルプログラムを作成すること（2時間）
　　事後学習：VBAを使った手続き型プログラミングの基本構文を理解すること（2時間）
第14回：VBAの応用
　　事前学習：順次構造、繰り返し構造、条件分岐を使ったプログラムのコーディングに取り組むこと（2時間）
　　事後学習：VBAの関数を調査し、それを利用する練習に取り組むこと（2時間）
第15回：VBAの応用
　　事前学習：インターネットで調査しながらプログラムのコーディングに取り組むこと（2時間）
　　事後学習：応用課題に取り組み提出を行うこと（2時間）
プログラミングの書籍は出版社から様々なものが販売されている。
講義のみで不明瞭な点があった場合は、自分にあった書籍で学習し、補完に取り組むこと

成　績　評　価　方　法

授業の評価方法
演習課題・宿題（50%），応用課題（50%）
授業中に演習課題を提出できなかった場合、宿題とする
十分な提出期間を設けているため、必ず提出すること
定期試験は実施しない

成　績　評　価　基　準

・情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解できているか
・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することが可能か
以上の二つを評価の基準とする。

テキスト、参考図書

授業は自作スライドを中心に行う。特定のテキストは指定しないが、参考図書については講義中に適宜紹介する.

その他（受講上の注意）

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査演習 a (Practice in Information and Social Research a)			担当教員	織田　暁子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2388	2 単位	3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施（調査票の配布・回収）、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。

授業の到達目標

・社会調査の企画と実施ができるようになる。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。
・統計ソフトを使いこなせるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：オリエンテーションとグループ決定
　事前学習：量的調査法と質的調査法の違いについて確認しておくこと（2 時間）
　事後学習：自分が選択した調査法について復習しておくこと（2 時間）
第 2 回：グループごとにテーマについての話し合い（1）
　事前学習：調査テーマについて下調べをしておくこと（2 時間）
　事後学習：テーマに関連する文献を調査する（2 時間）
第 3 回：グループごとにテーマについての話し合い（2）
　事前学習：テーマに関連する文献を読んでおくこと（2 時間）
　事後学習：調査テーマを決定する（2 時間）
第 4 回：テーマについてのグループ発表
　事前学習：調査テーマについての発表資料を作成する（2 時間）
　事後学習：授業での指摘を受けて、資料を修正する（2 時間）
第 5 回：テーマについての文献レビュー
　事前学習：テーマに関連する文献を複数探す（2 時間）
　事後学習：文献レビューをまとめる（2 時間）
第 6 回：仮説構成（1）
　事前学習：テーマに関連する複数の仮説を立てる（2 時間）
　事後学習：仮説を修正する（2 時間）
第 7 回：仮説構成（2）
　事前学習：仮説に関連する文献を収集する（2 時間）
　事後学習：仮説に関連する文献をまとめる（2 時間）
第 8 回：仮説の発表
　事前学習：発表資料を作成する（2 時間）
　事後学習：発表資料を修正する（2 時間）
第 9 回：質問作成（1）
　事前学習：質問項目を検討する（2 時間）
　事後学習：質問項目を修正する（2 時間）

第10回：質問作成（２）
　　事前学習：質問選択肢を検討する（２時間）
　　事後学習：質問選択肢を修正する（２時間）
第11回：質問案発表
　　事前学習：発表資料を作成する（２時間）
　　事後学習：発表資料を修正する（２時間）
第12回：質問紙の作成（１）
　　事前学習：質問紙の内容を検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙の内容を修正する（２時間）
第13回：質問紙の作成（２）
　　事前学習：質問紙のレイアウトを検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙のレイアウトを修正する（２時間）
第14回：実査準備（１）
　　事前学習：調査対象について検討する（２時間）
　　事後学習：調査計画を修正する（２時間）
第15回：実査準備（２）
　　事前学習：調査場所・日時について検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙を修正・調整し、印刷する（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表の評価等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
・統計ソフトを使いこなせているか。

テキスト、参考図書

授業開始時に各教員から指示がある。

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度後期に開講される「情報・社会調査演習b」と連続して受講すること。情報・社会調査演習aあるいはbのみの履修は認めない。
また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は３回までとする。
初回授業で、質的調査・量的調査のクラス分けを行う。
・質的調査班の履修条件は下記のとおり。
①既に「社会学入門（旧カリ：社会調査法Ⅰ）」「社会調査法（旧カリ：社会調査法Ⅱ）」「データ解析法a」を履修済であること。
②「データ解析法b」を受講すること、もしくは履修済であること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査演習b (Practice in Information and Social Research b)			担当教員	織田　暁子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2389	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施（調査票の配布・回収）、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。

授業の到達目標

・社会調査の企画と実施ができるようになる。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。
・統計ソフトを使いこなせるようになる。
・自分の主張を論理的に報告書にまとめられるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：実査①
　事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う（2時間）
　事後学習：実査のデータの管理・整理（2時間）
第2回：実査②
　事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う（2時間）
　事後学習：実査のデータの管理・整理（2時間）
第3回：コーディング・データ整理①
　事前学習：エディティング・コーディングガイドを作成する（2時間）
　事後学習：コーディング作業を行う（2時間）
第4回：コーディング・データ整理②
　事前学習：入力マニュアルを作成する（2時間）
　事後学習：データ入力作業を行う（2時間）
第5回：コーディング・データ整理③
　事前学習：クリーニングガイドを作成する（2時間）
　事後学習：クリーニング作業を行う（2時間）
第6回：データ分析①
　事前学習：データ分析の方針を立てる（2時間）
　事後学習：データ分析の方針を修正する（2時間）
第7回：データ分析②
　事前学習：単純集計を確認する（2時間）
　事後学習：データを概観し、エラーを確認する（2時間）
第8回：データ分析③
　事前学習：分析モデルについて検討する（2時間）
　事後学習：データ分析を行う（2時間）
第9回：データ分析④
　事前学習：データ分析を行う（2時間）
　事後学習：データ分析結果を修正する（2時間）

第10回：データ分析⑤
事前学習：データ分析を行う（２時間）
事後学習：データ分析結果を修正する（２時間）
第11回：報告書作成①
事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第12回：報告書作成②
事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第13回：報告書作成③
事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第14回：報告書作成④
事前学習：レイアウトを調整する（２時間）
事後学習：レイアウトを修正する（２時間）
第15回：報告書作成⑤
事前学習：校正作業を行う（２時間）
事後学習：データを修正する（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表や報告書の評価等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
・統計ソフトを使いこなせているか。
・自分の主張を論理的に報告書にまとめられているか。

テキスト、参考図書

授業開始時に各教員から指示がある。

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度前期に開講された「情報・社会調査演習a」と継続して受講すること。情報・社会調査演習bのみの履修は認めない。履修者の調査演習報告書の執筆をもって、単位認定を行う。
また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は３回までとする。
質的調査班・量的調査班とも、受講条件は下記のとおり。
・同一年度・同一クラスの「情報・社会調査演習a」の単位を取得していること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企業と情報 (Business Activities and Informatics)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2390	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

授業では、企業と（企業にとって人・モノ・金に次ぐ第4の経営資源といわれる）情報の関わりについて考察し、情報化社会における企業活動の概況や課題について理解を深めることを狙いとする。

授業の到達目標

・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができる。
・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：企業の形態とガバナンス
　事前学習：初回の授業では企業概要からわかることについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された企業理念について、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：組織文化と企業理念
　事前学習：次回の授業では組織文化の影響について考えるため、組織文化がもたらすものについて自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：マネジメント
　事前学習：次回の授業ではマネジメントの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：マーケティング
　事前学習：次回の授業ではマーケティングの役割について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：イノベーション
　事前学習：次回の授業ではイノベーションの必要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：経営戦略
　事前学習：次回の授業では経営戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：事業戦略
事前学習：次回の授業では事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：ビジネスモデル①（グループワーク）
事前学習：次回の授業では市場の開拓について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：ビジネスモデル ②（グループワーク）
事前学習：次回の授業では付加価値創造について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：情報セキュリティ
事前学習：次回の授業では情報セキュリティについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：人事と雇用システム
事前学習：次回の授業では人材育成ついて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：メンタルヘルスとサスティナビリティ
事前学習：次回の授業ではメンタルヘルス管理について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：リーダシップ
事前学習：次回の授業ではリーダシップの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：日本経済と労働環境
事前学習：次回の授業では日本の労働環境の課題について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業では情報化社会における企業のあり方について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70%）平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができるか。
・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他（受講上の注意）

リアクション・ペーパー（授業中作成）の内容は、次回授業においてフィードバックします。
なお、「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、前後したり変更する場合があります。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ｉａ (Special Seminar in Communication Ｉa)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 織田　暁子、紺渡　弘幸、M　ハウカ、 升田　法継、矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2393	2単位	3年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)

授業の到達目標

自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

演習のテーマについて基礎的知識を養うための研究・実践を行う。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。
(例)
第1回：オリエンテーション (各ゼミで取り扱うテーマに沿った先行研究の提示、ディスカッション)
　事前学習：自らが取り組みたいテーマについて考え、まとめてくる。(2時間)
　事後学習：輪読の対象となる先行文献を学ぶ。(2時間)
第2回：輪読 (発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第3回：輪読 (発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第4回：輪読 (発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第5回：輪読 (発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第6回：輪読 (発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)

第７回：第１～６回の先行研究を振り返り、自らの研究テーマを決める（ディスカッション）
事前学習：これまで輪読した先行研究を振り返り、研究テーマを決めてくる。（２時間）
事後学習：ディスカッションにて得られた知見をもとに、研究テーマに対する考えを深める。（２時間）
第８回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第９回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第10回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第11回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第12回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第13回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第14回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第15回：まとめと今後の課題について（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマをより明確にし、発表できるようにする。（２時間）
事後学習：ディスカッションで指摘された課題も考慮し、自らの研究テーマをレポートにまとめる。（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

自らの問題意識を明確にできているか。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読ができるか。

テキスト、参考図書

必要に応じて指示する。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示がある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ｉb (Special Seminar in Communication Ｉb)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 織田　暁子、紺渡　弘幸、M　ハウカ、 升田　法継、矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2394	2単位	3年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)

授業の到達目標

自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。論文の書き方、調査の仕方の基礎を身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

演習のテーマについて専門的知識を深めるための研究・実践を行う。概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。
(例)
第1回：オリエンテーション
　事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
　事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)
第2回：論文の書き方：学術論文を書く上での注意点 (ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第3回：論文の書き方：背景 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第4回：論文の書き方：背景 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第5回：論文の書き方：背景 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第6回：論文の書き方：定義 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第7回：論文の書き方：定義 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第8回：論文の書き方：定義 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第9回：論文の書き方：定義 (発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)

第10回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第11回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第12回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第13回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション）
事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第14回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション）
事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第15回：論文の書き方：まとめと参考文献（発表、ディスカッション）
事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

卒業研究に取り組むことができるだけの専門的な知識をつけられているか。文献などの講読を通して、自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定できるようになったか。

テキスト、参考図書

必要に応じて指示する。

その他（受講上の注意）

問題意識の明確化、研究課題の設定のために必要な、本演習以外の授業を履修すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice (Volunteer))			担当教員	大森　慈子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授業の到達目標

それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。学生間はもとより地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
4～7月　　事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
8～9月　　現地にて研修（26時間以上）
10～11月　事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施　（2時間）
課題に関連する情報の収集
・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。
　　レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

成　績　評　価　方　法

プログラムへの取組み（50%）　レポート（20%）　プレゼンテーション（30%）

成　績　評　価　基　準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice(International Exchange))			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2165	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)もしくはカナダ・アルバータ大学附属英語学校での集中講義(3週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
本科目では、原則として、「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を行い、以後の学修・研究のための動機付けを得ること、異文化理解を深めることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：全体説明会
　事前学習：英語教育センターにある資料を読み、質問項目をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第2回：事前授業(提出物、課題指示等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第3回：事前授業(提出物、課題指示等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第4回：事前授業(現地活動の企画等)①(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第5回：事前授業(現地活動の企画等)②(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第6回：事前授業(現地活動の準備等)①(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第7回：事前授業(現地活動の準備等)②(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第8回：事前授業(現地活動の準備等)③(グループワーク)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)
第9回：事前授業(航空券、その他書類配付等)(ディスカッション)
　事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業で課された課題に取り組む(2時間)

第10回：事前授業（出発前の最終確認）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
＜集中講義（夏季休暇中）＞
第11回：事後授業（研修のふりかえり・レポート課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第12回：事後授業（プレゼン課題指示）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第13回：事後授業（プレゼン練習）（グループワーク）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第14回：事後授業（報告会）（発表）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）
第15回：事後授業（まとめ）（ディスカッション）
事前学習：授業で課された課題について、自分なりに意見をまとめておく（２時間）
事後学習：授業で課された課題に取り組む（２時間）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

テキスト、参考図書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：　英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研修期間：　夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：　夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏季休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

学校臨床心理学 (Clinical Psychology in Schools)			担当教員	廣澤　愛子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABO−2456	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学校現場で生じている問題のうち、臨床心理学的支援が有効に働く課題について、その実態と支援の在り方を学ぶ。

授業の到達目標

学校現場における有効な臨床心理学的支援を、他者と議論し、情報を収集し、自ら主体的に考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：臨床心理学とは── 理論的背景 ──
事前学習：臨床心理学とは何かについて、インターネットを使って調べ、自分の言葉で説明する。（2時間）
事後学習：授業を踏まえて、臨床心理学とは何かについて、自分の新たな考えを追加し、事前学習の時点で考えていた説明を修正する。（2時間）
第2回：臨床心理学とは── グループワークを通して ──
事前学習：前回の授業後にまとめた「臨床心理学とは何か」について、他者に伝わる言葉でまとめ、配布資料を作る。（2時間）
事後学習：他者の意見を聴き、自分の「臨床心理学とは何か」の定義を加筆修正する。（2時間）。
第3回：学校における臨床心理学的支援の実際その1 ── 特別支援教育に係わる支援の在り方 ──
事前学習：実践事例を事前に読み、自分なりに理解したことをまとめておく（2時間）
事後学習：教員の授業を踏まえて、実践事例における支援方法について、自分なりの考えをまとめておく（2時間）
第4回：特別支援教育に係わる支援についてのグループディスカッション
事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間）
事後学習：グループディスカッションで出た他者の意見を踏まえ、グループ全体の意見をまとめた資料を作成する（2時間）
第5回：グループごとのプレゼンテーション①
事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分の考えを再構成する（2時間）
第6回：学校における臨床心理学的支援の実際その2 ── いじめに係わる支援の在り方 ──
事前学習：事前に支援事例を読み、理解を深める（2時間）
事後学習：いじめ事例への対応について、自分なりの考えをまとめる（2時間）
第7回：いじめについてのグループディスカッション
事前学習：グループディスカッションに提示するための資料を作成する（2時間）
事後学習：他の人のの発表も踏まえ、自分の考えを再構成する（2時間）
第8回：グループごとのプレゼンテーション②
事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第9回：学校における臨床心理学的支援の実際その3 ── 保護者支援について ──
事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間）
事後学習：授業を踏まえて、保護者支援の要諦について、自分の考えをまとめる。（2時間）。

第10回：保護者支援についてのグループディスカッション
事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間）。
事後学習：他の人の意見を聴いて、自分の意見を再構成してまとめる（2時間）。
第11回：グループごとのプレゼンテーション③
事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第12回：学校現場でも活用できる心理技法の紹介――体験実習を通して――
事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間）
事後学習：実習を踏まえて、技法の特性についてまとめる。（2時間）。
第13回：心理技法の実際――その用い方と有効性――
事前学習：この技法を使った支援事例を検索し、まとめる。（2時間）
事後学習：技法についての授業を踏まえて、技法の応用方法についてまとめる（2時間）
第14回：心理技法についてのグループディスカッション
事前学習：これまでの授業の中で、最も印象に残ったトピックについて自分の考えをまとめる。（2時間）
事後学習：グループディスカッションを通して、学校における臨床心理学が果たす役割について自分の考えをまとめる。（2時間）
第15回：総括
事前学習：プレゼンテーションのための資料を作成する（2時間）
事後学習：他の人の発表も踏まえて、自分の資料を再構成して提出する（2時間）

成　績　評　価　方　法

小レポート（40%）+ディスカッション（30%）+プレゼンテーション（30%）

成　績　評　価　基　準

他者と議論し、的確に情報を収集し、それらを踏まえて主体的に考え、課題解決に導くことができているか。さらに、その解決策を他者に分かりやすく提示することができているか。

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、適宜、授業の中で紹介するか、講師がレジュメを配布する。

その他（受講上の注意）

※授業の積み重ねの中で、自分なりの考えや観点を生成していくことを心がけてください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

障害者心理学 (Psychology of the Disabled)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2466	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感覚障害や知的障害、肢体不自由など様々な障害の概念について解説する。また、特に最も発生率の高い知的障害について分類や障害メカニズムについて解説し、心理的な特徴とその支援の方法について述べる。

授業の到達目標

障害の概念、定義について理解することができる。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができる。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。(2時間)
第2回：障害の概要と定義
　事前学習：第2回分のプリント(障害の概要と定義)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第3回：知的障害のアセスメント①
　事前学習：第3回分のプリント(知的障害のアセスメント①)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第4回：知的障害のアセスメント②(グループワーク)
　事前学習：第4回分のプリント(知的障害のアセスメント②)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第5回：感覚の発達と障害
　事前学習：第5回分のプリント(感覚の発達と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第6回：知覚の発達と障害①
　事前学習：第6回分のプリント(知覚の発達と障害①)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第7回：知覚の発達と障害②(グループワーク)
　事前学習：第7回分のプリント(知覚の発達と障害②)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第8回：学習の発達と障害
　事前学習：第8回分のプリント(学習の発達と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第9回：言語の発達と障害①
　事前学習：第9回分のプリント(言語の発達と障害①)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)
第10回：言語の発達と障害②(グループワーク)
　事前学習：第10回分のプリント(言語の発達と障害②)について穴あき部分を埋めておく。(2時間)
　事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)

第11回：運動の発達と障害①
事前学習：第11回分のプリント（運動の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：運動の発達と障害②（グループワーク）
事前学習：第12回分のプリント（運動の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：知的障害以外の発達障害
事前学習：第13回分のプリント（知的障害以外の発達障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：障害と支援（グループワーク）
事前学習：第14回分のプリント（障害と支援）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：障害者心理学に関するまとめ
事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（３時間）
事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（３時間）
第16回：定期試験
各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、問題意識をもって授業に臨んでください。

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）　平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

障害の概念、定義について説明することができるか。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができるか。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について説明することができるか。

テキスト、参考図書

講義資料は適宜配布する。

その他（受講上の注意）

障害に対する理解を得たり、疑問点を解決しようとするなど、目的意識をもって受講することを期待します。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会福祉概論 (Survey of Social Welfare)			担当教員	元村　妙子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2476	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会保障および、社会福祉とは何かについて考える。現代社会において、福祉は、医療・教育とともに、私たちのよりよい生活に必要不可欠なものである。その福祉の理念やあゆみ、ソーシャルワークと政策の連関など仕組みと方法を解説し、基礎的な理解を深める。

授業の到達目標

ソーシャルワーク実践と福祉政策の関連性を理解することができる。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができる。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション 福祉とはその語源を探る、学習の仕方の説明等
　事前学習：社会福祉や地域の福祉の取組など身近な福祉の取り組みについて新聞記事やメディア、書籍を読んで自身の理解を深めておくこと。(2時間)
　事後学習：講義で紹介した書籍等を通じて復習、福祉の歴史についてまとめておく(2時間)
第2回：社会福祉の援助と専門職
　事前学習：他者を支援するとはどういうことか、福祉の営み・行為について考えておく(2時間)
　事後学習：講義資料をもとに、復習し、現代社会のなかでの福祉と専門職について考えをまとめておく(2時間)
第3回：福祉の視点 他者を援助するとは
　事前学習：前回の講義の問いの自身の意見をまとめておく(2時間)
　事後学習：福祉の対象と対象者を取り巻く環境(社会)に関する理解をまとめておく(2時間)
第4回：社会福祉の援助と専門技術(1)
　事前学習：ソーシャルワーカーとはどのような分野や職種があるのか予習しておく(2時間)
　事後学習：講義で紹介した社会福祉援助技術の詳細・展開過程について参考文献等からまとめる(2時間)
第5回：社会福祉の援助と専門技術(2)
　事前学習：コミュニティーワークについて地域の身近な実践と関連付けて予習しておく(2時間)
　事後学習：講義の資料からソーシャルワークの原則・基本原理についてまとめる。(2時間)
第6回：事例から考える児童・家庭福祉
　事前学習：児童をとりまく福祉環境・福祉問題についてどのような機関や施設があるのか予習する。(2時間)
　事後学習：紹介事例の熟読・ケースワークのプロセスを理解しておく。(2時間)
第7回：要保護児童の自立支援
　事前学習：児童と家庭の福祉についての理解を深め、児童の最善の利益についての調べておく。(2時間)
　事後学習：児童をとりまく福祉システムをまとめ、子どもの発達保障と福祉政策の連関について自身の意見をまとめる。(2時間)

第８回：障がい者の自立支援
事前学習：障がいを抱えて生きるとはどのようなことか、利用できる支援制度・サービスについて予習する。（２時間）
事後学習：講義で紹介した参考文献を読み、「合理的配慮」についてまとめる。（２時間）
第９回：高齢者に対する制度と施設・サービス
事前学習：高齢者とはどのような定義であるか、専門的ケアとはどのようなものか予習する。（２時間）
事後学習：介護サービスと高齢者の生活、障がいとの連関をまとめ、サービスの形態別に理解を深める。（２時間）
第10回：社会福祉のあゆみ 東洋と西洋
事前学習：オリエンテーションで紹介した福祉の歴史３段階について予習しておく。（２時間）
事後学習：救済と共済の発展段階の違いについてまとめておく（２時間）
第11回：社会保障の形成と現代社会
事前学習：福祉発展の３段階について理解を深めておく（２時間）
事後学習：現代社会に社会福祉が成立する過程についてイギリスの展開からまとめておく。（２時間）
第12回：日本の社会保障（１）年金・労働保険
事前学習：年金・労働保険制度に関する最近の動向を新聞等から読み取り問題意識をまとめておく。（２時間）
事後学習：社会保険の定義を復習し、年金制度の運用がどうあるべきか自身の考えをまとめておく（２時間）
第13回：日本の社会保障（２）医療保険
事前学習：医療保険についてその成立背景・制度体系を予習しておく。（２時間）
事後学習：医療保険の概要について復習しておく（２時間）
第14回：日本の社会保障（３）介護保険・社会手当
事前学習：社会手当にはどのようなものがあるか、制度について予習しておく（２時間）
事後学習：日本における社会手当の特徴をまとめ、いかに普遍・選別的の政策決定していくか意見をまとめる（２時間）
第15回：日本における公的扶助制度とその運用
事前学習：日本における生活保護制度について制度およびその問題点を予習しておく。（２時間）
事後学習：生活保護制度の概要と原理原則、予防的な自立支援の制度のあり方について考える。（２時間）

成　績　評　価　方　法

レポート試験（60%）　小レポート（40%）

成　績　評　価　基　準

社会福祉および社会保障の理念と政策・実践の連関を理解することができるか。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができるか。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深めるか。

テキスト、参考図書

その他（受講上の注意）

社会保障の理解を通じて、身近な福祉の取り組みを自身の生活に生かす。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅱ (Special Psychology SeminarⅡ)			担当教員	稲木康一郎、氏田　麻美、大森　慈子、 坂井　祐円、杉島　一郎、竹村　明子、 西村　則昭、水田　敏郎、森　　俊之、 森本　文人、山本　雅代、吉水ちひろ、 渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2482	4単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の計画・実行段階として、心理学特別演習Ⅰで学生自らが設定した課題の解決にむけて、それらを遂行するために考えられる様々なアプローチ方法を立案します。さらに、それらの中から実行が妥当かつ可能なものを選択・吟味していきます。その際に、必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(担当教員によって演習内容は異ります。)

授業の到達目標

自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を吟味し選択する能力を身につける。研究を実施できる。
研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回～30回：各担当教員の進め方に沿って取り組んでいく。
特別演習Ⅰ同様、授業では、ディスカッションや発表が取り入れられる。
ゼミによっては、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行する。
各受講生の課題解決に向けて必要と思われる本演習以外の授業を履修し、または以前に受講した授業で関連のある内容について全般的に復習する。
第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。
第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。

成　績　評　価　方　法

レポートや発表(50%)　平常点(50%)
(レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。)

成　績　評　価　基　準

自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を立案し選択する能力を身につけることができたか。研究を実施できたか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できたか。

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

担当教員から指示されます。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	稲木康一郎、氏田　麻美、大森　慈子、 坂井　祐円、杉島　一郎、竹村　明子、 西村　則昭、水田　敏郎、森　　俊之、 森本　文人、山本　雅代、吉水ちひろ、 渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2483	6単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して学生自らが設定した研究テーマや計画をもとに、研究を進めて卒業論文に仕上げます。

授業の到達目標

心理学研究として適切な課題の設定を行う。妥当な研究の方法を選択する能力を身につける。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

担当教員の指導に従って取り組んでいきますが、おおむね以下のようなスケジュールになります。
4～5月　課題・研究計画の立案と決定
6～8月　研究の実行
9～10月　結果の分析
11～12月　考察や論文のまとめ
1月下旬～2月上旬　卒業研究発表会
※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われますが、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがあります。
担当の教員から適宜指示されます。

成　績　評　価　方　法

論文(50%)　平常点(40%)　発表(10%)
(平常点は卒業研究と発表への参加・取り組み状況や、取り組む態度などを総合して判断します。)

成　績　評　価　基　準

心理学研究として適切な課題が設定されているか。妥当な研究の方法を選択する能力が身についているか。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができているか。

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

心理学の様々な専門分野から自らがテーマや方法を決めて研究を進めます。4年間の集大成ともいえる研究となります。全力で取り組んでください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザインマネジメント論 (Design Production and Management)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOO−2461	2単位	4年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「デザイン思考」をもとにして、社会の課題を解決するアイデアを発想し、プロトタイピングによって視覚的にプレゼンテーションする方法を実践的に学ぶ。アイデアの出し方や、プロトタイピングをワークショップ形式で行う。

授業の到達目標

経営におけるデザインの役割を理解し、そのための手法および技法を習得する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、デザイン思考とは（実習）
　事前学習（2時間）：：普段の生活でよく利用するアプリを10個ピックアップする
　事後学習（2時間）：デザイン思考について理解する
第2回：デザイン思考による課題解決の事例（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：デザイン思考のそのほかの事例を調べる
第3回：アイデアスケッチの方法論（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：アイデアスケッチの目的について理解する
第4回：アイデアスケッチの実践（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：アイデアスケッチのルールを理解する
第5回：プロトタイピング（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：プロトタイピングツールの操作を復習する
第6回：プロトタイピングの実践① リサーチ（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：リサーチの手法を理解する
第7回：プロトタイピングの実践② ユーザーストーリー（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：ユーザーストーリーの組み立て方を理解する
第8回：プロトタイピングの実践③ 画面設計（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：画面設計の手法を理解する
第9回：プロトタイピングの実践④ プロトタイプの作成（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：プロトタイピングツールの操作を復習する
第10回：プロトタイピングの実践⑤ プロトタイピングしたものを伝える（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：プロトタイプを他者に伝える企画書作りの手法を理解する

第11回：期末課題① リサーチ／ユーザーストーリー（課題解決型学習、フィールドワーク）
事前学習（２時間）：これまでの配布資料を読み直しプロトタイピングの技法について理解を深める
事後学習（２時間）：更にリサーチを行う
第12回：期末課題② 画面設計（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：リサーチやユーザーストーリーを整理する
事後学習（２時間）：画面設計をブラッシュアップする
第13回：期末課題③ プロトタイプの作成（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：数人で途中経過をプレビューし意見交換する
事後学習（２時間）：担当教員からのフィードバックをもとにデザインの品質を高める
第14回：期末課題④ プロトタイプのブラッシュアップ／企画書にまとめる（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：更に良い作品にするために何度もプレビューする
事後学習（２時間）：作品データおよび企画書を完成、データはEラーニングより提出する
第15回：期末課題⑤ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
事前学習（２時間）：プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）：他の学生の作品を鑑賞し批評する

その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「イノベーション」を意識して、日常利用しているアプリを別の視点で見る。
・日頃から「デザイン思考」をする。
・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み（40%）　課題の成果（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・手法を理解し、独自の視点でアイデアを展開できているか。
・客観的なデータによる分析やクリエイティブな表現により、魅力的な企画をたてることができたか。

テキスト、参考図書

テキスト：使用しない
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

授業内容が前後したり、見学に変更する場合がある（授業内またはeラーニングで事前に告知する）。授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン研究 (Research on Project Design)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOO−2464	2単位	4年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目では、「プロジェクト・デザイン基礎」および「プロジェクト・デザイン演習」と連動しながら、「プロジェクトをデザイン／マネジメントすること」の意義を学び、その方法について研究します。受講者は、各自「プロジェクト・デザイン」のテーマを持ってチームに関わり、メンバーのファシリテーションをおこないます。その実践を通じて、プロジェクト・デザインの方法について調査・試行し、レポートにまとめます。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授業の到達目標

・ファシリテーションスキルの重要性を理解する
・プロジェクトにおいて、当事者意識を持って関われる
・「プロジェクト・デザイン」についてテーマを設定し、研究できる

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ファシリテーション）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（講義の目的とマインドセット）
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e−learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：企画開発のために必要な調査・探索能力とは
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第3回：ユーザー・インタビューの手法①
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第4回：ユーザー・インタビューの手法②
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第5回：ユーザー・インタビューの手法③
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第6回：行動観察の手法①
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第7回：行動観察の手法②
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第8回：行動観察の手法③
　事前学習：授業前にe−learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e−learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）

第９回：中間テスト
　　事前学習：授業前に第９回までの内容を復習すること。（２時間）
　　事後学習：テストを振り返り、不明な点を復習すること（２時間）
第10回：中間テストのリフレクション、チームビルディング（グループワーク）
　　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じてここまでの全体のリフレクションを実施すること。（２時間）
第11回：「身近な問題」の設定（グループワーク）
　　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第12回：「身近な問題」の調査（グループワーク・フィールドワーク）
　　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
　　第13回：「身近な問題」の解決策を構想（グループワーク・フィールドワーク）
　　事前学習：授業前にe－learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第14回：プレゼンテーション
　　事前学習：授業前にグループで発表準備をすること。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（２時間）
第15回：講義のまとめとデブリーフィング
　　事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：e－learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

最終レポート（50%）　平常点（50%）
なお平常点は、各回のリフレクションシートや授業への参加態度をもとに評価します。

成　績　評　価　基　準

・ファシリテーションスキルの重要性を理解できたか
・プロジェクトにおいて、当事者意識を持って関われたか
・「プロジェクト・デザイン」についてテーマを設定し、研究することができたか

テキスト、参考図書

特定のテキストはありません。適宜指示します。

その他（受講上の注意）

PBL科目であり、プロジェクトには参加メンバーのみならず学内への利害関係者への責任が伴います。責任ある受講を求めます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化コミュニケーション (Presentation Skills a)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2473	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

記事の分析と批判的思考に焦点を当て、異文化コミュニケーション構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、論理的な議論における流暢さと正確さを追及する。

授　業　の　到　達　目　標

グローバルな課題について、記事を読む。各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。記事の内容からディスカッションをする。与えられた課題について、各学生が口頭発表をする。異文化コミュニケーションや批判的思考能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：今日の世界の異文化コミュニケーション(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された今日の世界の異文化コミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第2回：異文化コミュニケーションのための英語(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された異文化コミュニケーションのための英語について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第3回：人間のコミュニケーションの重要な特徴(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された人間のコミュニケーションの重要な特徴について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第4回：文化という概念(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された文化という概念について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第5回：言語と思考(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された言語と思考について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第6回：コミュニケーション・スタイル(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課されたコミュニケーション・スタイルについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)
第7回：1～6の復習(グループワーク討議)
　事前学習：授業前にテキストの第1～6ユニットを復習する。(2時間)
　事後学習：テキストの第1～6ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)
第8回：人間の心理とコミュニケーション(グループワーク討議　発表)
　事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：授業で課された人間の心理とコミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)

第９回：言語行為と文化（グループワーク討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された言語行為と文化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第10回：ステレオタイプと異文化コミュニケーション（グループワーク討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第９章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたステレオタイプと異文化コミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：異文化コミュニケーションにおける文化調整（グループワーク討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された異文化コミュニケーションにおける文化調整について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：高等教育における文化コミュニケーション（グループワーク討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された高等教育における文化コミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：海外留学と異文化適応（グループワーク討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された海外留学と異文化適応について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：将来のための異文化協力（グループワーク討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された将来のための異文化協力について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：７～13の復習（グループワーク討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第７～13ユニットを復習して、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された第７～13ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（２時間）
定期試験

成績評価方法

授業での言語活動（25%）、課題（25%）、定期試験（50%）

成績評価基準

自分の意見や考えを伝える力を身につけることができたか。
記事の内容からディスカッションをすることができるか。
与えられた課題について、各学生が口頭発表をすることができたか。

テキスト、参考図書

テキスト
英語学習者のため異文化コミュニケーション・Intercultural Communication for English Language Learners in Japan（トロイマコナキー, 古家聡、櫻井千佳子著）出版社：南雲堂　2017. ISBN:　978-4-523-178466-0
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Active participation is essential in this class. Instruction in this class is entirely in English.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

現代文化研究 (Comparative Culture Studies)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2492	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会学の対象としての「文化現象」は、今日では様々なサブカルチャーを含めて多岐にわたります。そこで、多様な文化のあり方を概観するとともに、現代社会について考える社会学的な枠組み・視点の獲得を目指します。

授業の到達目標

現代社会に見られる文化事象に関心をもち、自分自身の問題として自身の経験や自身をとりまく社会状況と関連付けて考察する習慣を身につけること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第2回：文化と社会学 ── 文化社会学の射程 ──
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「序」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第3回：現代文化の諸相 ── 現代文化へのまなざし ──①
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「Ⅰ現代文化へのまなざし」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第4回：現代文化の諸相 ── 現代文化へのまなざし ──②消費文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「Ⅰ現代文化へのまなざし」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第5回：現代文化の諸相 ── 現代文化へのまなざし ──③情報文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「Ⅰ現代文化へのまなざし」の部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第6回：現代文化の諸相 ── 現代文化へのまなざし ──④文化と権力
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「5 文化と権力」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第7回：メディアと記号①　メディアの変容
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「6 メディアの変容」を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)

第８回：メディアと記号②　映像文化
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「７ 映像文化の三つの位相」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第９回：メディアと記号③　音楽文化
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「８ ポピュラー音楽の社会学」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第10回：メディアと記号④　活字メディア
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「９〈少年－マンガ－雑誌〉という文化」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第11回：メディアと記号⑤　スポーツ
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第12回：日常の文化と社会学①　ファッション
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「11 ファッションという制度」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第13回：日常の文化と社会学②　観光
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「12 観光と文化」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第14回：日常の文化と社会学③　恋愛
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第15回：まとめ（課題解決型学習（PBL）を実施）
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめ、討論できるできるようにまとめておくこと（４時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）

成　績　評　価　方　法

レポート（50％）　平常点（50％）
?平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
?internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は不可となります。

成　績　評　価　基　準

?自らでテーマを設定し、必要なデータを収集することが出来るか。
?事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できているか。

テキスト、参考図書

井上俊編著『全訂新版　現代社会を学ぶ人のために』世界思想社

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱa (Special Seminar in Communication Ⅱa)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 織田　暁子、紺渡　弘幸、M　ハウカ、 升田　法継、矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2495	2単位	4年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の完成に向けて、3年次のコミュニケーション特別演習Ⅰa,bで明確化した問題意識に基づき、研究テーマを確定する。次に、研究・調査・実践に必要となるアプローチを探求し、テーマとの整合性や妥当性を探る。そのために、専門的な文献、論文、データなども含めた精読を行うとともに、ディスカッションや発表を行うことで、卒業研究の計画立案および策定を行う。

授業の到達目標

自らの問題意識に基づいて設定した研究課題を遂行するために必要な、適切なアプローチを吟味し、選択する能力を身につける。課題に関連する文献などを適切に精読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

研究テーマ、研究計画の策定および研究計画書の提出を行い、それぞれの研究テーマについて、適切な研究、調査、実践を進める。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。
(例)
第1回：オリエンテーション
　事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
　事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)
第2回：論文の全体構造を明らかにする：目的の設定(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第3回：論文の全体構造を明らかにする：研究対象の設定(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第4回：論文の全体構造を明らかにする：研究方法の設定(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第5回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第6回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第7回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第8回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)

第９回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第10回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第11回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第12回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第13回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第14回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第15回：まとめと課題（発表、ディスカッション）
事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための適切な研究・実践課題設定を行えるようになっているか。

テキスト、参考図書

担当教員から適宜指示する。

その他（受講上の注意）

研究計画の遂行のために必要な本演習以外の授業を履修する。それとともに、今までに履修してきた授業の中で、研究課題と関連のある内容を再確認しておく。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱb (Special Seminar in CommunicationⅡb)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、織田　暁子、加藤　優子、紺渡　弘幸、M　ハウカ、升田　法継、矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2496	2単位	4年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の完成段階として、自らが設定した課題を適切に遂行できるよう、担当教員の指導のもと、研究を進める。卒業研究の課題を、論理的かつ説得的にまとめていき、卒業研究を完成させる。

授業の到達目標

自らの研究課題を、適切なアプローチに基づき遂行し、卒業研究として論理的かつ説得的に完成できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

受講生自身のテーマについて調査を実施し、結果の分析考察を行い、論理的かつ説得的に伝えられるようにまとめる。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、ディスカッション、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。
(例)
第1回：オリエンテーション
　事前学習：自らの卒業論文テーマについて前期で行ったことをまとめる。(2時間)
　事後学習：試験的調査の準備に取り組む。(2時間)
第2回：試験的調査の開始(フィールドワーク)
　事前学習：調査方法について吟味する。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第3回：試験的調査の修正(フィールドワーク)
　事前学習：試験的調査結果に基づき、調査方法について改善する。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第4回：調査(フィールドワーク)
　事前学習：調査を行う。(2時間)
　事後学習：調査結果をまとめる。(2時間)
第5回：調査(フィールドワーク)
　事前学習：調査を行う。(2時間)
　事後学習：調査結果をまとめる。(2時間)
第6回：「方法論」の作成(発表)
　事前学習：実施した調査方法について、「方法論」をまとめる。(2時間)
　事後学習：指摘を受けた点を修正する。(2時間)
第7回：「分析」「考察」の作成(発表)
　事前学習：調査結果に基づいた分析、考察部分をまとめる。(2時間)
　事後学習：指摘を受けた点を修正する。(2時間)
第8回：卒業論文全体の作成(発表)
　事前学習：「はじめに」にあたる部分を作成する。(2時間)
　事後学習：指摘を受けた点を修正する。(2時間)

第９回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：「おわりに」にあたる部分を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第10回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：卒業論文の全文を完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第11回：卒業論文要旨作成（発表）
　　事前学習：卒業論文要旨を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第12回：卒業論文要旨作成（発表）
　　事前学習：卒業論文要旨を完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第13回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第14回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第15回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための分析や実践の結果を考察し、まとめられるようになっているか。

テキスト、参考図書

担当教員から適宜指示する。

その他（受講上の注意）

担当教員から適宜指示する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 織田　暁子、加藤　優子、紺渡　弘幸、 M　ハウカ、升田　法継、矢橋　知枝、 吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2497	6単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究としてまとめる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーション学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して、学生が自ら研究テーマや研究計画を設定する。それに基づき、探求を深め、これまでの研究や実践を論理的かつ説得的な形で、卒業研究としてまとめる。

授業の到達目標

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会それぞれの領域において、適切な問題意識に基づいた課題設定を行えるようになる。設定した課題について分析・研究や実践を行うための方法を適切に選択できるようになる。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来るようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

概ね以下の通りだが、学生個人の研究の進捗に応じ、指導には、PBL、発表、ディスカッション、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングも適宜含まれる。学生はこれらの学びを通し、主体的に研究に取り組む。
4～5月　研究・実践のテーマと研究計画の策定、研究計画書の提出
5～8月　研究・実践の実行
9～10月　研究・実践結果の分析・考察
11～12月　卒業研究の仕上げ、提出
1月上旬　卒業研究要旨の執筆、提出
1～2月　卒業研究発表会(口頭試問の機能も兼ねる、卒業試験)
※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われる、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがある。担当の教員から適宜指示がある。

成　績　評　価　方　法

卒業研究成果物(60%)　口卒業研究発表会におけるプレゼンテーション(口頭試問)(20%)　平常点(20%)
平常点は、卒業研究への取り組み状況やその姿勢などを総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会のそれぞれの領域において、適切な問題意識に基づく課題設定を行えているか。設定した課題について、分析・研究や実践を行うための方法が適切に選択されているか。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来ているか。

テキスト、参考図書

担当教員から適宜、紹介、指示がある。

その他(受講上の注意)

卒業研究とは、4年間で習得した能力、およびこれまでの研究・実践を結集して、論理的かつ説得的にまとめるものである。主体的かつ積極的に取り組むことはもちろん、研究計画をしっかりと策定して研究を進展させていくことが肝要である。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教職論 (Theory of Teacher Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2202	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

教員とは、どのような役割を期待され、どのような環境で、どのような仕事をしているのか。本授業は、これらの問いに対して主に法的、歴史的見地から考察する。また、事例研究を通して様々な教師像を検討することにより、受講生各自が適性を判断し、よりよい教職像を展望する機会としたい。

授 業 の 到 達 目 標

・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できる。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明したうえで、自己の教職像を展望することができる。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できる。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できる。・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できる。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明したうえで、自己の教職像を展望することができる。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できる。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できる。

アクティブ・ラーニング

□ 課題解決型学習（PBL）　■ 討議（ディスカッション、ディベート）　□ グループワーク
□ 発表（プレゼンテーション）　□ 実習、フィールドワーク　□　実験、実技　□ その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：授業内容に関連する図書を検索し、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：教師はどのような仕事をしているのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：学校に関わる様々な職業について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：チームとしての学校
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：よい教師とはどのような教師なのか（討議）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：教師像の諸相――聖職者、労働者、専門家
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：どうすればよい教師になれるのか（討議）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：教員養成制度について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第９回：教員養成の歴史
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第10回：教員に求められる専門性とは何か
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：教員の身分について
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：教員の任用について
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：教員の服務について
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：教員にとって研修のもつ意味
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）
平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況と、授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できるか。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明できるか。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できるか。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できるか。

テキスト、参考図書

テキスト：授業時に適宜資料を配布する。
参考図書：磯田一雄編『日本の教育課題　9　教師と子どもとのかかわり』東京法令出版　1999年

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育原理 (Principles of Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2101	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

私たちは、誰もが教育を受けた経験があるがゆえに、教育について考える際に、自らの経験のみに依拠してしまうことになりがちである。本授業では、教育に関する基本的概念を修得し、それをもとに、多様な教育の理念や教育の歴史、思想を概観することにより、自らの経験のみに依拠することなく教育について考察する力量の形成を目指す。

授 業 の 到 達 目 標

・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができる。
・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができる。
・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　□討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。(2時間)
　事後学習：授業内容に関連する図書を検索し、読書計画を立てる。(2時間)
第2回：教育の基本的概念(1)──子どもの権利について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第3回：教育の基本的概念(2)──教育における愛と暴力
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第4回：教育の基本的概念(3)──乳幼児期から老年期までの発達について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第5回：日本教育史(1)──家族や社会のなかの教育
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第6回：日本教育史(2)──塾と学校の登場
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第7回：日本教育史(3)──義務教育制度成立史
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第8回：西洋における教育の思想と歴史(1)──古代ギリシア、ローマの教育
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)
第9回：西洋における教育の思想と歴史(2)──コメニウスと一斉教授について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間)
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)

第10回：西洋における教育の思想と歴史（３）── ルソーにおける子どもの発見について
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：西洋における教育の思想と歴史（４）── 自律を目指した思想家たち
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：西洋における教育の思想と歴史（５）── 教育制度の思想的基礎
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：教育と福祉の関係 ── 家庭、地域、学校の役割について
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：現代における教育の課題 ── 生涯学習の観点から
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

成 績 評 価 方 法

定期試験（70％）
平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、および授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成 績 評 価 基 準

・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができるか。
・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができるか。
・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト：プリントを配布する。
参考図書：高橋陽一『教育通義』武蔵野美術大学出版局　2013年

その他（受講上の注意）

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育心理学 (Educational Psychology)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2203	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

教育心理学は、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）を学ぶが、このうち主として中高を中心としながらも広く児童生徒の発達と学習の過程を論じる。

授 業 の 到 達 目 標

・学校教育の場において、子どもの教育と学習に関する教育方法や関わり方、子どもの心理面について教育心理学の基礎理論を学び、方法を適用できるようにする。
・子どもの記憶について理解し、記憶を定着させる教授法を学ぶ。
・乳幼児期から青年期にかけての発達段階を理解し、児童及び生徒の心理を理解し、指導法を考える力を身につける。
・児童、生徒の学級内の集団力学について知る方法を身につける。
・障害を持った幼児、児童及び生徒を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：教育心理学とは
　事後学習：教育心理学について学んだ内容を整理し、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（4時間）
第2回：教育心理学の歴史
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：生涯発達の基礎的過程
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：自己と社会性の発達
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：発達における障害
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：コミュニケーションの障害と学習障害
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：児童期および青年期における適応と障害
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：学習の基礎的過程
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：記憶と思考
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：知能
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：教授・学習過程
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：発達と学習の支援
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：教育評価と測定、指導要録
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：学級という社会
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：生徒理解と特別支援教育
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

毎回行うブリーフレポート（20%）、定期試験（80%）

成　績　評　価　基　準

・子どもの記憶について理解し、記憶を定着させる教授法を学べているか。
・乳幼児期から青年期にかけての発達段階を理解し、幼児、児童及び生徒の心理を理解し、指導法を考える力を身につけているか。
・児童生徒の学級内の集団力学について知る方法を身につけているか。
・障害を持った幼児、児童及び生徒を理解しているか。

テキスト、参考図書

テキスト：『よくわかる学校教育心理学』ミネルヴァ書房　2010年
参考図書：適宜関連図書や論文を紹介する。

その他（受講上の注意）

教職科目であるため、受け身的に受講するのではなく、常に自らが教壇に立った場合を想像して授業に臨むこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育経営論 (Educational Administration)			担当教員	奥谷　崇
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2308	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

日本国憲法・教育法規・学習指導要領に示される教育経営の理念を理解する。教育・学校・児童生徒を巡る諸課題を教育経営の観点から理解を深め、学校と地域の連携の意義と取り組み及び学校安全について自らの切実な課題として主体的に理解できるようにグループ討議を重視する。

授 業 の 到 達 目 標

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解し、社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけ、学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解することが出来る。

アクティブ・ラーニング

■ 課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■ 発表 (プレゼンテーション)　□ 実習、フィールドワーク　□ 実験、実技　□ その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：教育経営論の理念と学習計画について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：教育経営論で身に付けたいことや考えたいことや教育に関する疑問点をノートにまとめてくること。(2時間)
　事後学習：現在の自分の教育観を見つめ、まとめ、疑問点などをまとめておくこと。(2時間)
第2回：我が国の幼・保教育及び小学校教育の変遷と課題について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：学習指導要領解説総則編Ｐ146～Ｐ157で我が国の教育の変遷を整理しておくこと。(2時間)
　事後学習：教育とは何か、教育経営とは何か、教育の変遷を整理しておくこと。(2時間)
第3回：子どもの生活の変化と子どもの問題及び解決策について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：子どもの問題で気になる問題とその理由及び解決策を考えてくること。(2時間)
　事後学習：考えた子どもの問題の解決策と今後の取り組み計画をまとめておくこと。(2時間)
第4回：我が国の教育課題と学習指導要領の改訂について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：新聞で取り上げられている教育課題に対し、自分の考えや疑問をノートに書いてくること。(2時間)
　事後学習：教育課題を繰り返さずに解決するための施策を考え、共感的に共有し合うこと。(2時間)
第5回：世界の教育の実態と教育改革の現状について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：世界各国の教育事情を集め、それぞれの課題と取り組みを紹介できるようにしてくること。(2時間)
　事後学習：特徴的な課題と対策をまとめ、今後の世界の教育の改革について考えを整理すること。(2時間)
第6回：学校経営の理念と学校組織の在り方について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：特徴的な学校経営を行う学校の実践を調べて情報交換が出来るようにしてくること。(2時間)
　事後学習：大きな教育成果を挙げている学校の取り組みや先駆者の思想や実践をまとめておくこと。(2時間)
第7回：憲法・教育法規・関連法規と学校教育について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：日本国憲法・教育基本法・学校教育法を熟読してくること。(2時間)
　事後学習：特に日本国憲法と教育基本法の精神をまとめ、整理しておくこと。(2時間)
第8回：教育行政の仕組みと課題について　(ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表)
　事前学習：我が国の教育行政の仕組みと改善したい問題をまとめてくること。(2時間)
　事後学習：教育行政と学校教育の課題と改善策をまとめておくこと。(2時間)

第９回：学校経営と学校評価の基礎理論について　（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：向上・改善のための実践と評価の大切さについて具体例を挙げて考えてくること。（２時間）
事後学習：学校評価の具体例を整理し、学校経営の充実・改善の取り組みを整理しておくこと。（２時間）
第10回：学級経営の仕組みと学級経営の課題について　（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：改善したい学級経営上の課題と解決策を考え、整理してくること。（２時間）
事後学習：様々な学級経営上の課題を整理し、対応改善策をまとめておくこと。（２時間）
第11回：教職員と学校外の関係機関との連携・協働について　（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：閉ざされた学校が開かれた学校へと移り変わった理由を考えてくること。（２時間）
事後学習：教職員の開かれた意識形成のためにどうしたらよいかについてまとめておくこと。（２時間）
第12回：学校と地域との連携・協働と教職員の使命について　（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：各地域の実践例に触れ、紹介できるようにしてくること。（２時間）
事後学習：主な実践を整理し、今後取り組んでいきたいプランをもてるようにすること。（２時間）
第13回：開かれた学校づくりの課題と解決について　（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：新聞記事で取り上げられる学校紹介記事を用意し、発表できるようにしてくること。（２時間）
事後学習：多様な取り組みを整理し、開かれた学校づくりの大切さに挑むことができるようにしておく。（２時間）
第14回：学校で起こる事件、事故、災害の実情と学校安全の具体策について（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：具体事案をもとに未然防止策と事前指導の在り方を考えてくること。（２時間）
事後学習：家庭・地域ぐるみで子どもの安全を守る対策を整理しておくこと。（２時間）
第15回：学校、地域の安全管理と安全指導の徹底について（ＰＢＬ・討議・グループワーク・発表）
事前学習：居住地域の防災体制や学校の安全管理と指導の現状について考えてくること。（２時間）
事後学習：地域の安全・防災の充実のために積極的に行動できるようにすること。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験50％ 学習への意欲的な姿勢とノート30％ グループ討議20％

成　績　評　価　基　準

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解しているか。
社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけているか。
学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解しているか。

テキスト、参考図書

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年７月 文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編（平成30年７月 文部科学省）
教育小六法（市川須美子・小野田正利・勝野正章・窪田眞二・中嶋哲彦・成嶋隆著 岳陽書房 平成28年）
中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年７月 文部科学省）
高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編（平成30年３月公示 文部科学省）

その他（受講上の注意）

私語・無気力厳禁。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育課程・特別活動論 (Theory of Education Curriculum)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2205	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

教育課程とは、学習指導要領によって示される基準にもとづいて、各学校が編成する教育計画のことである。その計画には、各教科の授業計画だけではなく、教科外の活動（特別活動、総合的な学習の時間、など）の計画も含まれる。また近年では、この計画をよりよいものにするべく、評価、改善していくプロセスも教育課程編成の一環とみなされるようになっている。以上をふまえて、この授業では、①学習指導要領について、②特別活動、総合的な学習の時間について、③様々な教育評価について、の三つのテーマを取り上げる。

授 業 の 到 達 目 標

現行学習指導要領の内容を説明できる。
特別活動および総合的な学習の時間の意義と役割について説明できる。
教育評価にはどのような種類、方法があるのかについて説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　教育課程とは何か
　事前学習：シラバスをよく読んで、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：関連図書を検索したうえで、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：学習指導要領とは何か
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：学習指導要領を読む（1）　第一章「総則」前半
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：学習指導要領を読む（2）　第一章「総則」後半
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：学習指導要領の歴史的変遷（1）　1940年代後半
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学習指導要領の歴史的変遷（2）　1950〜60年代
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：学習指導要領の歴史的変遷（3）　1970〜80年代
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：学習指導要領の歴史的変遷（4）　1990年代以降
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：学力とは何か
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第10回：教育評価について　何のための評価なのか
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：学習指導要領を読む（３）　総合的な学習の時間、特別活動
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：特別活動、総合的な学習の時間の意義と課題
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：特別活動、総合的な学習の時間の実践例
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：特別活動、総合的な学習の時間の評価について
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（80％）
平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況と授業時の課題の提出状況により判断する）

成　績　評　価　基　準

現行学習指導要領の内容を逐語的に理解しているか。
特別活動および総合的な学習の時間の意義と役割について説明できるか。
教育評価にはどのような種類、方法があるのかについて説明できるか。

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

プリントを配布する。

その他（受講上の注意）

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅰ (English Language Teaching Methodology Ⅰ)			担当教員	フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2204	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

英語教育の目的について考え、英語でディスカッションする。先行研究をもとに、第2言語習得理論および外国語教授法についての基本的な知識および理解を深める。学習指導要領の内容を踏まえ、どのように学習指導計画を立てるかについて基本的な理解を図る。

授 業 の 到 達 目 標

英語教育の目的について理解し、言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得、学習指導計画についての基本的な考え方を理解する。

アクティブ・ラーニング

■ 課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■ 発表 (プレゼンテーション)　□ 実習、フィールドワーク　□実験、実技　□ その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方
　事前学習：この講座を受講する目的・理由を発表できるようにしてくる。(2時間)
　事後学習：英語教員になるために今後どのように自己研鑽をすすめるかレポートにする。(2時間)
第2回：英語教育の目的 ── 英語学習の意義、教育の目的と英語教育 (ディスカッション)
　事前学習：自分が小学校、中学校、高校で英語を学習してきた意義と、個人的目的について発表できるようにしてくる。(2時間)
　事後学習：英語学習の教育的意義、社会的意義をレポートにまとめる。(2時間)
第3回：英語教育の指導目標1 ──学習指導要領 (ディスカッション)
　事前学習：自分が受けて来た小学校、中学校、高校の英語教育はどのような目的で行われてきたと思うか、そのように思う理由を含めて発表できるようにして来る。(2時間)
　事後学習：自分が受けて来た英語教育が、学習指導要領に明記された目標を達成するためにどのようにされていたと考えるかレポートにまとめる。(2時間)
第4回：英語教育の指導目標2 ── コミュニケ ── ション能力の構成要素 (ディスカッション)
　事前学習：自分が英語でコミュニケーションをとる時に必要と思われる能力を分析してくる。(2時間)
　事後学習：コミュニケーション能力の構成要素の中で、自分の能力で更に努力を要する能力は何か、そしてそれはどのように習得できるかレポートにまとめる。(2時間)
第5回：第2言語習得理論と外国語教授法1 −聞くこと、話すこと (ディスカッション)
　事前学習：listeningとspeakingの能力を自分がどのように身に着けて来たか発表できるようにまとめてくる。(2時間)
　事後学習：listeningとspeakingの指導において大切なことをレポートにまとめる。(2時間)
第6回：第2言語習得理論と外国語教授法2 −読むこと、書くこと (ディスカッション)
　事前学習：readingとwritingの能力を自分がどのように身に着けて来たか発表できるようにまとめてくる。(2時間)
　事後学習：readingとwritingの指導において大切なことをレポートにまとめる。(2時間)
第7回：第2言語習得理論と外国語教授法3 − 4技能の統合 (ディスカッション、プレゼンテーション)
　事前学習：現実の生活において、どのように4技能をコミュニケーションに使っているか発表できるようにまとめてくる。(2時間)
　事後学習：高校で使用されている教科書の中から1レッスンを選び、4技能を統合した指導過程を考える。(2時間)

第８回：第２言語習得理論と外国語教授法４－文字、語彙、音声の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：自分の語彙（スペリングを含む）、発音の学習方法をまとめてくる。（２時間）
事後学習：文字、語彙、音声の指導において大切な点をレポートにまとめる。（２時間）
第９回：第２言語習得理論と外国語教授法５－文法の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：文法事項をひとつ選び、指導を想定した案を用意してくる。（２時間）
事後学習：文法の指導において大切なことをレポートにまとめる。（２時間）
第10回：第２言語習得理論と外国語教授法６－教材及びICTの活用（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：インターネット利用してどんな語学学習ができるかリサーチしてくる。（２時間）
事後学習：言語教育教材にどのようなものがあり、どのように利用できるかレポートにまとめる。（２時間）
第11回：英語指導過程１－学習到達目標の設定、指導計画、生徒の理解（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：授業の中で、生徒がどれくらいわかっているか、どのように理解できるかまとめてくる。（２時間）
事後学習：学習指導計画において大切なこと、どのように目標設定すべきか、レポートにまとめる。（２時間）
第12回：英語指導過程２－教材研究の仕方、生徒の理解（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：授業を準備するとき、どのようなことをしなければならないか考えてくる。（２時間）
事後学習：教材研究のポイント、どのように生徒の学習を把握できるか、レポートにまとめる。（２時間）
第13回：英語指導過程３－授業計画（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：中学校で使用されている教科書の中から１レッスン選び、授業計画を立ててくる。（２時間）
事後学習：事前学習で立てた授業計画を修正し、書き直す。（２時間）
第14回：英語指導過程４－マイクロティーチング（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：前回の授業を踏まえ、マイクロティーチングの準備をする。（２時間）
事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：これまでの授業を振り返り、理解が不足していると思われる項目をまとめてくる。（２時間）
事後学習：事前学習で理解が不足していたとした項目について理解を深めたことをまとめる。（２時間）
定期試験

成績評価方法

授業での活動および課題40％、小テスト30％、定期試験30％

成績評価基準

・英語教育の目的について理解しているか。
・言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得たか。
・学習指導計画についての基本的な考え方を理解できたか。
・積極的に議論に参加できたか。

テキスト、参考図書

テキスト
『統合的英語科教育法』村野井 仁 他　成美堂　2012年
『小学校学習指導要領』（平成29年３月公示　文部科学省）
『中学校学習指導要領』（平成29年３月公示　文部科学省）
『高等学校学習指導要領』（平成30年３月公示　文部科学省）

参考図書
『改訂版 英語教育用語辞典』白畑知彦 他 大修館書店　2011年

その他（受講上の注意）

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅱ (English Language Teaching MethodologyⅡ)			担当教員	フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2206	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

実際の授業展開を想定し指導計画を立て、模擬授業および評価テスト作成をし、その内容について改善点などを英語で議論する。小学校の外国語活動・英語ならびに中学校、高校の英語の授業ビデオ視聴などを通し、小・中・高・大の英語教育の連携はどうあるべきかを英語で議論する。また、それぞれの校種の教科書の中で異文化理解がどのように扱われているかを調べ、英語教育の中で生徒の異文化理解をどう深めていくべきか英語で議論する。

授 業 の 到 達 目 標

学習指導過程および評価について理解を深め、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得る。

アクティブ・ラーニング

■ 課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■ 発表 (プレゼンテーション)　□ 実習、フィールドワーク　□実験、実技　□ その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方 (ディスカッション)
事前学習：前期に学習したことを復習してくる。(2時間)
事後学習：後期の自分の目標をレポートにする。(2時間)
第2回：学習指導案の立て方1－目標設定、生徒理解、教材研究 (ディスカッション)
事前学習：学習指導案を立てる時に大切なことをまとめてくる。(2時間)
事後学習：学習指導案を立てる時の目標設定、教材研究、生徒の理解度の把握において、大切なことをレポートにまとめる。(2時間)
第3回：学習指導案の立て方2－授業の組み立て方 (ディスカッション)
事前学習：中学校で使われている教科書の中から1レッスン選び、学習指導案を書いて来る。(2時間)
事後学習：今回の授業を基に、学習指導案を書き直す。(2時間)
第4回：学習指導案の立て方3－マイクロティーチング (課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション)
事前学習：前回の授業の事後学習で書き直した学習指導案を使ってマイクロティーチングをする準備をしてくる。(2時間)
事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。(2時間)
第5回：学習指導案の立て方4－Team-Teachingでの授業の組み立て方 (課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション)
事前学習：中学校で使われている教科書の中から1レッスン選び、ティーム・ティーチングを想定した学習指導案を書いて来る。(2時間)
事後学習：今回の授業を基に、学習指導案を書き直す。(2時間)
第6回：学習指導案の立て方5－Team-Teaching形態でのマイクロティーチング (課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション)
事前学習：前回の授業の事後学習で書き直した学習指導案を使ってマイクロティーチングをする準備をしてくる。(2時間)
事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。(2時間)
第7回：評価1－学習到達目標と評価 (ディスカッション、プレゼンテーション)
事前学習：生徒の学習評価をする際、何が大切か考えを発表できるようにして来る。(2時間)
事後学習：学習到達目標と評価の関係、大切なことをレポートにまとめる。(2時間)

第８回：評価２－評価の仕方（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：マイクロティーチングで扱ったレッスンの到達度を図る評価方法を考えてくる。（２時間）
事後学習：今回の授業を基に、事前学習で考えた評価方法の反省をレポートにする。（２時間）
第９回：評価３－言語テストの作成と実施（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：前回の授業を基に、評価テストを作成してくる。（２時間）
事後学習：今回の授業を基に、事前学習で作成した評価テストの反省をレポートにする。（２時間）
第10回：小学校の外国語活動と外国語科１－学習指導要領と教材（ディスカッション）
事前学習：小学校の英語教育の課題をリサーチして来る。（２時間）
事後学習：学習指導要領を読み直し、小学校から高校までの英語科の目標が、生徒の英語学習をどのように発展させようとしているか、レポートにまとめる。（２時間）
第11回：小学校の外国語活動と外国語科２－指導の実際（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：小学校の外国語活動の授業を視聴し、感想をまとめてくｒ。（２時間）
事後学習：小学校の外国語活動と英語科の授業の課題をまとめ、どのように解決すべきか考えをレポートにまとめる。（２時間）
第12回：小・中・高・大の英語教育の連携（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：自分の小学校からの英語学習について、どのように発展してきたかまとめてくる。（２時間）
事後学習：小・中・高・大の英語教育の連携について、課題および大切なことをレポートにまとめる。（２時間）
第13回：異文化理解教育１－英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的（ディスカッション）
事前学習：自分が受けて来た英語の授業の中で、どのように異文化理解教育がなされていたかまとめてくる。（２時間）
事後学習：英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的をレポートにまとめる。（２時間）
第14回：異文化理解教育２－教材の扱い方（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：中学校の教科書を吟味し、異文化理解教育がどのようにされようとしているか考えてくる。（２時間）
事後学習：中学校の教科書の中から１レッスン選び、そのレッスンを使って異文化理解のための学習指導案をレポートにする。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：これまでに学習したことを振り返り、理解が不足していることをまとめてくる。（２時間）
事後学習：事前学習でまとめたことについて、わかったことをまとめる。（２時間）
定期試験

成績評価方法

授業での活動および課題40％、小テスト30％、定期試験30％

成績評価基準

・学習指導過程および評価について理解が深まったか。
・小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得たか。

テキスト、参考図書

テキスト
『統合的英語科教育法』村野井 仁 他　成美堂　2012年
『小学校学習指導要領』（平成29年３月公示　文部科学省）
『中学校学習指導要領』（平成29年３月公示　文部科学省）
『高等学校学習指導要領』（平成30年３月公示　文部科学省）

参考図書
『改訂版 英語教育用語辞典』白畑知彦 他 大修館書店　2011年

その他（受講上の注意）

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅲ (English Language Teaching MethodologyⅢ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2309	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

学習指導案の書き方、授業展開の方法、指導技術について理解を深めるとともに、具体的な指導事例の検討を通して効果的な指導法を学ぶ。さらに、個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持つ。模擬授業の検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

中学校及び高等学校の学習指導要領及び教科書に基づき、学習到達目標及び指導計画授業の組み立て、学習指導案の作成、基本的な指導法や授業評価について理解し、実際に授業を行うことができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、学習指導要領
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：新旧学習指導要領を比較し、変更点を確認する。（2時間）
第2回：教科書、学習到達目標設定と指導計画
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：実際に中・高で使用されている英語科教科書に目を通す。（2時間）
第3回：授業の構成、学習指導案の作成
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業の構成、学習指導案の作成について復習する。（2時間）
第4回：中学校の授業例
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：中学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。（2時間）
第5回：高等学校の授業例
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：高等学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。（2時間）
第6回：授業の工夫（1）：Warm-up と Review（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（2時間）
第7回：授業の工夫（2）：文法・文型の導入（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（2時間）
第8回：授業の工夫（3）：コミュニケーション活動（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（2時間）

第９回：授業の工夫（４）：語彙の導入と指導（プレゼンテーション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（２時間）
第10回：授業の工夫（５）：教科書本文の指導（プレゼンテーション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（２時間）
第11回：模擬授業（発表）・検討と評価（１）：Warm-up と Review（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（２時間）
第12回：模擬授業（発表）・検討と評価（２）：文法・文型の導入（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（２時間）
第13回：模擬授業（発表）・検討と評価（３）：コミュニケーション活動（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（２時間）
第14回：模擬授業（発表）・検討と評価（４）：語彙の導入と指導（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（２時間）
第15回：模擬授業（発表）・検討と評価（５）：教科書本文の指導（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．学習指導要領や授業準備に必要な事柄について理解できているか。
２．学習指導案の書き方を理解し、作成できるか。
３．授業の組み立ての基本を理解できているか。
４．基本的な指導法や指導技術を理解し、活用できるか。
５．授業評価の観点を知り、客観的に授業を評価できるか。
６．ICTを効果的に指導に活用できるか。
７．模擬授業を通して、実際に指導できるようになったか。

テキスト、参考図書

テキスト
英語科教育実習ハンドブック（改訂版）（米山朝二、杉山敏、多田茂著　大修館書店　平成25年）
英語教育用語事典　（白畑知彦、冨田?一、村野井仁、若林茂則著　大修館書店　平成24年）

参考資料
小学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅳ (English Language Teaching MethodologyⅣ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2313	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

コミュニケーション能力を高める英語の授業を行うために必要な理論について理解を深めるとともに、そのための効果的な指導法を学ぶ。個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持ち、その検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーション能力の養成における課題を理解し、それを踏まえてコミュニケーション能力を養成する効果的な指導法についての知識やスキルを身につける。模擬授業を通して、指導法や指導技術を実際に活用できるようにする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
■発表 (プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：日本の英語教育とめざすべき目標
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：日本の英語教育とめざすべき目標について復習する。(2時間)
第2回：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」について復習する。(2時間)
第3回：コミュニケーション能力について
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：コミュニケーション能力について復習する。(2時間)
第4回：コミュニケーション能力の養成のための指導に関する理論
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキスト読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：コミュニケーション能力の養成のための指導について復習する。(2時間)
第5回：コミュニケーション能力養成の問題点
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：コミュニケーション能力養成の問題点について復習する。(2時間)
第6回：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法について復習する。(2時間)
第7回：コミュニケーション能力の養成と学習者要因
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。(2時間)
　事後学習：コミュニケーション能力の養成と学習者要因について復習する。(2時間)

第８回：コミュニケーション能力の養成と評価
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：コミュニケーション能力の養成と評価について復習する。（２時間）
第９回：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携について復習する。（２時間）
第10回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（１）導入・発問の工夫（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における導入・発問の工夫を復習する。（２時間）
第11回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（２）教科書本文の扱い（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の扱い方を復習する。（２時間）
第12回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（３）コミュニケーション活動（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（２時間）
第13回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（４）言語形式・意味・機能（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における言語形式・意味・機能の対応づけを復習する。（２時間）
第14回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（５）スキルの統合（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるスキルの統合のしかたを復習する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における指導方法全般を復習する。（２時間）
定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．コミュニケーション能力とその養成における問題点について理解できているか。
２．コミュニケーション能力を養成する効果的な指導法について理解できているか。
３．模擬授業を通して、指導法や指導技術を活用できるようになったか。

テキスト、参考図書

テキスト
意見・考え重視の視点からの英語授業改革（大下邦幸監修、東京書籍、平成26年）
英語教育用語事典（白畑知彦、冨田?一、村野井仁、若林茂則著、大修館書店、平成24年）

参考図書
小学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
コミュニカティブ・クラスのすすめ（大下邦幸編著　東京書籍　平成21年）

その他（受講上の注意）

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

道徳教育の理論と方法 (Theory and Methods of Moral Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2314	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

学校で道徳教育をいかに行うかが大きな課題となっている。本授業では、この古くて新しい課題について理解を深めたうえで、学習指導要領に示される道徳教育の目標や内容について考察していく。これと並行して、グループごとに指導案を作成し、順次模擬授業を実施してもらう。これらの作業を通じて、道徳教育の指導法について検討していく。

授 業 の 到 達 目 標

・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できる。
・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（模擬授業）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：参考図書を検索し読書計画を立てるとともに、指導案の作成計画を立てる。（2時間）
第2回：道徳教育の難しさ（1）── 道徳は知識なのか行為なのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：道徳教育の難しさ（2）── 宗教と道徳について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：道徳教育の難しさ（3）── 評価のあり方について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：道徳性発達理論についての考察
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学習指導要領を読む ── 第1章「総則」、第3章「特別の教科　道徳」
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：教材研究（1）──『心のノート』と『私たちの道徳』を中心に（グループワーク）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：教材研究（2）── 読み物教材の使い方（グループワーク）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：日本における道徳教育の歴史
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第10回：指導法の検討（１）――インカルケーション（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：指導法の検討（２）――ディベート（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：指導法の検討（３）――モラルジレンマ（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：指導法の検討（４）――ロールプレイ（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：指導法の検討（５）――構成的グループエンカウンター（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

成績評価方法

定期試験（50％）
指導案の内容（25％）
平常点（25％）
（平常点は、授業への参加状況、授業時の課題の内容、模擬授業に対する講評の内容をもとに評価する。）

成績評価基準

・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できるか。
・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができるか。

テキスト、参考図書

テキスト：「小学校学習指導要領」（平成29年３月告示　文部科学省）、「中学校学習指導要領」（平成29年３月告示　文部科学省）
参考図書：授業時に指示する。

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育の方法と技術 (Teaching Methods and Skills)			担当教員	篭谷　隆弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2207	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

プリント資料やウェブ上の資料を参考に教育方法の理論について解説する。関連する事項について各自の考えをもとに、他の受講者と授業内やオンライン上での対話・議論を行う。オンラインフォーラムにおいては、授業テーマに関する自身の考えを述べながら、他者との議論を深める必要がある。また実際に情報機器を活用して教材を作成し、それが適切なものであるかを相互評価する。学習指導案を作成し、それにもとづく模擬授業を行った後、評価を行う。教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やウェブ上の資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

授 業 の 到 達 目 標

教育方法に関する基礎的な理論や授業を構成する要件(カリキュラム・児童・教員・教材等)を理解し、設計・実施・評価といった実践に向けての指導技術を身につける。
また、授業に際して情報機器をどのように活用すると効果的か、子どもの情報活用能力の育成にどのような教材を作成し活用すると良いかを考え、それらに関する基礎的な能力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　■グループワーク
■発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　■その他(オンラインでのディスカッション・相互評価)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業の目的・計画・評価方法の説明。学校・教育の現状と課題
　事後学習：学習管理システム(LMS)のフォーラム上に自身の意見を記述する。(2時間)
第2回：カリキュラム、指導法、主体的・対話的で深い学び
　事後学習：LMSのフォーラムにて他者の意見を読み、コメントする。(オンラインディスカッション)
　LMSのフォーラム上に自身のアイデアを記述する。(3時間)
第3回：学習指導要領、指導計画、学習指導案、教材・教具
　事後学習：動画教材を作成しLMSのワークショップに提出する。(6時間)
第4回：教育の情報化、情報機器の活用、情報モラル、メディアリテラシー
　事後学習：LMSのワークショップに提出された動画教材を評価する。(オンラインでの相互評価)
　LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。(4時間)
第5回：デジタル教科書、デジタル教材
　事後学習：LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。(4時間)
第6回：Webサービスを利用したアンケートや問題の作成と分析
　事後学習：Webアンケートを作成しLMSのフォーラムに投稿する。(4時間)
第7回：ストーリー型教材の設計(テーマ設定、展開)
　事後学習：Webアンケートを回答する。ストーリー型教材のテーマを決め素材データを準備する。(4時間)
第8回：ストーリー型教材の制作(画像・写真・音・アニメーションの活用)(実技)
　事後学習：Webアンケートを分析する。ストーリー型教材を完成させワークショップに提出する。(5時間)
第9回：プログラミングと論理的思考について
　事後学習：ストーリー型教材を評価する。ミニプログラムを作成する。(2時間)
第10回：プログラミングによる教材の設計(思考、判断、手順)
　事後学習：教材プログラムを作成する。(4時間)
第11回：プログラミングによる教材の制作(実技)
　事後学習：教材プログラムを完成させる。(6時間)

第12回：教育メディアを活用した模擬授業の計画（グループワーク）
事後学習：グループで模擬授業の役割分担と指導案を決める。（２時間）
第13回：教育メディアを活用した模擬授業の実施と評価（グループ発表）（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（２時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（２時間）
第14回：教育メディアを活用した模擬授業の実施と評価（ディスカッションと改善提案）（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（２時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（２時間）
第15回：まとめ（評価の集計と分析）（グループワーク）
事後学習：模擬授業の評価集計・分析を行なう。授業全体の振り返りを行いレポートとしてまとめる。（６時間）
定期試験は行わない

成　績　評　価　方　法

課せられた課題・成果物を提出していることを重視して評価する。
受講態度（10%）、前半内容に関連する課題と制作物（30%）、後半内容に関する制作物（40%）、模擬授業内容と相互評価（20%）

成　績　評　価　基　準

授業の設計・実施・評価等に関する知識を修得しているか。
教材や教育メディアの選択・構成・活用等に関する力量が身についているか。
模擬授業について周到に準備を行い、的確に実施できているか。

テキスト、参考図書

テキスト
プリント資料および学習支援システムでのリソースにて提示する。

参考図書
教育方法論（教職課程シリーズ）（谷田貝公昭・成田国英・林邦雄著　一藝社　平成16年）
教育の方法と技術（教育学のポイント・シリーズ）（柴田義松・山崎準二著　学文社　平成17年）

参考資料：
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
プリント資料および学習支援システムでのリソースを利用する。
オンラインフォーラムにおいて、授業テーマに関する自身の考えを述べ、他者との議論も深める必要がある。
教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やWWWの資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

その他（受講上の注意）

欠席した場合には、授業の進度を確認し次週に備えること。 模擬授業に関連して準備・練習を十分行うこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育相談 (Educational Counseling)			担当教員	佐々木　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2415	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

教育相談の意義と理論の理解が、実践技術を裏打ちするものとなるために、いじめ、不登校など各種架空事例を用いて、問題の所在や対応策の検討を行う。
教育相談における様々な予防促進的支援技術の体験学習を行う。教育相談の意義と理論の理解が、実践技術を裏打ちするものとなるために、いじめ、不登校など各種架空事例を用いて、問題の所在や対応策の検討を行う。
教育相談における様々な予防促進的支援技術の体験学習を行う。

授 業 の 到 達 目 標

学校における教育相談の意義と理論を理解する。教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事項を含む）を理解する。教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15 回の全体計画と学習のポイント及び到達目標の説明。教育相談の視点から学校という場、資源について。グループディスカッション。（ディスカッション）
事後学習：チーム学校に関し、指示した課題について、調べレポートにまとめておくこと。（3時間）
第2回：教育相談に生かす心理学的理解；見立て。事例検討で学ぶ、問題の背景、影響要因、資質のとらえ方。心理・社会的側面、学習・発達的側面のとらえ方。傾聴訓練を含むグループディスカッション。（ディスカッション）
事前学習：第1回に配布した資料を熟読しておくこと。（2時間）
事後学習：見立てについて、理解したことをレポートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：教育相談に生かす心理学的理解；介入。事例に即して、教育相談のチーム作り、介入プランの立て方。開発的、予防的援助。グループディスカッション。傾聴訓練。（グループワーク）
事前学習：第2回に配布した事例について、自分なりの介入プランを立てること。（2時間）
事後学習：介入プランの立て方について、ポイントをレポートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：不登校の現状、対策の有効性について。文科省の調査研究報告等にあたり、多角的視点による対応の考察。（プレゼンテーション）
事前学習：文科省の調査研究報告等前回の授業で指示した資料を調べまとめ、レポートにすること。（3時間）
事後学習：学校現場でどのような対応が望ましいか、学んだことをまとめておくこと。（2時間）
第5回：子供の貧困について。架空事例に触れ、学校生活での問題の現れ方、介入に際して配慮すべきこと、活用できる社会資源。（ディスカッション）
事前学習：日本の実態と、どのような対策がなされているか調べレポ──トにまとめておくこと。（2時間）
事後学習：子どもの貧困について、保育、幼児教育、学校現場でどのような対応が可能か、学んだことをまとめておくこと。（2時間）
第6回：いじめ理解、いじめ対応の基礎知識。非行について教育相談の意味。（ディスカッション）
事前学習：いじめ防止対策推進法について調べ、レポートにまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で検討したこと、学んだことについて、まとめておくこと。（2時間）

第７回：発達障害の学校での現れ方。発達障害の流動性。支援のための人格発達仮設。発達障害支援シートの活用。保護者支援。外部機関との連携。（ディスカッション）
事前学習：発達支援シートについて調べて、ディスカッションの資料になるように、まとめておくこと。（２時間）
事後学習：二次障害の予防と対応、連携についてまとめておくこと。（２時間）
第８回：予防開発的アプローチとしてのSST の意味。SST の用い方。SST ワークの体験。現場で使われているSST の道具の体験。（グループワーク）
事前学習：第７回に配布した資料を熟読し、チェックリストを完成しておくこと。（２時間）
事後学習：授業で、自分で作った宿題の回答を試みること。（２時間）
第９回：SST で開発できる分野。自分を振り返り、SST を活用する。（グループワーク）
事前学習： 児童生徒の相談内容からのＳＳＴについて、模擬課題を考えておくこと。（２時間）
事後学習： 教育相談においてＳＳＴの効果的適応法についてまとめておくこと。（２時間）
第10回：予防開発的アプローチとしてのアサーティブトレーニングの意味。自尊感情、対等性、誠実であること、人権。自己理解、他者理解。（グループワーク）
事前学習：第９回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習： ＳＳＴとアサーティブネスの関係について、まとめておくこと。（２時間）
第11回：アサーティブトレーニングに基づいた、葛藤場面への対処。DESC。ワークの体験。（グループワーク）
事前学習：第10回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：自分にとってのアサーティブネスについて検討し、レポートにすること。（２時間）
第12回：事件・事故・災害対応。危機管理について。緊急事態における教育相談の役割。チームのあり方。保護者支援。（ディスカッション）
事前学習：児童生徒を取り巻くリスクについて、想定し、対応策を考え、書き出しておくこと。（２時間）
事後学習： サイコロジカルファーストエイドにつて要点をまとめておくこと。（２時間）
第13回：学齢期の精神科疾患の基礎知識。学校での現れ方。専門機関との連携。
事前学習：第12回に配布した資料を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：支援のための連携機関について、図に整理すること。（２時間）
第14回：リラクゼーションとは。ストレスマネージメントについて。体験学習。教育相談での活かし方。（グループワーク）
事前学習：第13回に指示した、リラクゼーションの技法についてあらかじめ調べておくこと。（２時間）
事後学習：教育現場のストレスマネージメントの有効性について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：ふりかえり。今まで学んだことの振り返り。改めて事例をもとに、見立て、介入プランの試作。
事前学習：授業全体を振り返り、疑問や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：参考図書について、指示した要点を確認しておくこと。（２時間）

成績評価方法

小レポート（50%） 平常点（50%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成績評価基準

いじめ、不登校、発達障害について基礎知識を習得している。支援プランを提案できる。

テキスト、参考図書

テキスト
西本絹子著『教師のための初等教育相談』萌文書林

参考図書
藤田哲也監修『絶対役立つ教育相談』ミネルヴァ書房
小野田正利、藤川信夫監修『体験型ワークで学ぶ教育相談』大阪大学出版会
河合隼雄著『こころの子育て-誕生から思春期までの48 章』朝日新聞社

その他（受講上の注意）

都度資料を配布し、レポートを課していきますので、本教科のためのファイルを用意してください。
予習復習については、授業時に資料や課題を指示します。また授業で行う体験学習に積極的に取り組んでください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

事前・事後指導 (Guidance for Teaching Practice)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2311	1単位	3年～4年	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

教育実習Ⅰ・教育実習Ⅱのための事前指導及び事後指導を行う。中学校・高等学校の生徒を指導する教師としての心構えを持つとともに、教育実習の目的・内容・方法及び留意事項を理解し、充実した実習が行えるよう準備する。実習終了後は評価・反省をし、課題を明確にする。

授 業 の 到 達 目 標

1．教育実習の意義・目的を理解する。
2．中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解する。
3．教育実習に臨むしっかりとした心構えを持つ。
4．授業実習に必要な知識・指導法や技術を確認する。
5．教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

3年次
第1回：教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
第2回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション
第3回：学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
第4回：学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
第5回：教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習について発表、質疑応答・意見交換、（ディスカッション）、実習に向けてのアドバイス
第6回：教育実習Ⅰの準備：「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
第7回：教育実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義
第8回：教育実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
第9回：教育実習Ⅰのための事前指導：実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導
第10回：研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
第11回：教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検

4年次
第12回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習Ⅱ、事前・事後指導の予定確認・指導等
第13回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習カードの作成、教育実習Ⅱへの心構え、教材研究等についての指導、特別講義に関する準備
第14回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義
第15回：教育実習Ⅱのための事前指導：実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導
第16回：教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習についての発表、意見交換（ディスカッション）。実習レポートの作成、自己点検、教育実習履修のまとめ『実習のてびき』をよく読んで、実習について理解を深めておくとともに、課題に取り組み、教育実習に備える。
実習後は、評価・反省をしっかりして実習レポートをまとめ自分自身の課題を明確にする。

成　績　評　価　方　法
課題・模擬授業（50%）、平常点（50%） （平常点は、授業への参加状況と受講態度から判断します。）
成　績　評　価　基　準
1．教育実習の意義・目的を説明できるか。 2．中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解について理解できているか。 3．しっかりとした心構えを持って、教育実習に臨むことができたか。 4．授業実習に必要な知識・指導法や技術を身につけていたか。 5．教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にできたか。
テキスト、参考図書
仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」
その他（受講上の注意）
充実した教育実習ができるように日頃から、教師としての知識や技能を自主的に身につけるよう努力することを期待する。
オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育実習Ⅰ (Teaching Practice Ⅰ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2312	2単位	3年(9月)	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

高等学校における2週間の教育実習（観察実習・参加実習・授業実習）

授 業 の 到 達 目 標

1．確かな心構えを持って実習に臨む。
2．授業の教材研究がしっかりできる。
3．指導態度が真剣で、意欲的である。
4．生徒をよく理解しようと努める。
5．教科外指導にも熱心に取り組む。
6．実習ノートを欠かさず提出する。
10. 実習レポートはよくまとめられている。
11. 実習ノートは内容のある記録ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

教育実習校（高等学校）における実習
1．オリエンテーション（実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合せ等）
2．教育実習（観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等）
3．研究授業（実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践）
4．研究授業の反省会（研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション）教育実習先の高等学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。
日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。

成　績　評　価　方　法

平常点100%（教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。）

成　績　評　価　基　準

1．指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
2．よく教材研究・工夫がなされていたか。
3．指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
4．生徒をよく理解しようと努めていたか。
5．指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
6．教科外指導にも熱心に取り組んだか。
7．勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
8．事務・実務能力はあるか。
9．実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10. 実習レポートはよくまとめられていたか。
11. 実習ノートは内容のある記録ができていたか。

テキスト、参考図書
仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」、指定教科書
その他（受講上の注意）
実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育実習Ⅱ (Teaching PracticeⅡ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2416	2単位	4年(6月)	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

中学校における2週間の教育実習(観察実習・参加実習・授業実習)

授 業 の 到 達 目 標

1．確かな心構えを持って実習に臨む。
2．授業の教材研究がしっかりできる。
3．指導態度が真剣で、意欲的である。
4．生徒をよく理解しようと努める。
5．教科外指導にも熱心に取り組む。
6．実習ノートを欠かさず提出する。
10．実習レポートはよくまとめられている。
11．実習ノートは内容のある記録ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク
□発表(プレゼンテーション)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

教育実習校(中学校)における実習
1．オリエンテーション(実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合せ等)
2．教育実習(観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等)
3．研究授業(実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践)
4．研究授業の反省会(研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション)　教育実習先の中学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。
日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。

成　績　評　価　方　法

平常点100%(教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。)

成　績　評　価　基　準

1．指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
2．よく教材研究・工夫がなされていたか。
3．指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
4．生徒をよく理解しようと努めていたか。
5．指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
6．教科外指導にも熱心に取り組んだか。
7．勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
8．事務・実務能力はあるか。
9．実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10．実習レポートはよくまとめられていたか。
11．実習ノートは内容のある記録ができていたか。

テキスト、参考図書
仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」、指定教科書
その他（受講上の注意）
実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教職実践演習 (Teaching Profession Practical Exercises)			担当教員	紺渡　弘幸、奥谷　崇、フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2417	2単位	4年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

授　業　の　内　容

基礎的指導技術修得の確認・強化及び実践的指導力の育成

授 業 の 到 達 目 標

1．教職の意義・教員の職務と役割について理解する。
2．生徒理解や学級経営について理解する。
3．教科指導・生徒指導について理解する。
4．英語指導の基本的指導技術を身につける。
5．英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、使用できる。
6．ティーム・ティーチングの意義・目的を理解する。
7．ティーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク
□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

奥谷崇担当分（5回）
第1回：教職の意義、教職員の職務と役割、生徒に対する使命と責任の重さについて事例研究・ロールプレーイング・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：実習を通して教職員の職務の尊さを実感した体験をできるだけ書き上げてくること。（2時間）
　事後学修：教職員の職務の内容を整理し、要点を書き上げておくこと。（2時間）
第2回：生徒理解と学級経営について事例研究・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：実習を通して気になった生徒指導と学級経営の問題点を書き上げてくること。（2時間）
　事後学修：生徒指導と学級経営の要点をまとめ、自分が力を入れて取り組みたいことを書いておくこと。（2時間）
第3回：教科や生徒指導の方法についての事例研究・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：教科指導や生徒指導で、どんな苦労をしたか、結果についてまとめてくる。（2時間）
　事後学修：教科指導や生徒指導で実習を通して学んだことをまとめてくること。（2時間）
第4回：学校現場の調査研究とグループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：学校での先生方の勤務と苦労についてまとめてくること。（2時間）
　事後学修：特に学校現場の諸問題を整理し、解決策をまとめておくこと。（2時間）
第5回：社会性や対人関係能力についての確認とまとめ（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：児童生徒の社会性・対人関係能力の問題について解決策を考えてくる。（2時間）
　事後学修：社会性・対人関係能力の様々な問題の解決策をまとめておくこと。（2時間）

フッド晴美担当分（5回）
第6回：ティーム・ティーチング－意義と目的
　事前学習：自分が中学校・高校で受けたティーム・ティーチングで行われた英語の授業について、それらの授業がどのように自分の英語学習に効果的であったかをまとめておく。（2時間）
　事後学習：ティーム・ティーチングの意義と目的を、第2言語習得研究の成果と日本の学校英語教育の目的に照らし合わせ、レポートにまとめること。（2時間）

第７回：ティーム・ティーチング－現状と課題
事前学習：自分が中学校・高校で受けたティーム・ティーチングで行われた英語の授業を振り返り、どのような点が問題であったかまとめておく。（２時間）
事後学習：ティーム・ティーチングの現状と課題を、授業のディスカッションおよび配布された資料に基づいてまとめ、どのようにその課題を解決すべきか自分の考えをまとめる。（２時間）
第８回：ティーム・ティーチング－目標設定・指導計画・ALTとの話し合いの持ち方
事前学習：ティーム・ティーチングの授業での目標設定、ALTとの話し合いについて大切だと思うことをまとめておく。（２時間）
事後学習：今回の授業でディスカッションしたことに基づき、教育実習で実施したティーム・ティーチングで改善すべき点をまとめ、どのように改善すべきか考えをまとめる。（２時間）
第９回：ティーム・ティーチング－授業実践①
事前学習：教育実習で実施した授業の内容を、ティーム・ティーチングですることを想定して指導案を作り直し、模擬授業の準備をしてくる。（２時間）
事後学習：今回の模擬授業の良かった点、改善すべき点についてまとめる。（２時間）
第10回：ティーム・ティーチング－授業実践②・評価の仕方
事前学習：前回の模擬授業の目標がどれくらい達成したかを評価する評価テストを考えてくる。（２時間）
事後学習：ティーム・ティーチングを効果的に実施するための要点を、５回の授業を通して得た知見に基づき、まとめる。（２時間）

紺渡弘幸担当分（５回）
第11回：基本的指導技術－Warm-up・Reviewとマクロストラテジー（１）Diversity
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（Warm-up・Review）とマクロストラテジー（Diversity）について復習する。（２時間）
第12回：基本的指導技術－文法・文型の導入とマクロストラテジー（２）Quality
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（文法・文型の導入）とマクロストラテジー（Quality）について復習する。（２時間）
第13回：基本的指導技術－文法・文型を用いた活動とマクロストラテジー（３）Quantity
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（文法・文型を用いた活動）とマクロストラテジー（Quantity）について復習する。模擬授業の準備（学習指導案・教材の作成）をする。（２時間）
第14回：基本的指導技術－語彙の導入・指導とマクロストラテジー（４）Collaboration
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（語彙の導入・指導）とマクロストラテジー（Collaboration）について復習する。模擬授業の準備（学習指導案・教材の作成）をする。（２時間）
第15回：基本的指導技術－教科書本文の読解指導とマクロストラテジー（５）Autonomy
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（教科書本文の読解指導）とマクロストラテジー（Autonomy）について復習する。（２時間）

成績評価方法

課題（30%）、平常点（70%）
（平常点は授業への参加状況、グループ討論、模擬授業などの取り組みを総合的に判断します。）

成績評価基準

１．教職の意義・教員の職務と役割について理解できているか。
２．生徒理解や学級経営について理解できているか。
３．教科指導・生徒指導について理解できているか。
４．基本的指導技術を授業に活用できるか。
５．英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、授業で使用できるか。
６．ティーム・ティーチングの意義・目的を理解できているか。
７．ティーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができるか。

テキスト、参考図書

なし。

その他（受講上の注意）

自ら積極的に教員になる上で必要な知識・技能を再確認し、実際に活用できるようにするとともに、教師としての資質を向上させることができるよう努力を期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。